

君津市高齢者保健福祉計画
・第8期介護保険事業計画
実態調査（アンケート）に係る
分析結果報告書

令和2年3月

君津市

目次

1 調査の概要	1
調査の目的	1
調査の対象者等	1
調査の回収結果	1
2 調査の集計結果	2
（1）在宅介護実態調査	2
本人の基礎情報	2
調査時の年齢	2
性別	2
日常生活圏域	2
要介護度	3
認知症高齢者の日常生活自立度	3
A票	4
A票にご回答いただいているのは、どなたですか（複数選択可）	4
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）	4
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）	5
問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）	6
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）	6
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）	7
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）	7
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）	8
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）	9
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）	10
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）	12
問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）	13
問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）	14
問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）	15
問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）	16
B票	17
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）	17
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）	17

問3	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）	18
問4	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）	19
問5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）	20
(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		
調査票を記入されたのはどなたですか		
問1	(1) あなた（この調査票のあて名のご本人）の性別をお答えください	21
問1	(2) あなたの年齢をお答えください	22
問1	(3) 家族構成をお答えください	23
問1	(4) あなたのお住まいの地区をお答えください	23
問1	(5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	24
問1	(5) ① あなたの介護認定についてお答えください	25
問1	(5) ② 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）	25
問1	(5) ③ 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）	26
問1	(5) ④ 主な介護者、介助者の年齢をお答えください	26
問1	(6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	27
問1	(7) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	28
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	29
問2	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	29
問2	(3) 15分位続けて歩いていますか	29
問2	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	29
問2	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	29
運動機能のリスク判定		
転倒のリスク判定		
問2	(6) 週に1回以上は外出していますか	33
問2	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	33
閉じこもり傾向		
問2	(8) 外出を控えていますか	35
問2	(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）	35
問2	(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）	35
問3	(1) 身長・体重・BMI	36
低栄養が疑われる高齢者		
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	38
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	38
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	38
咀嚼機能の低下が疑われる高齢者		
口腔機能が低下している高齢者		
問3	(5) 歯磨き（人にやらしてもら場合も含む）を毎日していますか	41
問3	(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください	41
問3	(6) ① 噛み合わせは良いですか	42
問3	(6) ② 毎日入れ歯の手入れをしていますか	42
問3	(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	42
低栄養状態にある高齢者		
問3	(8) どなたかと食事をとる機会がありますか	44

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか	45
問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	45
問4 (3) 今日が何月何日かわからないときがありますか	45
認知機能が低下している高齢者	46
問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	47
問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	47
問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか	47
問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか	47
問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	47
IADLが低下している高齢者	48
問4 (9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	50
問4 (10) 新聞を読んでいますか	50
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか	50
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	50
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか	50
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか	50
問4 (15) 病人を見舞うことができますか	50
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	50
問4 (17) 趣味はありますか	51
問4 (18) 生きがいはありますか	52
問5 (1) ① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか	53
問5 (1) ② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか	53
問5 (1) ③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか	54
問5 (1) ④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか	54
問5 (1) ⑤ 自治会館等で実施する健康体操にどのくらいの頻度で参加していますか	55
問5 (1) ⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか	55
問5 (1) ⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか	56
問5 (1) ⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか	57
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	58
問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか	59
問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)	60
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)	60
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)	60
問6 (4) 反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)	60
問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)	61
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか	62
問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか	62
問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)	62
問6 (9) 近所や地域の人に手伝ってほしいことはありますか。(いくつでも)	63

問6 (10) ボランティア(有償含む)に手伝ってほしいことはありますか。(いくつでも)	63
手伝ってほしいこと及びその相手(問6(9)と問6(10)の比較)	64
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか	65
問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか	66
問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	67
問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	67
うつ傾向の高齢者	68
問7 (5) お酒は飲みますか	69
問7 (6) タバコは吸っていますか	69
問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)	70
問8 (1) あなたは、市の保健・福祉サービスの情報をどこで入手していますか(いくつでも)	72
問8 (2) 次の保健・福祉サービスで、知っているサービスはどれですか(いくつでも)	73
問8 (3) 次の保健・福祉サービスで、今後利用したいサービスはどれですか(いくつでも)	73
問9 (1) あなたがふだん気をつけたり、心がけたりしていること、または取り組みたいと思うことに近いものは何ですか(○は2つまで)	74
問9 (2) 日常生活で特に不便に感じていることはどんなことですか(○は3つまで)	74
問9 (3) あなたが認知症や高齢により財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、どのようにしたいと思えますか(○は1つ)	75
問9 (4) あなたに認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	76
問9 (5) 認知症に関する窓口を知っていますか	76
問9 (5) ① 主にどこ(誰)が相談窓口と考えますか(○は3つまで)	76
問10 (1) もし、あなたが常に介護が必要になった場合、どこで介護を受けて生活したいですか(○は1つ)	77
問10 (2) 介護保険料とサービス提供のあり方についてどのようにお考えですか	77
問10 (3) あなたは、「地域包括支援室(センター)」を知っていますか	78
問10 (4) あなたは、「介護予防・日常生活支援総合事業」を知っていますか	79
問10 (5) 今後、力を入れてほしい施策はどのようなものですか(○は3つまで)	80
問10 (6) 介護保険制度や保健・福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください	81
複合リスクの判定	83
(3) 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	84
問1 この調査に回答される方はどなたですか。(○はひとつ)	84
問2-1 ご本人(特別養護老人ホームへの入所を希望されている方)の性別をお答えください。(○はひとつ)	84
問2-2 ご本人の年齢をお答えください。(○はひとつ)	84
問2-3 ご本人の要介護度はどれですか。(○はひとつ)	85
問2-4 ご本人のお住まいの地区について、お答えください。(○はひとつ)	85
問2-5 ご本人の現在の世帯構成はどれですか。(○はひとつ)	85
問2-5-1 同居されているご家族について、お答えください。(○はひとつ)	86
問2-6 ご本人の現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)	86
問2-6-1 自宅では、どのような介護サービスを利用していますか。(○はいくつでも)	87
問2-7 ご本人が介護・介助が必要になった主な原因について、お答えください。(○はいくつでも)	87
問2-8 ご本人は、次のいずれかの医療や処置を日常的に受けていますか。(○はいくつでも)	88

問3-1	ご本人が特別養護老人ホームへ入所を申し込んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をして、最も大きな理由1つに◎)	89
問3-2	特別養護老人ホームに最初に入所の申し込みをしたのはいつですか。(○はひとつ)	90
問3-3	入所の申し込みをしている特別養護老人ホームは何か所ありますか。(○はひとつ)	90
問3-4	どちらの地区の特別養護老人ホームへの入所を希望していますか。(○はひとつ)	90
問3-5	特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(○はひとつ)	91
問3-5-1	入所したい時期の回答理由(○はひとつ)	91
問3-6	入所を希望する居室のタイプは、次のうちどれですか。(○はひとつ)	92
問3-6-1	入所を希望する居室のタイプの回答の理由(○はひとつ)	92
問3-7	入所する場合、1ヶ月あたりの費用として負担が可能な額はどのくらいですか。(○はひとつ)	92
問3-8	入所する場合、費用を負担する方はどなたですか。(○はひとつ)	93
問3-9	過去に、入所を申し込んだ特別養護老人ホームから入所可能な連絡をうけ、辞退したことはありますか。(○はひとつ)	93
問3-9-1	辞退した理由として最もあてはまるものは、次のうちどれですか。(○はひとつ)	93
問3-10	特別養護老人ホーム以外で入所申し込みをしている、または入所を検討している施設をお答えください。(○はいくつでも)	94
問3-11	ご本人の施設入所に対する考えは、次のうちどれにもっとも近いですか。(○はひとつ)	94
問4-1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護という在宅サービスがありますが、このサービスの利用についてお答えください。(○はひとつ)	95
問4-2	どのようなサービス等があれば、自宅で安心して暮らすことができると思いますか。(○はいくつでも)	95
問5-1	君津市の介護サービスの整備について、どのように思いますか。(○はひとつ)	96
問5-2	介護保険料と特別養護老人ホームの整備に関する考え方は、次のどれにもっとも近いですか。(○はひとつ)	96
問6-1	ご本人の介護を主に(一番長い時間)行っている方は、ご本人から見てどのようなご関係にある方ですか。(○はひとつ)	97
問6-2	主に介護している方の年齢はいくつですか。(○はひとつ)	97
問6-3	主に介護をしている方が、ご本人を介護してから現在までの期間は、どのくらいですか。(○はひとつ)	98
問6-4	どのくらいの頻度で介護をしていますか。(○はひとつ)	98
問6-5	介護に負担や悩みを感じることはありますか。(○はひとつ)	99
問6-5-1	どのようなことで、負担や悩みを感じることはありますか。(○はいくつでも)	99
問6-6	ご本人の介護にあたり、介護の悩みをどなた(どちら)に相談しますか。(○はいくつでも)	100
問6-7	特別養護老人ホームへの入所についてどのように考えていますか。(○はひとつ)	100
問6-8	介護をするなかで、充実を望むことは何ですか。(主なもの3つまで)	101
(4) 介護サービス事業者実態調査		102
問1-1	貴事業者(法人等)の所在地をお聞きします。(○はひとつ)	102
問1-2	貴事業者の運営主体をお聞きします。(○はひとつ)	102
問1-3	介護サービスの運営年数はどれくらいですか。(○はひとつ)	102
問2-1	(1) 本市内で提供中の介護サービス	103
問2-1	(2) 介護サービスを提供している地区	104
問2-1	(3) 今後(令和5年度まで)の意向	105
問2-1	(4) 今後の意向の理由	106

問2-2 (1) 新設や拡充の予定年度	108
問2-2 (2) 新設や拡充の規模	108
問2-2 (3) 新設や拡充の予定地区	109
問2-3 新規事業に参入する際に課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)	109
問2-4 新たに介護サービスの新設をすることを考えた場合、どのような支援があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)	110
問2-5 事業を運営するうえで問題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)	110
問3-1 職員数の過不足を感じていますか。(〇はひとつ)	111
問3-2 職員数が不足している主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)	111
問3-3 不足している職種は何ですか。(〇はいくつでも)	111
問3-4 職員を新たに確保する際の課題は何ですか。(〇はいくつでも)	112
問3-5 人材確保に向けた取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)	112
問3-6 「特定処遇改善加算」に対しどのような対応を行いましたか。(〇はいくつでも)	113
問3-7 加算の届け出をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)	113
問3-8 職員の定着についてどのような状況ですか。(〇はひとつ)	114
問3-9 職員を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)	114
問3-10 介護人材の確保や定着などに向けて、行政からどのような支援があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)	115
問4-1 外国人介護人材を雇用していますか。(〇はひとつ)	116
問4-2 在留資格の内訳は何ですか。(〇はいくつでも)	116
問4-3 外国人介護人材を今後受け入れていきたいと思いますか。(〇はひとつ)	117
問4-4 外国人介護人材を受け入れなくても人材を充足できると思いますか(〇はひとつ)	117
問4-5 外国人介護人材の受け入れに消極的な理由は何ですか。(〇はいくつでも)	117
問5-1 (1) 不足しているまたは今後不足すると感じている介護サービス	118
問5-1 (2) 不足しているまたは今後不足すると感じている地区	119
問5-2 君津市の高齢者向け福祉施策をどのように評価していますか。(〇はひとつ)	120
問5-3 今後の君津市の高齢者向け福祉施策に必要なことはどのようなことだと考えていますか。(特に必要と思われること5つまでに〇)	120
問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ①医療・介護の連携強化(自由記述)	121
問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ②介護サービスの充実強化(自由記述)	121
問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ③介護予防の推進(自由記述)	122
問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ④多様な担い手による生活支援サービスの提供(自由記述)	122
問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ⑤高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者の住まいの整備(自由記述)	122
問7 その他君津市の介護保険・福祉行政に関して、ご意見などありましたら、自由にお書きください	123

1 調査の概要

調査の目的

この調査は、令和3年度から始まる新しい高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、65歳以上の市民やその家族等を対象に、日常生活や社会参加、介護予防の状況、支援のニーズ等を把握するほか、介護サービス事業者を対象に、施策・事業に対するご意見、今後の意向等を把握することを目的に実施しました。

調査の対象者等

調査種別	対象者	調査方法	調査時期
①在宅介護実態調査	在宅で生活をし、介護保険の要支援・要介護認定を受けている方のうち、認定の更新（区分変更）申請をした方	戸別訪問	平成31年1月～令和元年12月
		郵送による配布・回収	令和2年2月～3月
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上で、介護保険の要介護1～5の認定を受けていない方	郵送による配布・回収	
③特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	令和2年1月時点で、特別養護老人ホームへ入所の申し込みをしている方	郵送による配布・回収	
④介護サービス事業者実態調査	市内で介護サービスを提供している法人	郵送による配布・回収	

調査の回収結果

調査種別	対象数	回収数	無効	有効回収数	有効回収率
①在宅介護実態調査	訪問 367	訪問 367	—	訪問 367	訪問 100.0%
	郵送 600	郵送 281	—	郵送 281	郵送 46.8%
	計 967	計 648	—	計 648	計 67.0%
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,500 (※)	2,412	—	2,412	68.9%
③特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	179	104	—	104	58.1%
④介護サービス事業者実態調査	72	42	—	42	58.3%

※ 各日常生活圏域（君津地区、小糸地区、清和地区、小櫃地区、上総地区）で男女 各 350 人を無作為に抽出

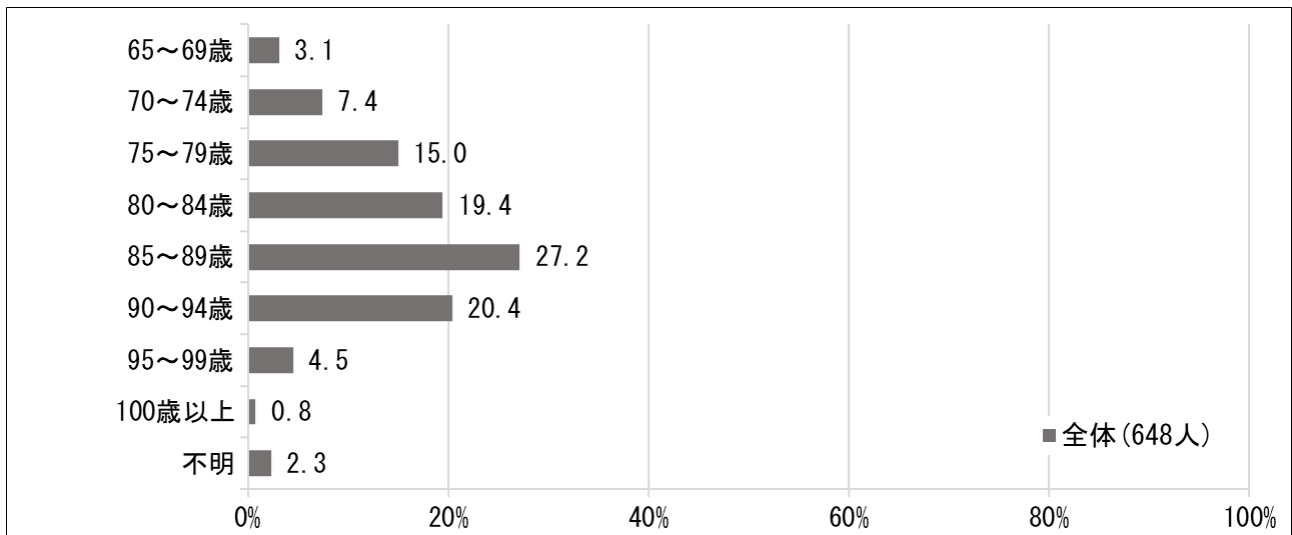
2 調査の集計結果

(1) 在宅介護実態調査

本人の基礎情報

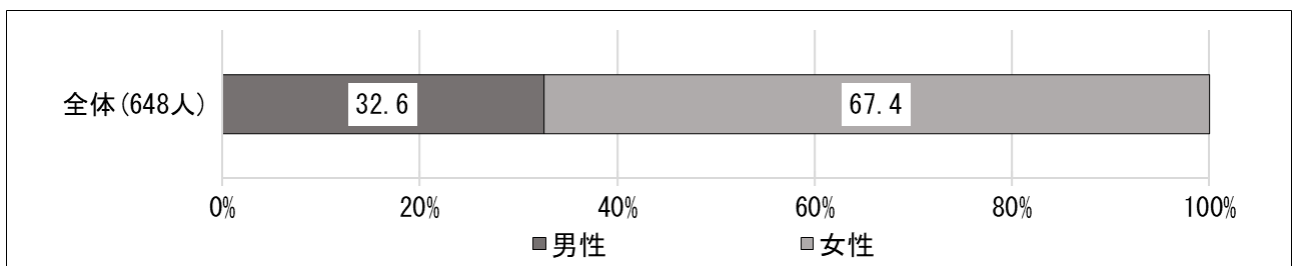
調査時の年齢

「85～89歳」が27.2%と最も高く、「90～94歳」が20.4%、「80～84歳」が19.4%、「75～79歳」が15.0%と続いています。



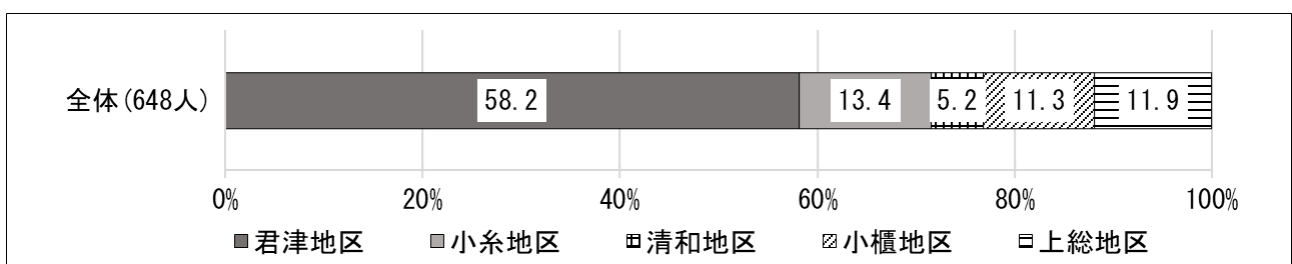
性別

「男性」が32.6%、「女性」が67.4%となっています。



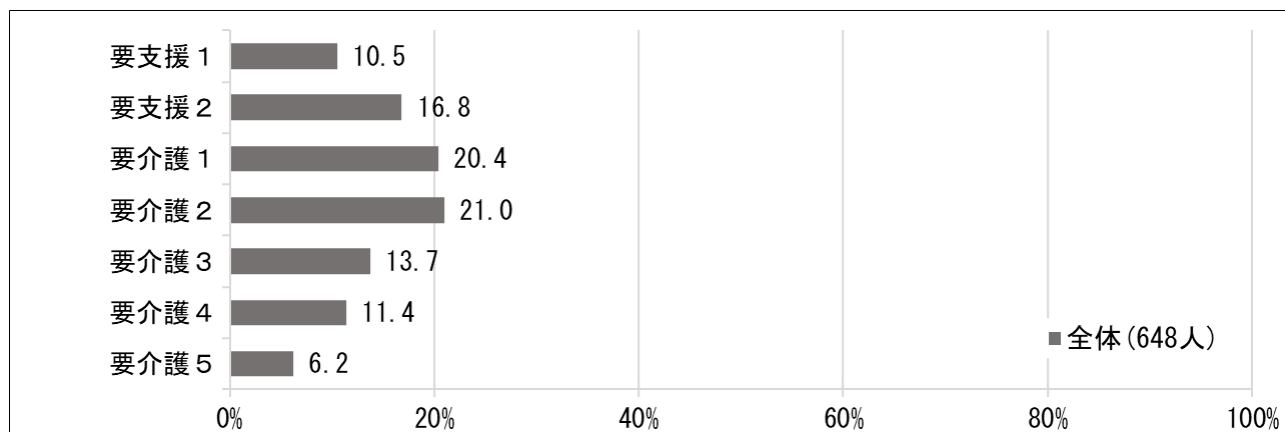
日常生活圏域

「君津地区」が58.2%と最も高く、「小糸地区」が13.4%、「上総地区」が11.9%、「小櫃地区」が11.3%、「清和地区」が5.2%と続いています。



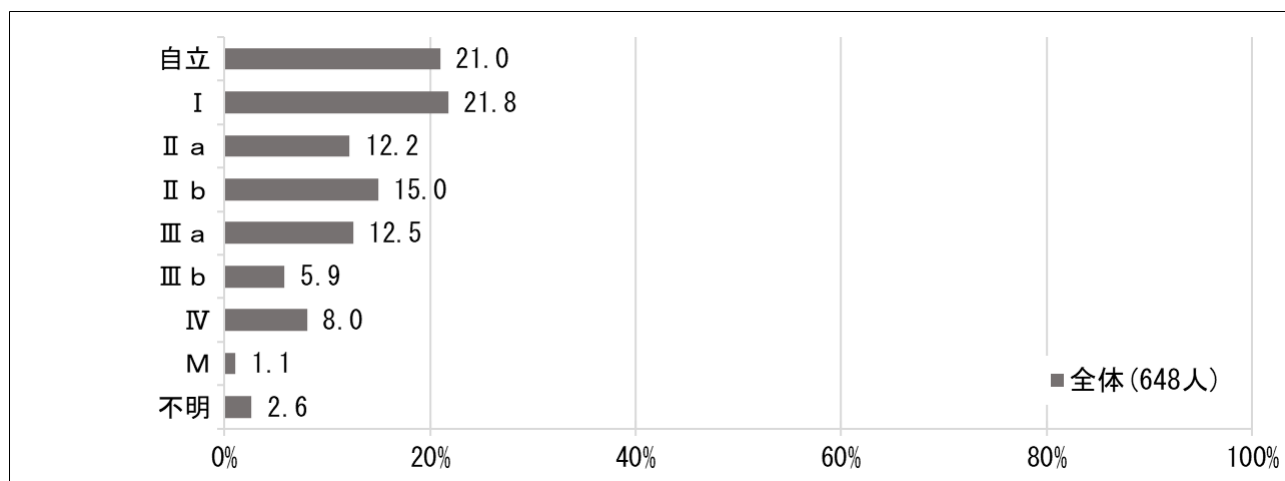
要介護度

「要介護2」が21.0%と最も高く、「要介護1」が20.4%、「要支援2」が16.8%、「要介護3」が13.7%と続いています。



認知症高齢者の日常生活自立度

「I」が21.8%と最も高く、「自立」が21.0%、「II b」が15.0%、「III a」が12.5%と続いています。II以上が54.7%と半数以上になっています。



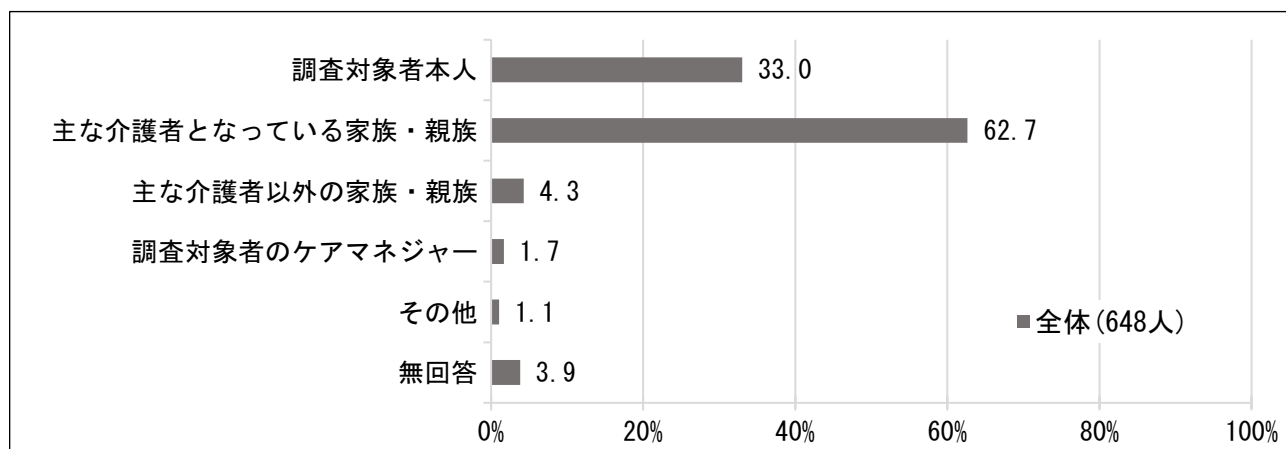
【参考】認知症高齢者の日常生活自立度（判定の基準）

ランク	判断基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。
II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる。
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記IIIの状態がみられる。
III b	夜間を中心として上記IIIの状態がみられる。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

A票

A票にご回答いただいているのは、どなたですか（複数選択可）

「主な介護者となっている家族・親族」が62.7%と最も高く、「調査対象者本人」が33.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.3%と続いています。

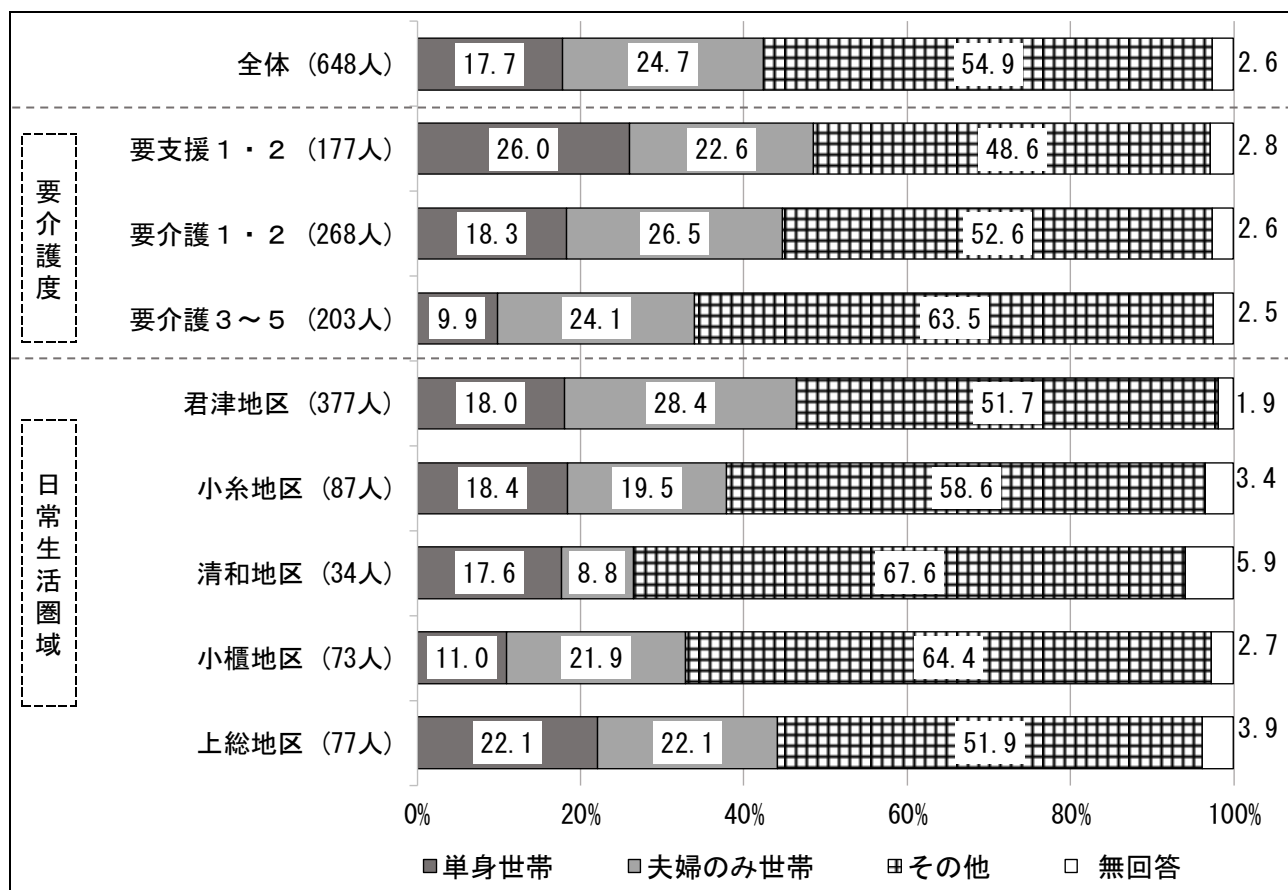


問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

「単身世帯」が17.7%、「夫婦のみ世帯」が24.7%、「その他」が54.9%となっています。

要介護度別でみると「単身世帯」は、要支援1・2で26.0%、要介護1・2で18.3%、要介護3～5で9.9%となっています。

日常生活圏域別でみると「単身世帯」は、小櫃地区で11.0%と低くなっており、最も割合の高い上総地区（22.1%）のおよそ半分の割合となっています。

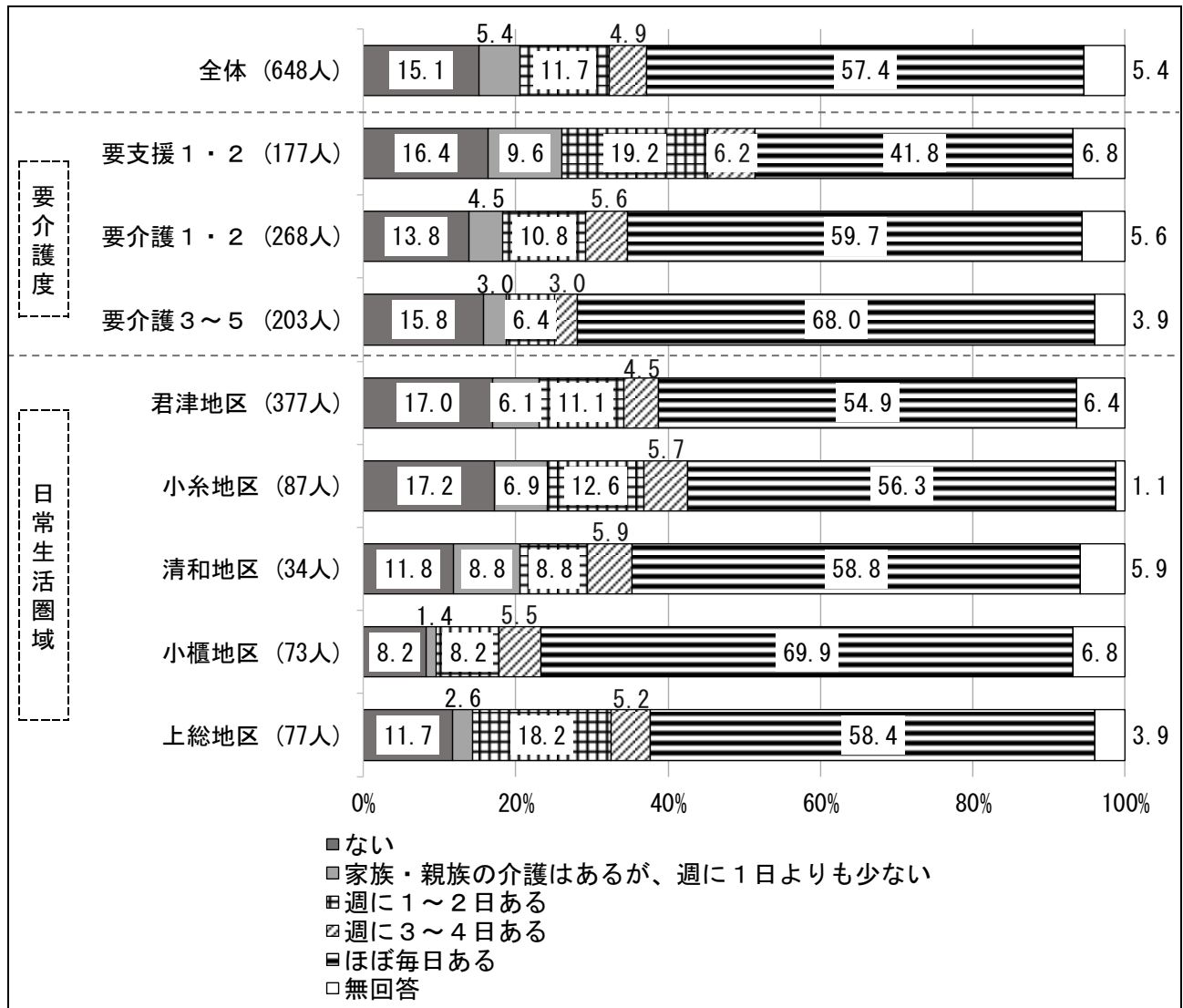


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

「ほぼ毎日ある」が57.4%と最も高く、「ない」が15.1%、「週に1～2日ある」が11.7%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が5.4%と続いています。

要介護度別でみると、要介護3～5では「ほぼ毎日ある」が68.0%と全体と比べて高くなっています。

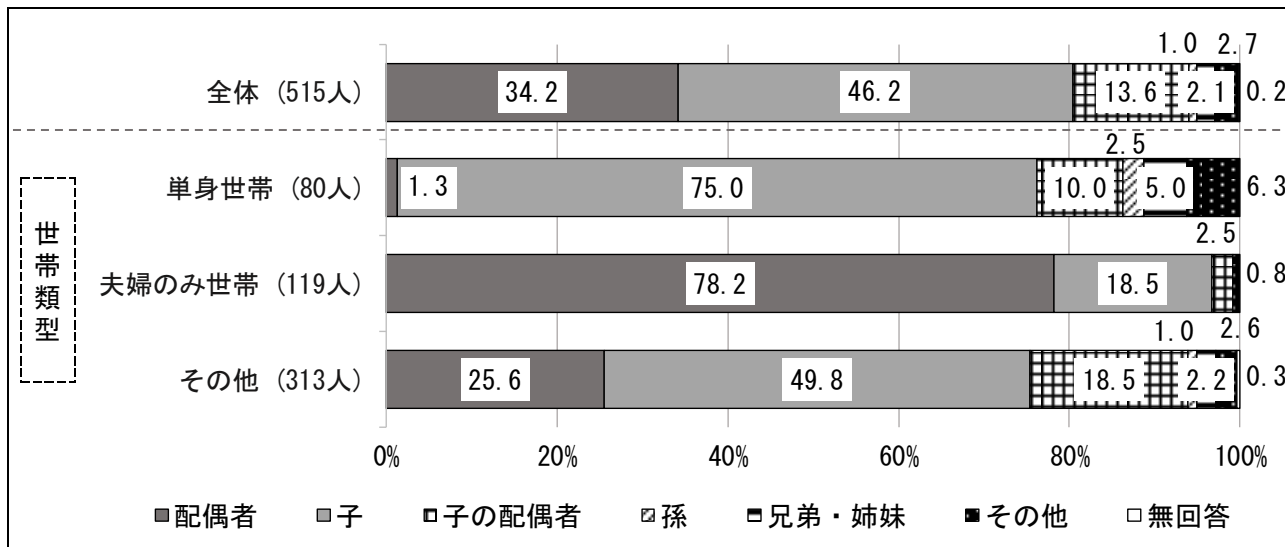
日常生活圏域別でみると、小櫃地区では「ほぼ毎日ある」が69.9%と他の圏域と比較して高くなっています。



問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

「子」が46.2%と最も高く、「配偶者」が34.2%、「子の配偶者」が13.6%、「兄弟・姉妹」が2.1%、「孫」が1.0%と続いています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「子」（75.0%）が、夫婦のみ世帯では「配偶者」（78.2%）が最も高くなっています。

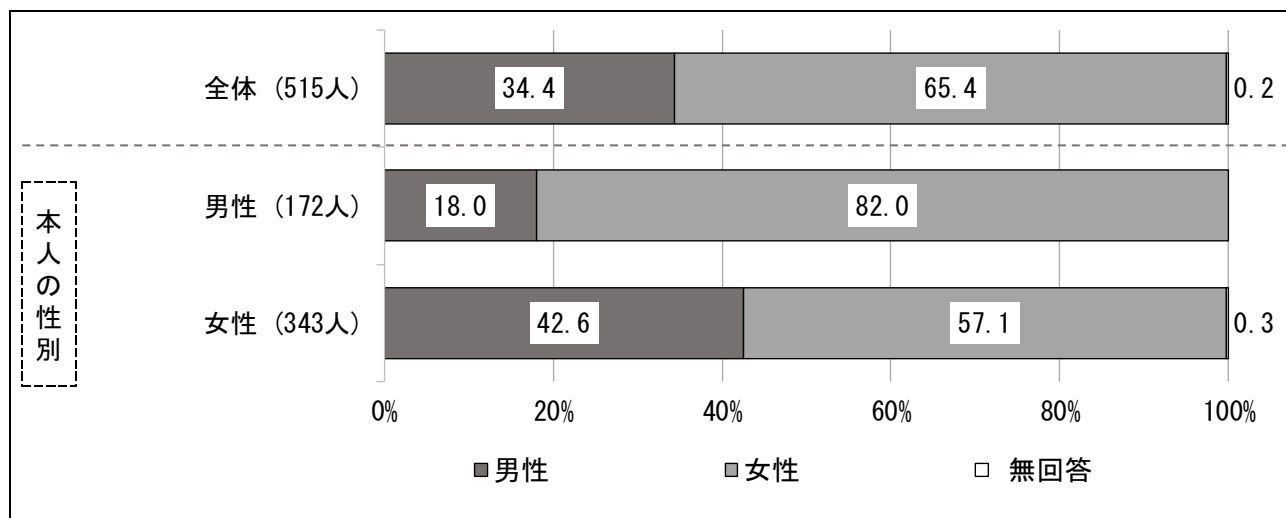


※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「男性」が34.4%、「女性」が65.4%であり、「女性」の比率が高くなっています。

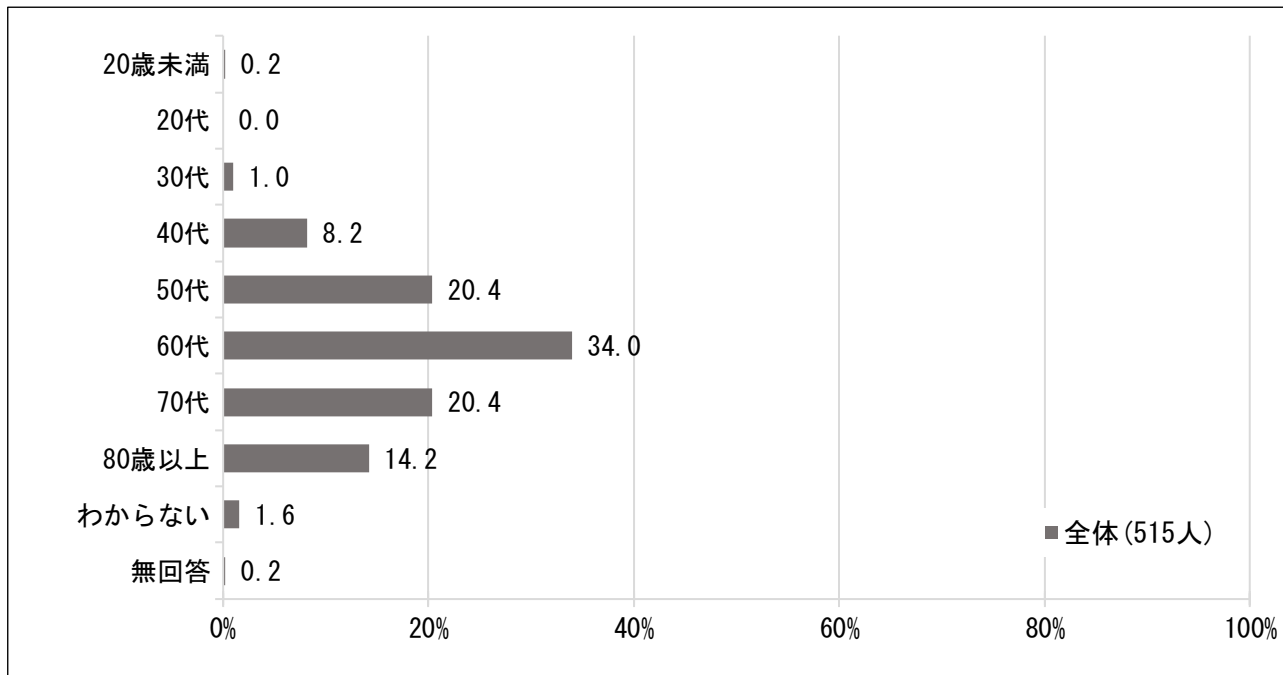
本人の性別でみると、本人が男性の場合は「男性」が18.0%、「女性」が82.0%、本人が女性の場合は「男性」が42.6%、「女性」が57.1%となっています。



※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

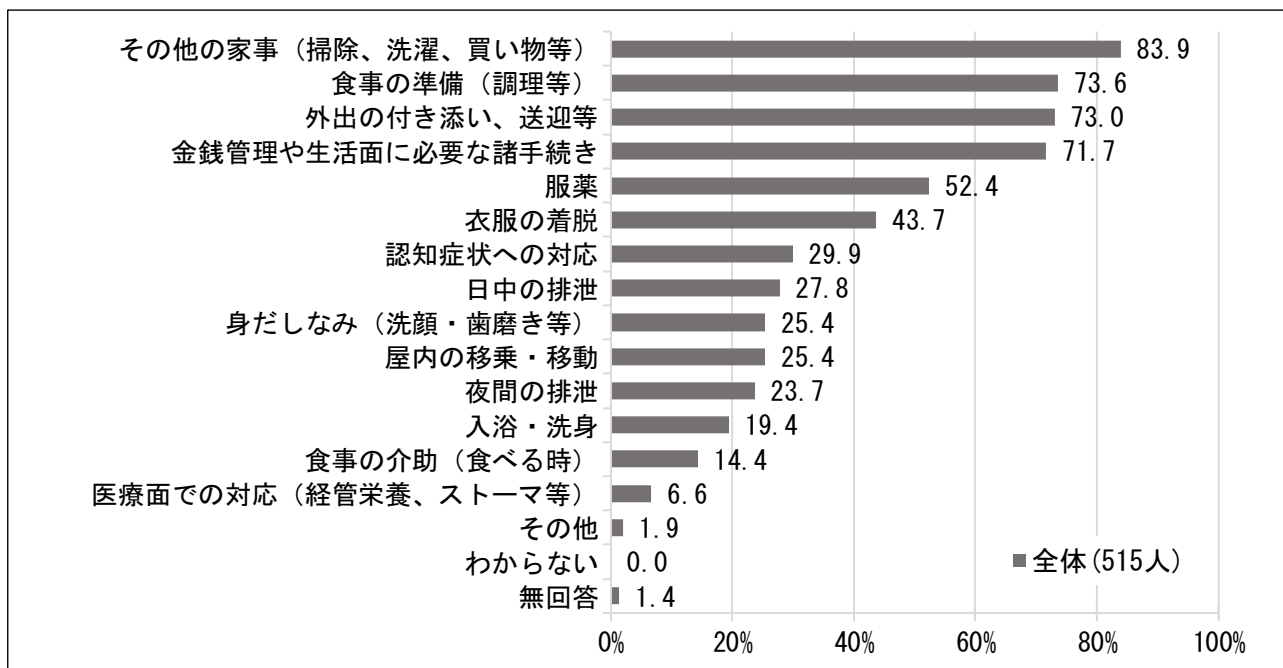
「60代」が34.0%と最も高く、「50代」と「70代」がそれぞれ20.4%、「80歳以上」が14.2%と続いています。



※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.9%と最も高く、「食事の準備（調理等）」が73.6%、「外出の付き添い、送迎等」が73.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.7%と続いています。また、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が6.6%となっています。



※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

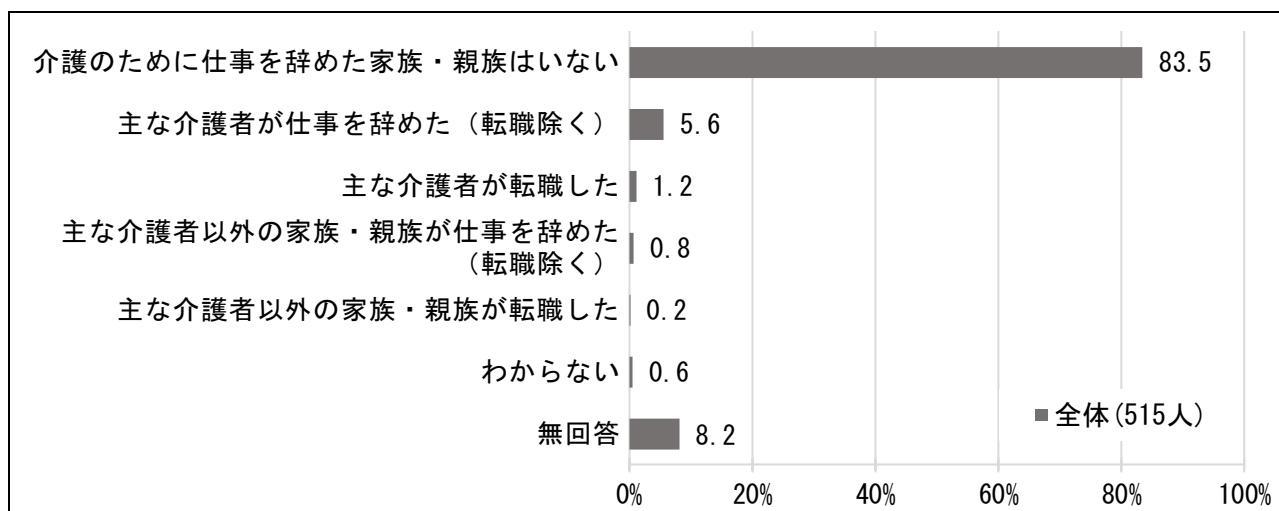
【日常生活圏域別 現在、主な介護者の方が行っている介護等 上位5つ】

日常生活圏域別でみると「外出の付き添い、送迎等」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は、清和地区において85.7%と、他の圏域と比較して高くなっています。

順位	君津地区(289人)	小糸地区(71人)	清和地区(28人)	小櫃地区(62人)	上総地区(65人)
第1位	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(82.4%)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(81.7%)	外出の付き添い、送迎等 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(85.7%)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(88.7%)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(89.2%)
第2位	外出の付き添い、送迎等(75.1%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き(76.1%)		食事の準備(調理等)(72.6%)	食事の準備(調理等) 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(76.9%)
第3位	食事の準備(調理等)(74.4%)	食事の準備(調理等)(69.0%)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(82.1%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き(67.7%)	
第4位	金銭管理や生活面に必要な諸手続き(68.9%)	外出の付き添い、送迎等(67.6%)	食事の準備(調理等)(71.4%)	外出の付き添い、送迎等(66.1%)	外出の付き添い、送迎等(70.8%)
第5位	服薬(54.3%)	服薬(47.9%)	衣服の着脱、服薬(53.6%)	服薬(51.6%)	服薬(49.2%)

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.5%と最も高くなっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(5.6%)、「主な介護者が転職した」(1.2%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(0.8%)の3つを合わせた“家族や親族の仕事に影響した”割合が7.6%となっています。

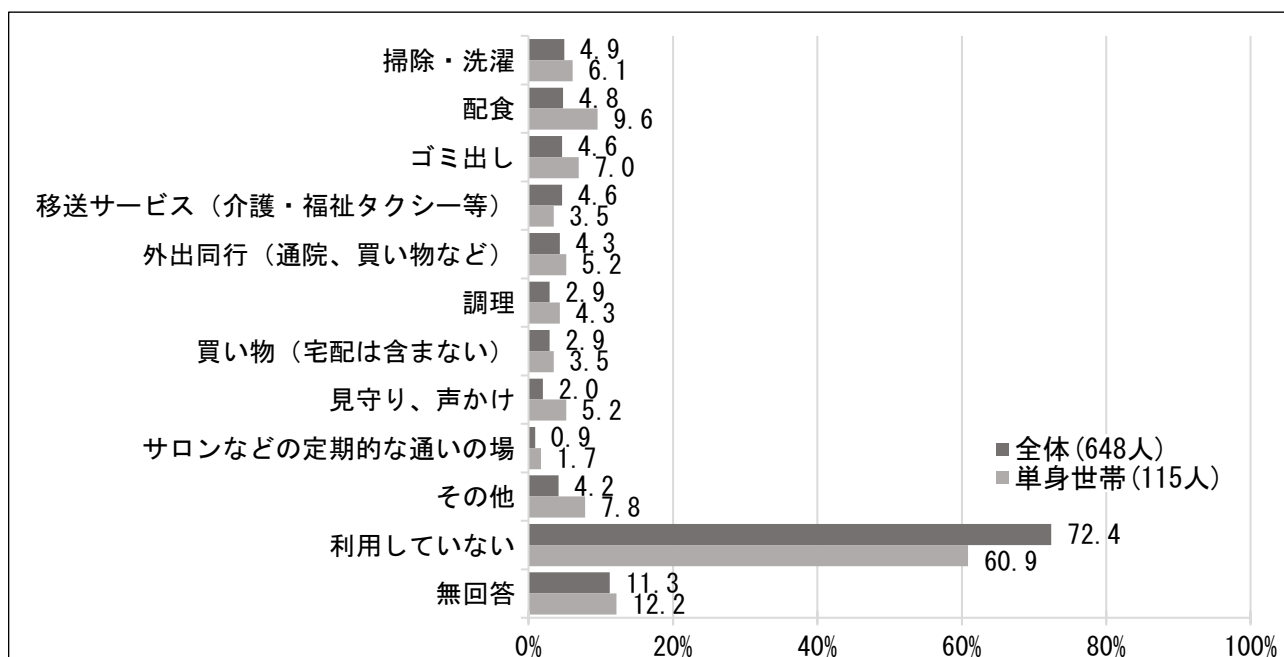


※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

利用サービスとしては「掃除・洗濯」が4.9%と最も高く、「配食」が4.8%、「ゴミ出し」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ4.6%と続いています。また、「利用していない」が72.4%となっています。

単身世帯の場合でみると、利用サービスとしては「配食」が9.6%と最も高く、「ゴミ出し」が7.0%、「掃除・洗濯」が6.1%と続いています。また、「利用していない」が60.9%と全体と比べて低くなっています。



【日常生活圏域別 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス 上位5つ】

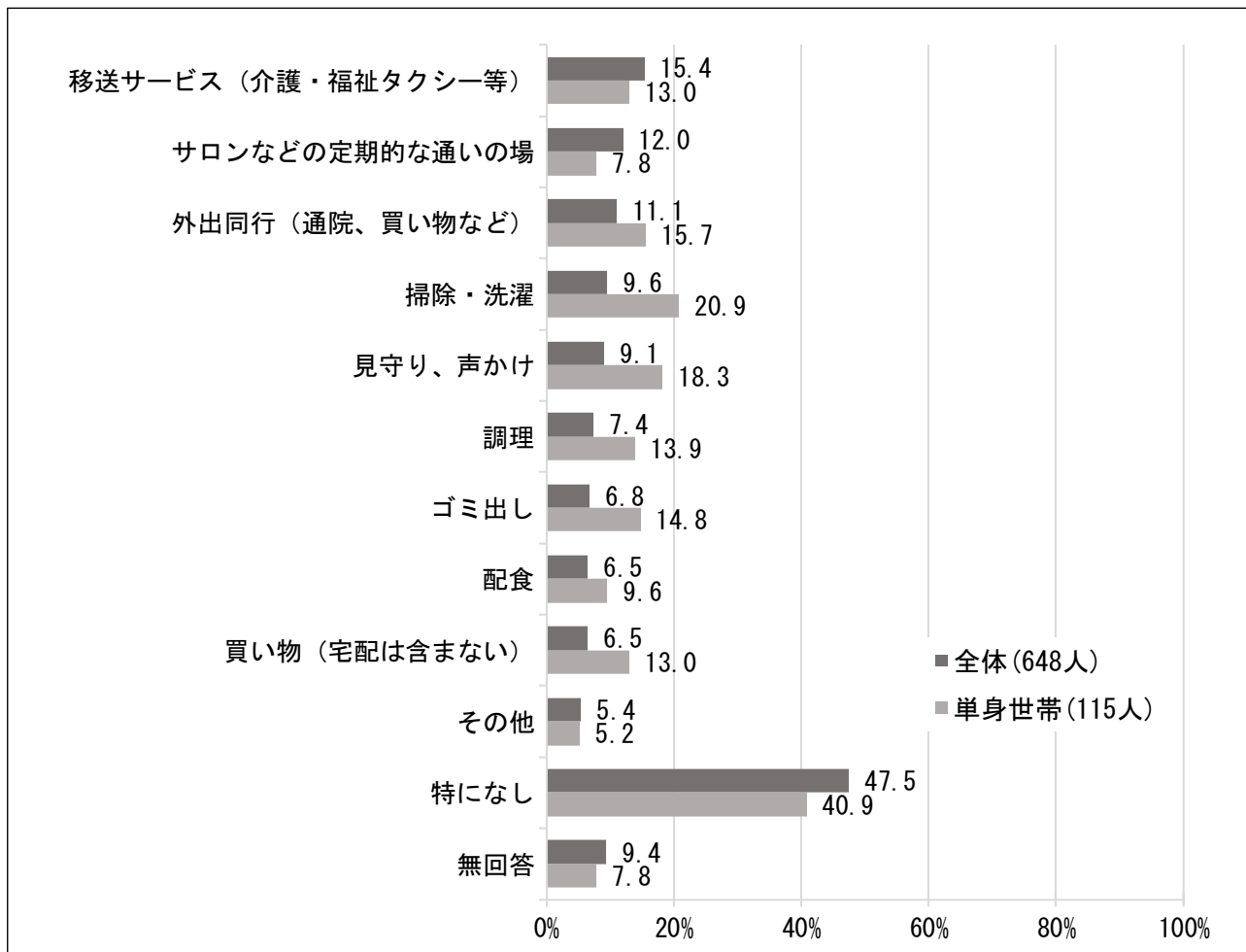
日常生活圏域別でみると、君津地区で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.1%）、小糸地区で「買い物（宅配は含まない）」（6.9%）が最も高くなっています。

順位	君津地区 (377人)	小糸地区 (87人)	清和地区 (34人)	小櫃地区 (73人)	上総地区 (77人)
第1位	移送サービス (介護・福祉タクシー等) (6.1%)	買い物 (宅配は含まない) (6.9%)	掃除・洗濯 (11.8%)	ゴミ出し (5.5%)	掃除・洗濯 (3.9%)
第2位	配食 (5.8%)	掃除・洗濯 (5.7%)	配食 (5.9%)	移送サービス (介護・福祉タクシー等) (4.1%)	配食 (2.6%)
第3位	掃除・洗濯 (5.0%)			調理 (2.7%)	
第4位	外出同行 (通院、買い物など) (4.8%)	調理 (4.6%)	外出同行 (通院、買い物など) (5.9%)	外出同行 (通院、買い物など) (2.7%)	
第5位	ゴミ出し (4.5%)			掃除・洗濯 他 (1.4%)	

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.4%と最も高く、「サロンなどの定期的な通いの場」が12.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.1%、「掃除・洗濯」が9.6%と続いています。また、「特になし」が47.5%となっています。

単身世帯の場合でみると、必要と感じる支援・サービスとしては、「掃除・洗濯」が20.9%と最も高く、「見守り、声かけ」が18.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.7%、「ゴミ出し」が14.8%と続いています。また、「特になし」が40.9%と全体と比べて低くなっています。



【日常生活圏域別 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 上位5つ】

日常生活圏域別でみると、上総地区以外では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっています。一方、上総地区では「サロンなどの定期的な通いの場」(18.2%)が最も高くなっています。

順位	君津地区(377人)	小糸地区(87人)	清和地区(34人)	小櫃地区(73人)	上総地区(77人)
第1位	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (17.0%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (17.2%)	配食 掃除・洗濯 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 見守り、声かけ サロンなどの定期的な通いの場 (14.7%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (12.3%)	サロンなどの定期的な通いの場 (18.2%)
第2位	外出同行(通院、買い物など) (11.7%)	サロンなどの定期的な通いの場 (13.8%)		配食 掃除・洗濯 ゴミ出し 外出同行(通院、買い物など) (11.0%)	見守り、声かけ (11.7%)
第3位	サロンなどの定期的な通いの場 (10.9%)	買い物(宅配は含まない) 外出同行(通院、買い物など) (11.5%)			移送サービス(介護・福祉タクシー等) (9.1%)
第4位	掃除・洗濯 (9.3%)				外出同行(通院、買い物など) (7.8%)
第5位	見守り、声かけ (8.5%)	掃除・洗濯 (10.3%)			配食 他 (6.5%)

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

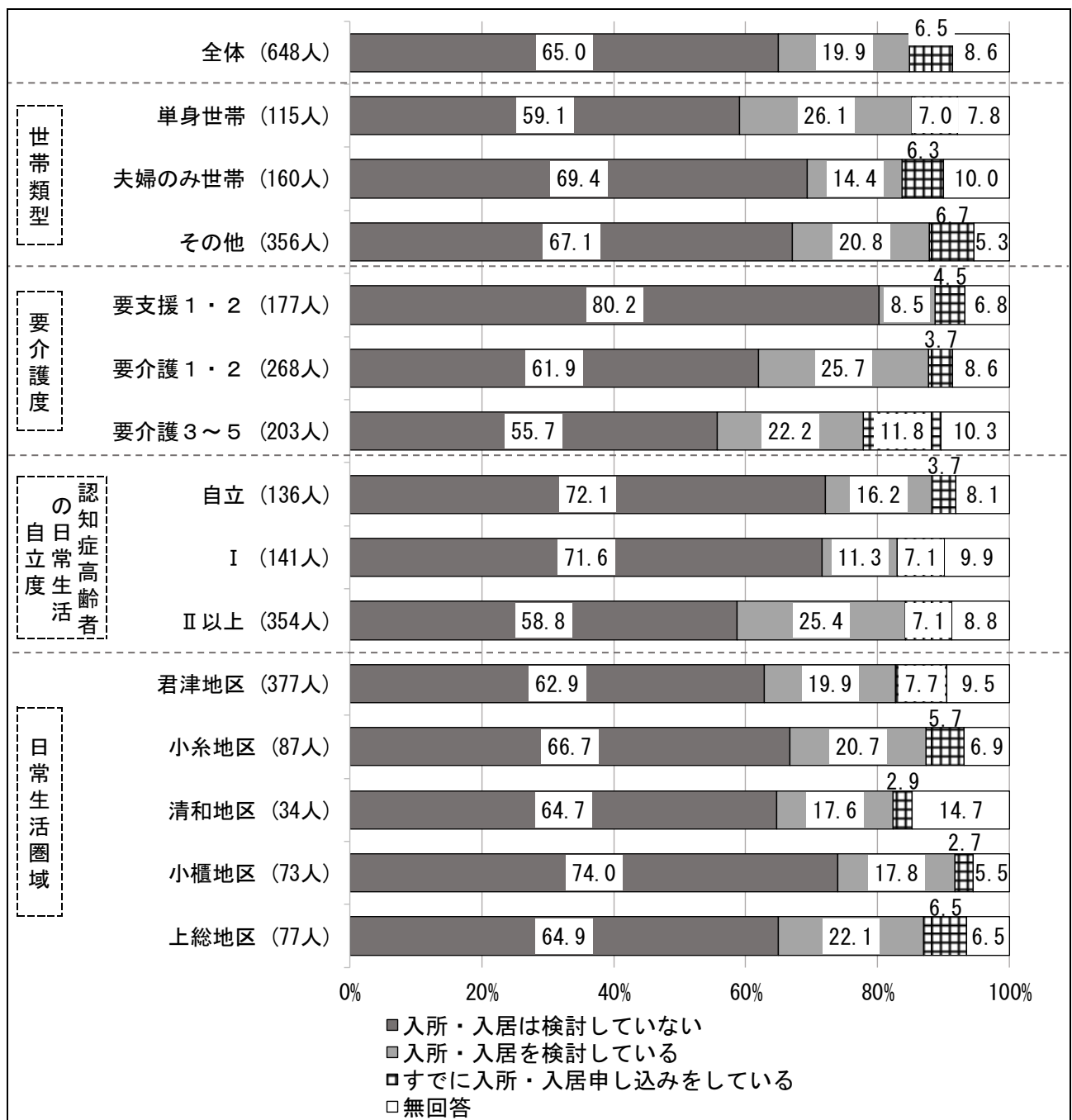
「入所・入居は検討していない」が65.0%、「入所・入居を検討している」が19.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.5%となっています。

世帯類型別でみると、「入所・入居を検討している」の割合は、単身世帯で26.1%、夫婦のみ世帯で14.4%と、単身世帯の方が入所・入居を検討している割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護3～5では「入所・入居を検討している」が22.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.8%となっています。

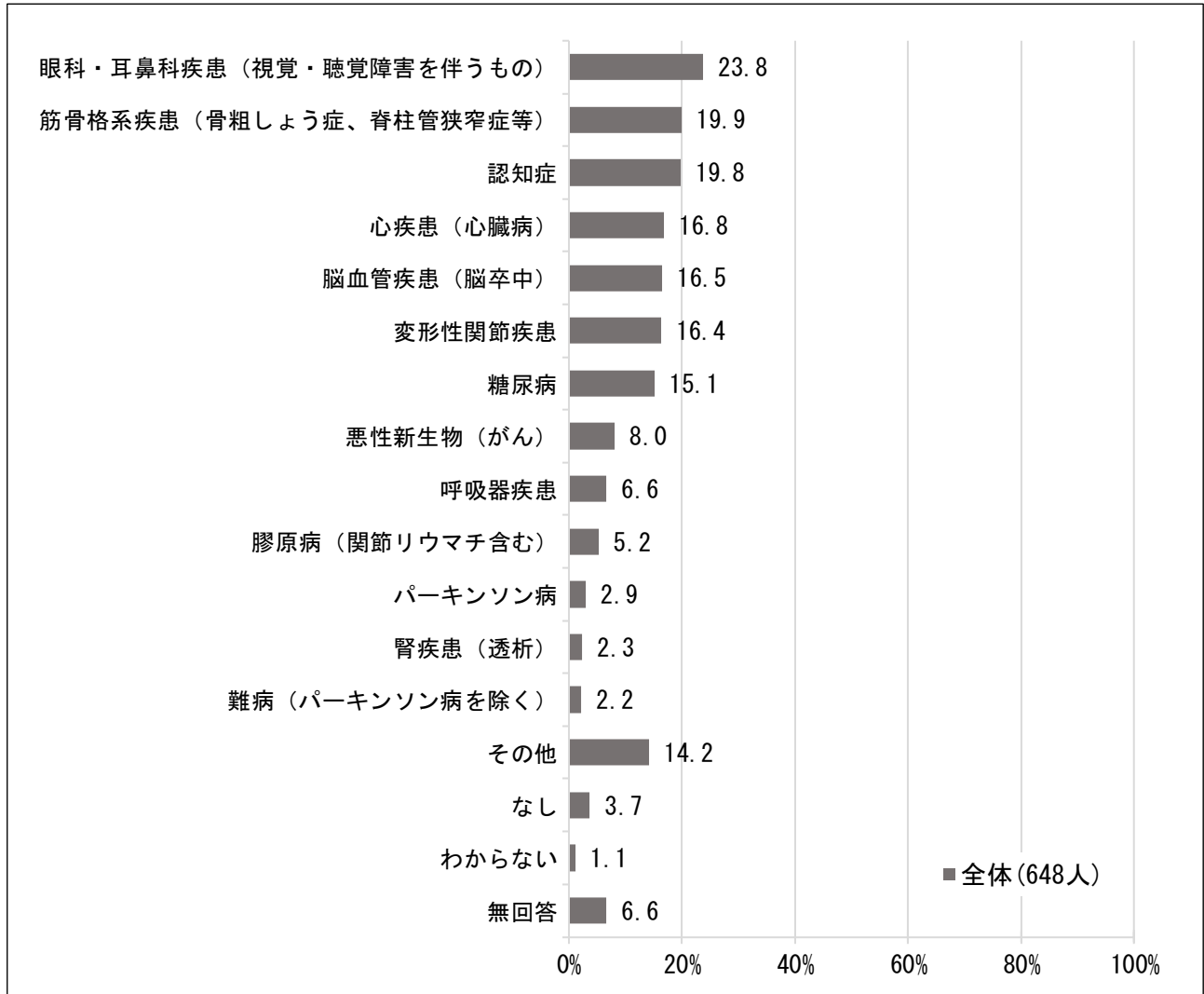
認知症高齢者の日常生活自立度別でみると、Ⅱ以上では「入所・入居を検討している」が25.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.1%となっています。

日常生活圏域別でみると、小櫃地区において「入所・入居は検討していない」が他の圏域と比較して高くなっています。



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 23.8%と最も高く、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 19.9%、「認知症」が 19.8%、「心疾患（心臓病）」が 16.8%と続いています。



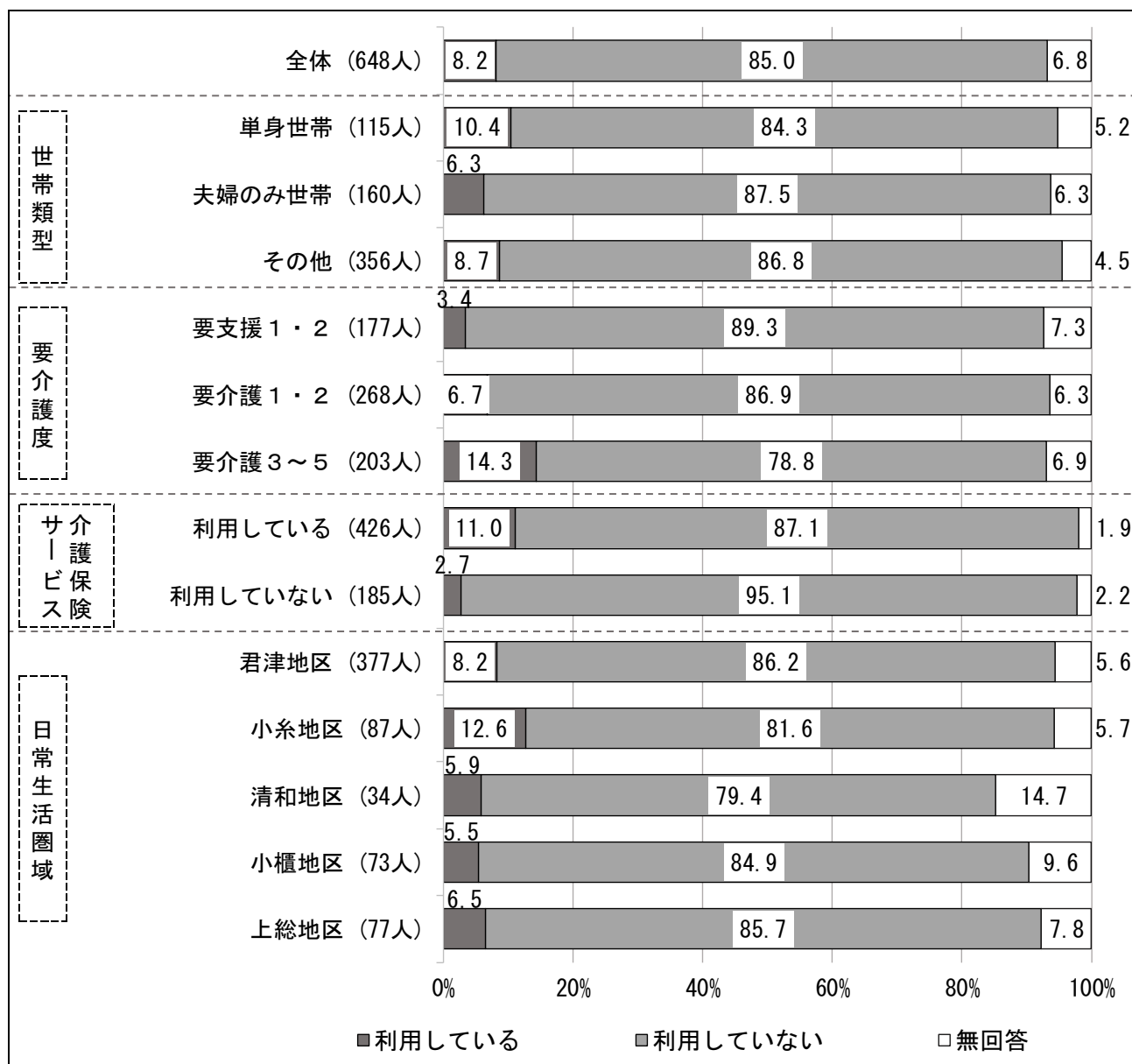
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

「利用している」が8.2%、「利用していない」が85.0%となっています。

要介護度別でみると「利用している」は、要支援1・2で3.4%、要介護1・2で6.7%、要介護3～5で14.3%となっています。

介護保険サービス別でみると、介護保険サービスと訪問診療を併用している割合は11.0%となっています。

日常生活圏域別でみると「利用している」は、小糸地区において12.6%と、他の圏域と比較して高くなっています。

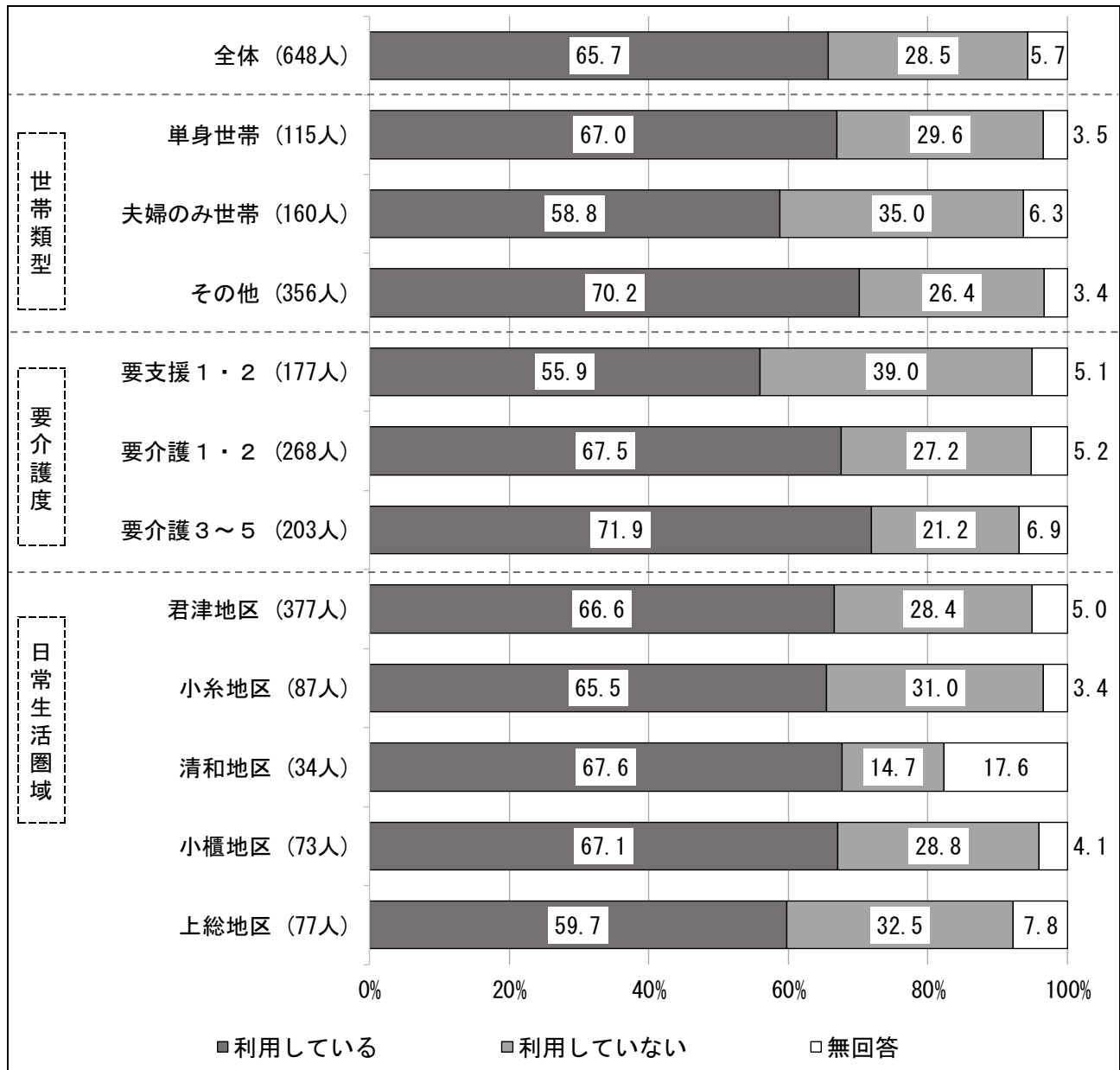


問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか (1つを選択)

「利用している」が 65.7%、「利用していない」が 28.5%となっています。

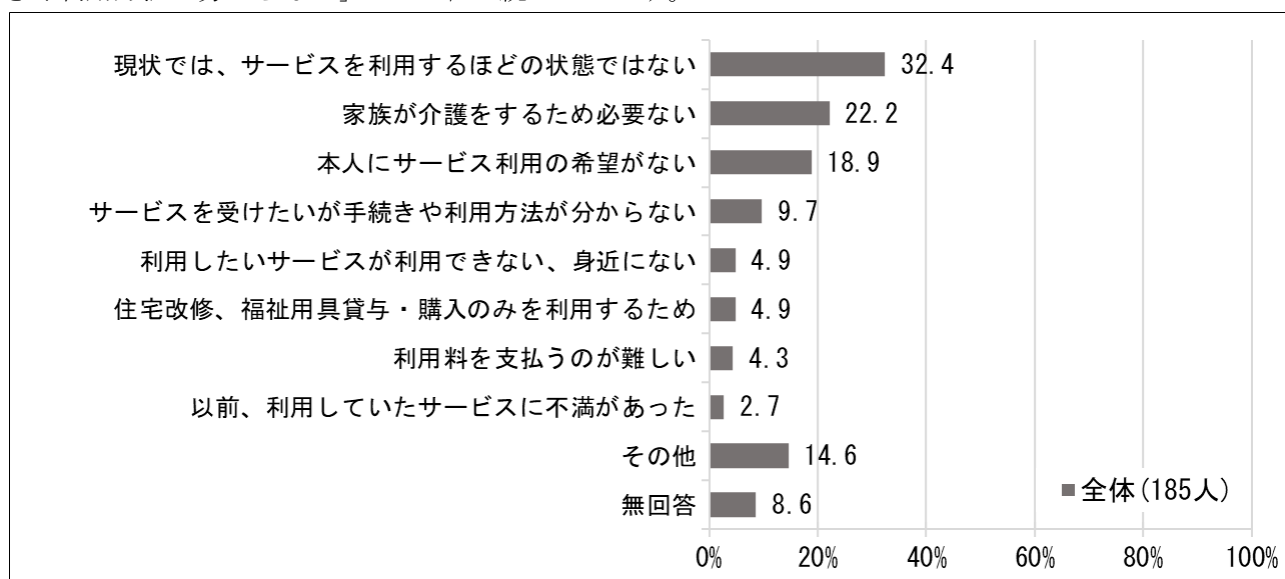
要介護度別でみると「利用している」は、要支援 1・2 で 55.9%、要介護 1・2 で 67.5%、要介護 3～5 で 71.9%となっています。

日常生活圏域別でみると「利用している」は、上総地区において 59.7%と他の圏域と比較して若干低くなっています。



問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 32.4%と最も高く、「家族が介護をするため必要ない」が 22.2%、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.9%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 9.7%と続いています。



※問 13 で「利用していない」と回答した方が対象

【日常生活圏域別 介護保険サービスを利用していない理由 上位 5 つ】

日常生活圏域別でみると、いずれの圏域においても「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の回答割合が高くなっています。

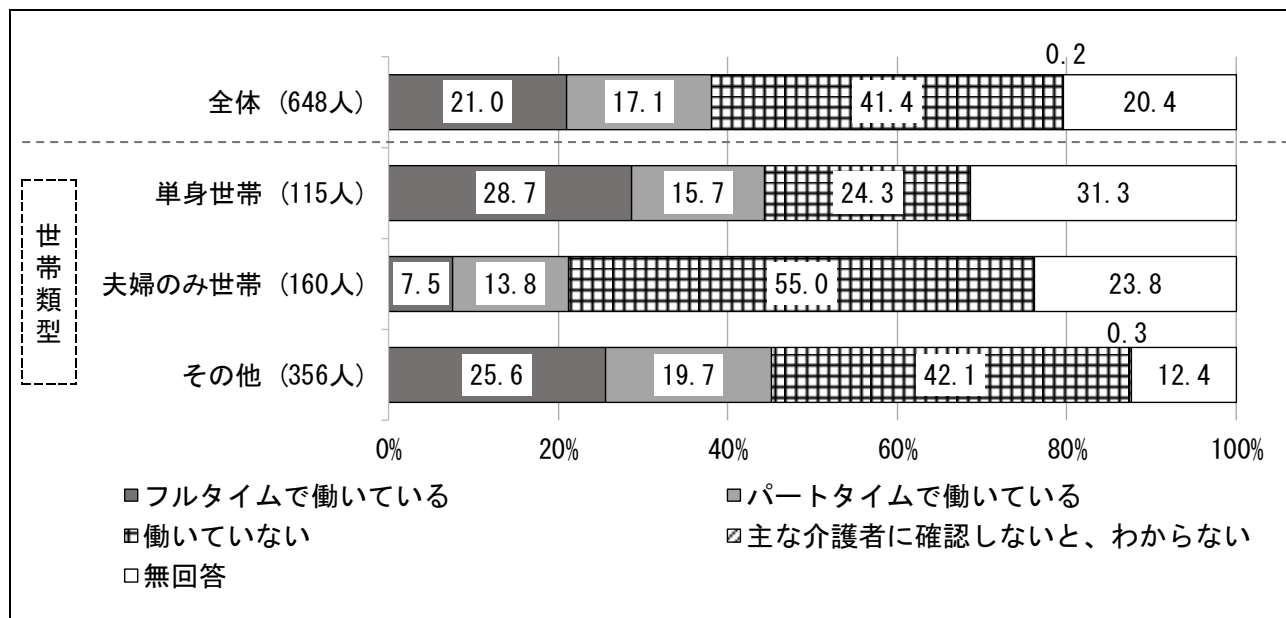
順位	君津地区 (107 人)	小糸地区 (27 人)	清和地区 (5 人)	小櫃地区 (21 人)	上総地区 (25 人)
第 1 位	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (30.8%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (29.6%)	家族が介護をするため必要ない (40.0%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (33.3%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (44.0%)
第 2 位	本人にサービス利用の希望がない (15.0%)	本人にサービス利用の希望がない (25.9%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (20.0%)	家族が介護をするため必要ない (33.3%)	家族が介護をするため必要ない (36.0%)
第 3 位	家族が介護をするため必要ない (15.0%)	家族が介護をするため必要ない (25.9%)	本人にサービス利用の希望がない (20.0%)	本人にサービス利用の希望がない (19.0%)	本人にサービス利用の希望がない (28.0%)
第 4 位	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない (12.1%)	以前、利用していたサービスに不満があった (3.7%)	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない (20.0%)	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない (14.3%)	利用料を支払うのが難しい (14.3%)
第 5 位	利用したいサービスが利用できない、ほか (7.5%)	が あった 他 (3.7%)	-	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため (9.5%)	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため (4.0%)

B票

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

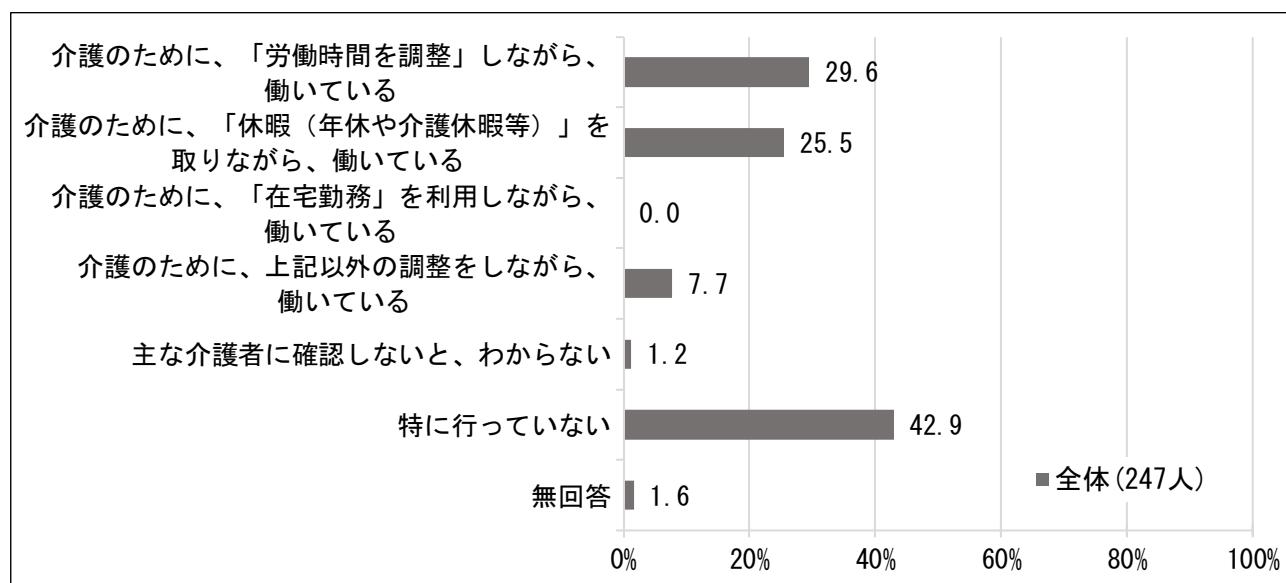
「働いていない」が41.4%と最も高く、「フルタイムで働いている」が21.0%、「パートタイムで働いている」が17.1%と続いています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「フルタイムで働いている」が28.7%全体と比べて高くなっています。



問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていいますか（複数選択可）

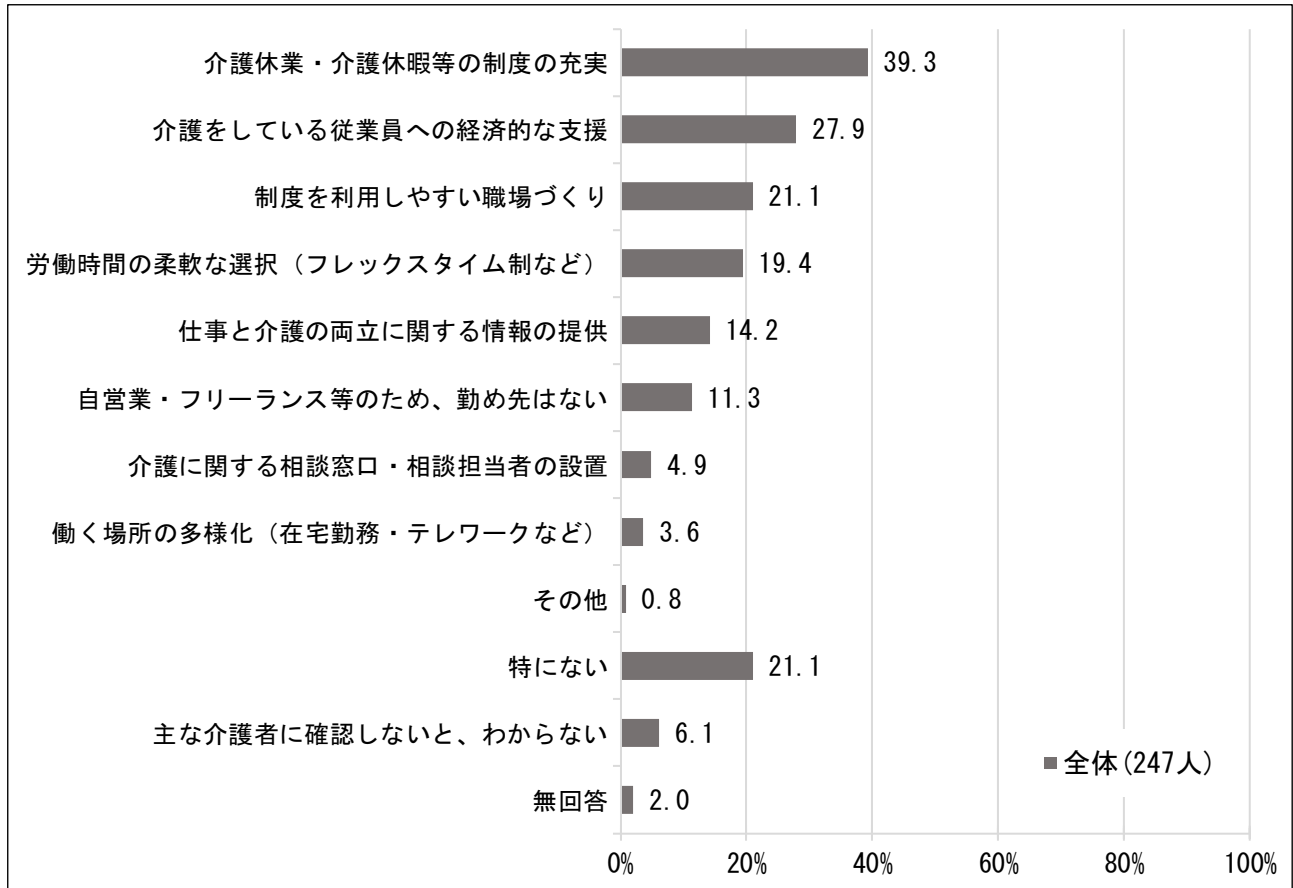
「特に行っていない」が42.9%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.5%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が7.7%と続いています。



※問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方が対象

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 39.3%と最も高く、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 27.9%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 21.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 19.4%と続いています。また、「特にない」が 21.1%となっています。



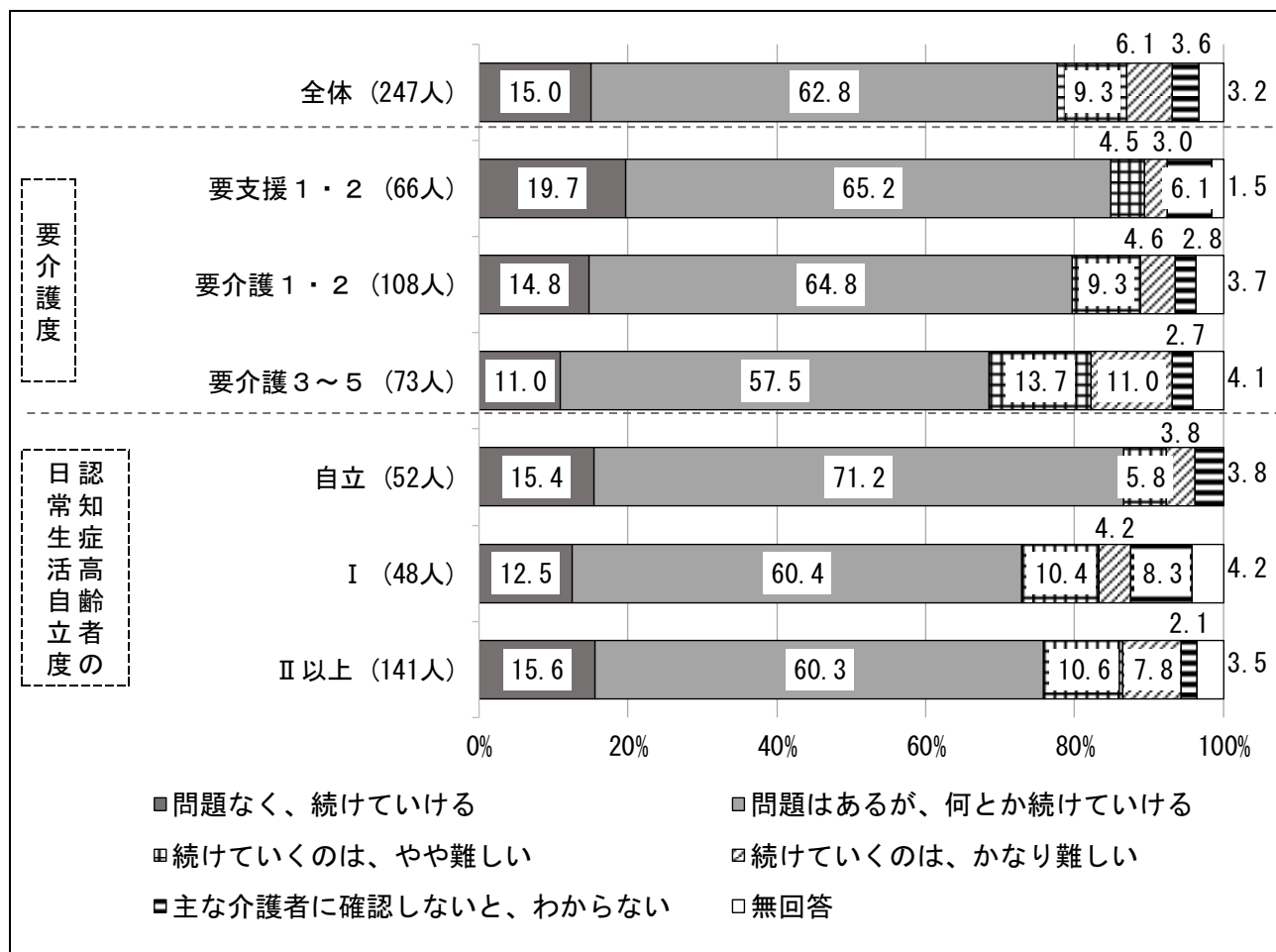
※問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方が対象

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」が62.8%と最も高く、「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.1%と続いています。また、「問題はあるが、何とか続けていける」（62.8%）と「問題なく、続けていける」（15.0%）と合わせた「介護を続けていける」割合が77.8%となっています。

要介護度別でみると、「問題なく、続けていける」が要支援1・2では19.7%、要介護1・2では14.8%、要介護3～5では11.0%となっています。

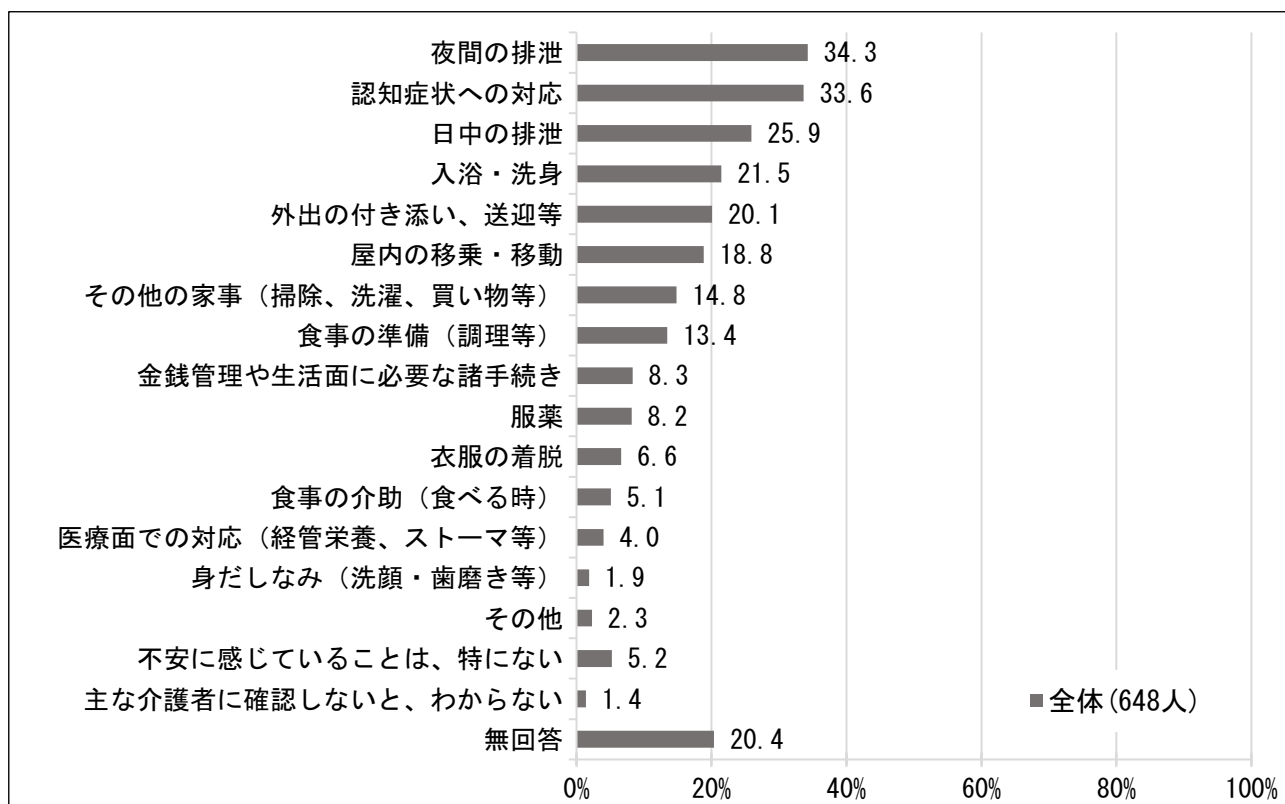
認知症高齢者の日常生活自立度別でみると、Ⅱ以上では「問題なく、続けていける」が15.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」60.3%となっています。



※問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方が対象

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「夜間の排泄」が34.3%と最も高く、「認知症状への対応」が33.6%、「日中の排泄」が25.9%、「入浴・洗身」が21.5%と続いています。



【日常生活圏域別 主な介護者の方が不安を感じる介護等 上位5つ】

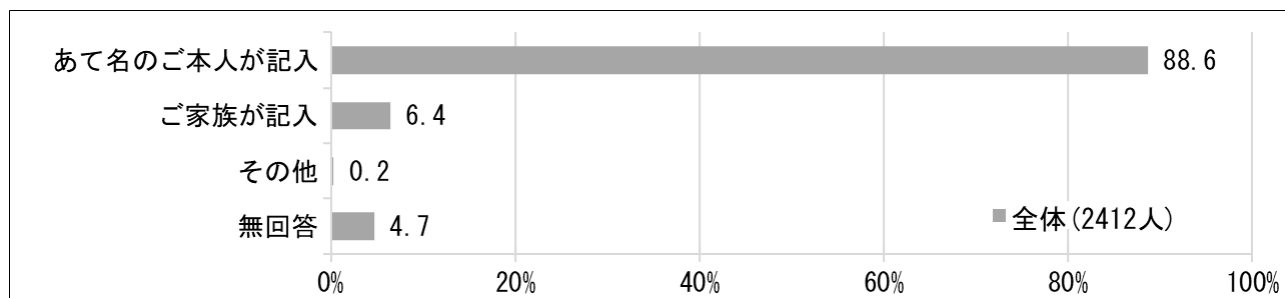
日常生活圏域別みると、清和地区においては「認知症状への対応」が上位に入らず、他圏域との傾向の違いがみられます。

順位	君津地区 (377人)	小糸地区 (87人)	清和地区 (34人)	小櫃地区 (73人)	上総地区 (77人)
第1位	認知症状への対応 (33.4%)	認知症状への対応 (39.1%)	日中の排泄 屋内の移乗・移動 (32.4%)	夜間の排泄 (43.8%)	夜間の排泄 (49.4%)
第2位	夜間の排泄 (31.6%)	日中の排泄 (27.6%)		日中の排泄 (38.4%)	認知症状への対応 (33.8%)
第3位	外出の付き添い、送迎等 (23.1%)	夜間の排泄 (26.4%)	夜間の排泄 入浴・洗身 (29.4%)	認知症状への対応 (37.0%)	日中の排泄 入浴・洗身 (27.3%)
第4位	日中の排泄 (22.3%)	入浴・洗身 (19.5%)		入浴・洗身 (23.3%)	
第5位	入浴・洗身 (19.6%)	屋内の移乗・移動 (17.2%)	食事の準備(調理等) (20.6%)	外出の付き添い、送迎等 (19.2%)	屋内の移乗・移動 (24.7%)

(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか

「あて名のご本人が記入」が88.6%と最も高く、「ご家族が記入」が6.4%と続いています。

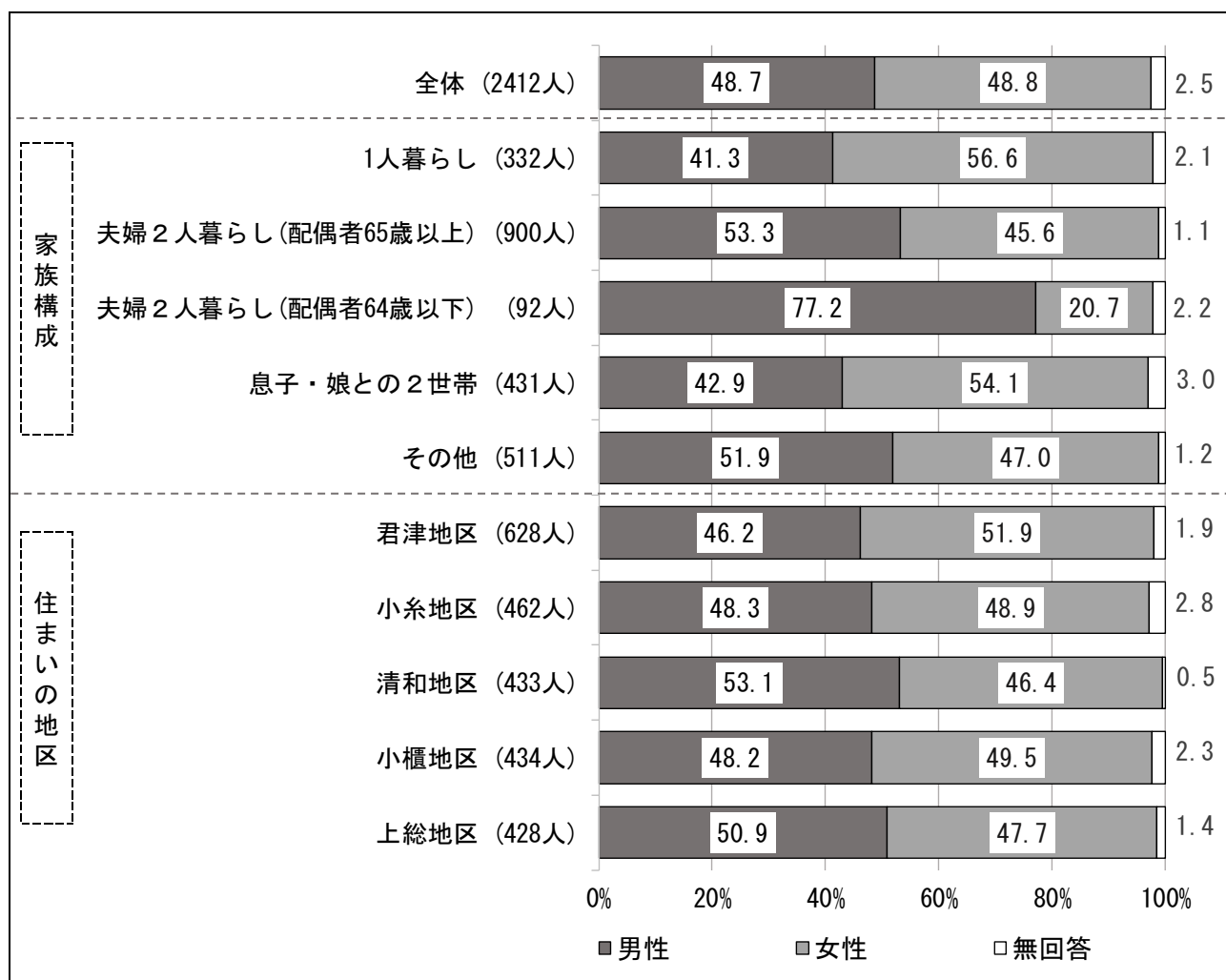


問1 あなたやご家族について

問1 (1) あなた（この調査票のあて名のご本人）の性別をお答えください

「男性」が48.7%、「女性」が48.8%となっています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは、「男性」が41.3%、「女性」が56.6%と、「女性」の割合が高くなっています。

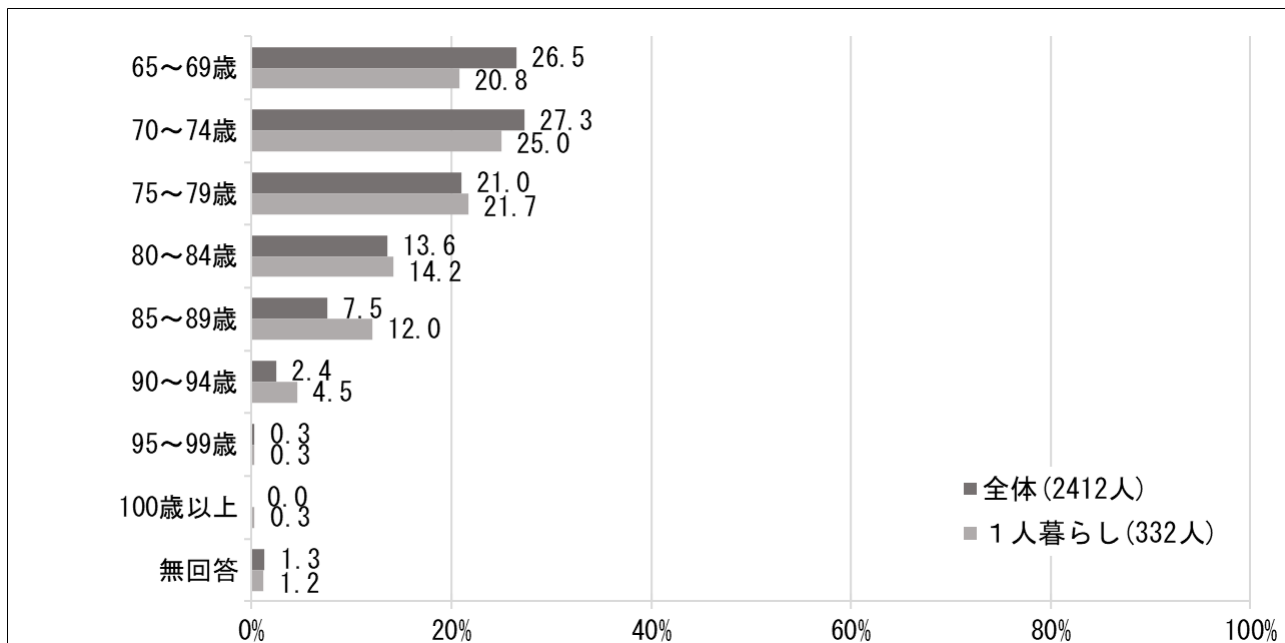


問1 (2) あなたの年齢をお答えください

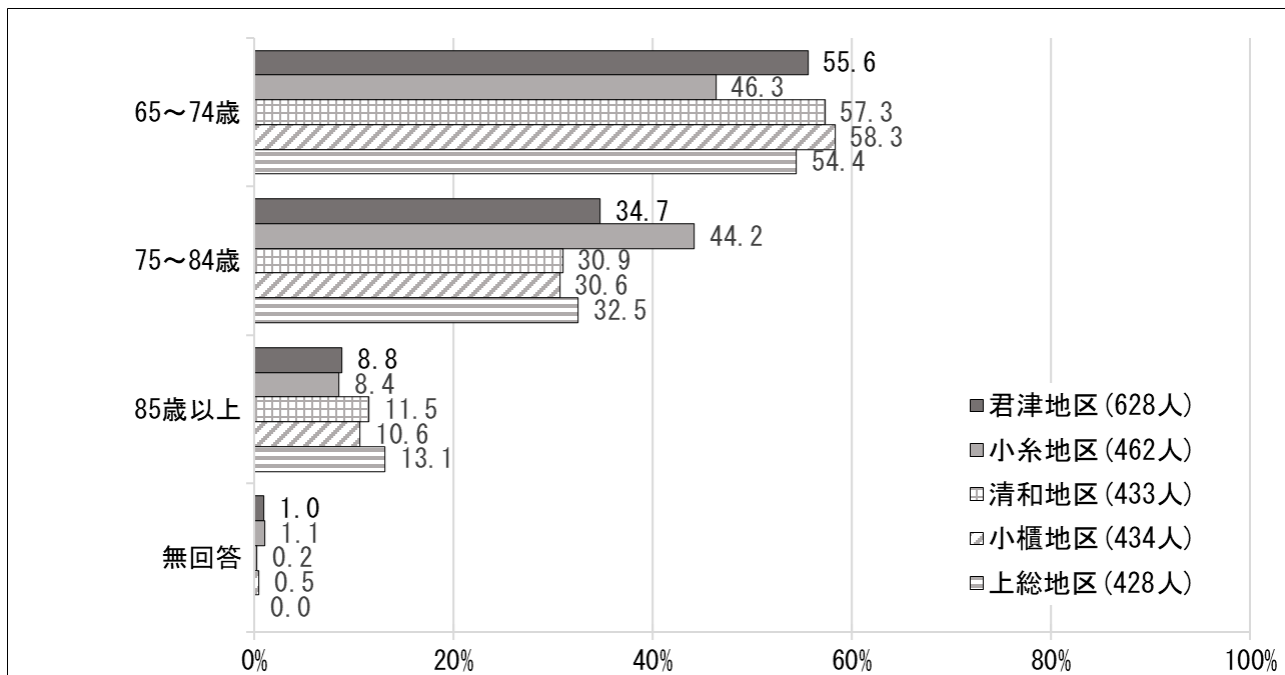
「70～74歳」が27.3%と最も高く、「65～69歳」が26.5%、「75～79歳」が21.0%と続いています。65歳から74歳までの前期高齢者が53.8%、75歳以上の後期高齢者が44.8%となっています。

1人暮らしをみると、「65～69歳」や「70～74歳」では全体と比較して割合が低いものの、「75～79歳」以降では、全体よりも割合が高くなっています。

住まいの地区別では、いずれの地区も「65～74歳」が最も高く、同回答は小櫃地区で58.3%と比較的高く、小糸地区で46.3%と比較的低くなっています。反対に、「85歳以上」は上総地区で13.1%と比較的高く、小糸地区で8.4%と比較的低くなっています。



【住まいの地区別】

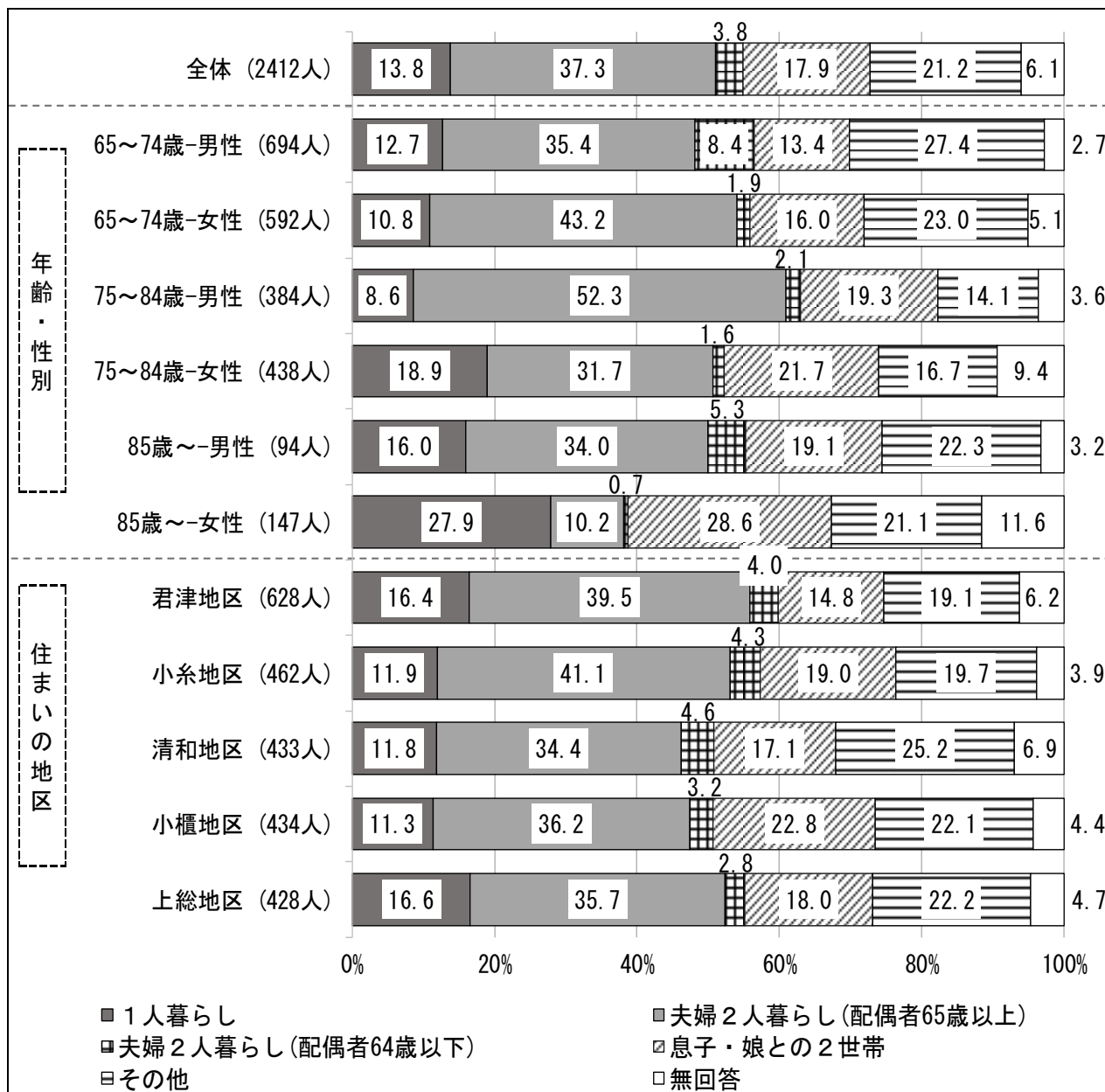


問1 (3) 家族構成をお答えください

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.3%と最も高く、「息子・娘との2世帯」が17.9%、「1人暮らし」が13.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.8%と続いています。

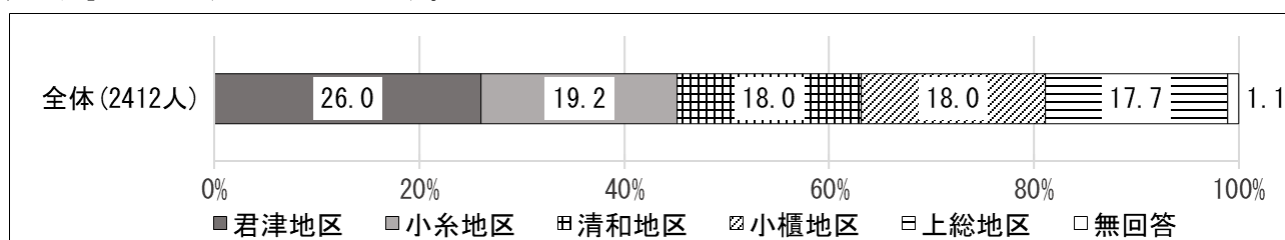
年齢・性別では、85歳～女性の27.9%が「1人暮らし」となっています。

住まいの地区別では、君津地区と上総地区で「1人暮らし」がいずれも16%超となっています。



問1 (4) あなたのお住まいの地区をお答えください

「君津地区」が26.0%、「小糸地区」が19.2%、「清和地区」と「小櫃地区」がそれぞれ18.0%、「上総地区」が17.7%となっています。



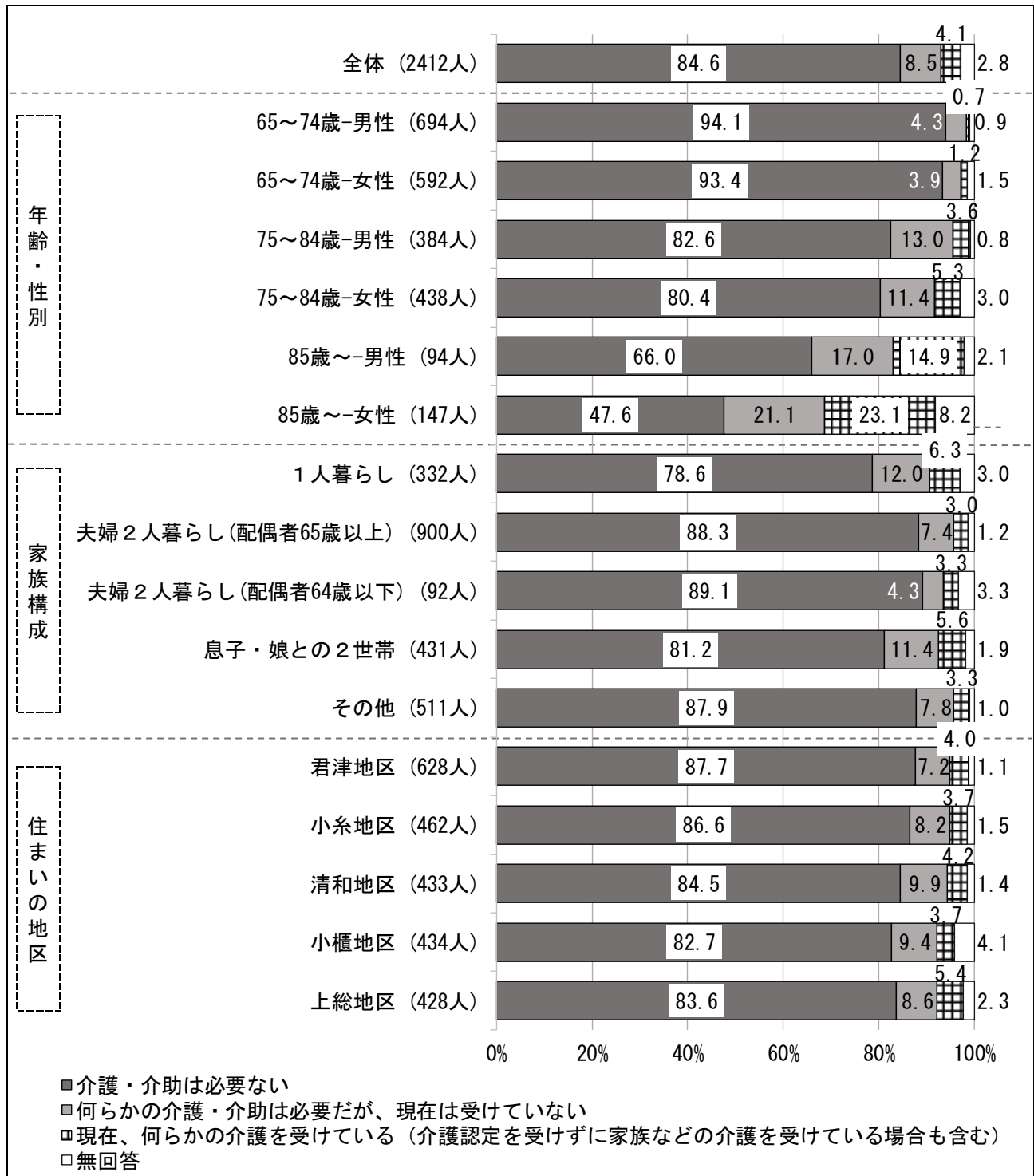
問1 (5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が84.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.5%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が4.1%となっています。

年齢・性別では、85歳～-男性、85歳～-女性ともに「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を合わせた割合（要介護・介助率）が30%を超えています。

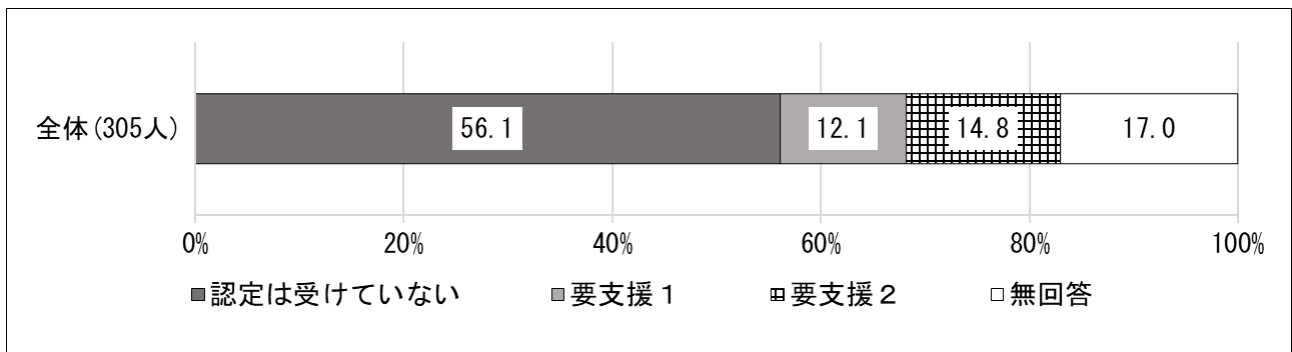
家族構成別では、1人暮らしは要介護・介助率が18.3%となっています。

住まいの地区別では、清和地区は要介護・介助率が14.1%となっています。



問1 (5) ① あなたの介護認定についてお答えください

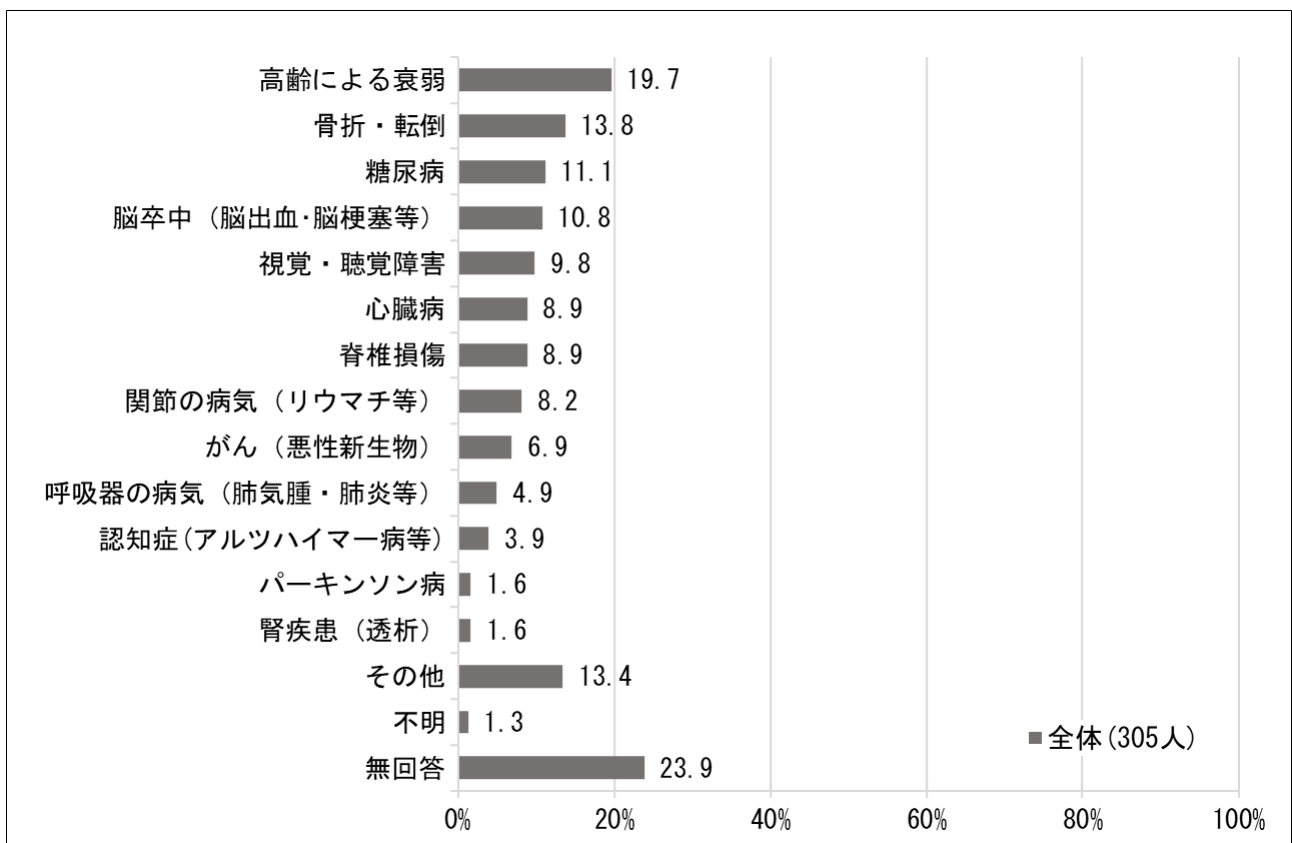
「認定は受けていない」が56.1%、「要支援1」が12.1%、「要支援2」が14.8%となっています。



※問1 (5) で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方が対象

問1 (5) ② 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」が19.7%と最も高く、「骨折・転倒」が13.8%、「糖尿病」が11.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が10.8%と続いています。

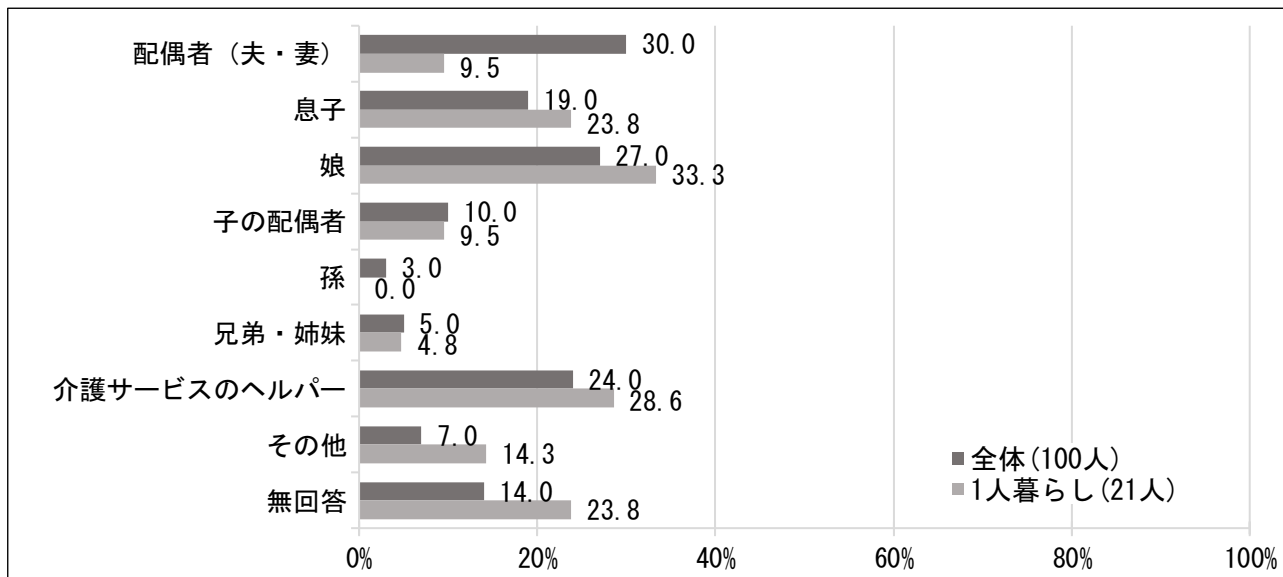


※問1 (5) で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方が対象

問1 (5) ③ 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が30.0%と最も高く、「娘」が27.0%、「介護サービスのヘルパー」が24.0%、「息子」が19.0%と続いています。

1人暮らしをみると、「娘」が33.3%と最も高く、「介護サービスのヘルパー」が28.6%、「息子」が23.8%と続いています。

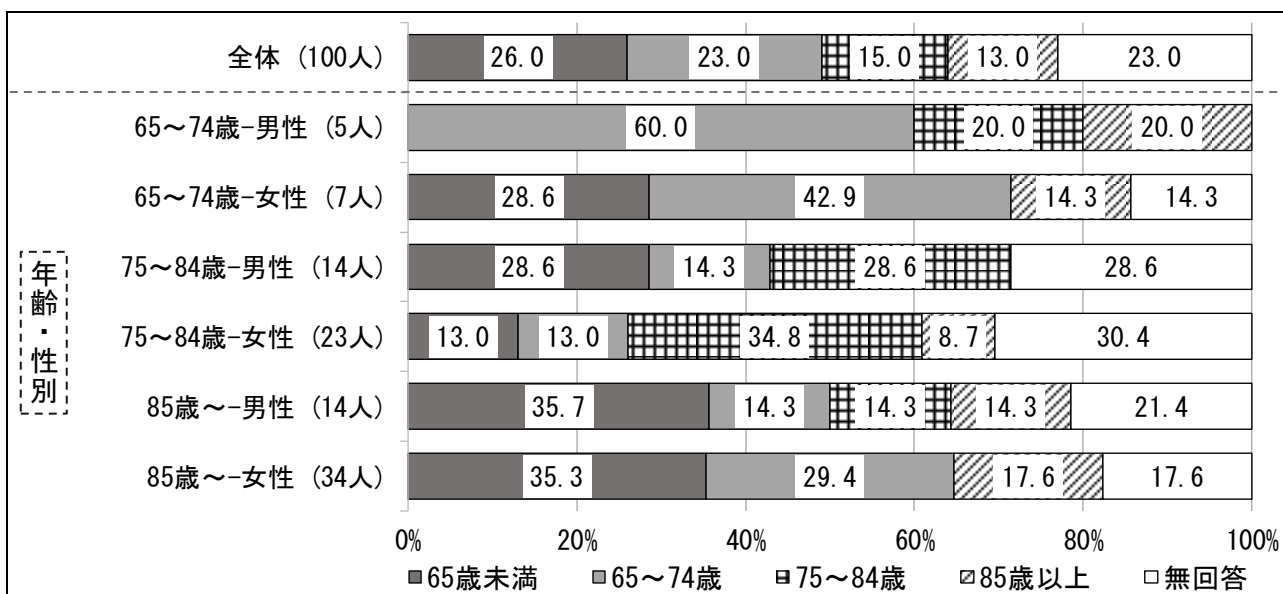


※問1 (5) で「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と回答した方が対象

問1 (5) ④ 主な介護者、介助者の年齢をお答えください

「65歳未満」が26.0%と最も高く、「65～74歳」が23.0%、「75～84歳」が15.0%、「85歳以上」が13.0%と続いています。

年齢・性別では、85歳～-男性は「85歳以上」が14.3%、85歳～-女性は同回答が17.6%となっています。



※問1 (5) で「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と回答した方が対象

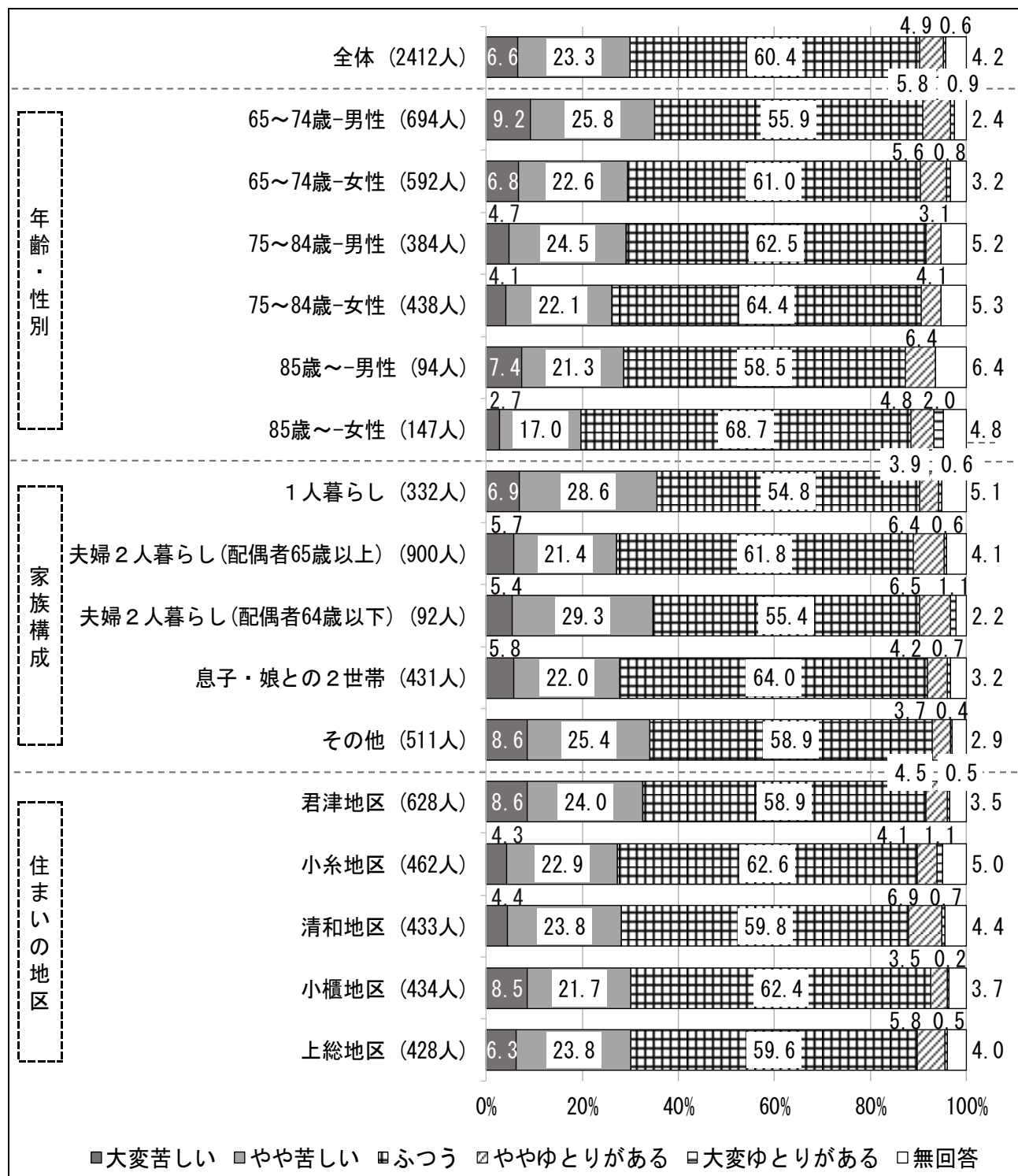
問1 (6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が60.4%と最も高く、「やや苦しい」が23.3%、「苦しい」が6.6%と続いています。「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は約3割(29.9%)となっています。

年齢・性別では“苦しい”は、65～74歳-男性で35.0%と他の年齢・性別と比較して高くなっています。

1人暮らしをみると“苦しい”は、35.5%となっています。

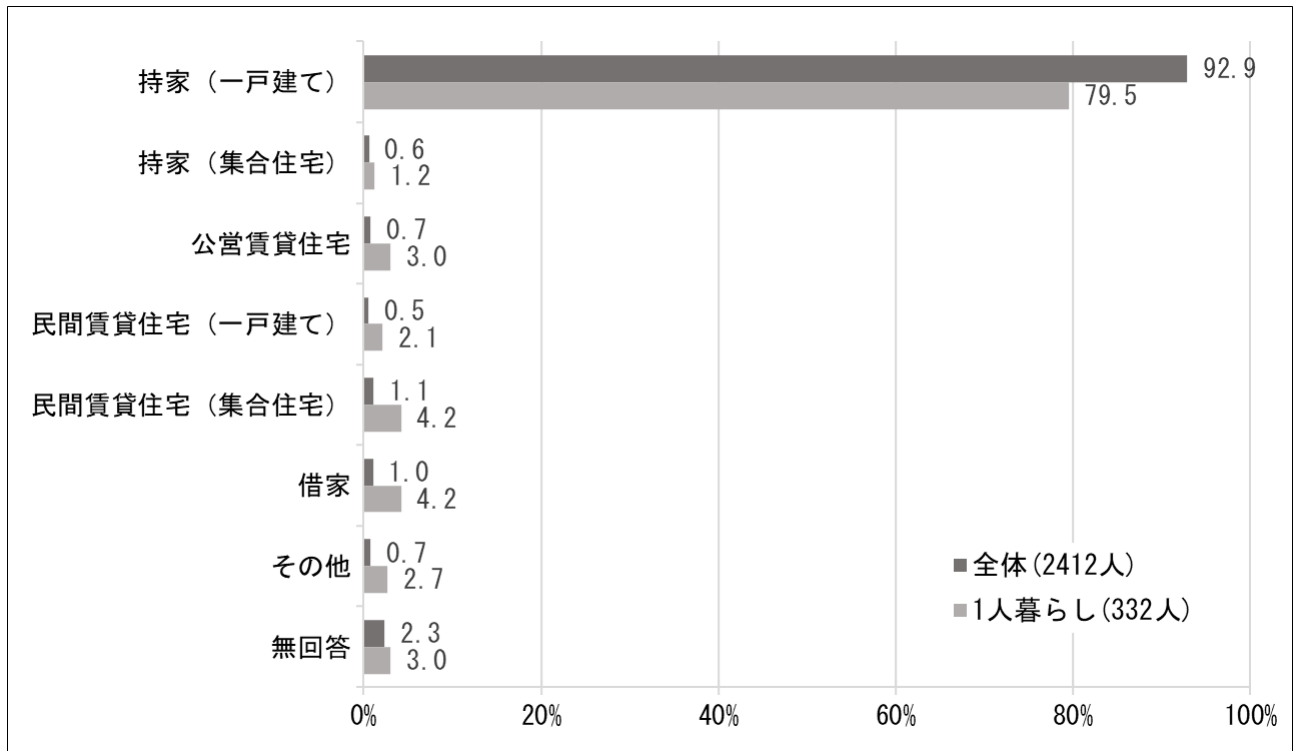
住まいの地区別では“苦しい”は、君津地区で32.6%と、他の地区に比べ若干高くなっています。



問1 (7) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家（一戸建て）」が92.9%と最も高く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.1%、「借家」が1.0%、「公営賃貸住宅」が0.7%と続いています。

1人暮らしをみると、「持家（一戸建て）」が79.5%と最も高く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」と「借家」がそれぞれ4.2%、「公営賃貸住宅」が3.0%と続いています。



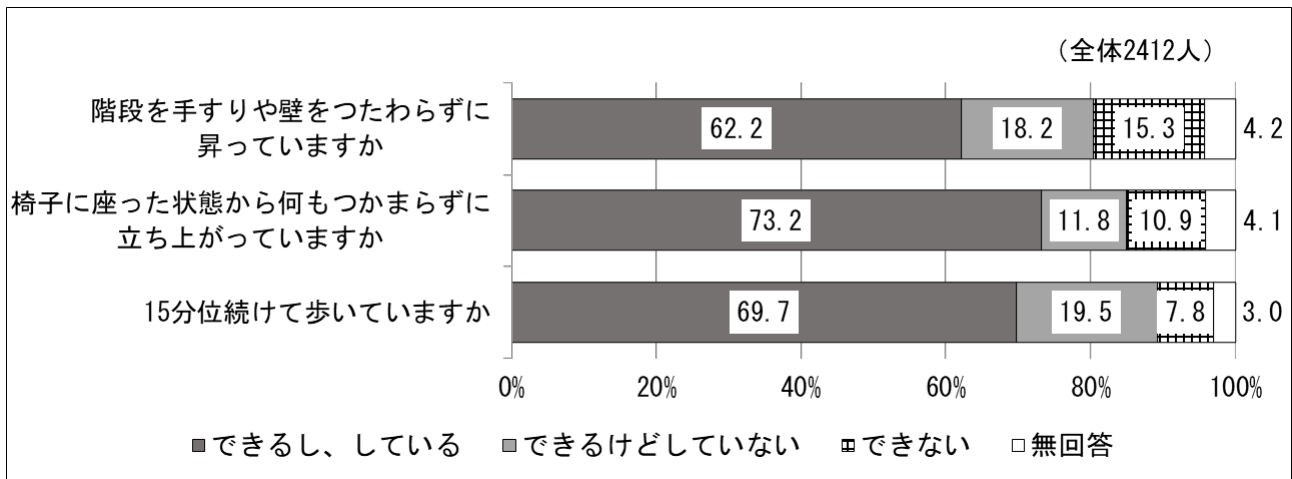
問2 からだを動かすことについて

問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

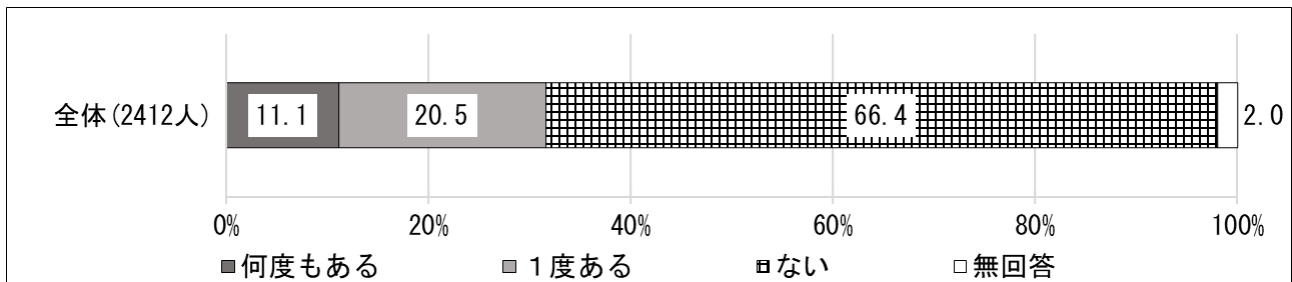
問2（3）15分位続けて歩いていますか

運動器の機能低下を問う3つの設問のうち、＜階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか＞という設問では、「できるけどしていない」が18.2%、「できない」が15.3%と、合わせて30%以上(33.5%)となっています。



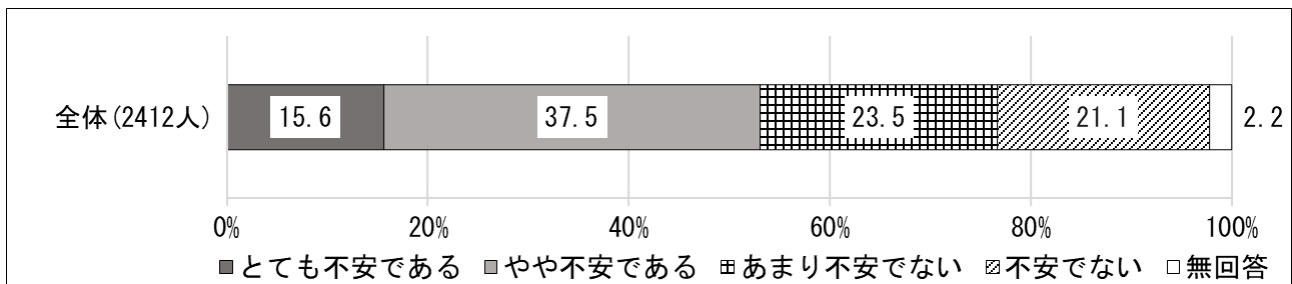
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか

転倒リスクを問う＜過去1年間に転んだ経験がありますか＞という設問では、「1度ある」が20.5%、「何度もある」が11.1%と、合わせて30%以上(31.6%)となっています。



問2（5）転倒に対する不安は大きいですか

転倒リスクを問う＜転倒に対する不安は大きいですか＞という設問では、「やや不安である」が37.5%と最も高く、「とても不安である」が15.6%と、合わせて半数以上(53.1%)となっています。



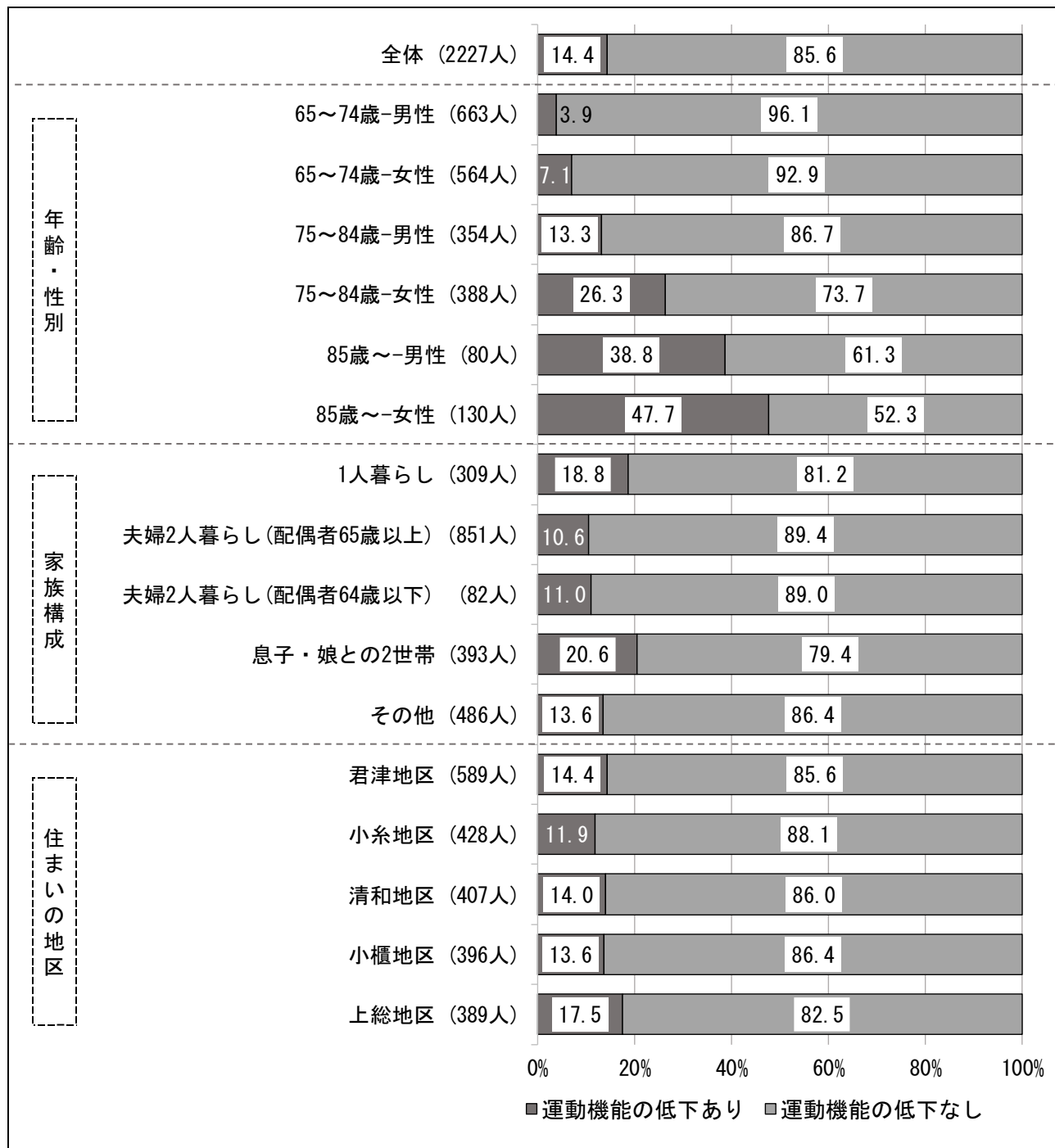
運動機能のリスク判定

「運動機能の低下あり」が14.4%、「運動機能の低下なし」が85.6%となっています。

年齢・性別では、いずれの年齢でも男性より女性が「運動機能の低下あり」の割合が高くなっており、85歳～-女性では約5割（47.7%）となっています。

1人暮らしをみると、「運動機能の低下あり」は18.8%となっています。

住まいの地区別では、いずれの地区も「運動機能の低下あり」が10%台となっています。



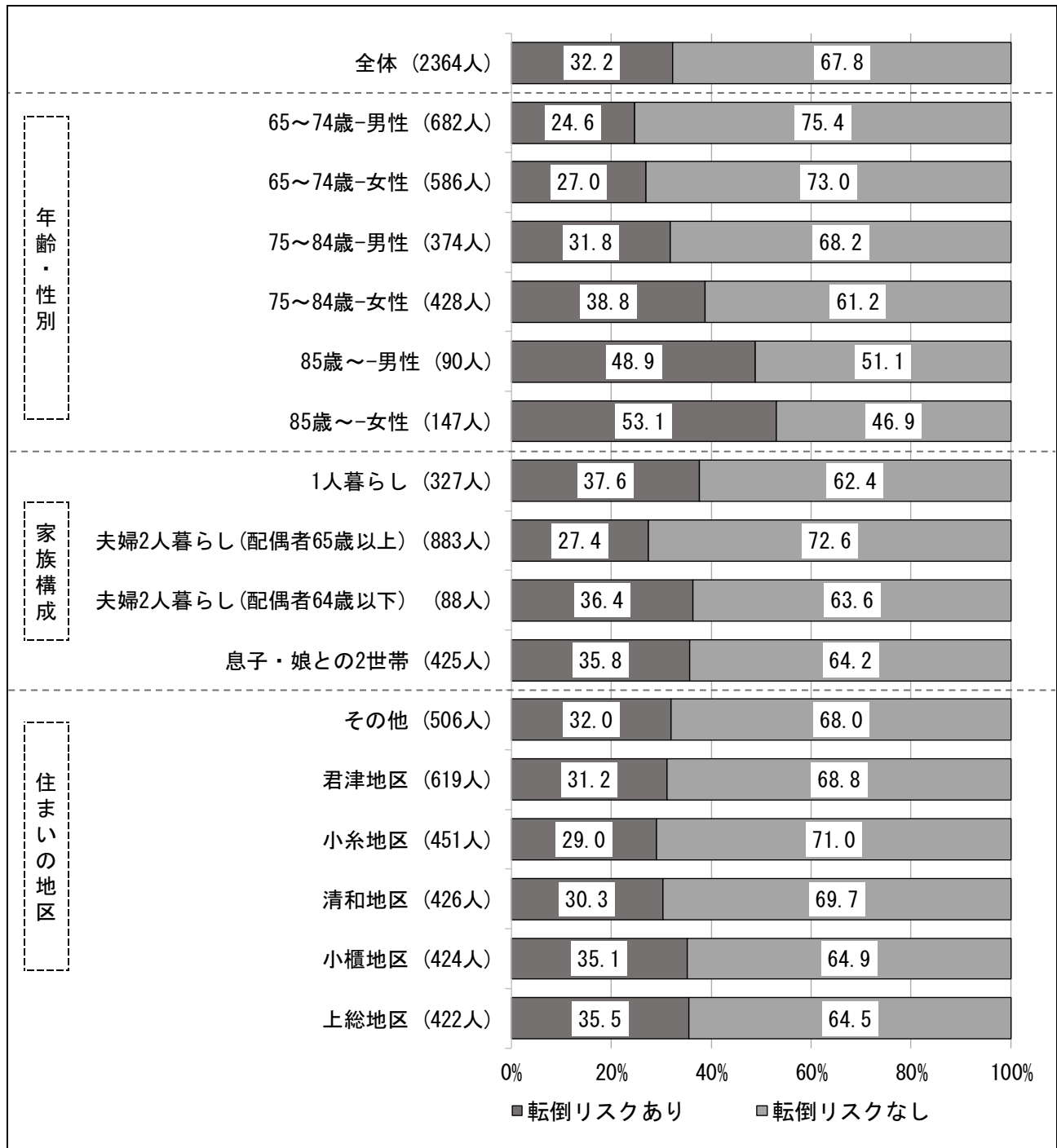
転倒のリスク判定

「転倒リスクあり」が32.2%、「転倒リスクなし」が67.8%となっています。

年齢・性別では、いずれの年齢でも男性より女性が「転倒リスクあり」の割合が高くなっており、85歳～女性では5割超（53.1%）となっています。

1人暮らしをみると、「転倒リスクあり」は37.6%となっています。

住まいの地区別では、「転倒リスクあり」の割合に大きな差はみられません。



【参考1】運動機能のリスク判定について

次の5つの設問で3問以上、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「運動機能の低下あり」と判定

設問内容	選択肢
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2（3）15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2（5）転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

【参考2】転倒のリスク判定について

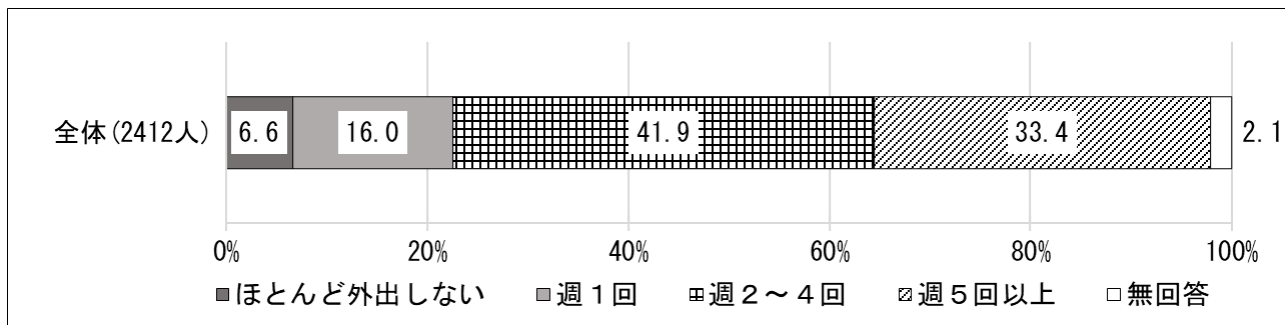
次の設問で該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「転倒リスクあり」と判定

設問内容	選択肢
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

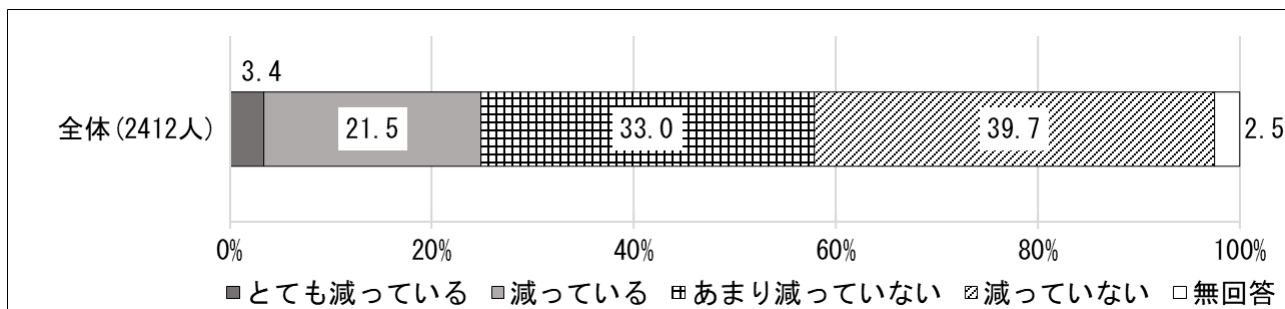
問2（6）週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」が41.9%と最も高く、「週5回以上」が33.4%、「週1回」が16.0%、「ほとんど外出しない」が6.6%と続いています。



問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が39.7%と最も高く、「あまり減っていない」が33.0%と合わせた“減少なし”が72.7%となっています。一方、「減っている」と「とても減っている」を合わせた“減少あり”は24.9%となっています。

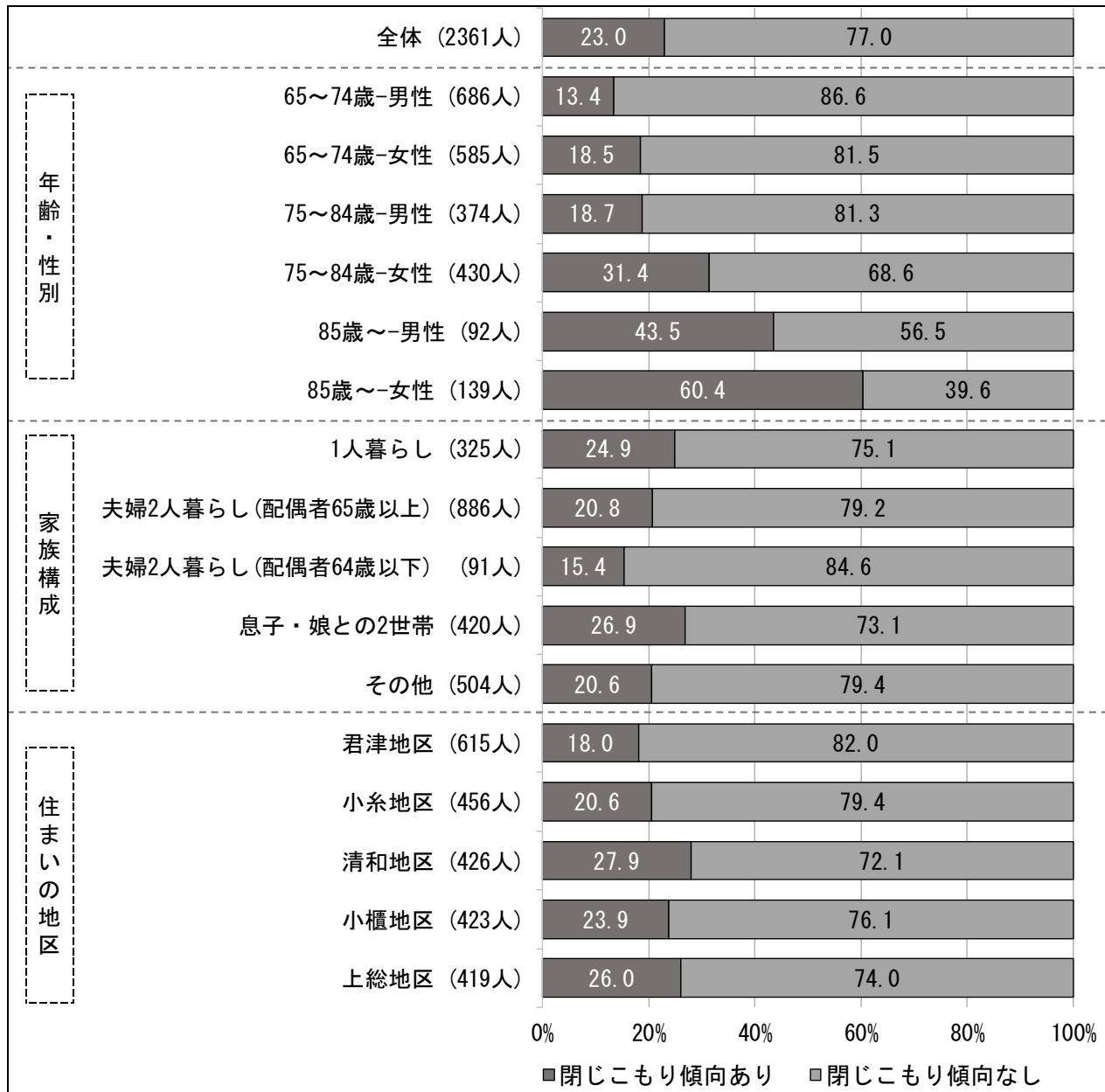


閉じこもり傾向

「閉じこもり傾向あり」が23.0%、「閉じこもり傾向なし」が77.0%となっています。

1人暮らしをみると、「閉じこもり傾向あり」は24.9%となっています。

年齢・性別では、「閉じこもり傾向あり」は、いずれの年齢層でも男性よりも女性において同回答の割合が高くなっており、85歳～女性では約6割（60.4%）となっています。



【参考3】閉じこもり傾向について

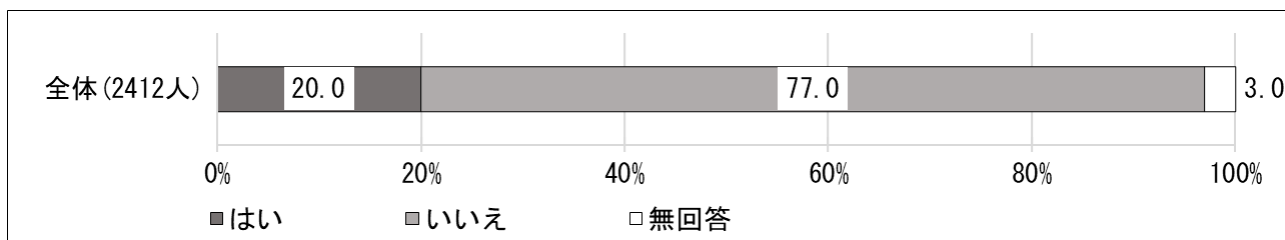
次の設問で該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「閉じこもり傾向あり」と判定

設問内容	選択肢
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1. ほとんど外出しない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2. 週1回</div> 3. 週2～4回 4. 週5回以上

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き

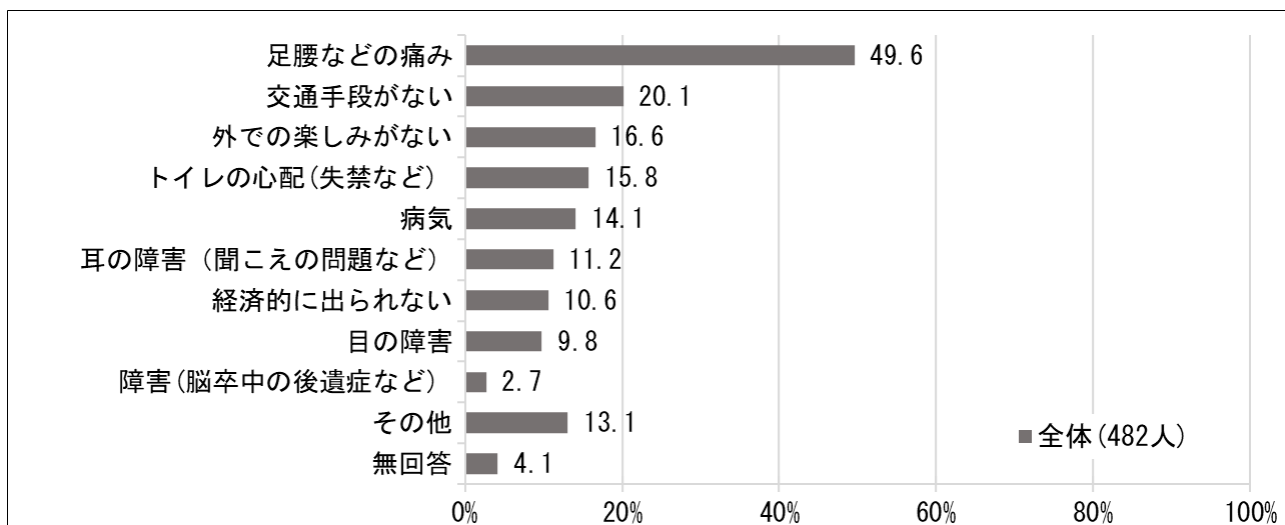
問2（8）外出を控えていますか

「はい」が20.0%、「いいえ」が77.0%となっています。



問2（8）① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

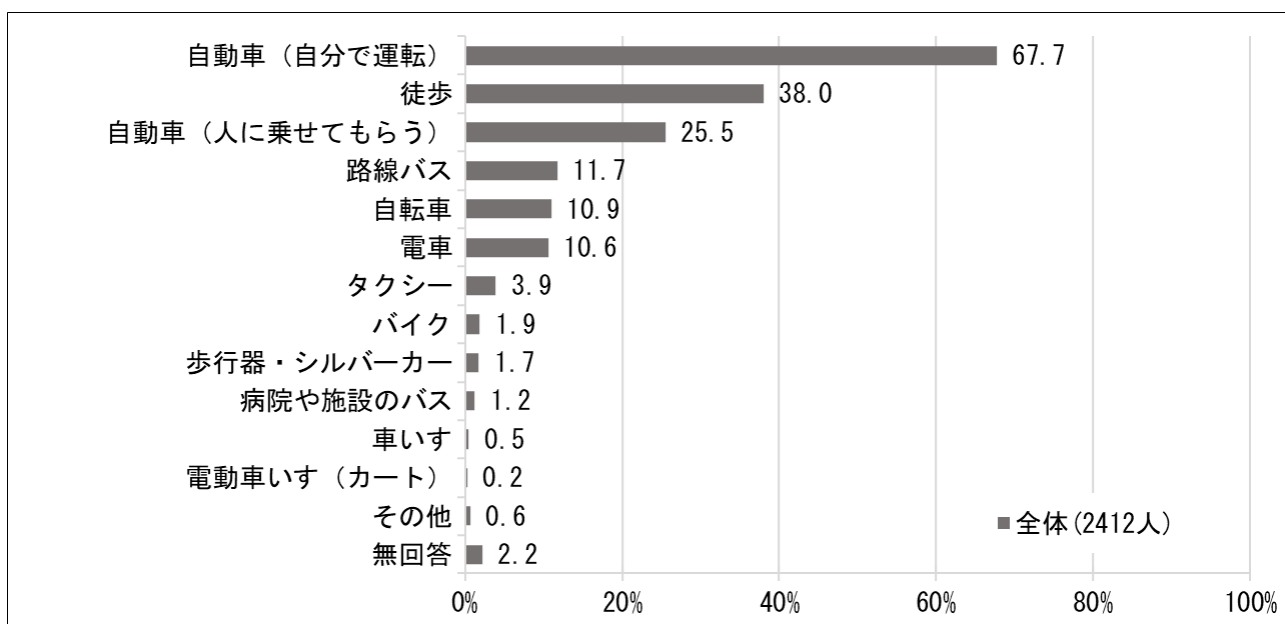
「足腰などの痛み」が49.6%と最も高く、「交通手段がない」が20.1%、「外での楽しみがない」が16.6%、「トイレの心配（失禁など）」が15.8%と続いています。



※問2（8）で「はい（外出を控えている）」と回答した方が対象

問2（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「自動車（自分で運転）」が67.7%と最も高く、「徒歩」が38.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が25.5%、「路線バス」が11.7%と続いています。



問3 食べることについて

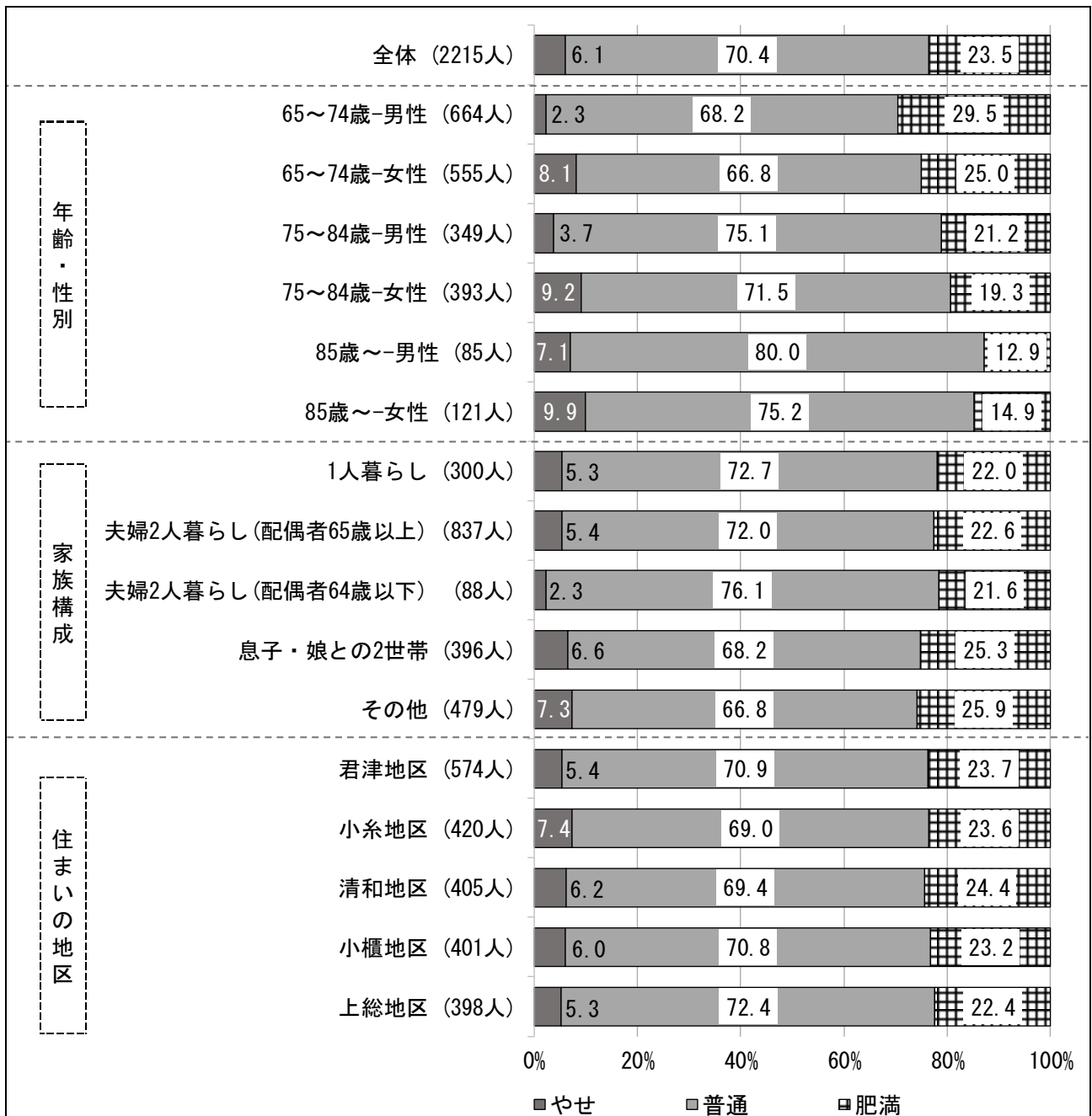
問3 (1) 身長・体重・BMI

低栄養の傾向を問うにあたり、身長・体重からBMI（肥満度を表す体格指数）を算出したところ、「普通」が70.4%と最も高く、「肥満」が23.5%、「やせ」が6.1%となっています。

年齢・性別では、年齢層が低いほど「肥満」の割合が高くなる傾向があります。

1人暮らしをみると、「やせ」が5.3%、「普通」が72.7%、「肥満」が22.0%と、全体と比較して「やせ」や「肥満」の割合は低く、「普通」の割合が高くなっています。1人暮らしであっても適当な栄養が摂取できているものと考えられます。

住まいの地区別では、大きな差はみられません。



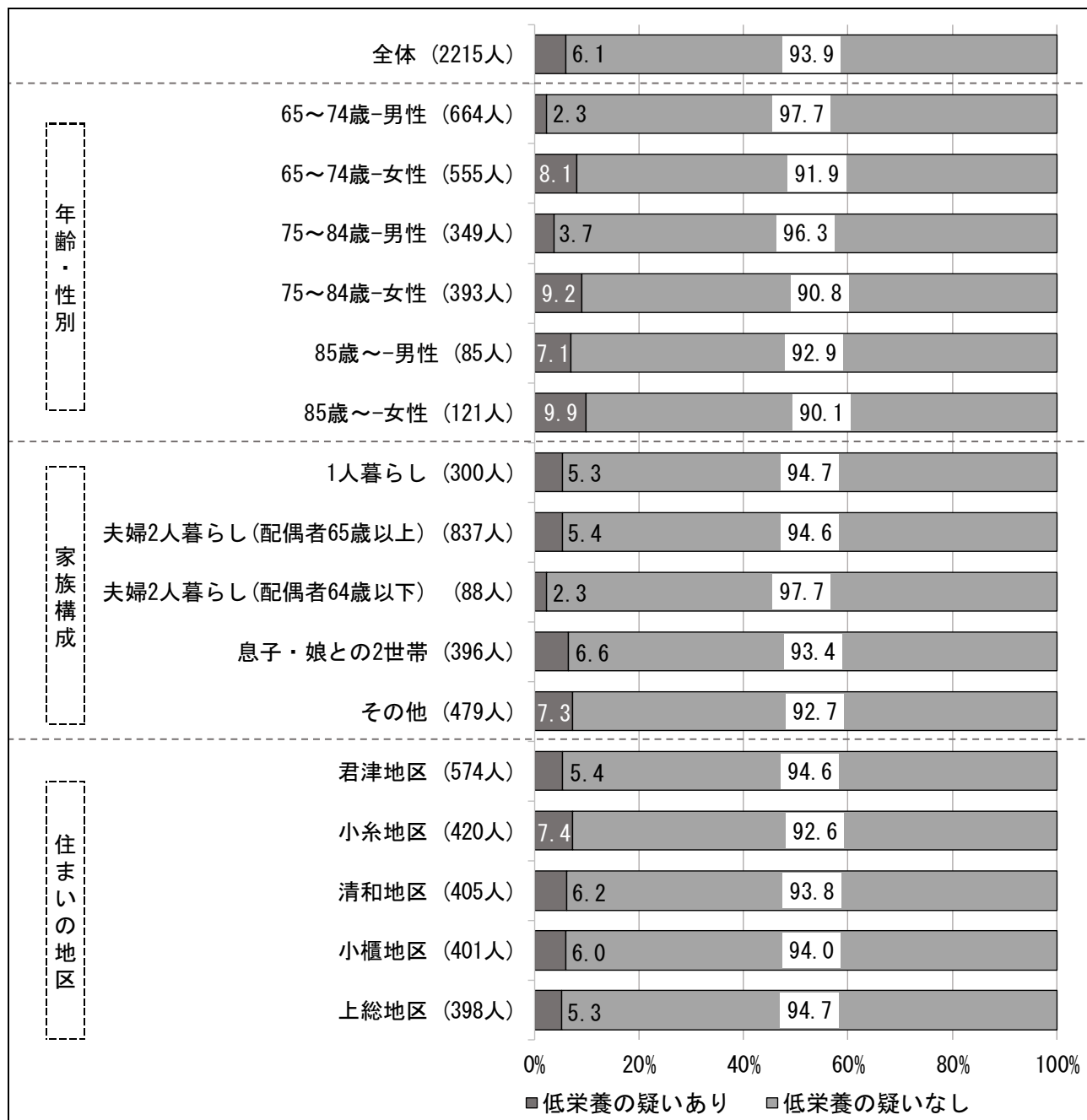
低栄養が疑われる高齢者

「低栄養の疑いあり」が6.1%、「低栄養の疑いなし」が93.9%となっています。

年齢・性別では、男性より女性において「低栄養の疑いあり」の比率が高くなっており、85歳～-女性では約1割（9.9%）となっています。

1人暮らしでは「低栄養の疑いあり」は、5.3%となっています。

住まいの地区別では、大きな差はみられません。



【参考4】BMIについて

BMI (Body Mass Index) は、肥満度を表す体格指数で、次の算出方法と基準に基づき、問3(1)にて回答された身長・体重から肥満度を判定します。

設問内容	BMI (Body Mass Index) の算出方法と判定基準
問3(1) 身長・体重	[算出方法] $BMI = \text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}\}$ [判定基準] やせ：BMIが18.5未満 普通：BMIが18.5～25未満 肥満：BMIが25以上

【参考5】低栄養が疑われる高齢者について

上記のBMIによる判定の結果、「やせ：BMIが18.5未満」に該当した場合を低栄養が疑われる高齢者と判定

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

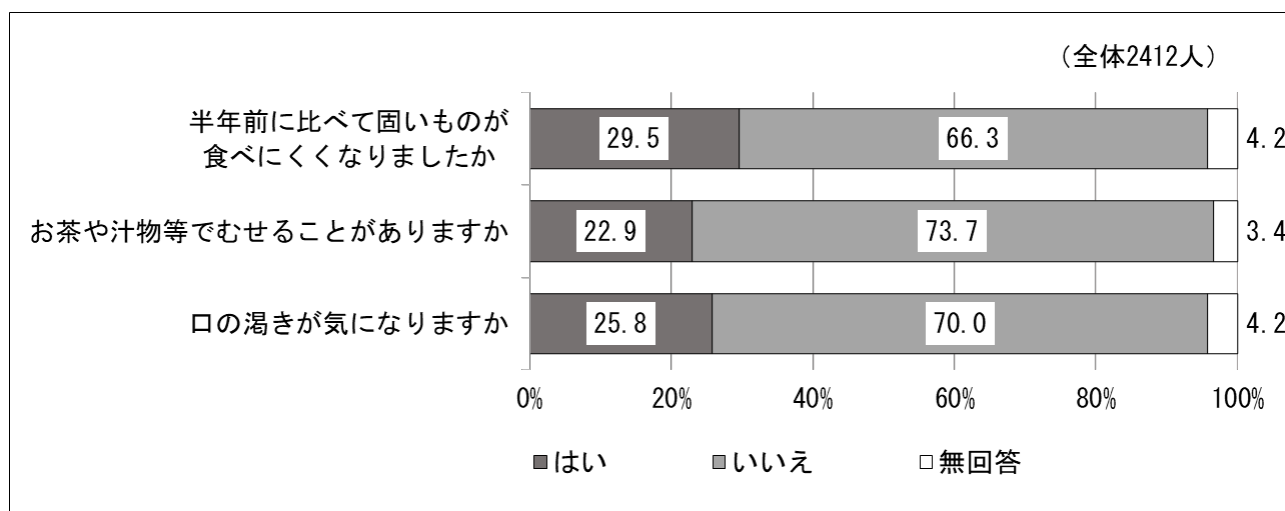
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

問3(4) 口の渇きが気になりますか

口腔機能の低下のうち、咀嚼機能の低下を問う「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」という設問では、「はい」が29.5%、「いいえ」が66.3%となっています。

嚥下機能の低下を問う「お茶や汁物等でむせることがありますか」という設問では、「はい」が22.9%、「いいえ」が73.7%となっています。

肺炎発症リスクを把握する「口の渇きが気になりますか」という設問では、「はい」が25.8%、「いいえ」が70.0%となっています。

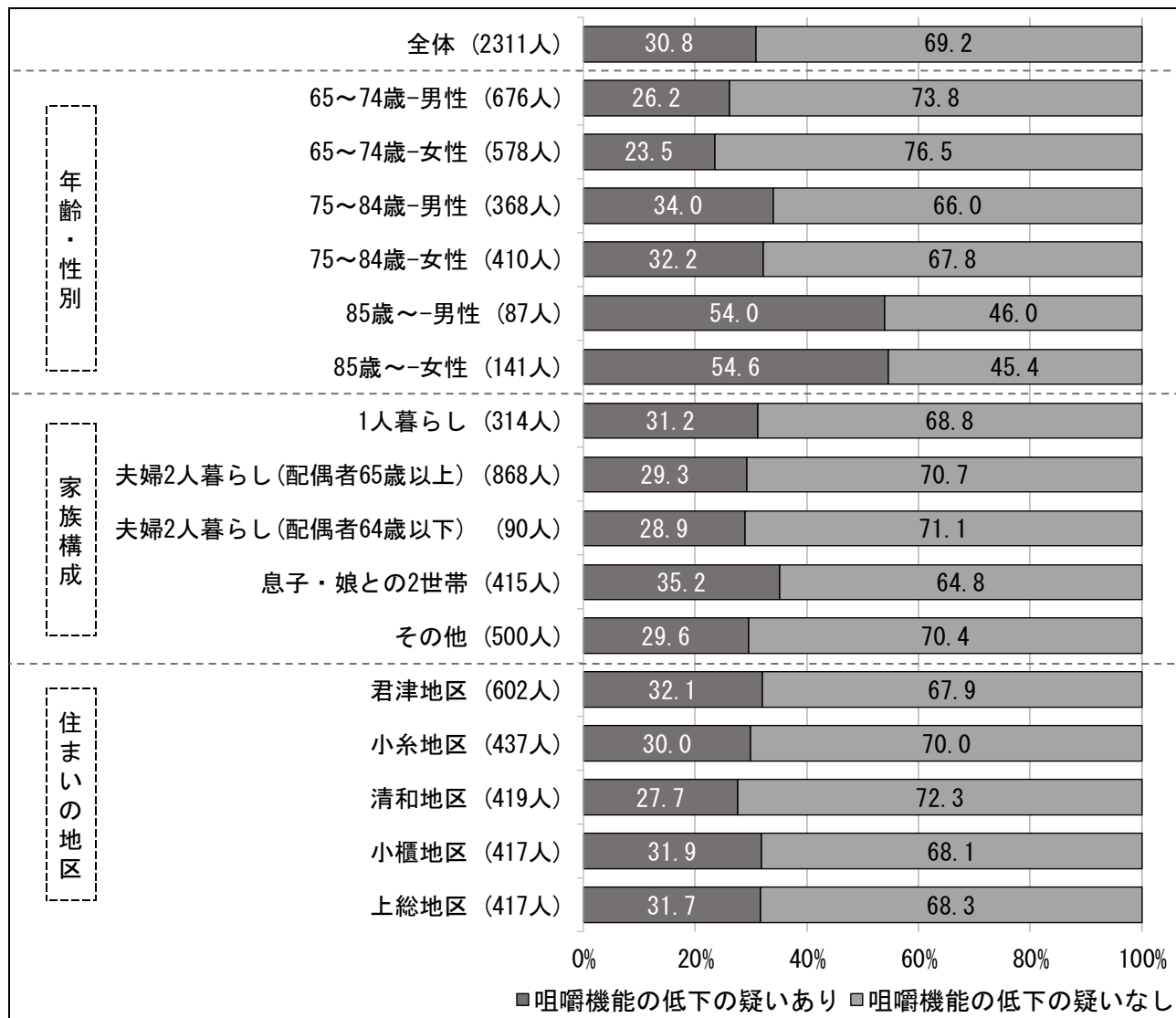


咀嚼機能の低下が疑われる高齢者

「咀嚼機能の低下の疑いあり」が 30.8%、「咀嚼機能の低下の疑いなし」が 69.2%となっています。

年齢・性別では、年齢層が上がるほど「咀嚼機能の低下の疑いあり」の割合が高まる傾向があり、85歳～-男性、85歳～-女性では5割を超えています。

家族構成別、住まいの地区別では、大きな差はみられません。



【参考6】咀嚼機能の低下が疑われる高齢者について

次の設問で該当する選択肢(枠囲みの箇所)が回答された場合は「咀嚼機能の低下の疑いあり」と判定

設問内容	選択肢
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

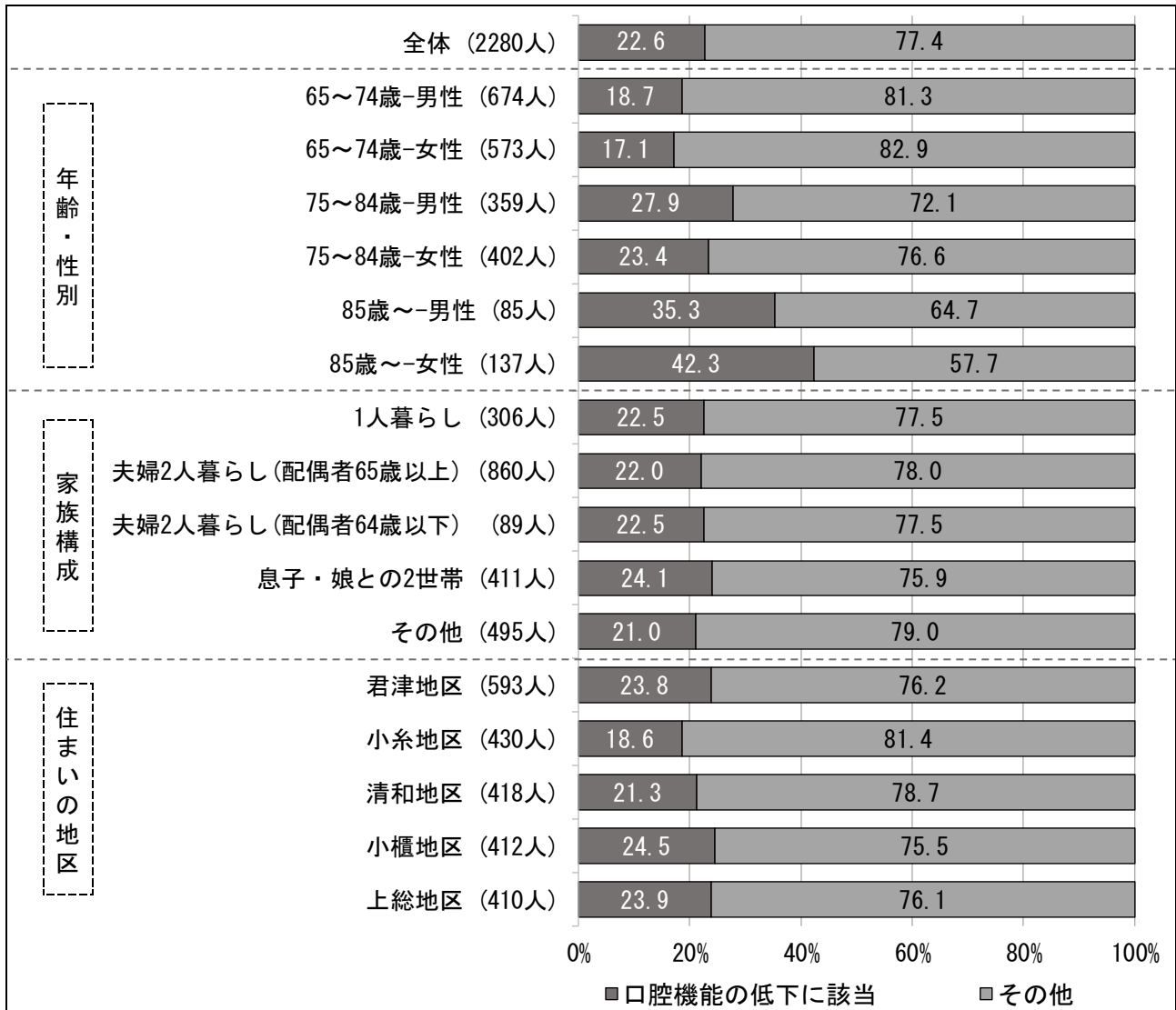
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

口腔機能が低下している高齢者

「口腔機能の低下に該当」が22.6%、「その他」が77.4%となっています。

年齢・性別では、年齢層が上がるほど「口腔機能の低下に該当」の割合が高まる傾向があり、85歳～男性では35.3%、85歳～女性では42.3%となっています。

家族構成別、住まいの地区別では、大きな差はみられません。



【参考7】口腔機能が低下している高齢者について

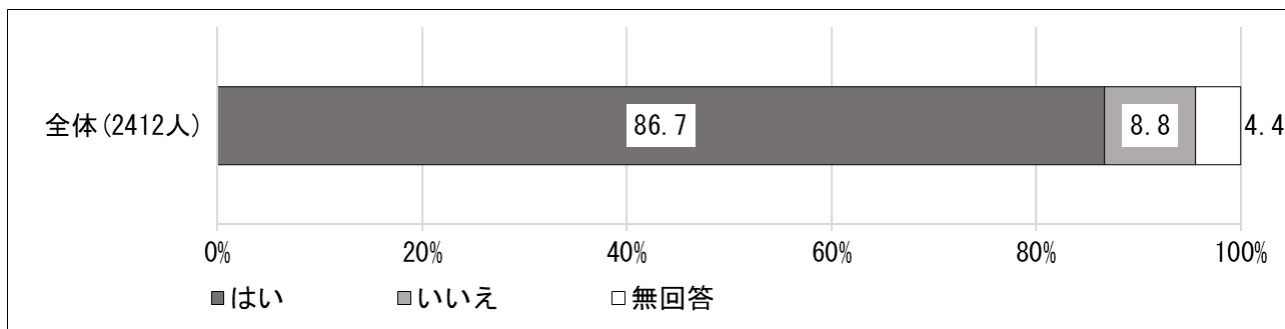
次の3つの設問で2問以上、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「口腔機能の低下に該当」と判定

設問内容	選択肢
問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
問3（4）口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

問3 (5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

「はい」が86.7%、「いいえ」が8.8%となっています。

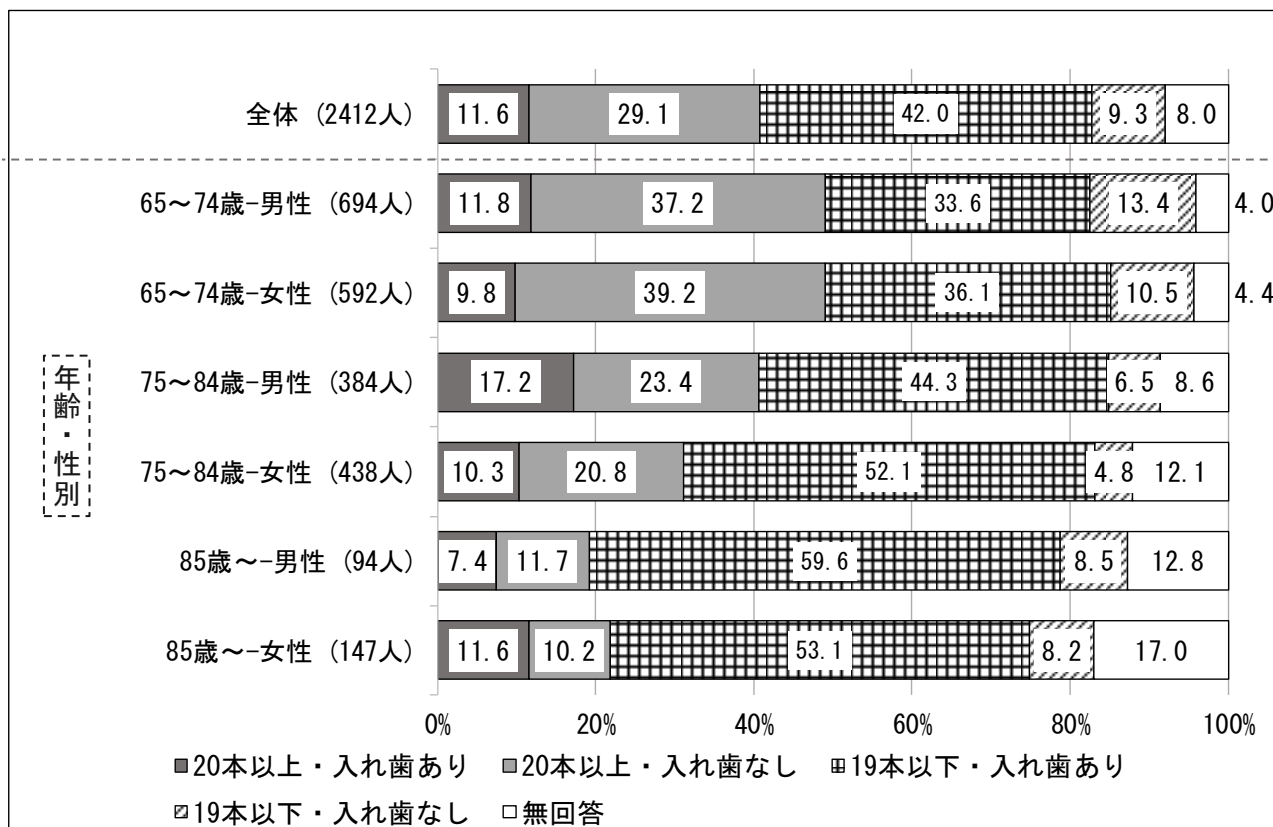


問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

「19本以下・入れ歯あり」が42.0%と最も高く、「20本以上・入れ歯なし」が29.1%、「20本以上・入れ歯あり」が11.6%、「19本以下・入れ歯なし」が9.3%となっています。“入れ歯あり”は53.6%、“入れ歯なし”は38.4%です。

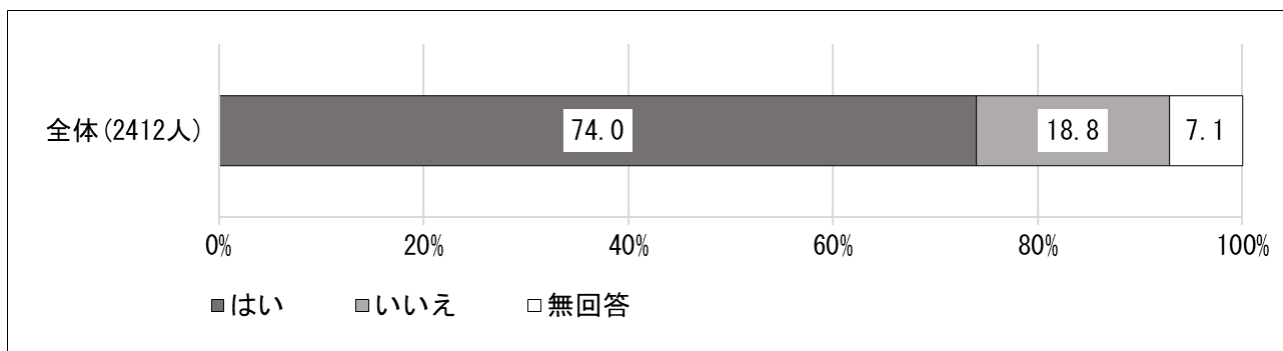
年齢・性別ごとに、いわゆる『8020(ハチマルニイマル)』の割合をみると、75～84歳-男性が40.6%、75～84歳-女性が31.1%、85歳～-男性が19.1%、85歳～-女性が21.8%となっています。

※8020(ハチマルニイマル):80歳になっても20本以上自分の歯を保っている状態のことをいいます。



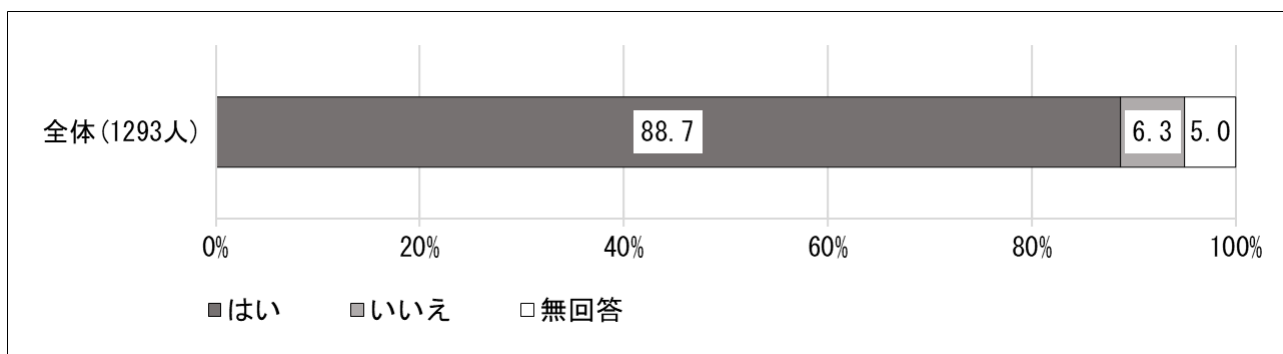
問3 (6) ① 噛み合わせは良いですか

「はい」が74.0%、「いいえ」が18.8%となっています。



問3 (6) ② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

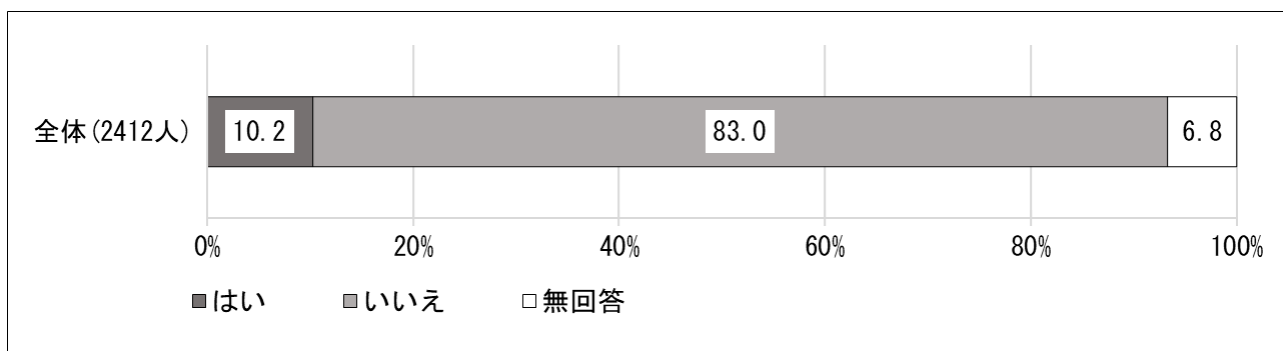
「はい」が88.7%、「いいえ」が6.3%となっています。



※問3 (6) で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方が対象

問3 (7) 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか

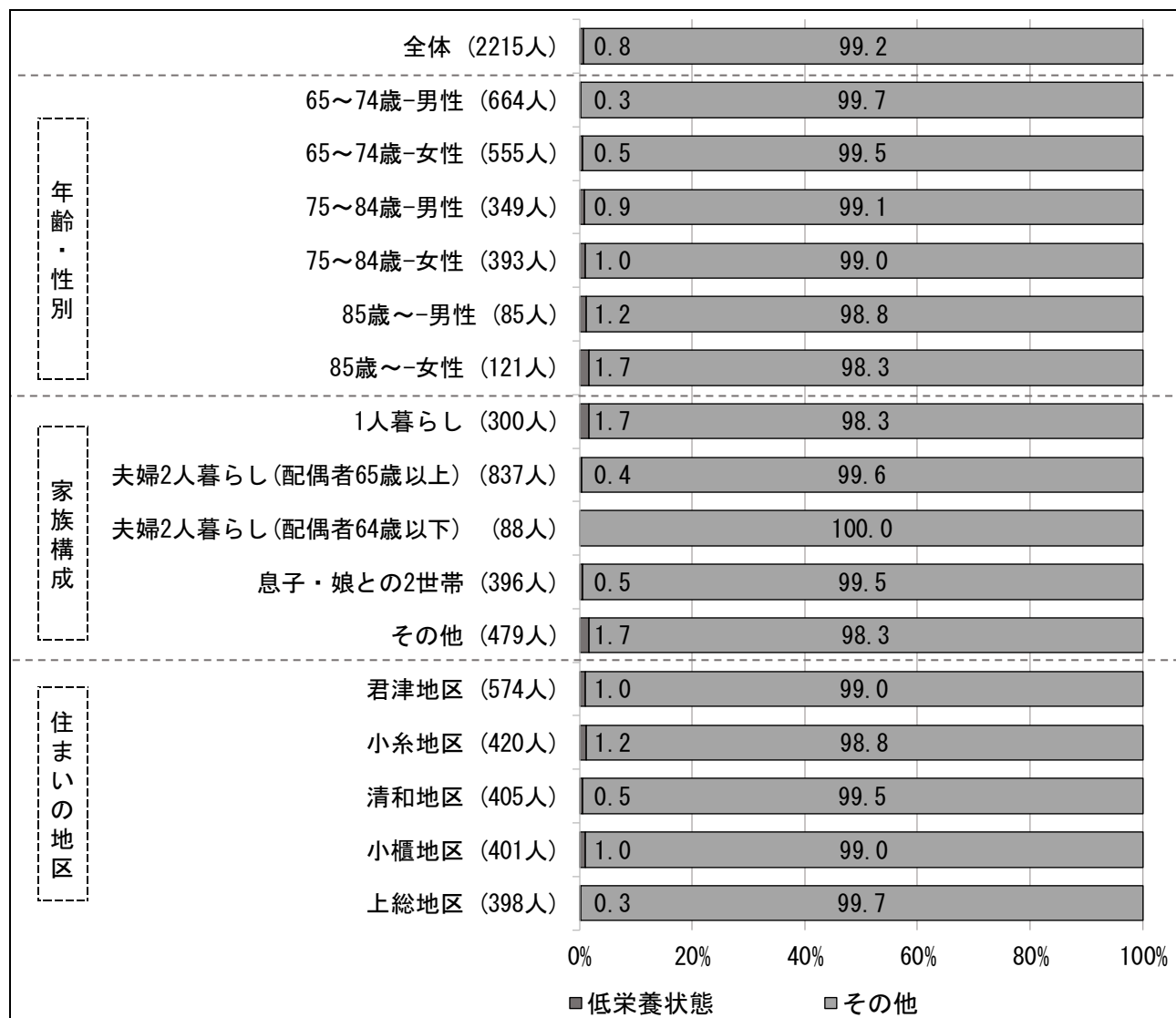
「はい」が10.2%、「いいえ」が83.0%となっています。



低栄養状態にある高齢者

「低栄養状態」が0.8%、「その他」が99.2%となっています。

年齢・性別、家族構成別、住まいの地区別でも、大きな差はみられません。



【参考8】低栄養状態にある高齢者について

次の2つの設問で、2問ともに該当する選択肢(枠囲みの箇所)が回答された場合は「低栄養状態」と判定

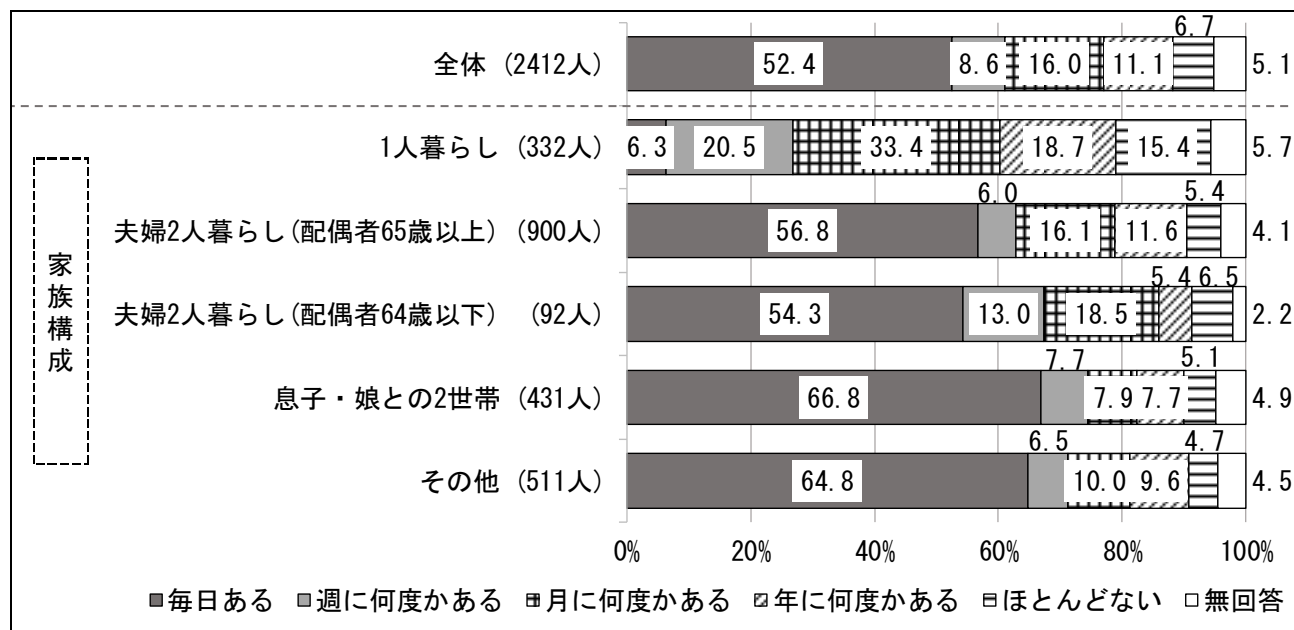
設問内容	選択肢等
問3(1) 身長・体重	[算出方法] $BMI = \text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}\}$ [判定基準] <u>やせ：BMIが18.5未満</u> 普通：BMIが18.5～25未満 肥満：BMIが25以上
問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	<u>1. はい</u> 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

問3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」が52.4%と最も高く、「月に何度かある」が16.0%、「年に何度かある」が11.1%、「週に何度かある」が8.6%と続いています。また、「ほとんどない」は6.7%となっています。

1人暮らしをみると、「ほとんどない」が15.4%と、他の属性と比較して割合が高くなっています。



問4 毎日の生活について

問4（1）物忘れが多いと感じますか

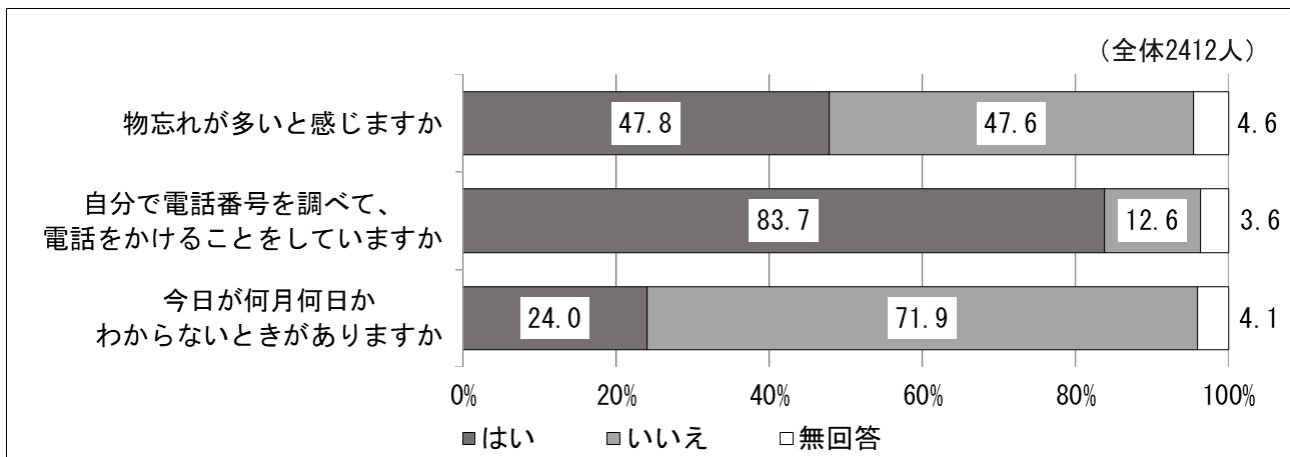
問4（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

問4（3）今日が何月何日かわからないときがありますか

認知機能の低下を問う3つの設問のうち、＜物忘れが多いと感じますか＞という設問では、「はい」が47.8%、「いいえ」が47.6%となっています。

＜自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか＞という設問では、「はい」が83.7%、「いいえ」が12.6%となっています。

＜今日が何月何日かわからないときがありますか＞という設問では、「はい」が24.0%、「いいえ」が71.9%となっています。



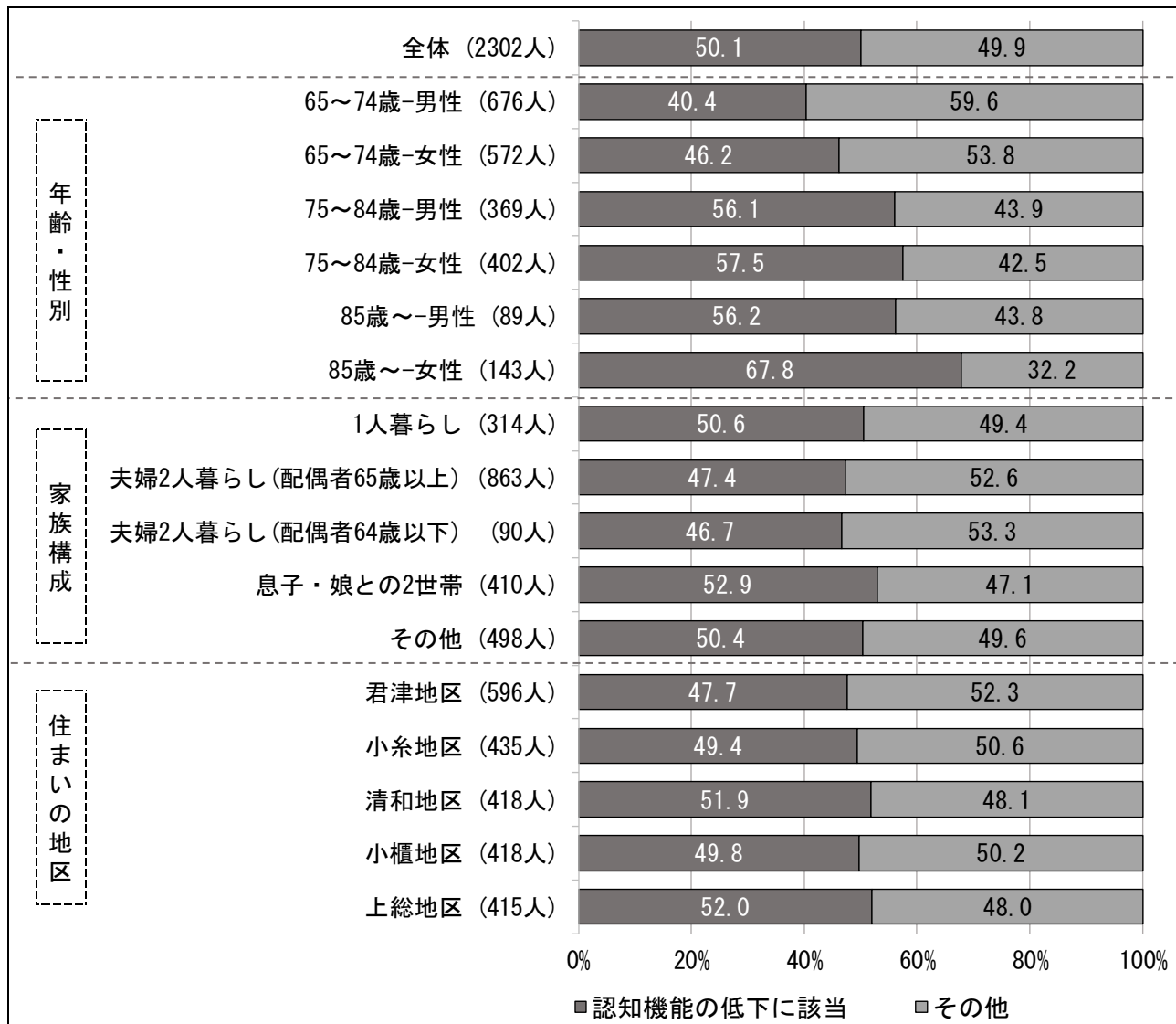
認知機能が低下している高齢者

「認知機能の低下に該当」が50.1%、「その他」が49.9%となっています。

年齢・性別では、いずれの年齢でも男性より女性が「認知機能の低下に該当」の比率が高くなっており、85歳～-女性は約7割（67.8%）となっています。

1人暮らしをみると「認知機能の低下に該当」は、50.6%となっています。

住まいの地区別では、大きな差はみられません。



【参考9】 認知機能が低下している高齢者について

次の設問で該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「認知機能の低下に該当」と判定

設問内容	選択肢
問4（1）物忘れが多いと感じますか	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか

問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

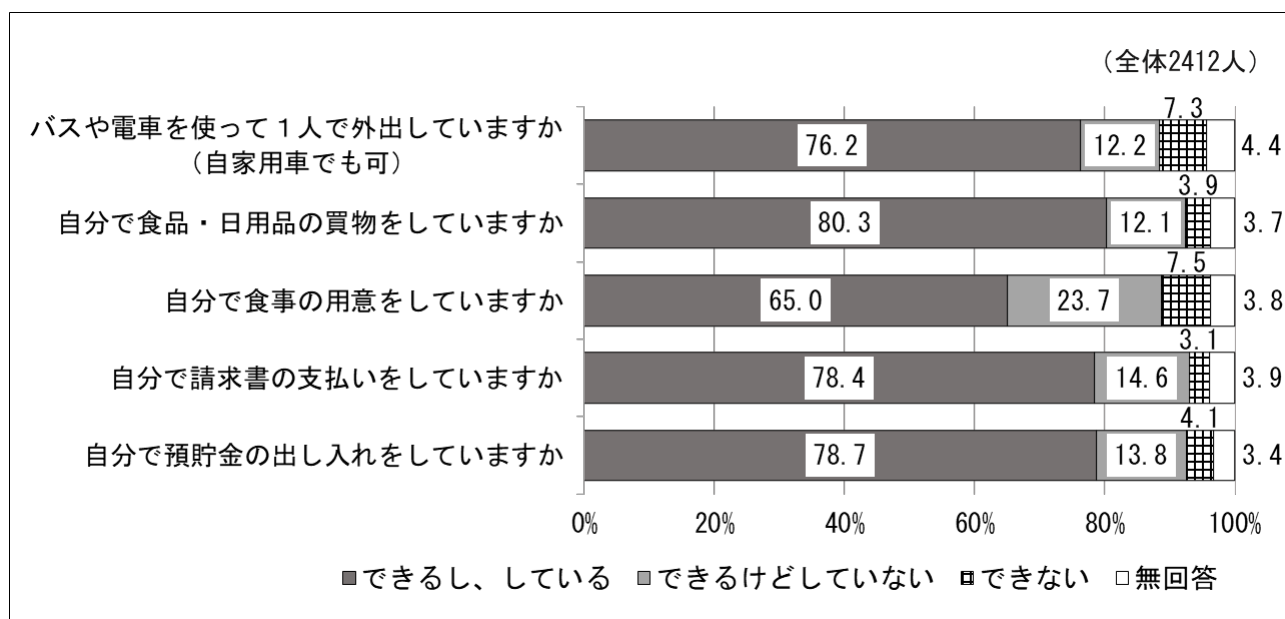
I ADL (手段的日常生活動作) の低下を問う5つの設問のうち、<バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)>という設問では、「している」が76.2%、「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が7.3%となっています。

<自分で食品・日用品の買物をしていますか>という設問では、「している」が80.3%、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が3.9%となっています。

<自分で食事の用意をしていますか>という設問では、「している」が65.0%となっており、「できるけどしていない」の23.7%と「できない」の7.5%を合わせると3割以上(31.2%)となっています。

<自分で請求書の支払いをしていますか>という設問では、「している」が78.4%、「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が3.1%となっています。

<自分で預貯金の出し入れをしていますか>という設問では、「している」が78.7%、「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が4.1%となっています。



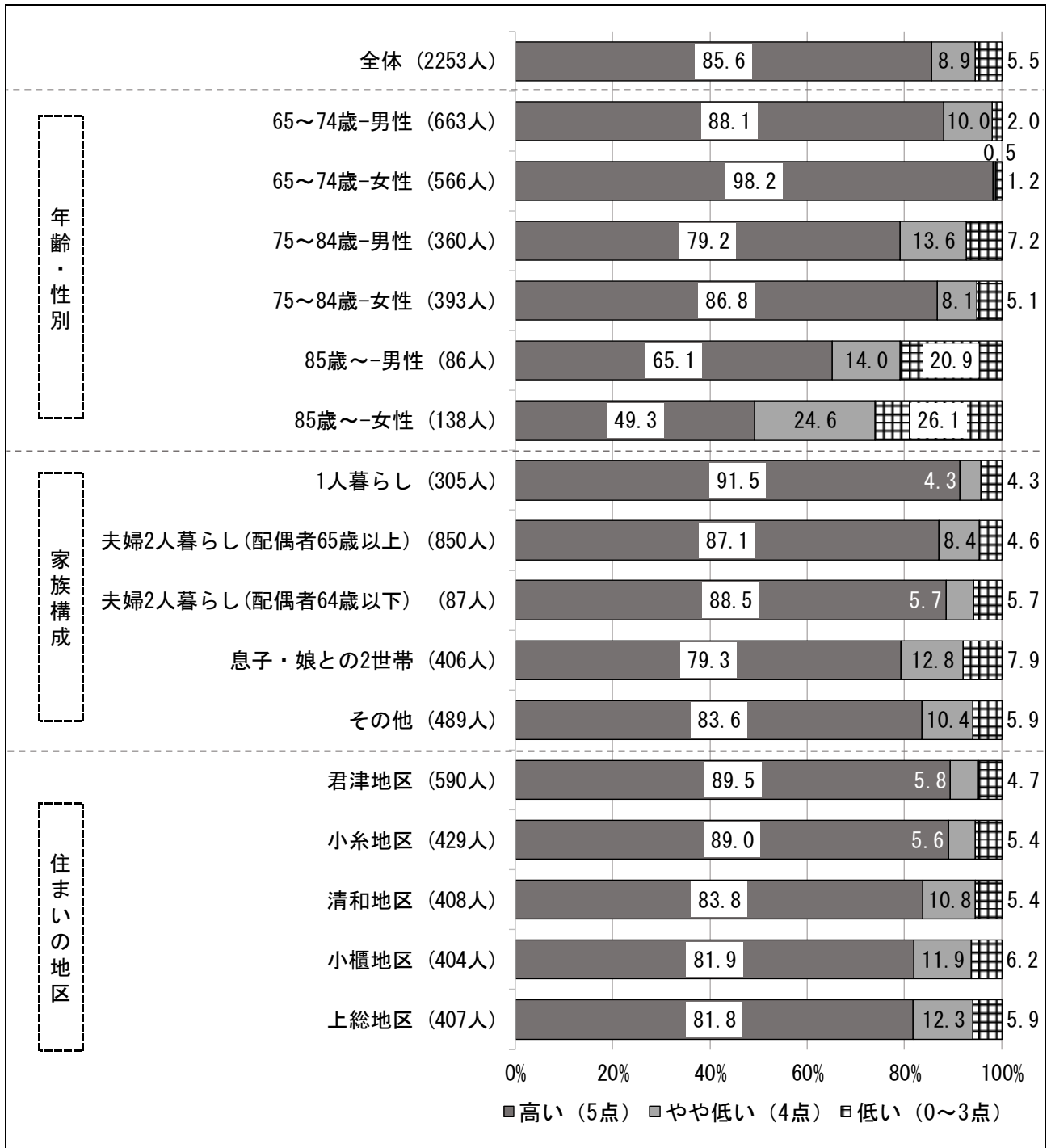
IADLが低下している高齢者

「高い（5点）」が85.6%となっており、「やや低い（4点）」が8.9%、「低い（0～3点）」が5.5%となっています。

年齢・性別では、85歳～-女性は「やや低い（4点）」の24.6%、「低い（0～3点）」の26.1%を合わせると約5割（50.7%）となっており、85歳～-男性（34.9%）と比べて高い割合となっています。

1人暮らしをみると、「高い（5点）」が91.5%と、他の属性と比較して高い割合となっています。

住まいの地区別では「やや低い（4点）」の割合が、君津地区や小糸地区で5%代であるのに対し、その他の地区では10%を超えています。



【参考 10】 I A D L が低下している高齢者について

次の5つの設問で、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は1点とし、5つの設問の合計点で、「高い（5点）」、「やや低い（4点）」、「低い（0～3点）」と判定

設問内容	選択肢
問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4（6）自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

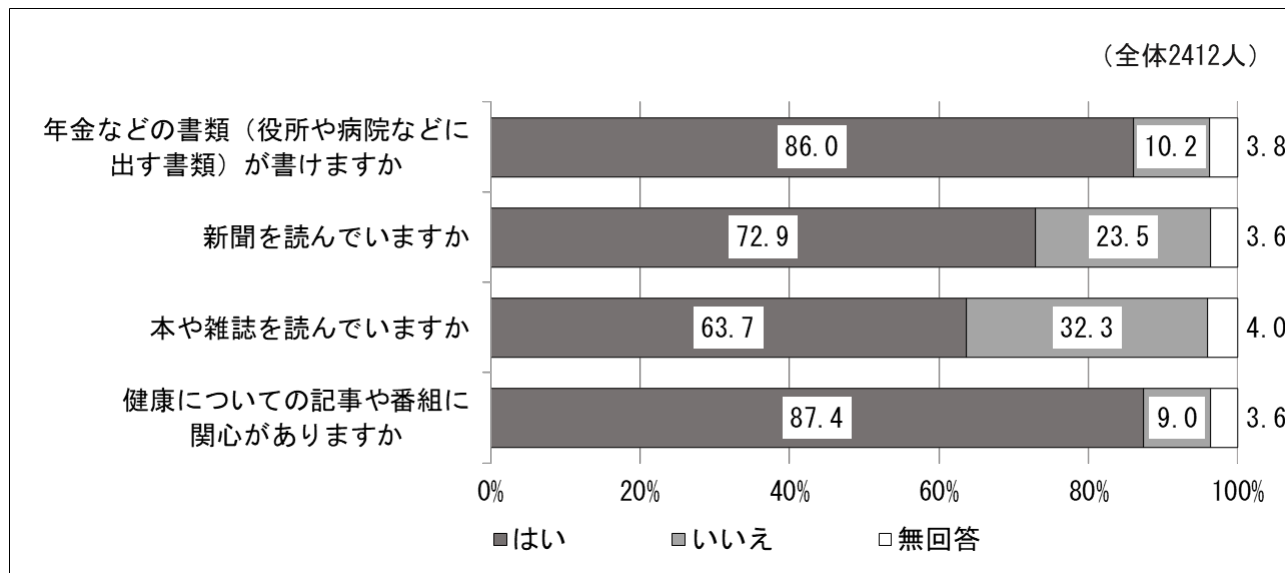
問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

問4 (10) 新聞を読んでいますか

問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか

問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

知的能動性を把握する4つの設問のうち、＜本や雑誌を読んでいますか＞という設問では、「はい」が63.7%、「いいえ」が32.3%と、他の設問と比べて「いいえ」の割合が高くなっています。



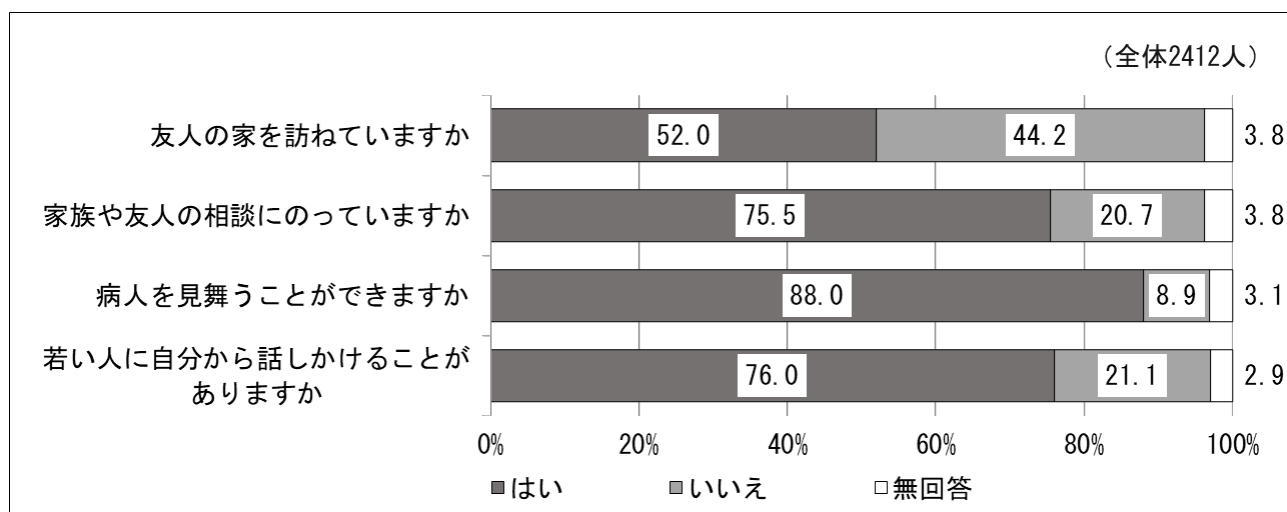
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか

問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか

問4 (15) 病人を見舞うことができますか

問4 (16) 若い人に自分から話しかけることができますか

他者との関わりを把握する4つの設問のうち、＜友人の家を訪ねていますか＞という設問では、「はい」が52.0%、「いいえ」が44.2%と、他の設問と比べて「いいえ」の割合が高くなっています。

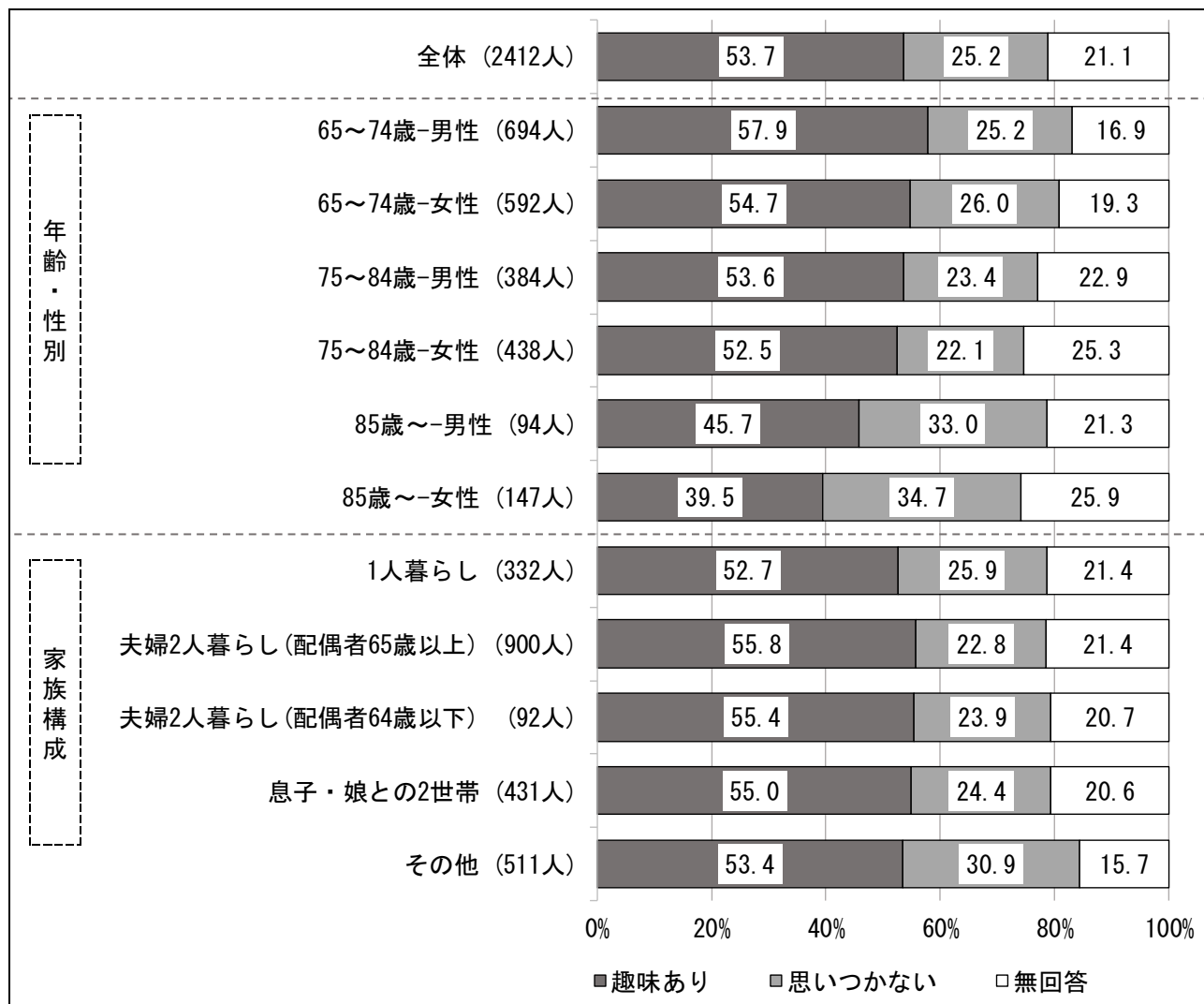


問4 (17) 趣味はありますか

「趣味あり」が53.7%、「思いつかない」が25.2%となっています。

年齢・性別では、男女ともに年齢層が上がるほど「趣味あり」の割合が低くなる傾向があります。また、女性より男性の方が「趣味あり」の割合が高くなっています。

1人暮らしをみると、「趣味あり」が52.7%と、他の属性と比較して若干割合が低くなっています。



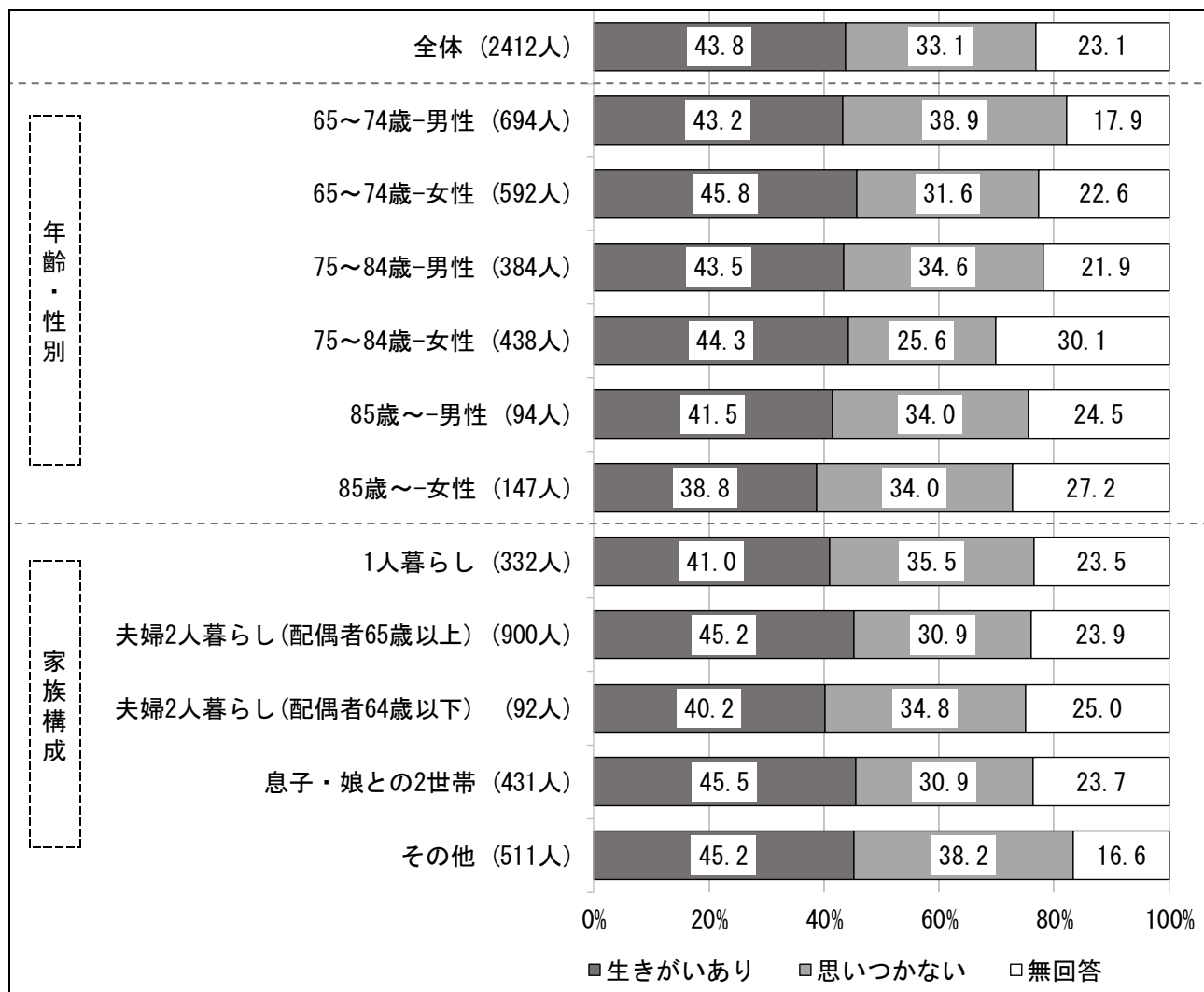
趣味の内容上位10

1	野菜づくり・畑仕事・家庭菜園	203件	6	カラオケ	93件
2	ゴルフ・グラウンドゴルフ	193件	7	旅行	79件
3	ガーデニング・園芸・花	175件	8	ウォーキング	59件
4	読書	155件	9	釣り	57件
5	手芸・編み物	108件	10	植木・盆栽	36件

問4 (18) 生きがいがありますか

「生きがいあり」が43.8%、「思いつかない」が33.1%となっています。

年齢・性別では、85歳～-女性において「生きがいあり」が38.8%と、他の属性と比較して低くなっています。



生きがいの内容上位 10

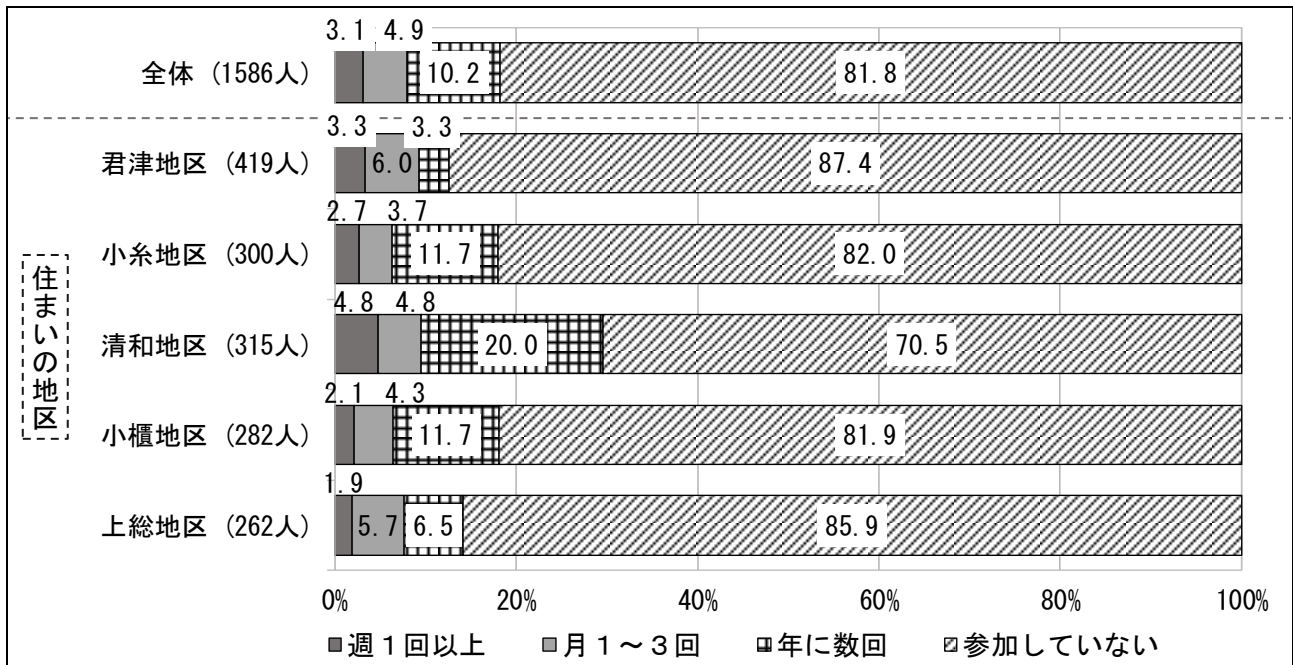
1	子・孫	322件	6	ガーデニング・園芸・花	51件
2	野菜づくり・畑仕事・家庭菜園	95件	7	友人との交遊	49件
3	健康・長生き	74件	8	日々の生活	36件
4	旅行	72件	9	趣味	35件
5	家族	52件	10	ボランティア活動	23件

問5 地域での活動について

問5 (1) ① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が3.1%、「月1～3回」が4.9%、「年に数回」が10.2%であり、これらを合わせた参加率は18.2%となっています。

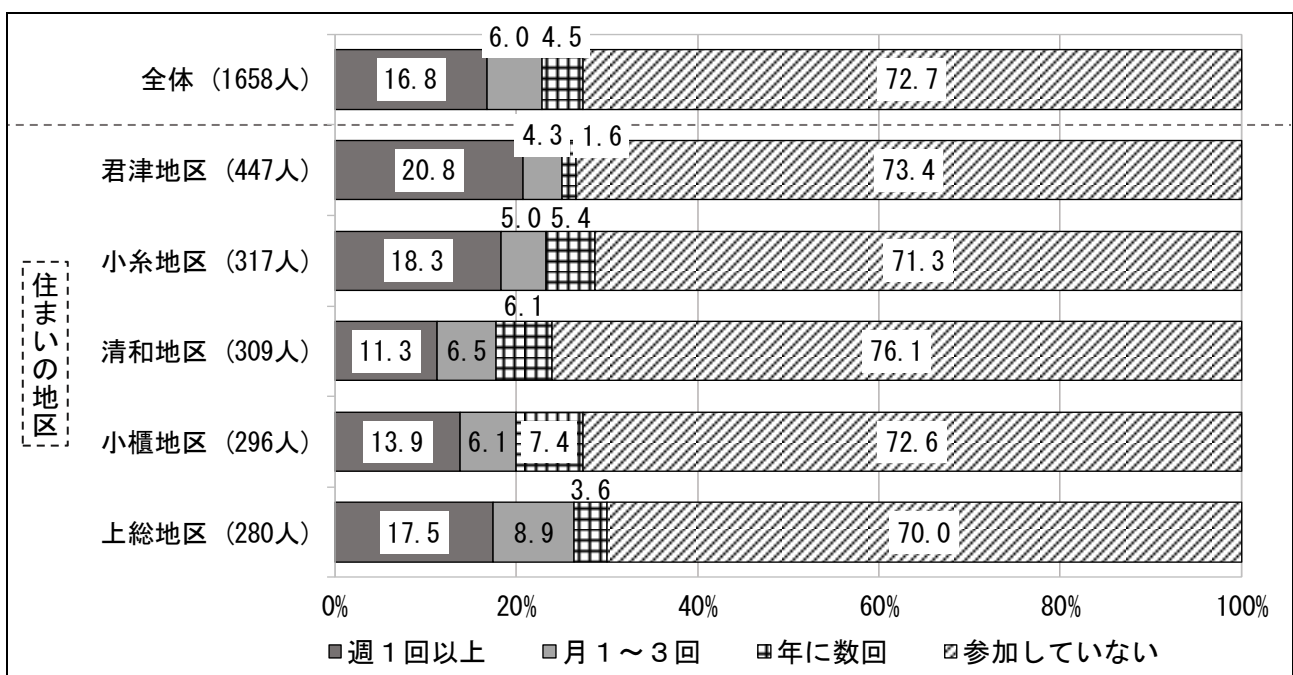
住まいの地区別では、清和地区で参加率が29.6%であり、他の地区に比べて高くなっています。



問5 (1) ② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が16.8%、「月1～3回」が6.0%、「年に数回」が4.5%であり、これらを合わせた参加率は27.3%となっています。

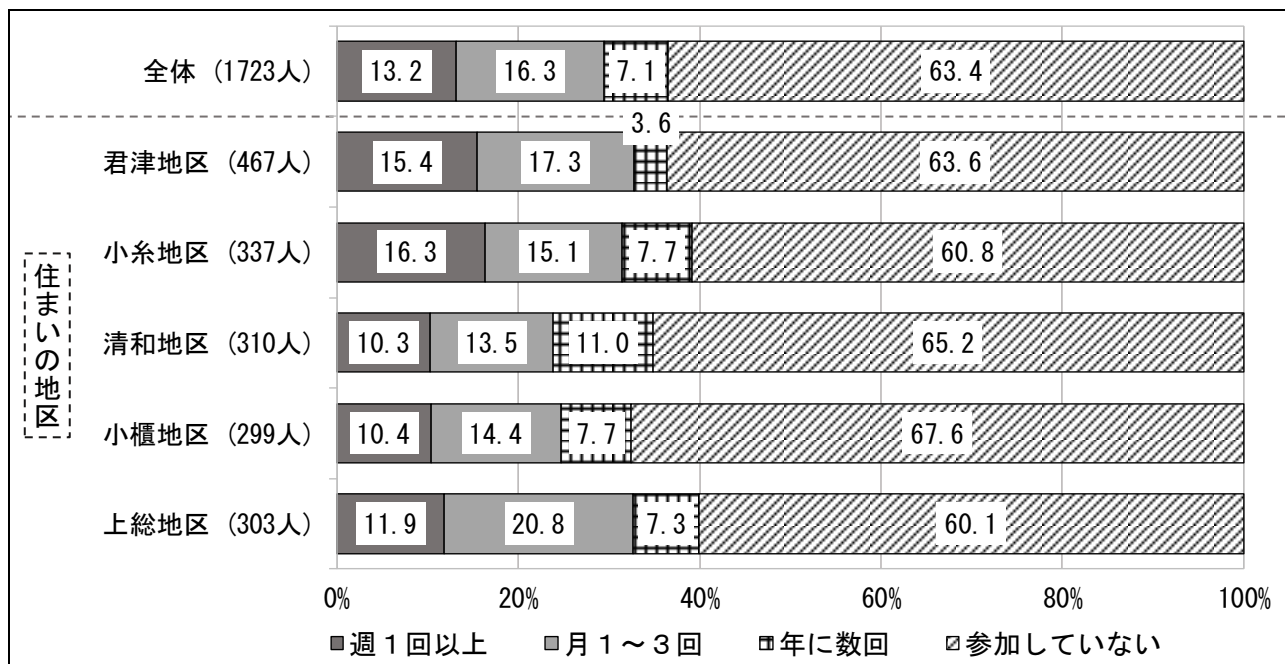
住まいの地区別では、上総地区で参加率が30.0%であり、他の地区に比べて高くなっています。



問5 (1) ③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が13.2%、「月1～3回」が16.3%、「年に数回」が7.1%であり、これらを合わせた参加率は36.6%となっています。

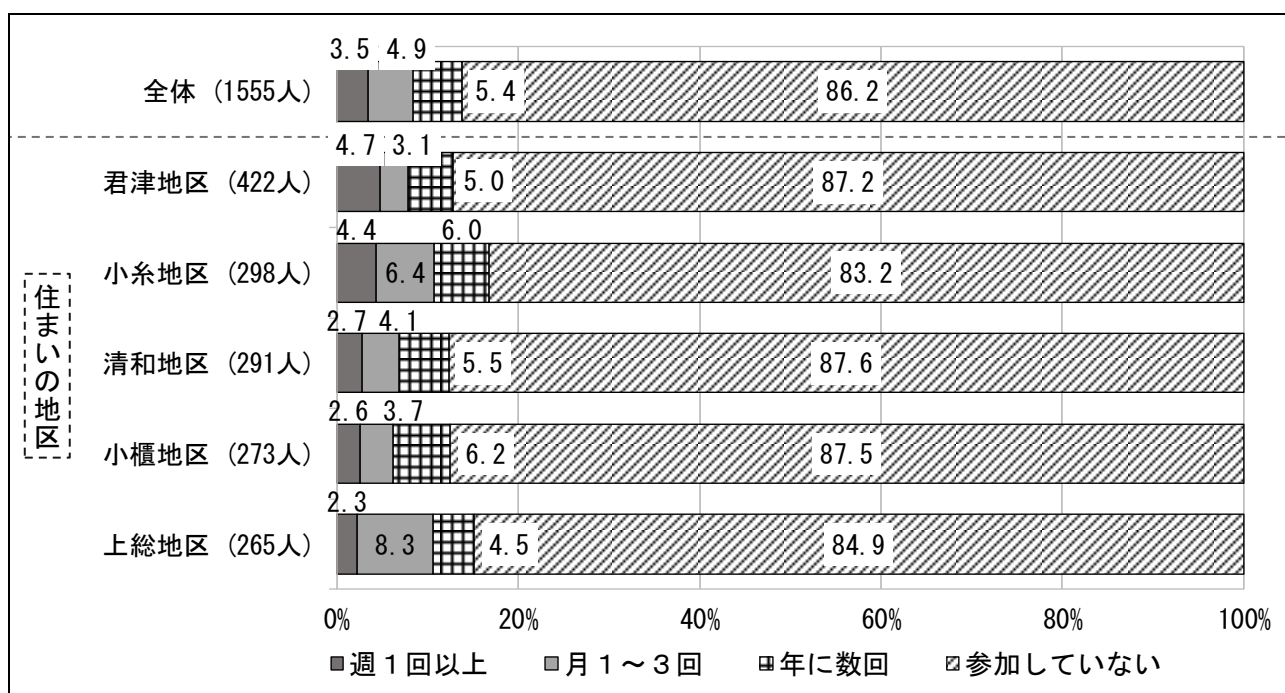
住まいの地区別では、上総地区で参加率が40.0%であり、他の地区に比べ高くなっています。



問5 (1) ④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が3.5%、「月1～3回」が4.9%、「年に数回」が5.4%であり、これらを合わせた参加率は13.8%となっています。

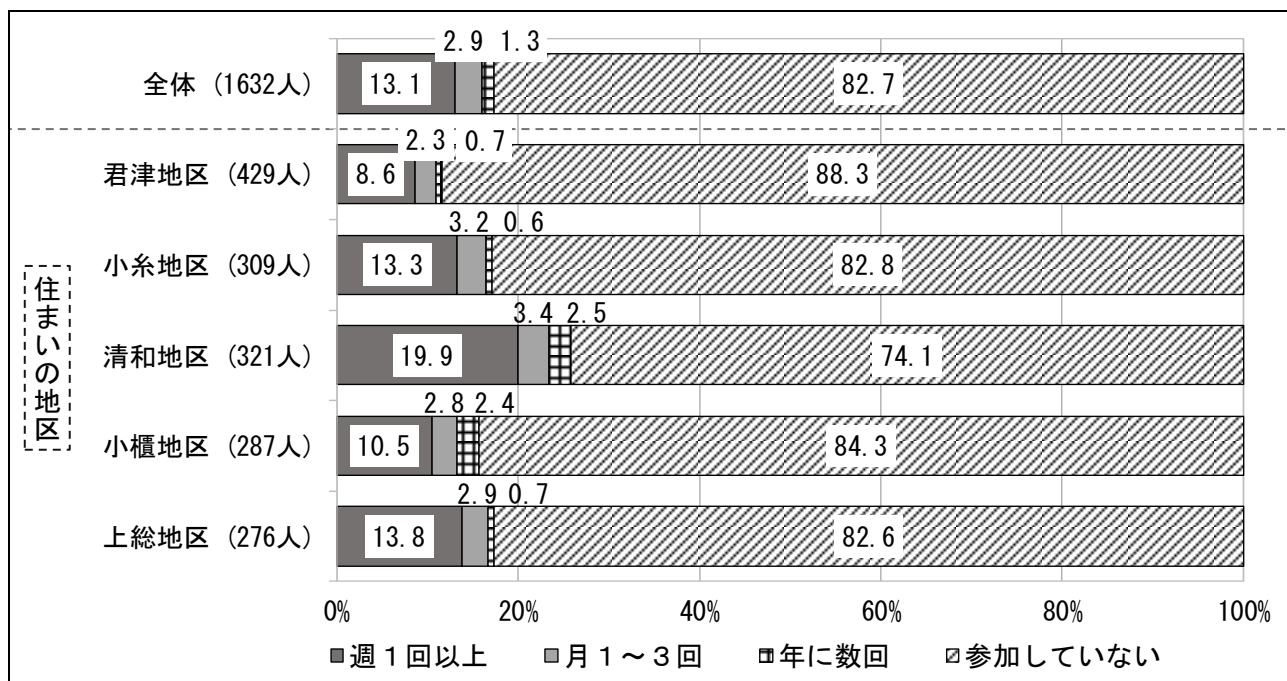
住まいの地区別では、小糸地区で参加率が16.8%であり、他の地区に比べ高くなっています。



問5 (1) ⑤ 自治会館等で実施する健康体操にどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が13.1%、「月1～3回」が2.9%、「年に数回」が1.3%であり、これらを合わせた参加率は17.3%となっています。

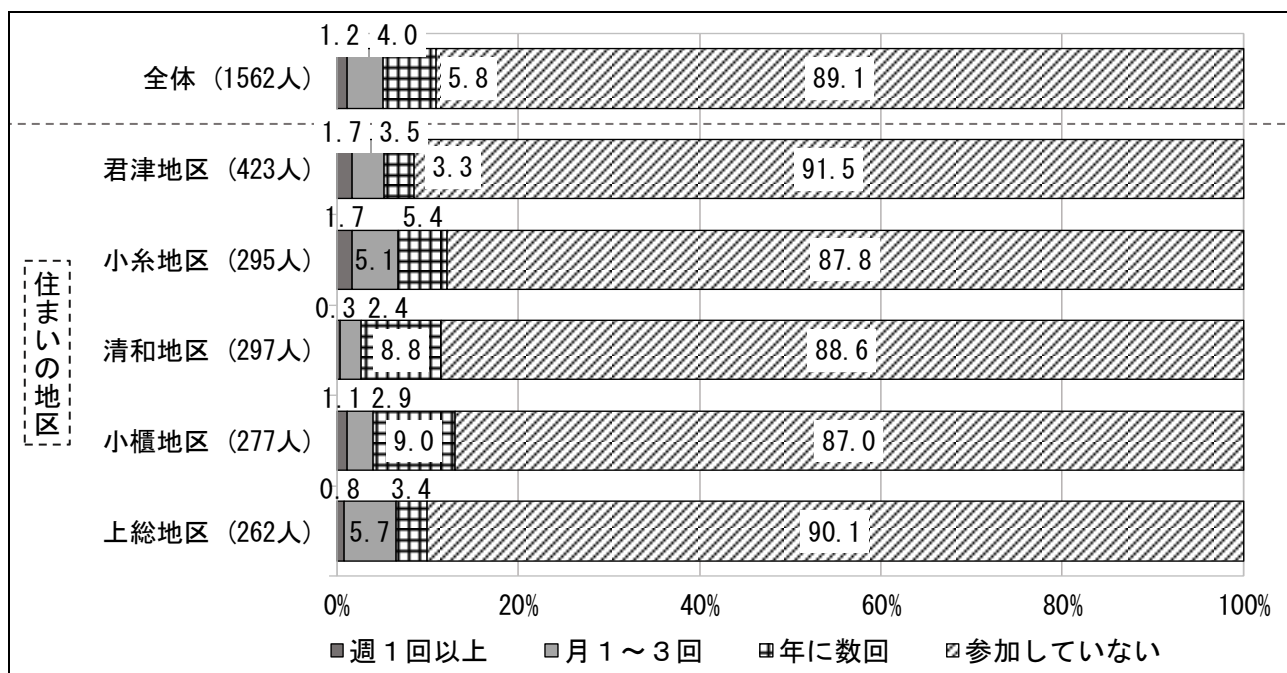
住まいの地区別では、清和地区で参加率が25.8%であり、他の地区に比べ高くなっています。



問5 (1) ⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか

「週1回以上」が1.2%、「月1～3回」が4%、「年に数回」が5.8%であり、これらを合わせた参加率は11.0%となっています。

住まいの地区別では、小櫃地区で参加率が13.0%であり、他の地区に比べ高くなっています。

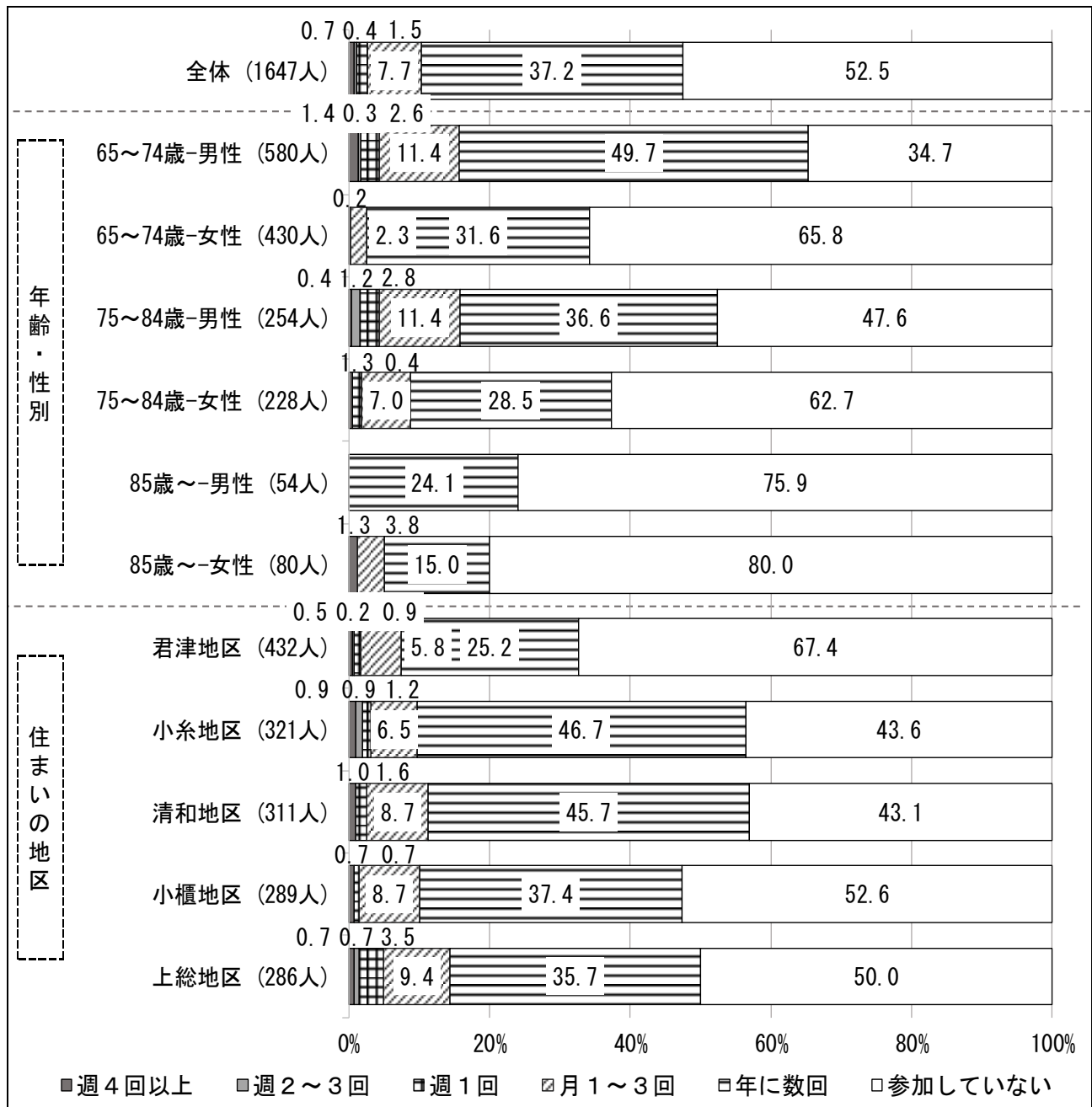


問5 (1) ⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか

「参加していない」が52.5%と最も高く、「年に数回」が37.2%、「月1～3回」が7.7%、「週1回」が1.5%と続いています。参加率は47.5%となっています。

年齢・性別では、いずれの年齢でも女性より男性の参加率が高く、65～74歳-男性は65.4%が参加しています。

住まいの地区別では、小糸地区が56.2%、清和地区が57.0%と、他の地区と比べて参加率が高くなっています。

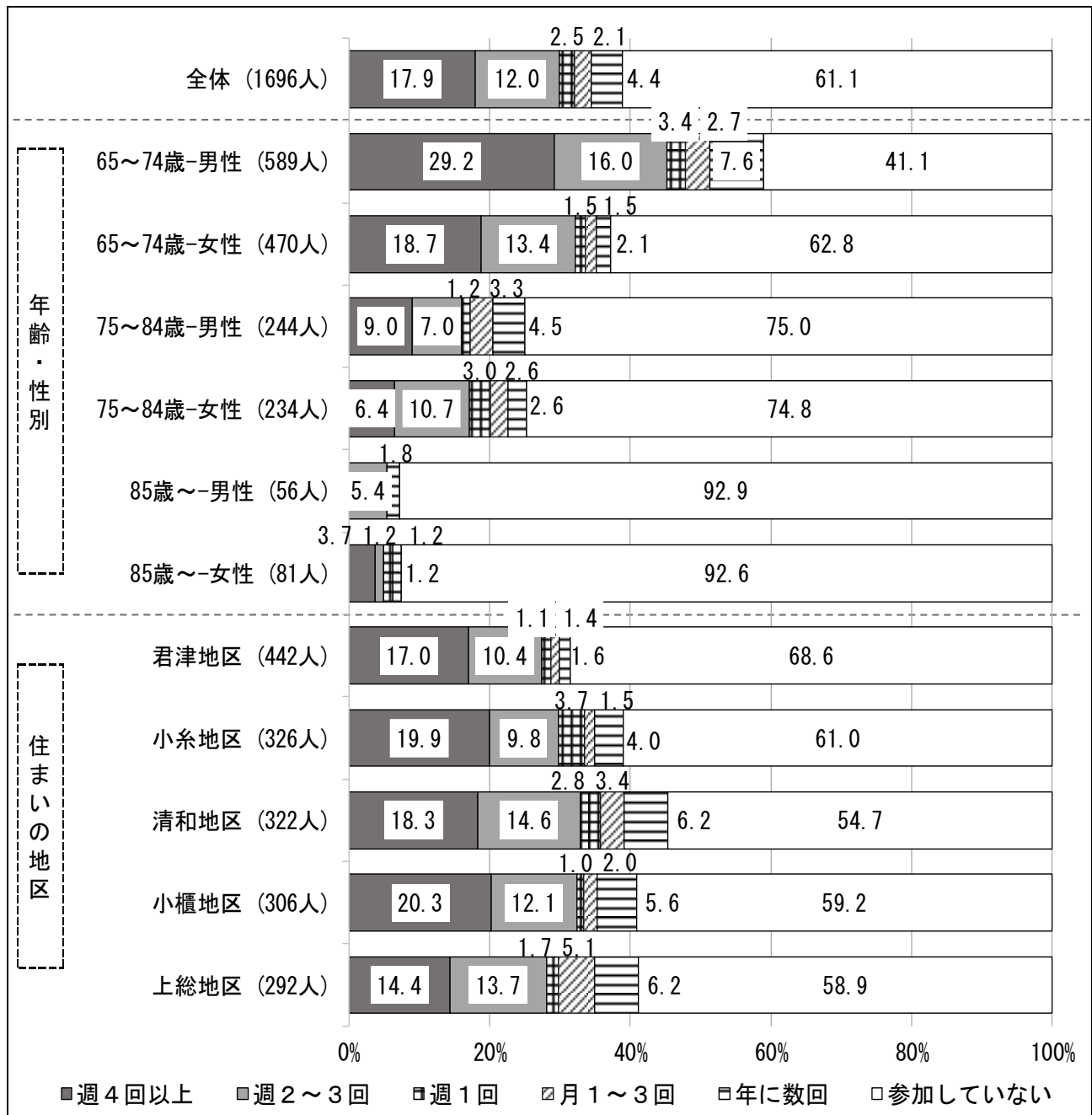


問5 (1) ⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか

「参加していない」が61.1%と最も高く、「週4回以上」が17.9%、「週2～3回」が12.0%、「年に数回」が4.4%と続いています。参加率は38.9%となっています。

年齢・性別では、年齢層が上がるほど参加率が低くなる傾向があります。

住まいの地区別では、清和地区で参加率が45.3%であり、他の地区に比べ高くなっています。

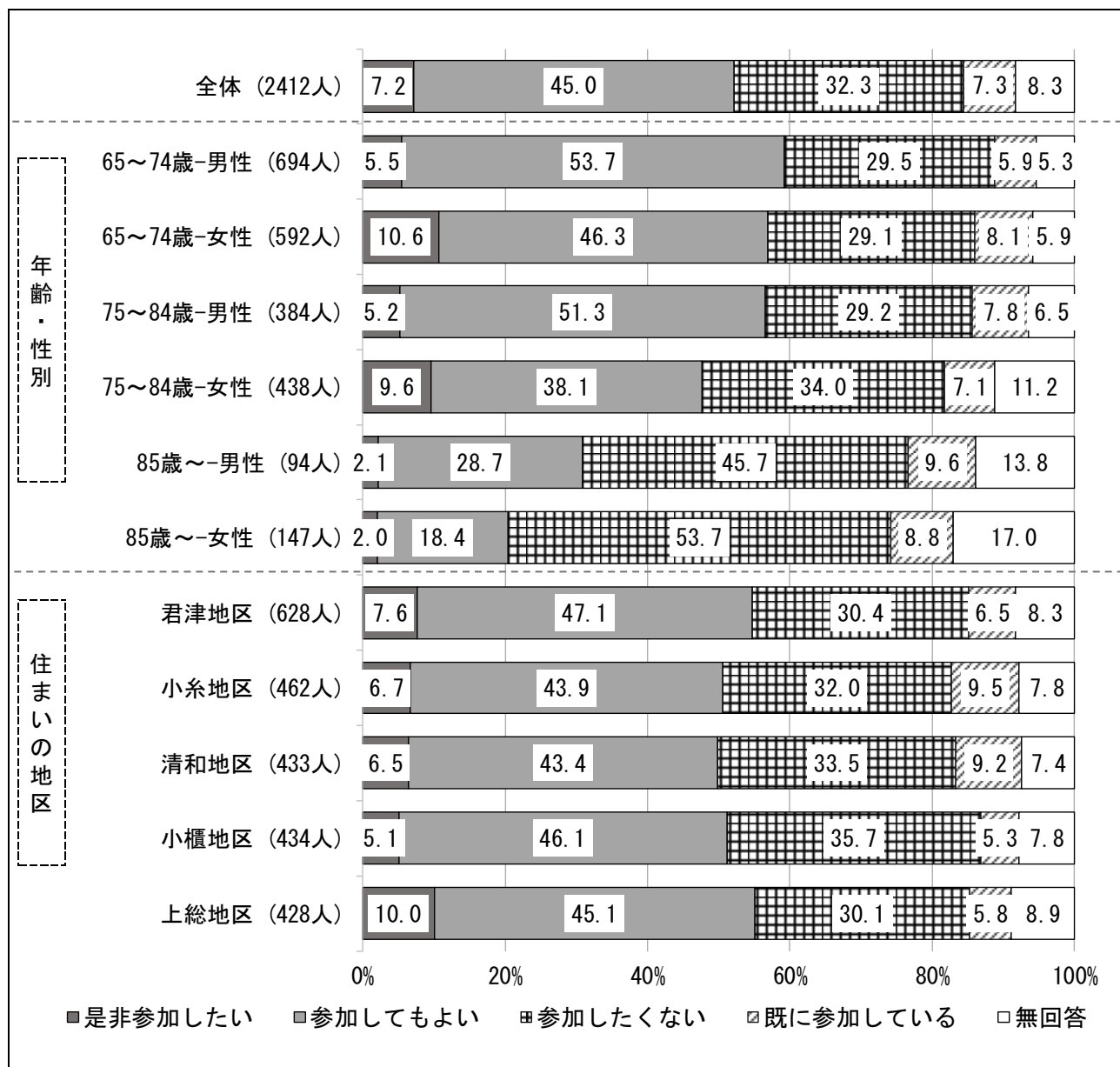


問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が45.0%と最も高く、「是非参加したい」の7.2%と合わせると約半数(52.2%)が参加意向を持っています。

年齢・性別では、年齢層が低いほど、参加意向が高い傾向にあります。また、女性より男性の参加意向が高くなっています。

住まいの地区別では、君津地区(54.7%)や上総地区(55.1%)において参加意向が高くなっています。

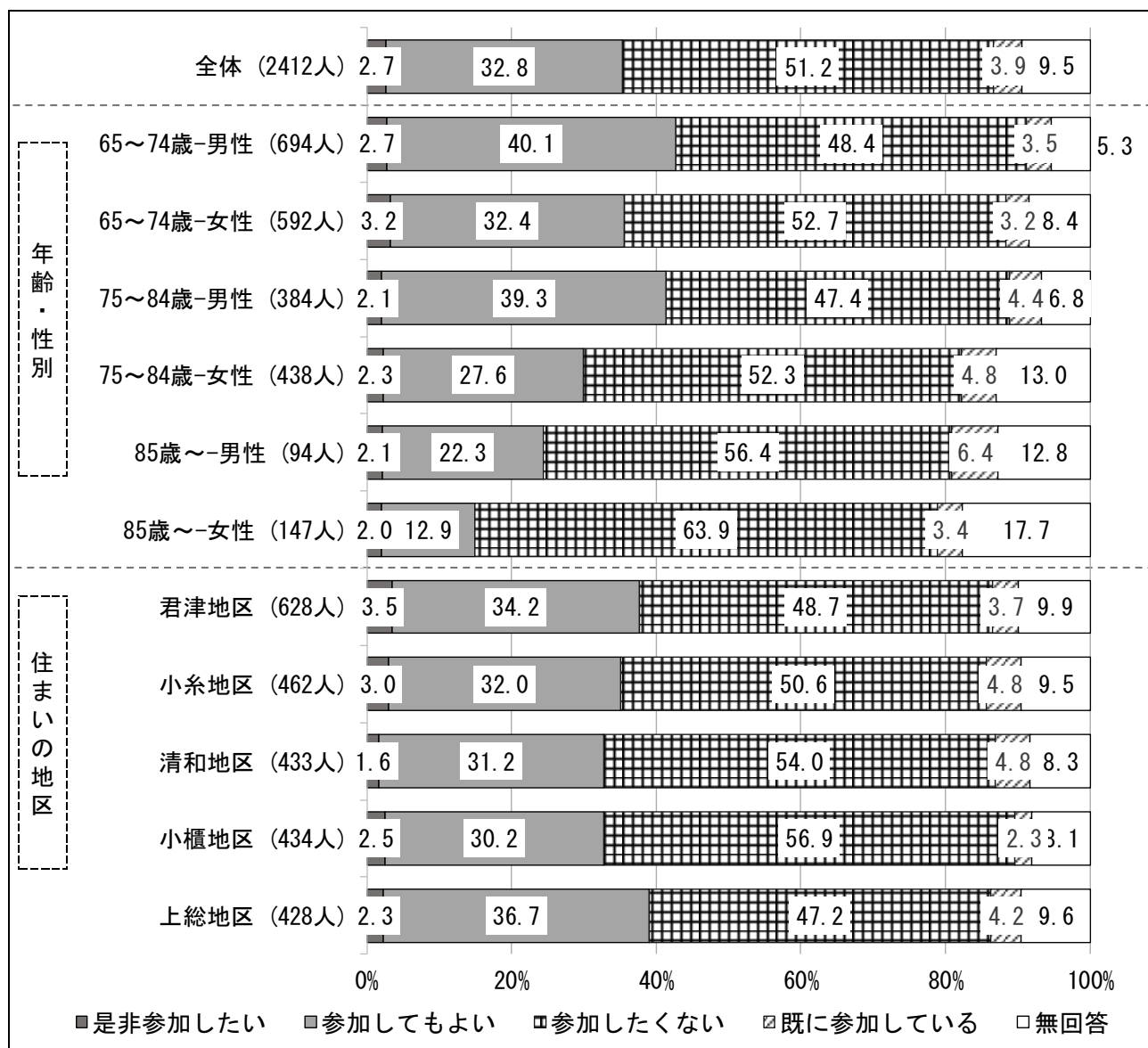


問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が32.8%、「是非参加したい」が2.7%であり、これらを合わせるとおよそ3人に1人（35.5%）が参加意向を持っています。

年齢・性別では、年齢層が低いほど、参加意向が高い傾向にあります。また、女性より男性の参加意向が高くなっています。

住まいの地区別では、君津地区（37.7%）や上総地区（39.0%）において参加意向が高くなっています。



問6 たすけあいについて

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

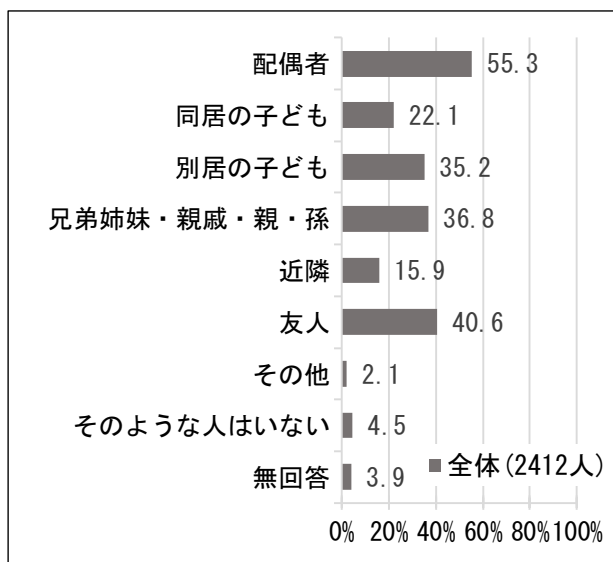
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

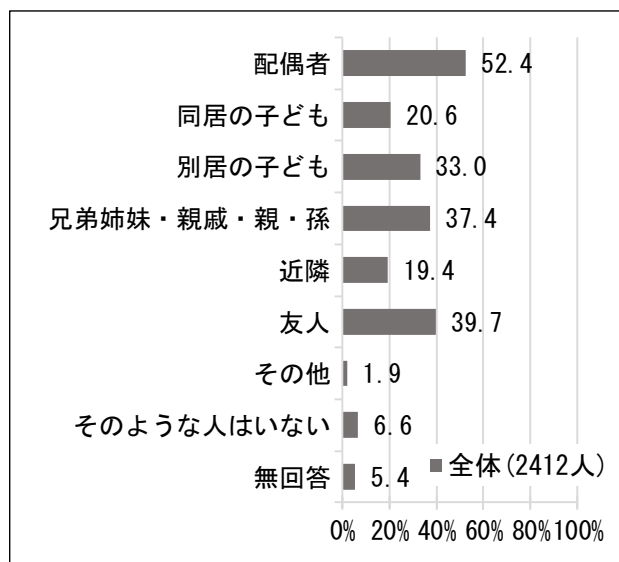
たすけあいの状況を把握する4つの設問については、いずれの設問でも「配偶者(夫・妻)」が半数以上と最も高くなっています。

次いで、<あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人>と<反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人>では、いずれも「友人」の割合が高くなっています。また、<あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人>と<反対に、看病や世話をしてあげる人>では、いずれも「別居の子ども」の割合が高くなっています。

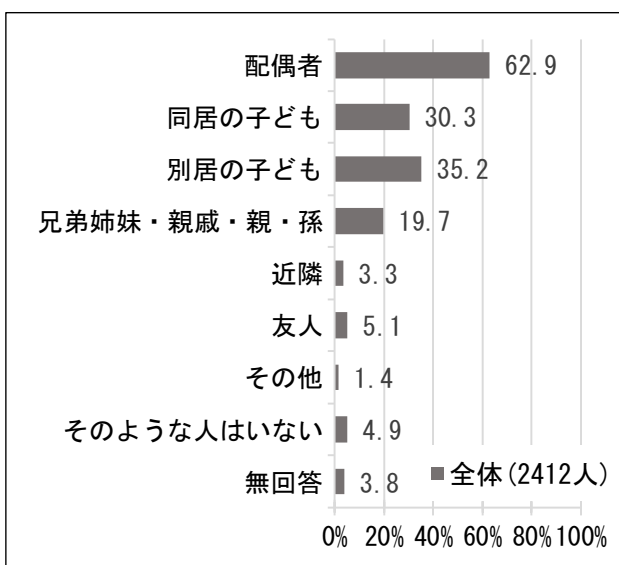
(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人



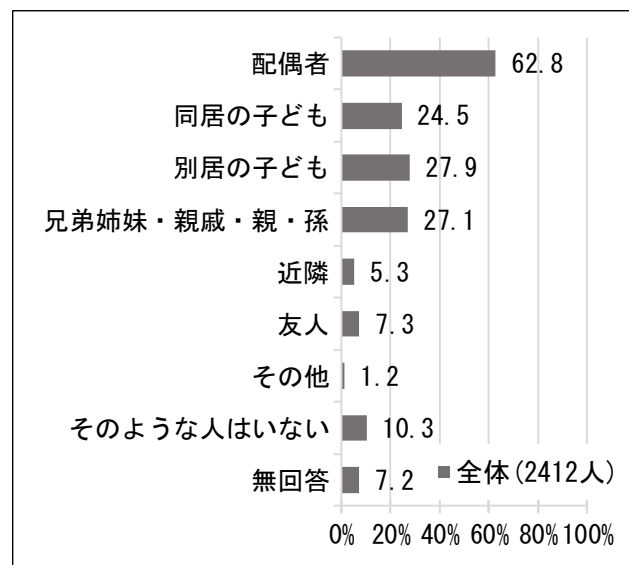
(2) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人



(3) 看病や世話をしてくれる人



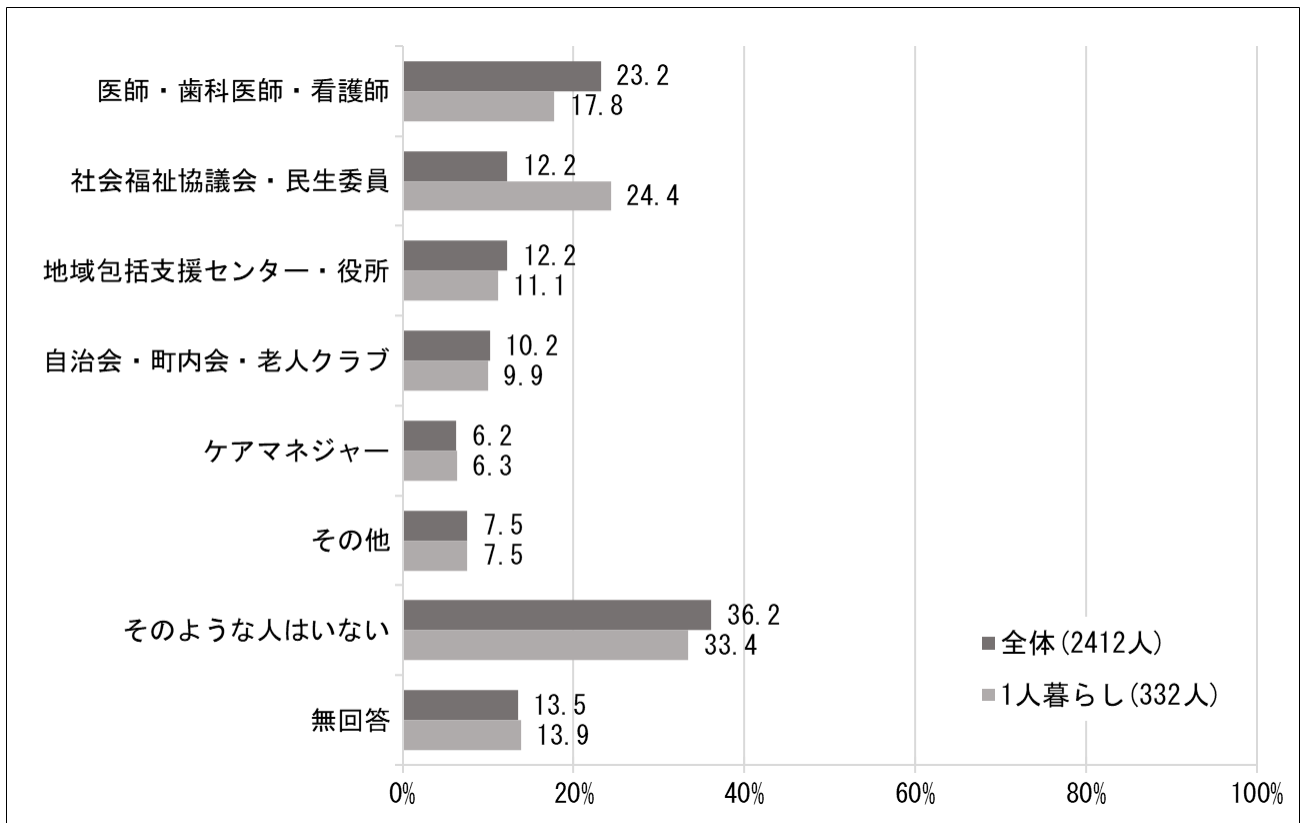
(4) 看病や世話をしてあげる人



問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

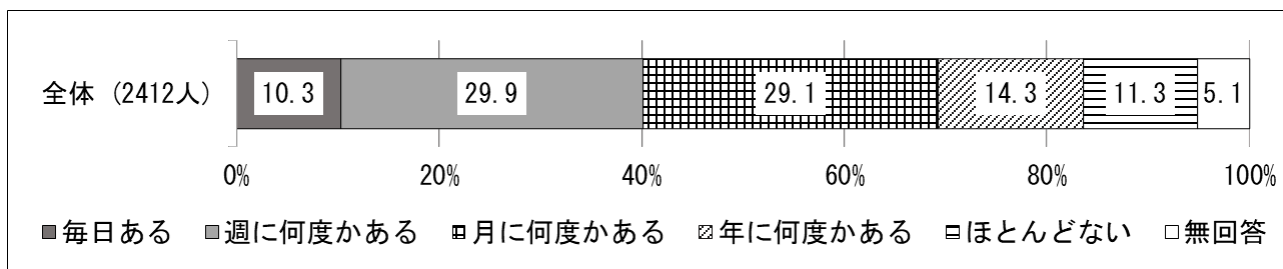
「そのような人はいない」が36.2%で最も高くなっています。具体的に相談する相手としては「医師・歯科医師・看護師」が23.2%と最も高く、「社会福祉協議会・民生委員」と「地域包括支援センター・役所」がそれぞれ12.2%と続いています。

1人暮らしの場合では、相談する相手として「社会福祉協議会・民生委員」が24.4%と、全体と比べて高い割合となっています。



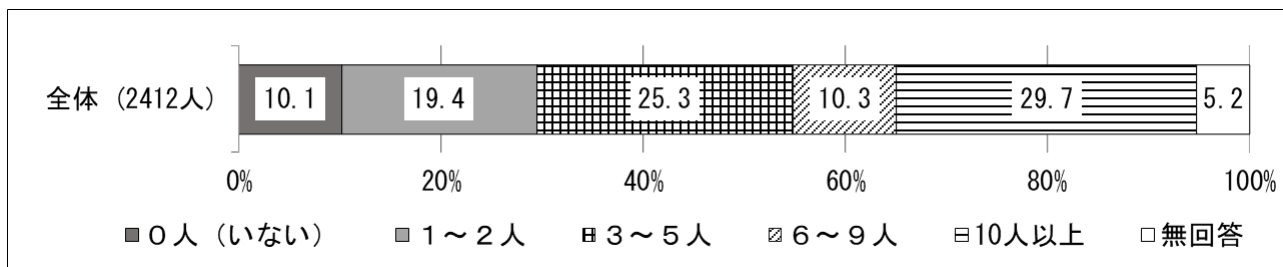
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「週に何度かある」が29.9%と最も高く、「月に何度かある」が29.1%、「年に何度かある」が14.3%、「ほとんどない」が11.3%と続いています。



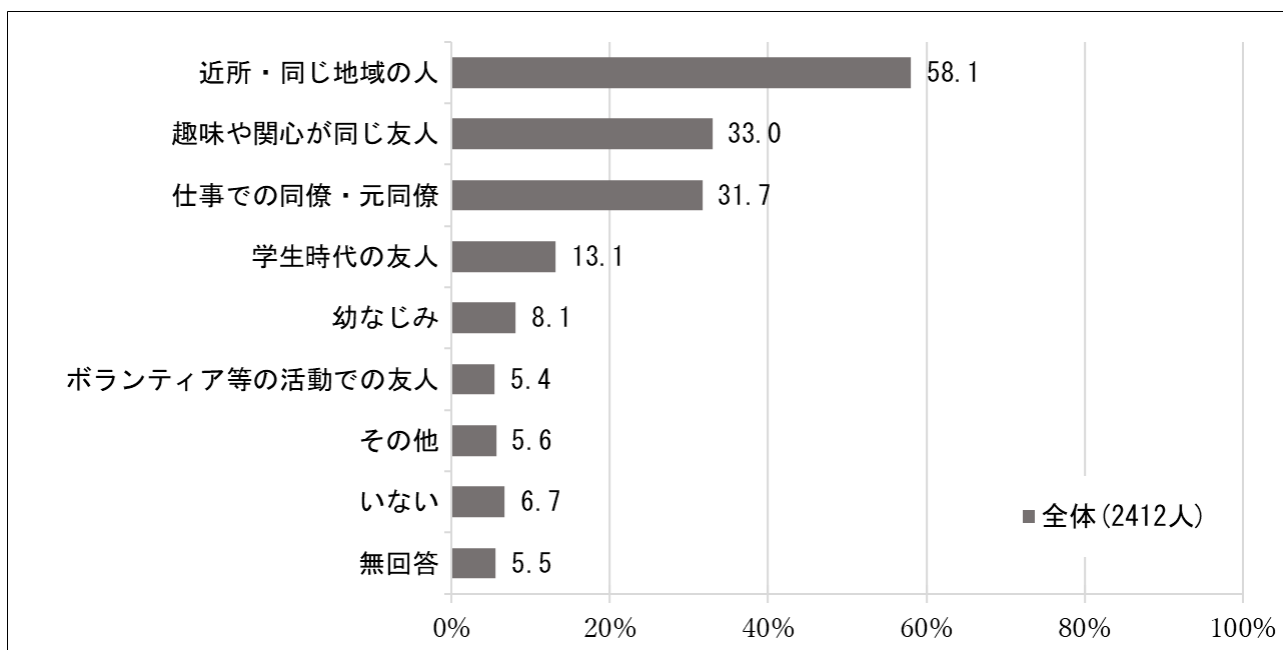
問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

「10人以上」が29.7%と最も高く、「3～5人」が25.3%、「1～2人」が19.4%と続いています。なお、「0人(いない)」は10.1%となっています。



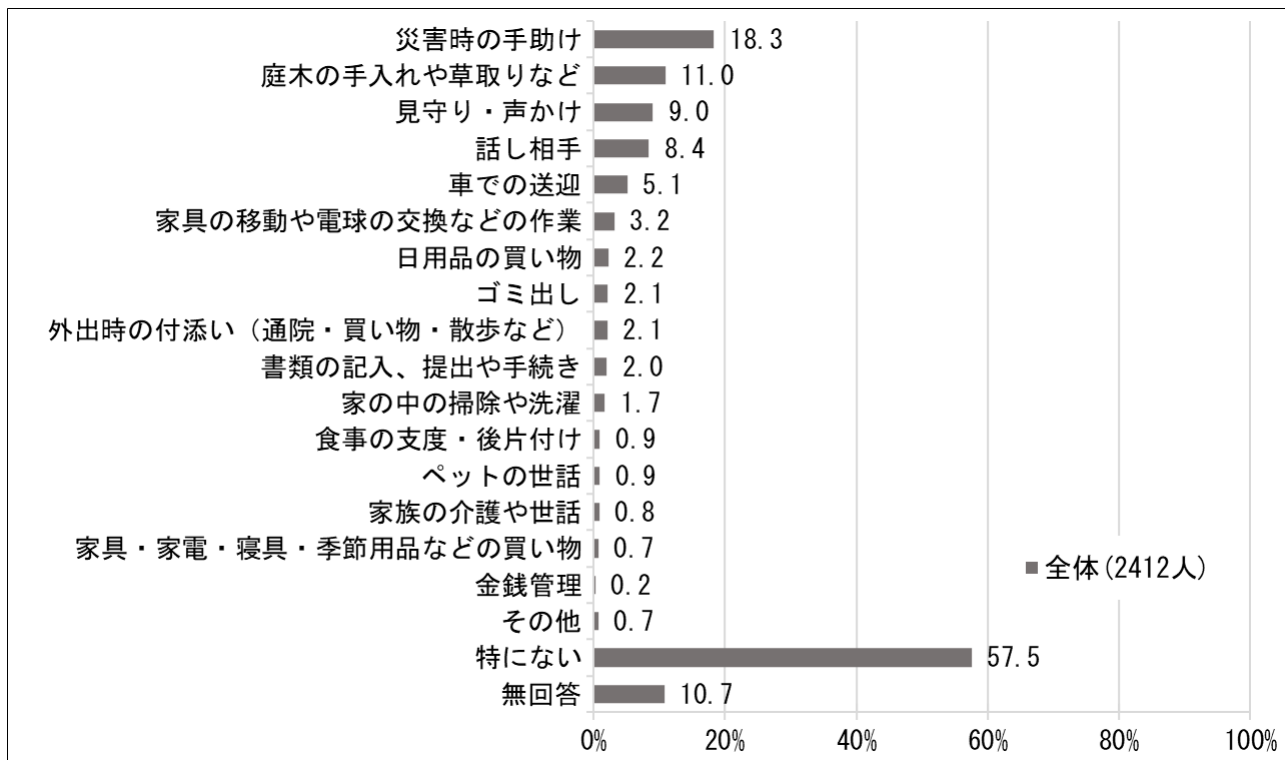
問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

「近所・同じ地域の人」が58.1%と最も高く、「趣味や関心が同じ友人」が33.0%、「仕事での同僚・元同僚」が31.7%、「学生時代の友人」が13.1%と続いています。



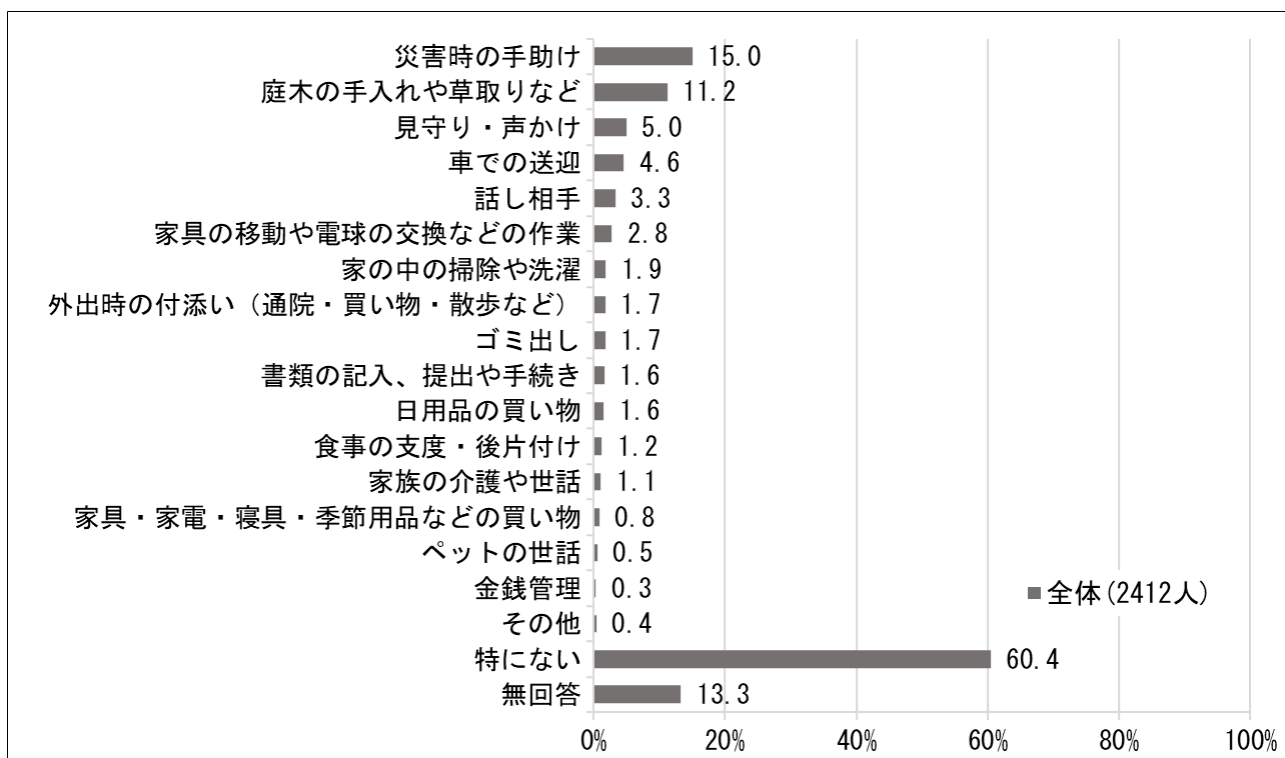
問6 (9) 近所や地域の人に手伝ってほしいことはありますか。(いくつでも)

「特にない」が57.5%と最も高くなっています。具体的には「災害時の手助け」が18.3%と最も高く、「庭木の手入れや草取りなど」が11.0%と続いています。



問6 (10) ボランティア(有償含む)に手伝ってほしいことはありますか。(いくつでも)

「特にない」が60.4%と最も高くなっています。具体的には「災害時の手助け」が15.0%と最も高く、「庭木の手入れや草取りなど」が11.2%と続いています。



手伝ってほしいこと及びその相手（問6（9）と問6（10）の比較）

前ページ、問6（9）・問6（10）の回答を比較します。

上位10位をみると、第1位～第4位については、回答は同じとなっています。“誰に”手伝ってほしいかに関わらず、ニーズの高い項目は変わらないことが読み取れます。

次に第5位および第6位をみると、＜近所や地域の人に手伝ってほしいこと＞では、第5位が「話し相手」(8.4%)、第6位が「車での送迎」(5.1%)であるのに対し、＜ボランティア（有償含む）に手伝ってほしいこと＞では、第5位が「車での送迎」(4.6%)、第6位が「話し相手」(3.3%)とその順序が逆になっています。

また、第8位では、＜近所や地域の人に手伝ってほしいこと＞が「日用品の買い物」(2.2%)であるのに対し、＜ボランティア（有償含む）に手伝ってほしいこと＞は「家の中の掃除や洗濯」(1.9%)と違いがみられます。

その他、第7位、第9位～第10位については、回答は同じとなっています。

順位	問6（9） 近所や地域の人に手伝ってほしいこと	問6（10） ボランティア（有償含む）に手伝ってほしいこと
第1位	特になし(57.5%)	特になし(60.4%)
第2位	災害時の手助け(18.3%)	災害時の手助け(15.0%)
第3位	庭木の手入れや草取りなど(11.0%)	庭木の手入れや草取りなど(11.2%)
第4位	見守り・声かけ(9.0%)	見守り・声かけ(5.0%)
第5位	話し相手(8.4%)	車での送迎(4.6%)
第6位	車での送迎(5.1%)	話し相手(3.3%)
第7位	家具の移動や電球の交換などの作業(3.2%)	家具の移動や電球の交換などの作業(2.8%)
第8位	日用品の買い物(2.2%)	家の中の掃除や洗濯(1.9%)
第9位	ゴミ出し(2.1%)	ゴミ出し(1.7%)
第10位	外出時の付添い（通院・買い物・散歩など）(2.1%)	外出時の付添い（通院・買い物・散歩など）(1.7%)
第11位	書類の記入、提出や手続き(2.0%)	書類の記入、提出や手続き(1.6%)
第12位	家の中の掃除や洗濯(1.7%)	日用品の買い物(1.6%)
第13位	食事の支度・後片付け(0.9%)	食事の支度・後片付け(1.2%)
第14位	ペットの世話(0.9%)	家族の介護や世話(1.1%)
第15位	家族の介護や世話(0.8%)	家具・家電・寝具・季節用品などの買い物(0.8%)
第16位	家具・家電・寝具・季節用品などの買い物(0.7%)	ペットの世話(0.5%)
第17位	金銭管理(0.2%)	金銭管理(0.3%)

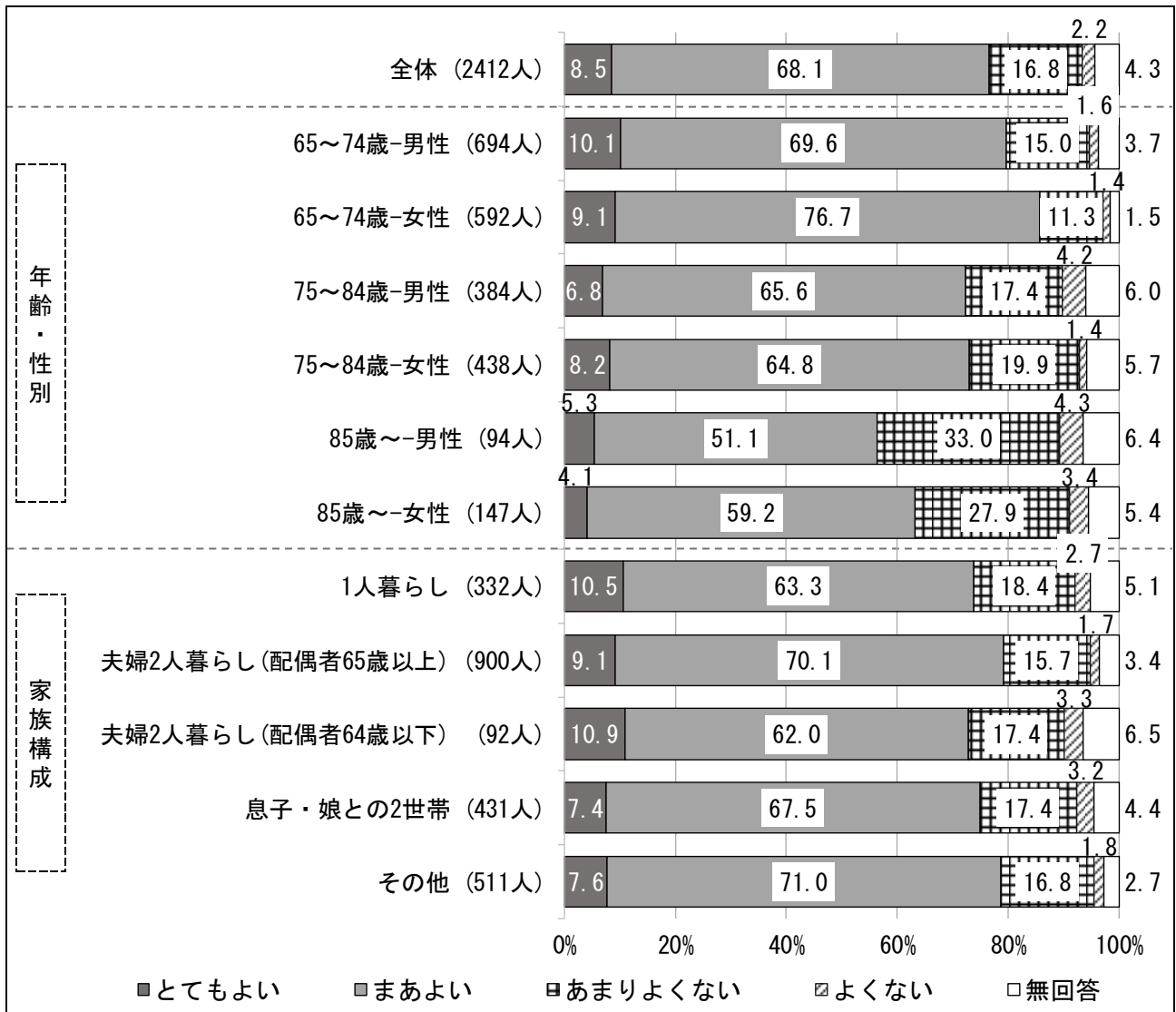
問7 健康について

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」が68.1%と最も高く、「とてもよい」の8.5%と合わせた“健康”は76.6%となっています。

年齢・性別では、年齢層が上がるほど、“健康”の割合が低下する傾向にあります。また、男性より女性の“健康”割合が高くなっています。

1人暮らしをみると、“健康”は73.8%であり、全体よりも若干低い割合となっています。



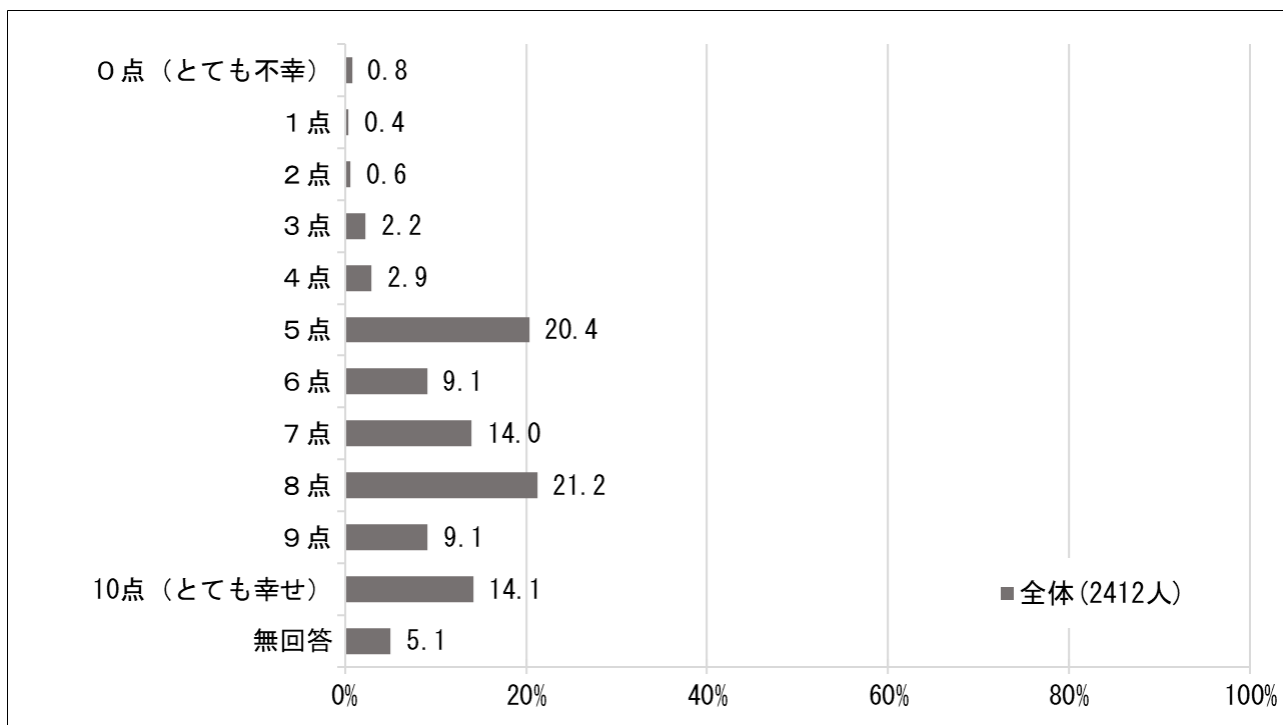
問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

主観的幸福感を問う本設問（10点を“とても幸せ”、0点を“とても不幸”とする）では、「8点」が21.2%と最も高く、「5点」が20.4%、「10点」が14.1%、「7点」が14.0%と続いています。全体平均は7.0点です。

年齢・性別では、いずれの年齢層でも男性よりも女性の点数が高くなっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯が7.4点と最も高く、1人暮らしは6.5点と最も低くなっています。

住まいの地区別では、大きな差はみられません。



【平均点】

全体 (2412 人)	7.0 点
-------------	-------

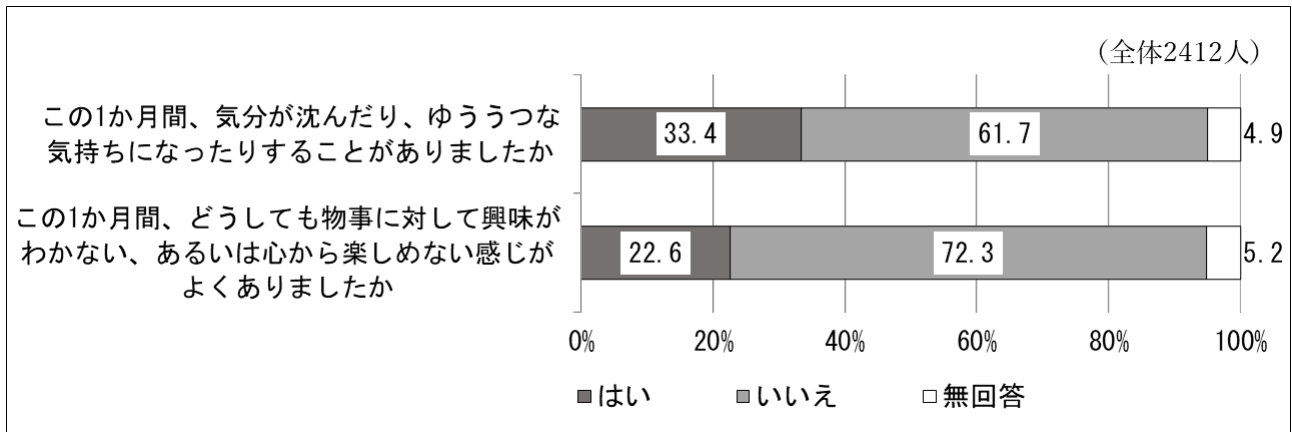
年齢・性別		家族構成別		住まいの地区別	
65～74 歳-男性 (694 人)	6.7 点	1 人暮らし (332 人)	6.5 点	君津地区 (628 人)	7.1 点
65～74 歳-女性 (592 人)	7.3 点	夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上) (900 人)	7.2 点	小糸地区 (462 人)	7.1 点
75～84 歳-男性 (384 人)	6.9 点	夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下) (92 人)	7.2 点	清和地区 (433 人)	7.1 点
75～84 歳-女性 (438 人)	7.3 点	息子・娘との 2 世帯 (431 人)	7.4 点	小櫃地区 (434 人)	7.0 点
85 歳～-男性 (94 人)	7.0 点	その他 (511 人)	7.0 点	上総地区 (428 人)	6.9 点
85 歳～-女性 (147 人)	7.3 点				

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

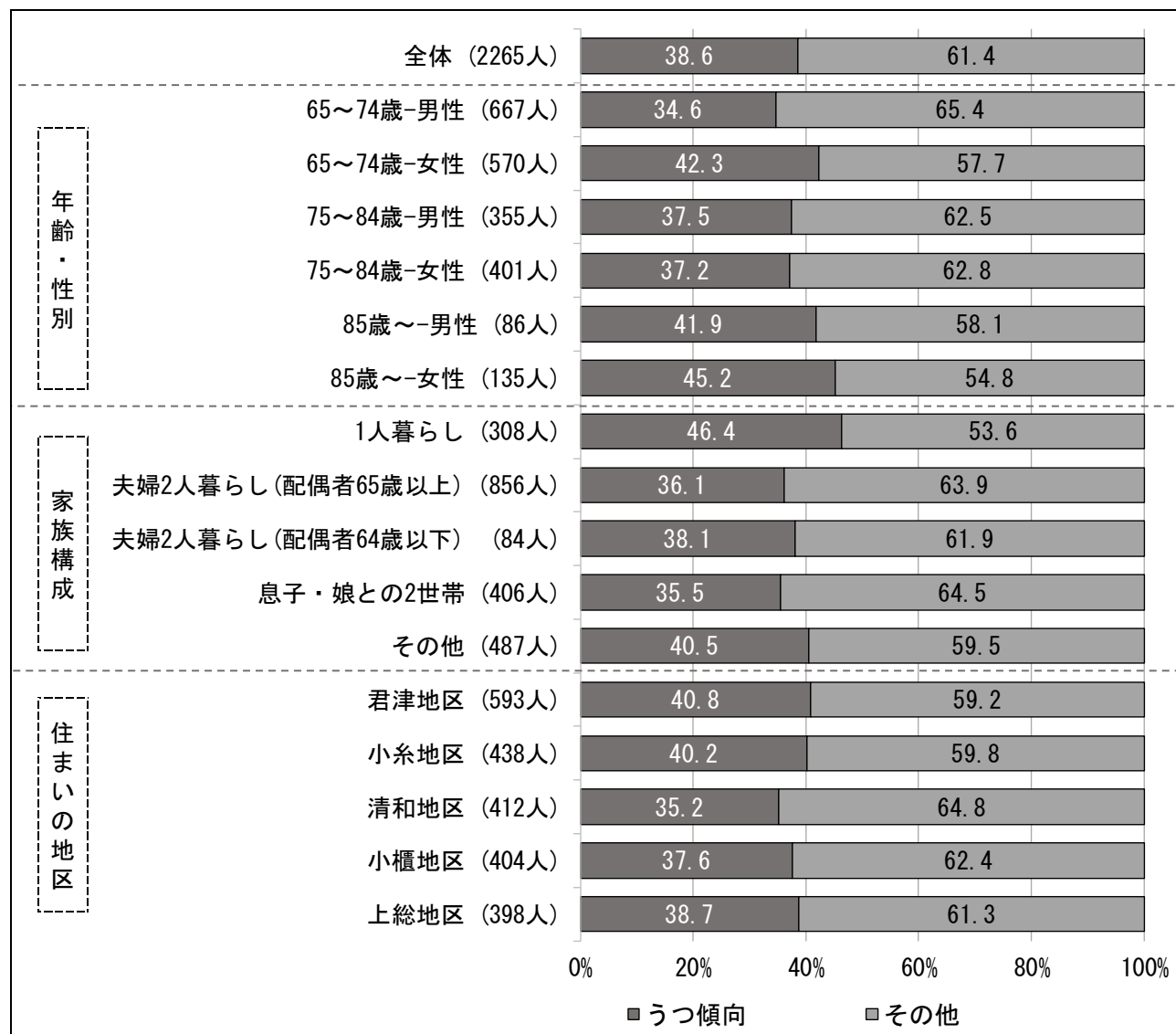
うつ傾向を問う2つの設問のうち、<この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか>という設問では、「はい」が33.4%となっています。

<この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか>という設問では、「はい」が22.6%となっています。



うつ傾向の高齢者

「うつ傾向」が38.6%、「その他」が61.4%となっています。
 年齢・性別では、65～74歳-女性、85歳～の男女は「うつ傾向」がいずれも4割超となっています。
 1人暮らしをみると、「うつ傾向」が半数近く（46.4%）となっています。
 住まいの地区別では、君津地区や小糸地区において「うつ傾向」が4割超と若干高くなっています。



【参考11】うつ傾向の高齢者について

次の2つの設問のいずれかで該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「うつ傾向」と判定

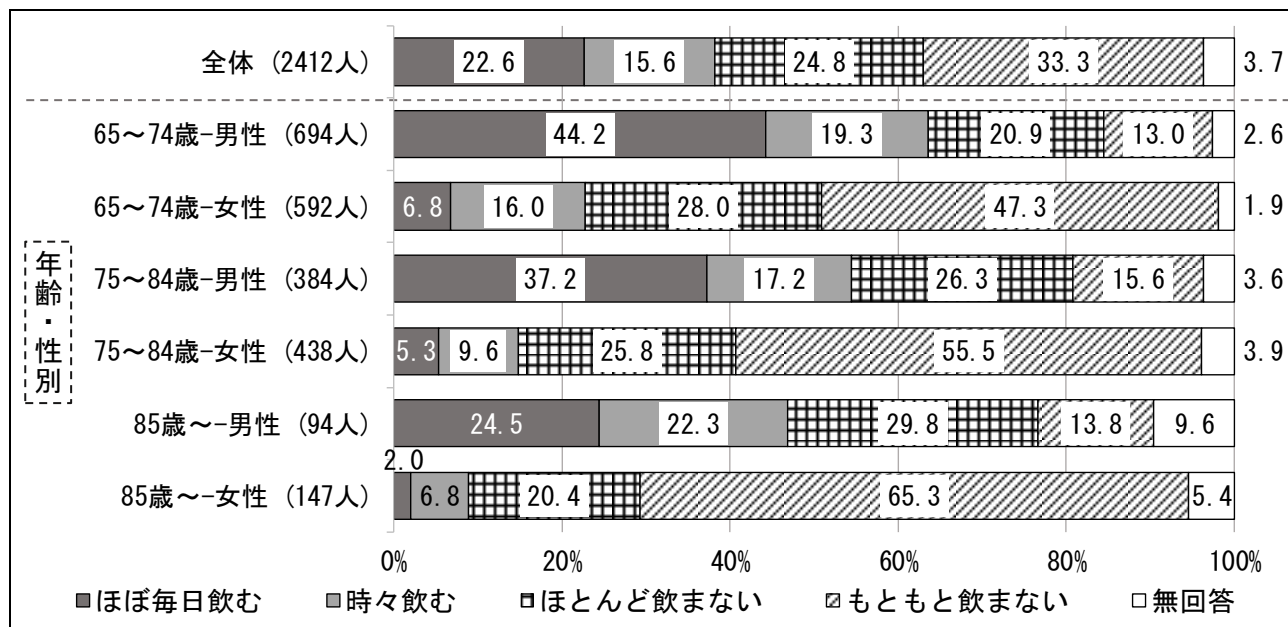
設問内容	選択肢
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

問7 (5) お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が33.3%と最も高く、「ほとんど飲まない」が24.8%、「ほぼ毎日飲む」が22.6%、「時々飲む」が15.6%と続いています。飲酒率は38.2%です。

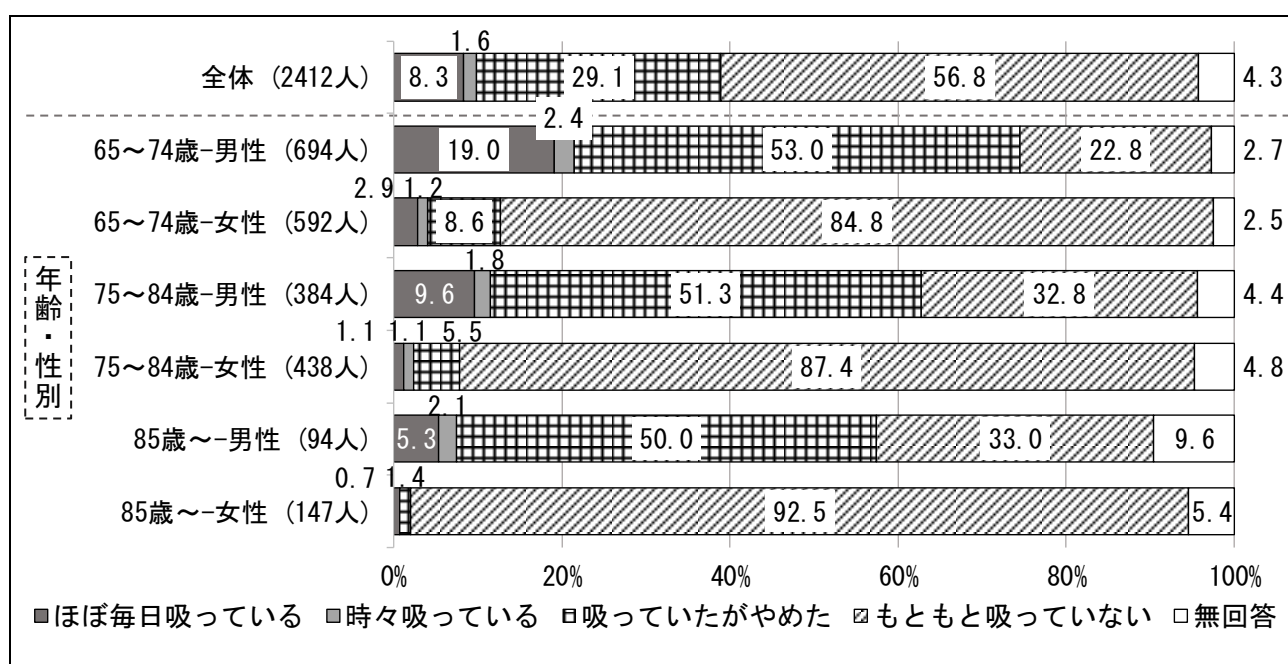
年齢・性別では、男性の飲酒率は65～74歳が63.5%、75～84歳が54.4%となっており、65～74歳では「ほぼ毎日飲む」が44.2%となっています。男性と比べて、女性の飲酒率はいずれの年齢層でも低くなっています。



問7 (6) タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が56.8%と最も高く、「吸っていたがやめた」が29.1%、「ほぼ毎日吸う」が8.3%、「時々吸っている」が1.6%と続いています。喫煙率は9.9%です。

年齢・性別では、男性の喫煙率は65～74歳で21.4%となっており「ほぼ毎日吸う」が19.0%となっています。男性と比べて、女性の喫煙率はいずれの年齢層でも低くなっています。

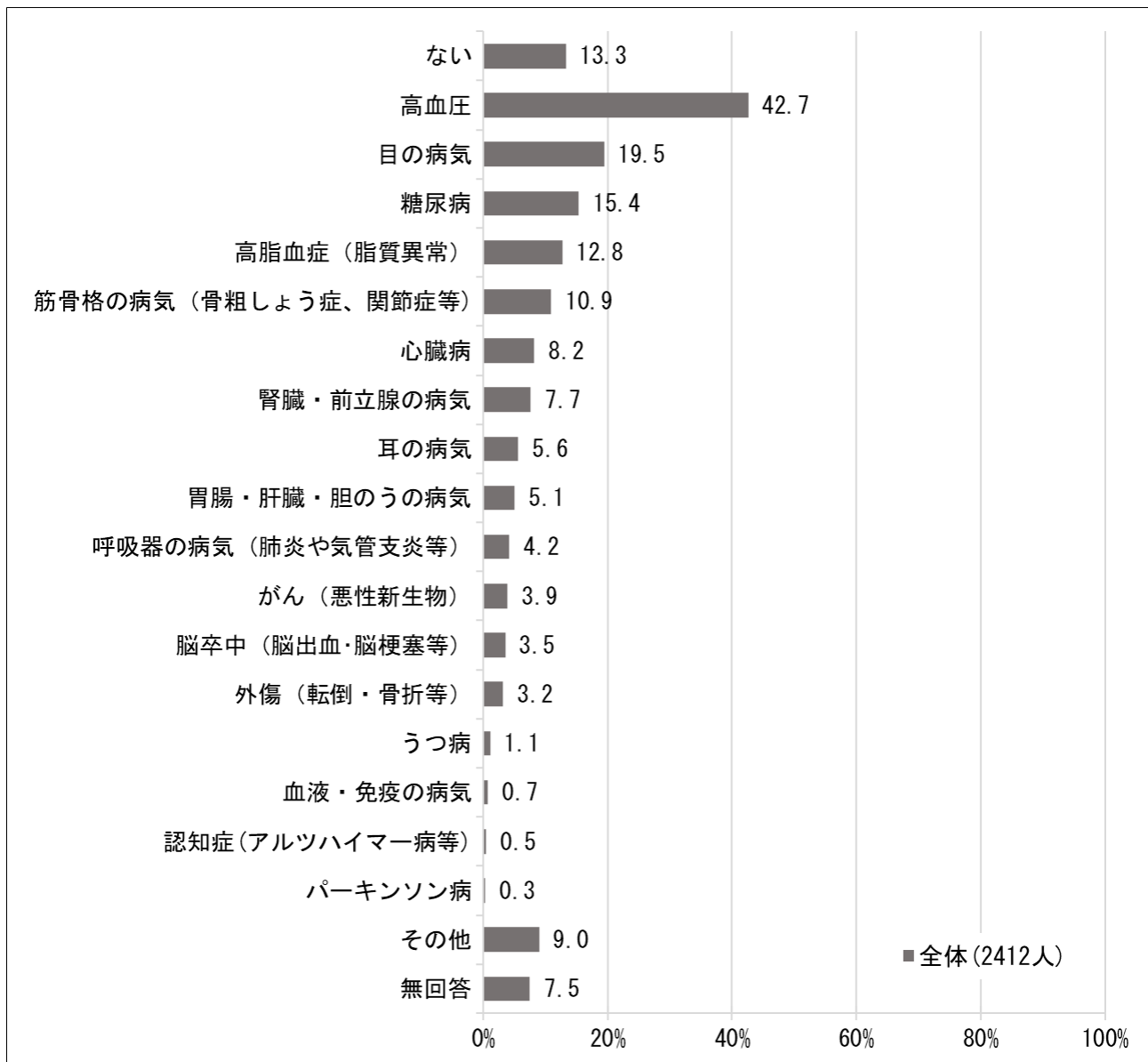


問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」が42.7%と最も高く、「目の病気」が19.5%、「糖尿病」が15.4%、「高脂血症 (脂質異常)」が12.8%と続いています。なお、「ない」は13.3%となっています。

年齢・性別では、いずれの属性でも「高血圧」が最上位となっており、同回答は85歳～-女性で53.7%と比較的高くなっています。また、75～84歳-女性や85歳～-女性は「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」がいずれも20%を超えています。65～74歳-女性は「高脂血症 (脂質異常)」が20.4%と、他の年齢層や男性と比べて高くなっています。

住まいの地区別では、いずれの地区でも類似した傾向となっています。



【年齢・性別 現在治療中、または後遺症のある病気上位5つ】

順位	65～74歳 -男性(694人)	65～74歳 -女性(592人)	75～84歳 -男性(384人)	75～84歳 -女性(438人)	85歳～ -男性(94人)	85歳～ -女性(147人)
第1位	高血圧 (44.1%)	高血圧 (36.3%)	高血圧 (45.6%)	高血圧 (43.8%)	高血圧 (44.7%)	高血圧 (53.7%)
第2位	糖尿病 (21.8%)	高脂血症(脂質異常) (20.4%)	目の病気 (21.1%)	目の病気 (26.0%)	腎臓・前立腺の病気 (25.5%)	目の病気 (31.3)
第3位	高脂血症(脂質異常) (13.3%)	目の病気 (19.1%)	糖尿病 (18.8%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (22.1%)	目の病気 (20.2%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (23.8%)
第4位	目の病気 (12.4%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (14.4%)	肝臓・前立腺の病気 (17.2%)	高脂血症(脂質異常) (13.0%)	心臓病 (17.0%)	耳の病気 (14.3%)
第5位	肝臓・前立腺の病気 (10.5%)	糖尿病 (10.5%)	心臓病 (12.5%)	糖尿病 (11.0%)	糖尿病 (12.8%)	心臓病 (10.9%)

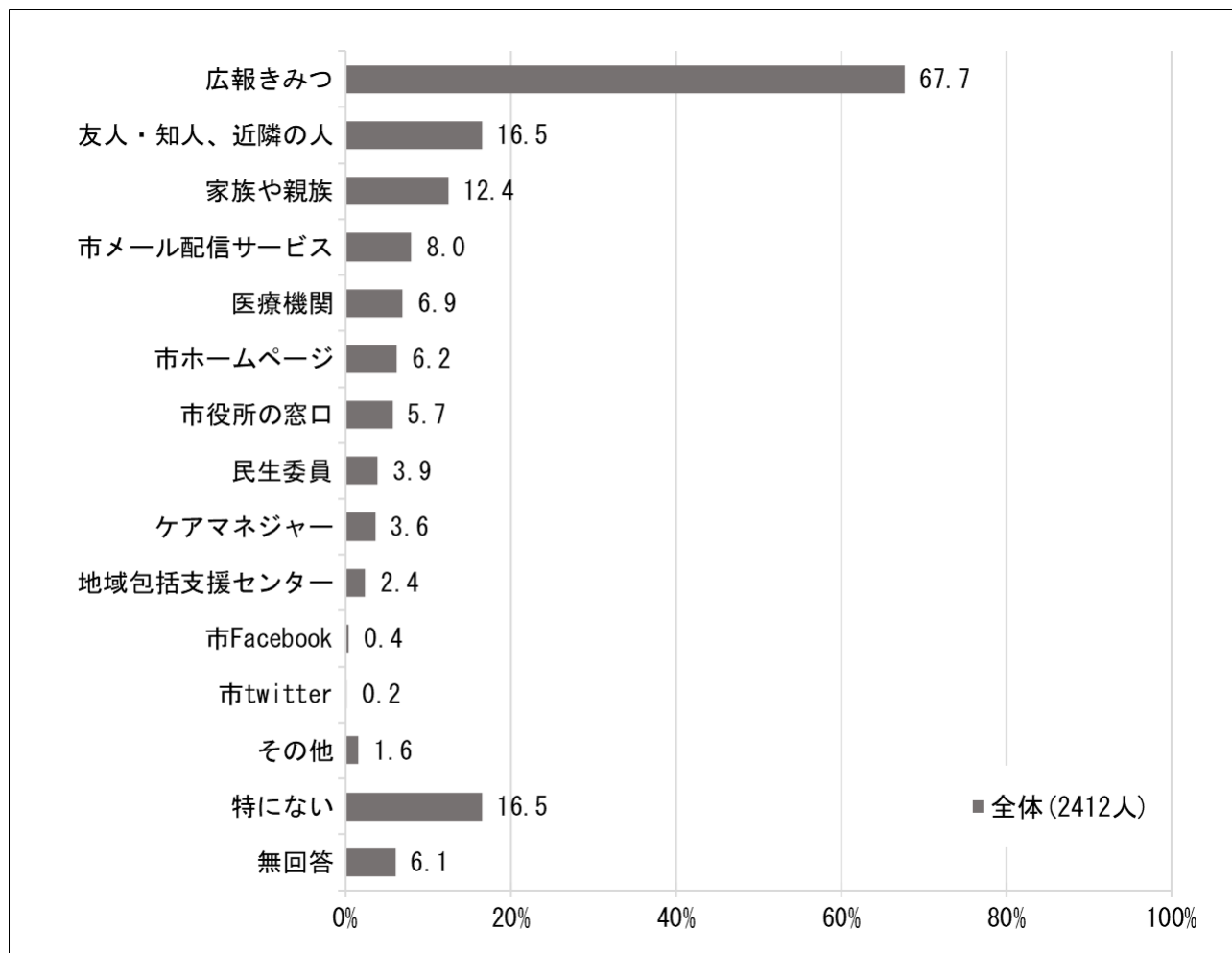
【住まいの地区別 現在治療中、または後遺症のある病気上位5つ】

順位	君津地区(628人)	小糸地区(462人)	清和地区(433人)	小櫃地区(434人)	上総地区(428人)
第1位	高血圧(41.7%)	高血圧(40.7%)	高血圧(43.0%)	高血圧(43.1%)	高血圧(45.3%)
第2位	目の病気 (18.9%)	目の病気 (20.3%)	目の病気 (18.9%)	目の病気 (21.9%)	糖尿病(17.8%)
第3位	糖尿病(16.7%)	糖尿病(13.9%)	糖尿病(14.5%)	糖尿病(13.6%)	目の病気 (17.5%)
第4位	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (14.2%)	高脂血症(脂質異常) (11.9%)	高脂血症(脂質異常) (13.6%)	高脂血症(脂質異常) (13.4%)	高脂血症(脂質異常) (11.9%)
第5位	高脂血症(脂質異常) (13.5%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (11.9%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (9.9%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (8.8%)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (8.6%)

問 8 保健・福祉サービスについて

問 8 (1) あなたは、市の保健・福祉サービスの情報をどこで入手していますか（いくつでも）

「広報きみつ」が 67.7%と最も高く、「友人・知人、近隣の人」が 16.5%、「家族や親族」が 12.4%、「市メール配信サービス」が 8.0%と続いています。また、「特にない」も 16.5%みられます。



問 8 (2) 次の保健・福祉サービスで、知っているサービスはどれですか (いくつでも)

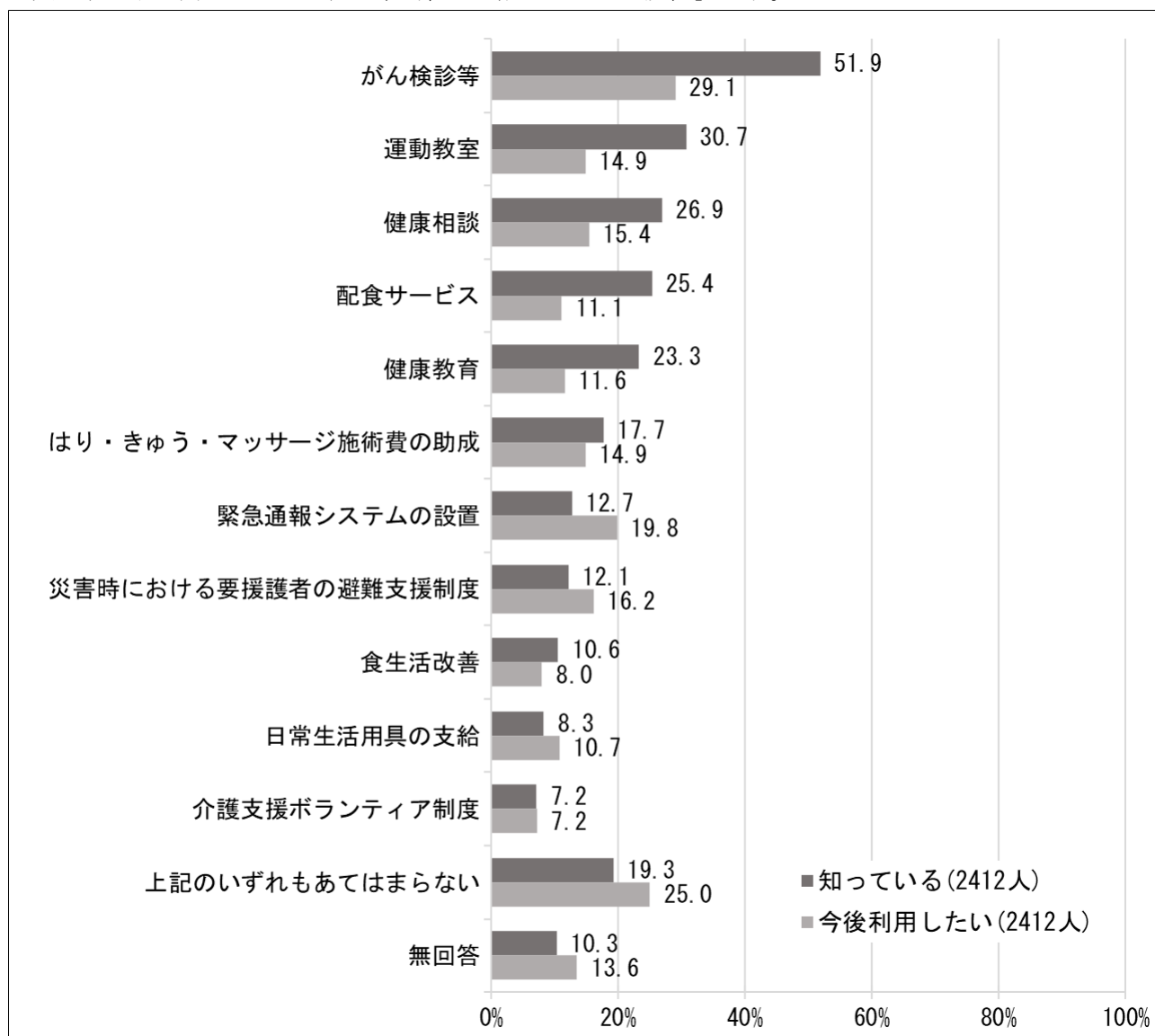
問 8 (3) 次の保健・福祉サービスで、今後利用したいサービスはどれですか (いくつでも)

「がん検診等」は<知っている>が 51.9%、<今後利用したい>が 29.1%と、他のサービスと比べて認知度・今後の利用希望率ともに高くなっています。

サービスの認知度は、次いで「運動教室」が 30.7%、「健康相談」が 26.9%となっています。一方、「日常生活用具の支給」(8.3%) や「介護支援ボランティア制度」(7.2%) は認知度が比較的低くなっています。また、「上記のいずれもあてはまらない (知らない)」も 19.3%みられます。

サービスの今後の利用希望率は、「がん検診等(29.1%)」に次いで「緊急通報システムの設置」が 19.8%、「災害時における要援護者の避難支援制度」が 16.2%、「健康相談」が 15.4%と高くなっています。

<今後利用したい>が<知っている>を 5 ポイント以上上回っているサービス (認知度が低いが高後の利用希望率が高いサービス) は、「緊急通報システムの設置」です。

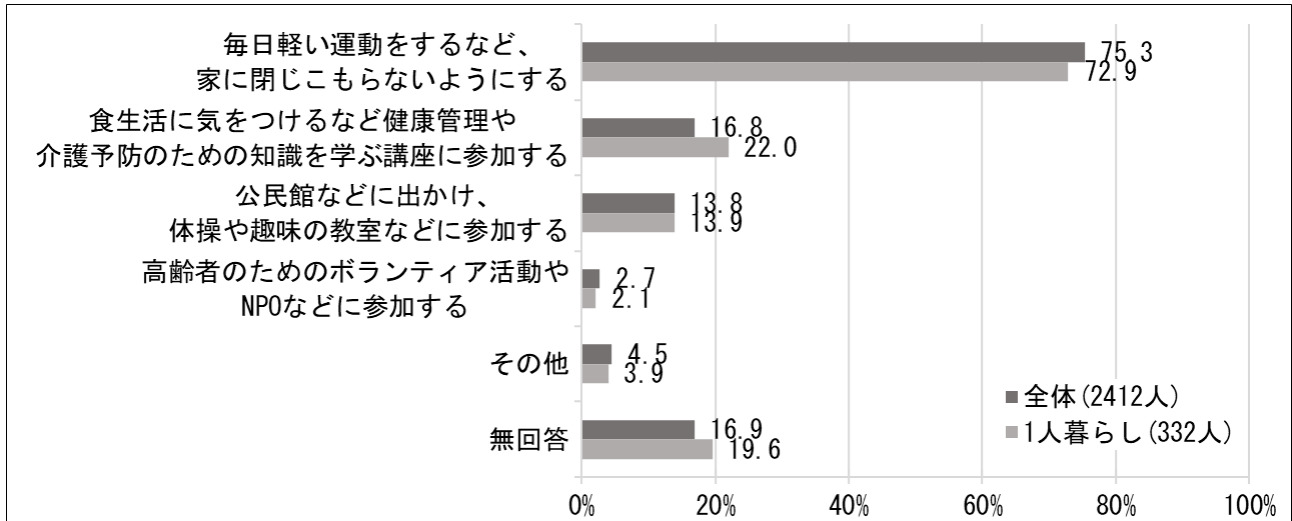


問9 生活上の不安や不便等について

問9（1）あなたがだん気をつけたり、心がけたりしていること、または取り組みたいと思うことに近いものは何ですか（○は2つまで）

「毎日軽い運動をするなど、家に閉じこもらないようにする」が75.3%と最も高く、「食生活に気をつけるなど健康管理や介護予防のための知識を学ぶ講座に参加する」が16.8%と続いています。

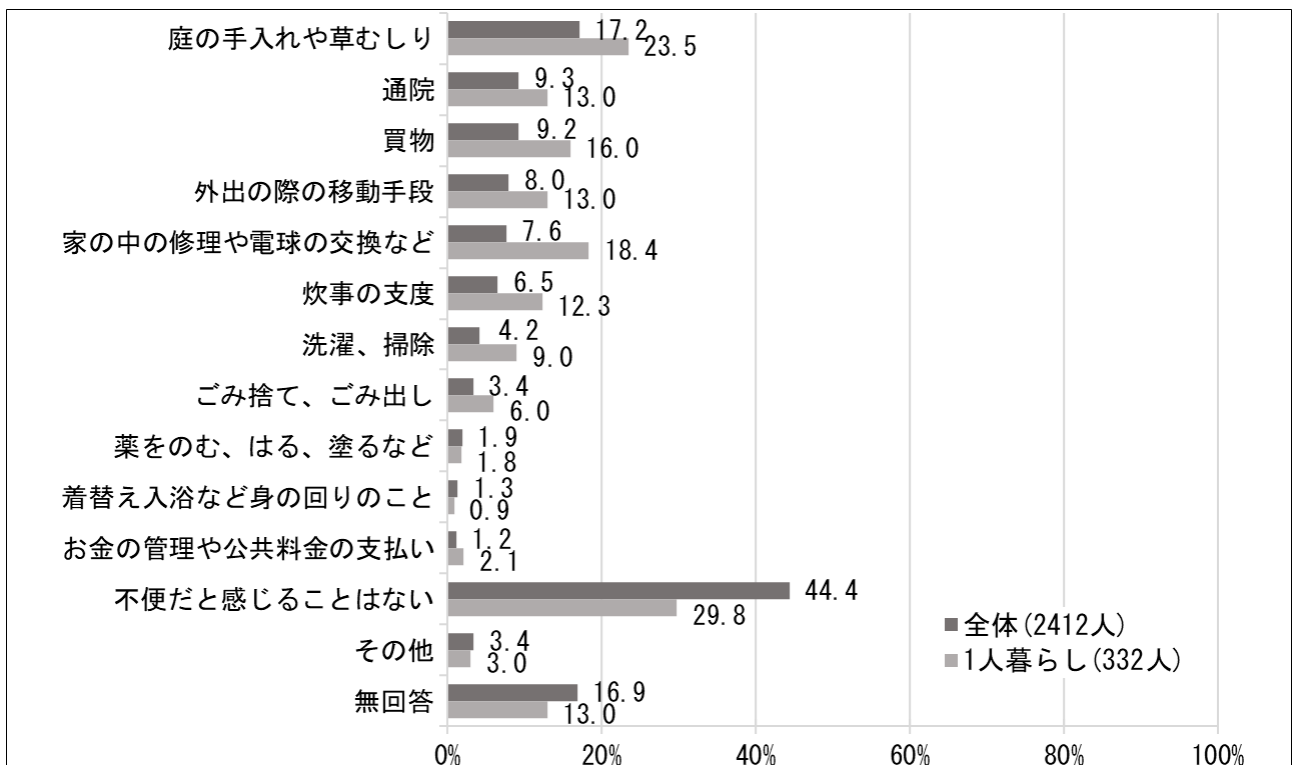
1人暮らしをみると、全体と比較して「食生活に気をつけるなど健康管理や介護予防のための知識を学ぶ講座に参加する」への関心が高くなっています。



問9（2）日常生活で特に不便に感じていることはどんなことですか（○は3つまで）

「不便だと感じることはない」が44.4%と最も高くなっています。不便に感じていることの中からは「庭の手入れや草むしり」が17.2%と最も高く、「通院」が9.3%、「買物」が9.2%と続いています。

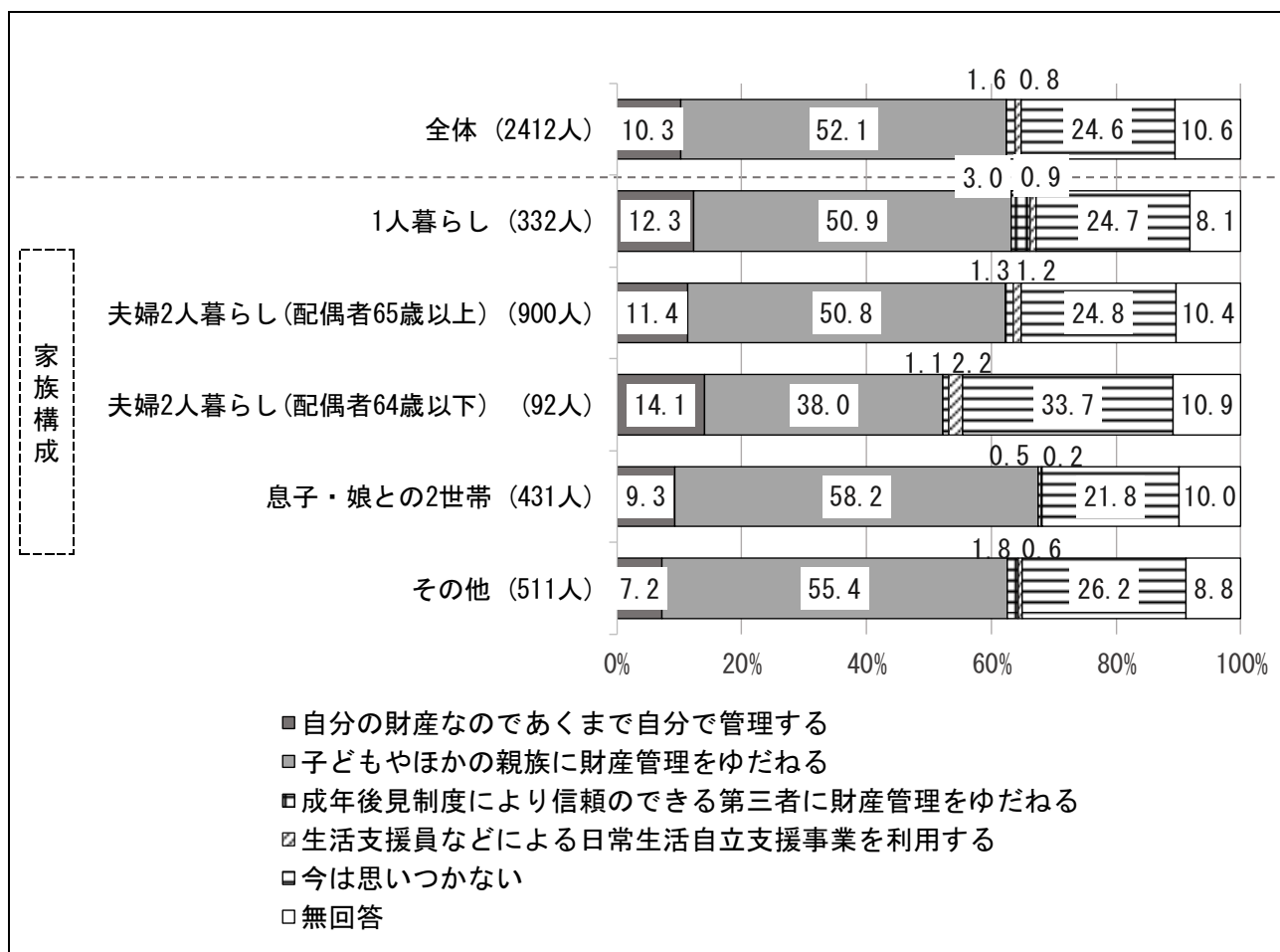
1人暮らしをみると、多くの項目で全体に比べ、不便に感じていることが多くなっています。



問9（3）あなたが認知症や高齢により財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、どのようにしたいと思いますか（○は1つ）

「子どもやほかの親族に財産管理をゆだねる」が52.1%と最も高く、「今は思いつかない」が24.6%、「自分の財産なのであくまで自分で管理する」が10.3%、「成年後見制度により信頼のできる第三者に財産管理をゆだねる」が1.6%と続いています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）において、他の属性と比較して「自分の財産なのであくまで自分で管理する」（14.1%）や「今は思いつかない」（33.7%）の割合が高い一方、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」（38.0%）の割合が低くなっています。



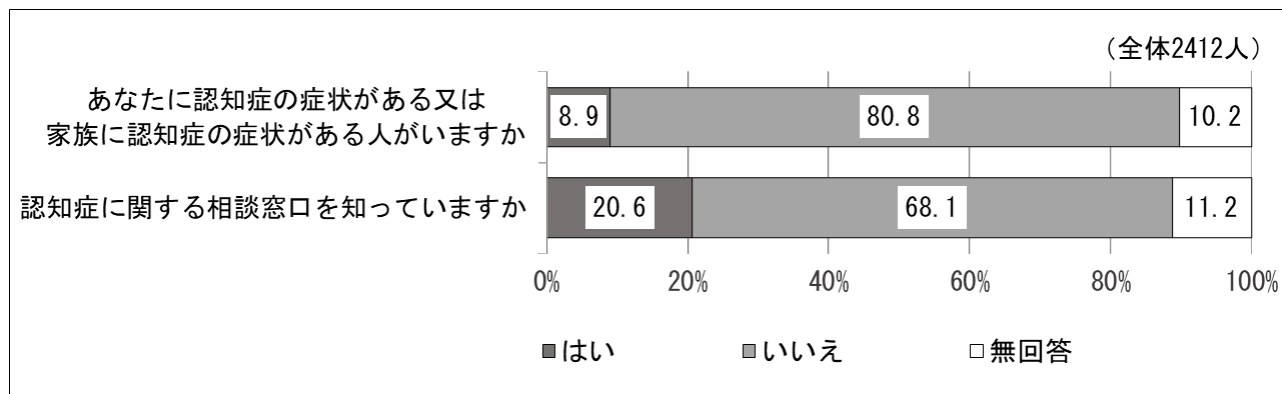
問9 (4) あなたに認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

問9 (5) 認知症に関する窓口を知っていますか

認知症の症状がある人や相談窓口とのかかわりを問う2つの設問のうち、<あなたに認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか>という設問では、「はい」が8.9%、「いいえ」が80.8%となっています。

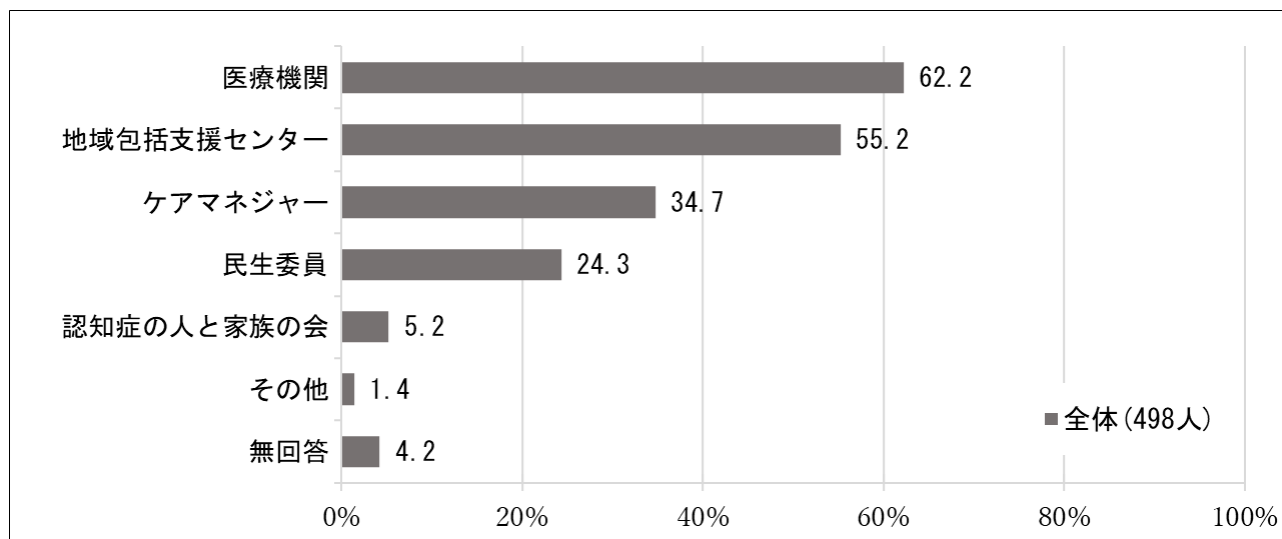
<認知症に関する相談窓口を知っていますか>という設問では、「はい」が20.6%。「いいえ」が68.1%となっています。

本人や家族に認知症の症状がなくても、認知症に関する相談窓口を知っている人が多いことがわかります。



問9 (5) ① 主にどこ(誰)が相談窓口と考えますか (〇は3つまで)

「医療機関」が62.2%と最も高く、「地域包括支援センター」が55.2%、「ケアマネジャー」が34.7%と続いています。



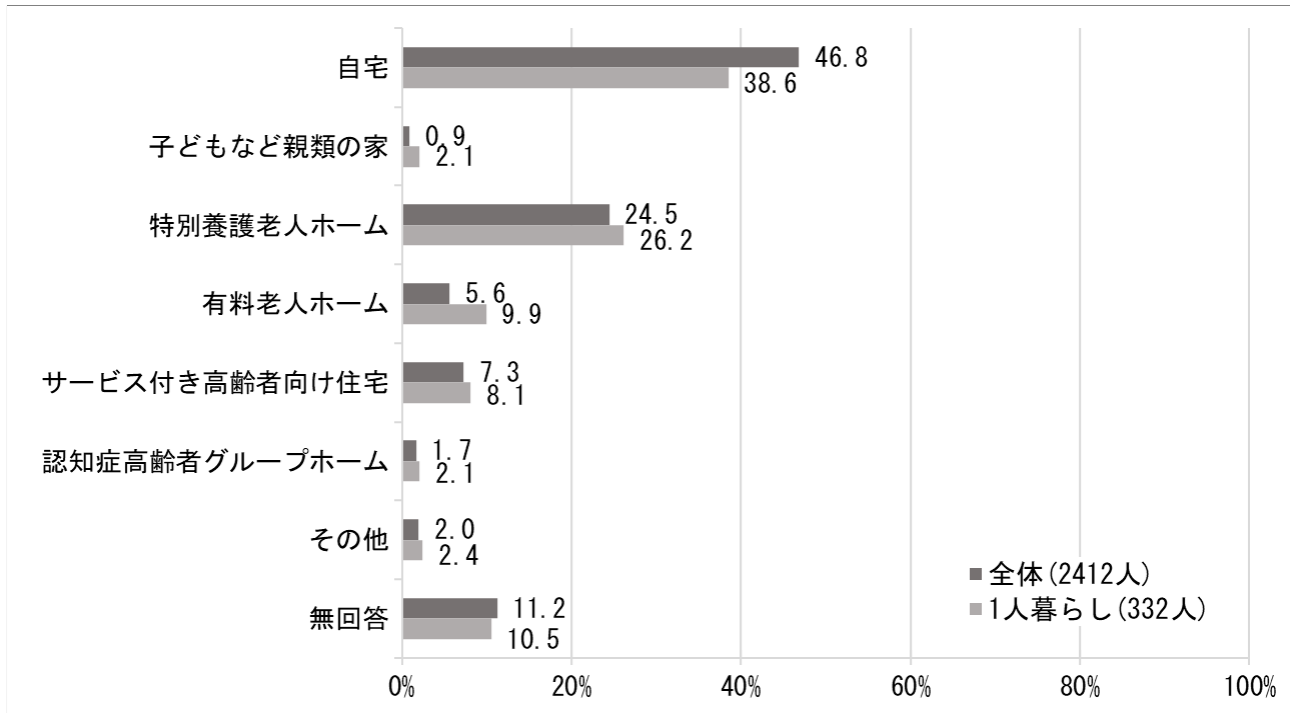
※問9 (5) で「はい (認知症の相談窓口を知っている)」と回答した方が対象

問 10 介護保険制度や今後の高齢者施策について

問 10 (1) もし、あなたが常に介護が必要になった場合、どこで介護を受けて生活したいですか (〇は1つ)

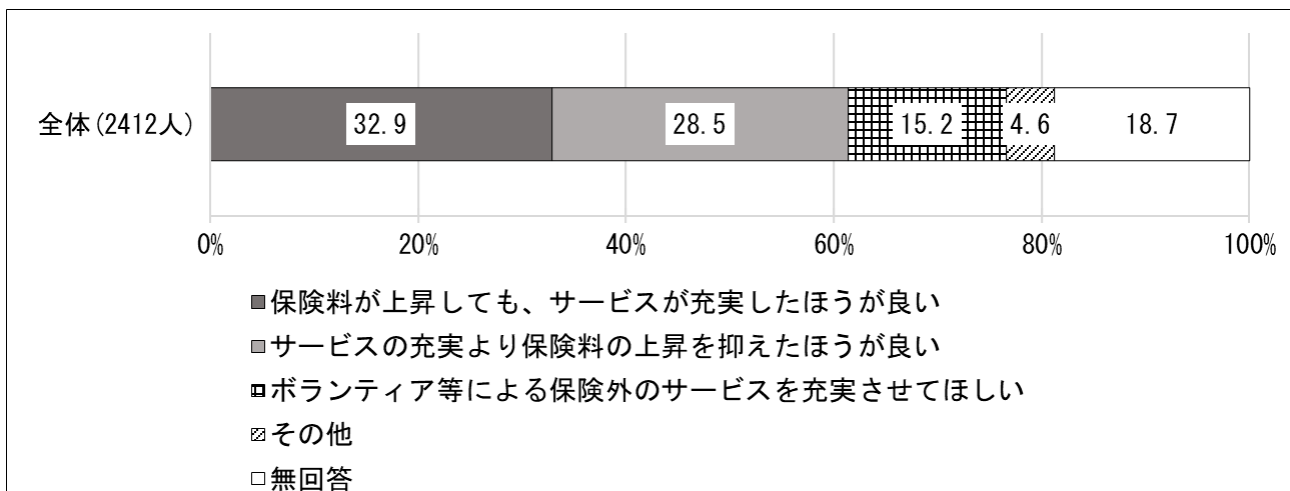
「自宅」が46.8%と最も高く、「特別養護老人ホーム」が24.5%、「サービス付き高齢者向け住宅」が7.3%、「有料老人ホーム」が5.6%と続いています。

1人暮らしをみると、「自宅」が38.6%と全体に比べて低く、「特別養護老人ホーム」「有料老人ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」「認知症高齢者グループホーム」がそれぞれ全体と比べて若干高くなっています。



問 10 (2) 介護保険料とサービス提供のあり方についてどのようにお考えですか

「保険料が上昇しても、サービスが充実したほうが良い」が32.9%と最も高く、「サービスの充実より保険料の上昇を抑えたほうが良い」が28.5%、「ボランティア等による保険外のサービスを充実させてほしい」が15.2%と続いています。

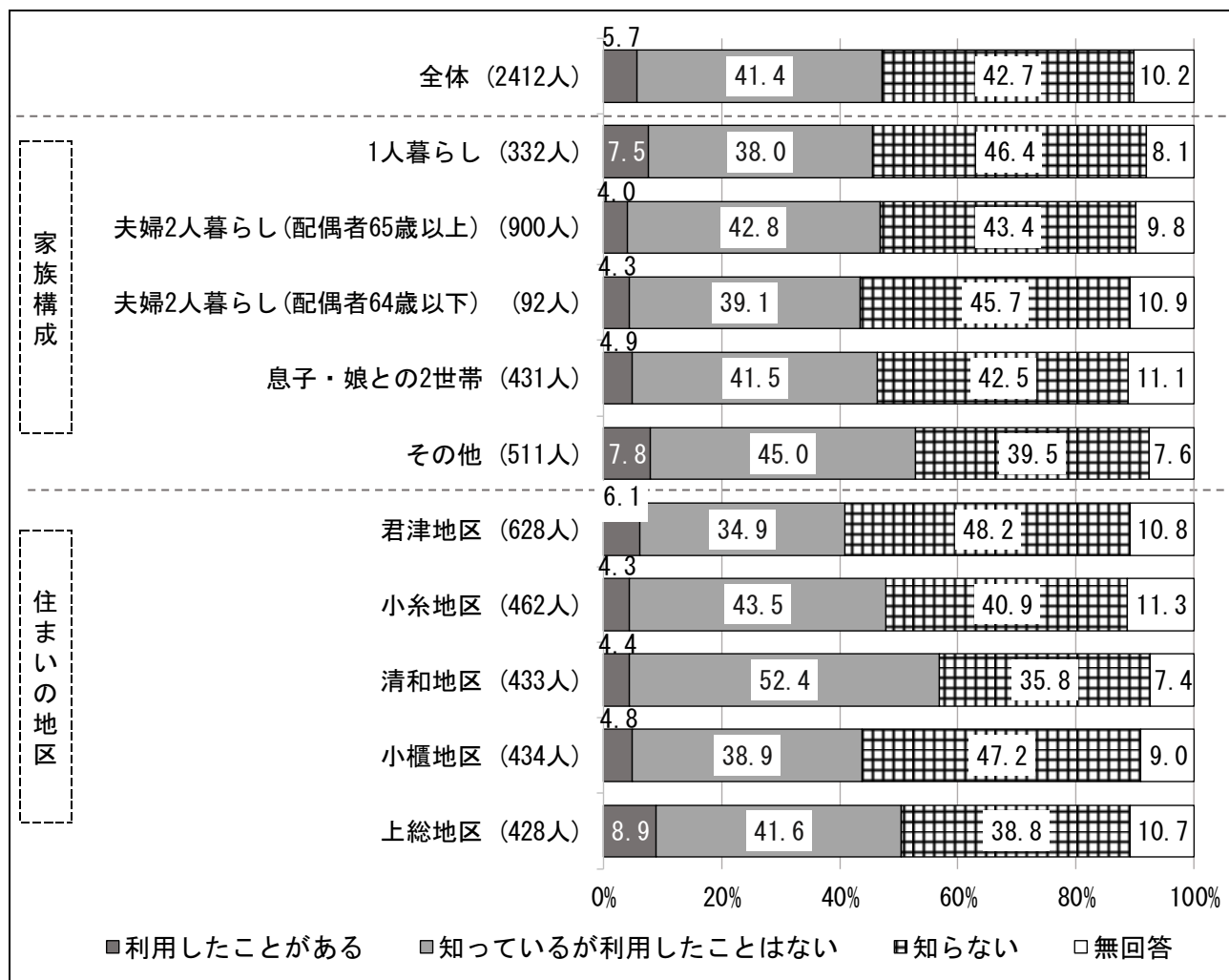


問 10 (3) あなたは、「地域包括支援室（センター）」を知っていますか

「利用したことがある」が 5.7%、「知っているが利用したことはない」が 41.4%、「知らない」が 42.7% となっています。

1人暮らしをみると、「知らない」が 46.4%と、他の属性と比較して若干高い割合となっています。

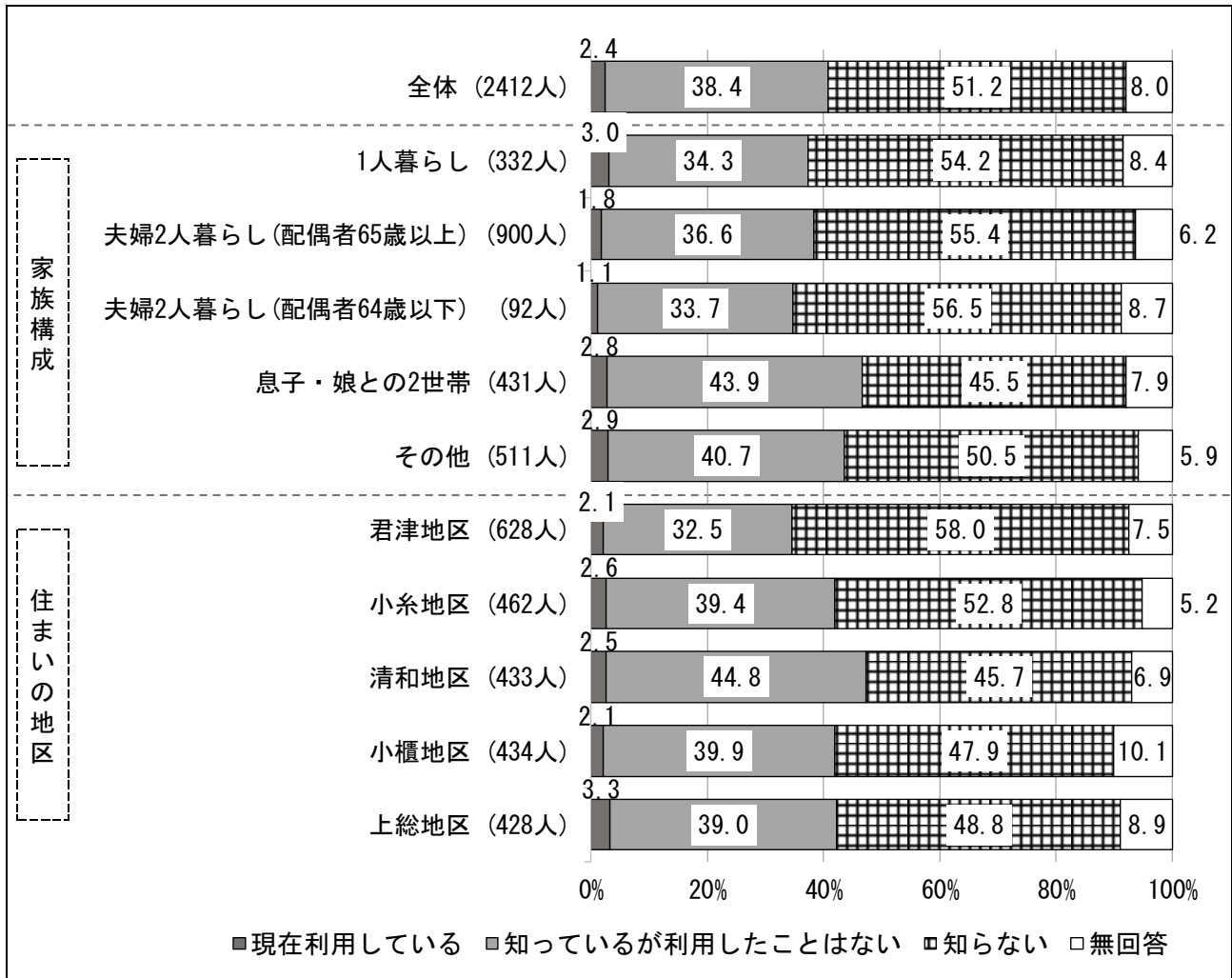
住まいの地区別では「知らない」は、君津地区が 48.2%、清和地区が 35.8%となっており、地区によって認知度に大きな差がみられます。



問 10 (4) あなたは、「介護予防・日常生活支援総合事業」を知っていますか

「利用したことがある」が 2.4%、「知っているが利用したことはない」が 38.4%、「知らない」が 51.2% となっています。

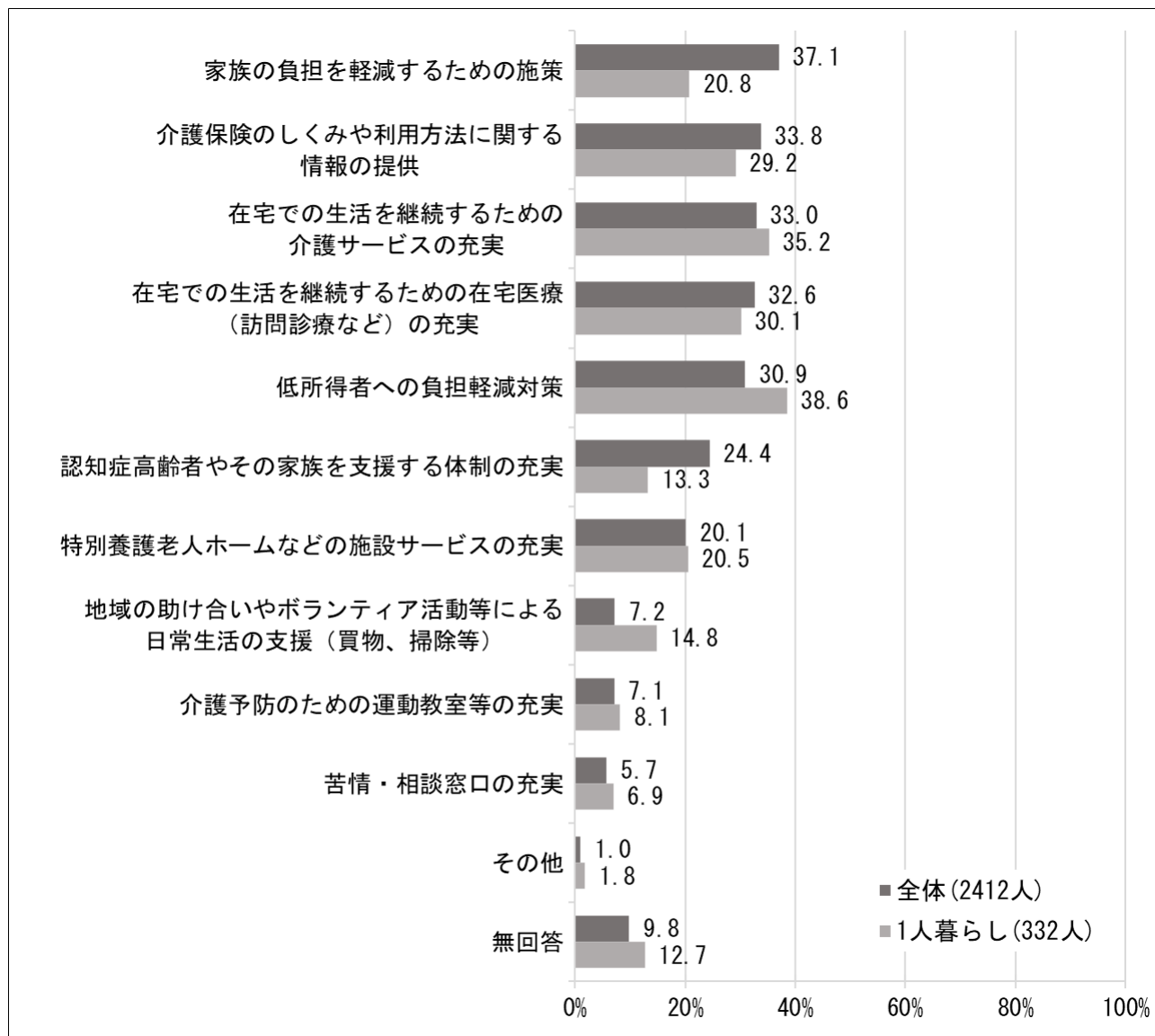
住まいの地区別では「知らない」は、君津地区が 58.0%、清和地区が 45.7%となっており、地区によって認知度に大きな差がみられます。



問 10 (5) 今後、力を入れてほしい施策はどのようなものですか (〇は3つまで)

「家族の負担を軽減するための施策」が37.1%と最も高く、「介護保険のしくみや利用方法に関する情報の提供」が33.8%、「在宅での生活を継続するための介護サービスの充実」が33.0%、「在宅での生活を継続するための在宅医療（訪問診療など）の充実」が32.6%と続いています。

1人暮らしの場合をみると、「低所得者への負担軽減対策」が38.6%と最も高く、「在宅での生活を継続するための介護サービスの充実」が35.2%、「在宅での生活を継続するための在宅医療（訪問診療など）の充実」が30.1%、「介護保険のしくみや利用方法に関する情報の提供」が29.2%と続いています。



問 10 (6) 介護保険制度や保健・福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください

「制度やサービス等に関する情報提供の充実」が 38 件と最も多く、「介護保険料の負担の大きさへの不安・不満」が 37 件、「交通手段（デマンドタクシー・コミュニティバスなど）の拡充」が 36 件、「行政・施設・サービス等に関するお礼・感謝」が 19 件と続いています。

意見要旨	件数
制度やサービス等に関する情報提供の充実	38
介護保険料の負担の大きさへの不安・不満	37
交通手段（デマンドタクシー・コミュニティバスなど）の拡充	36
行政・施設・サービス等に関するお礼・感謝	19
介護施設への円滑な入所・低所得でも入所できる施設等の整備	18
相談支援の充実	10
介護保険制度全般の改善	8
認知症・介護予防対策の充実	8
介護保険料の負担の仕組みの改善	7
サービスの公平性の向上	7
介護家族の負担軽減・支援	7
健康づくり・健康な人（介護保険を利用しない人）への支援の充実	6
介護認定への不満	6
サービス利用手続きの簡素化・迅速化	6
1人暮らしを支える制度の充実	6
アンケート内容・設問の改善、簡略化	6
税金の使用や行政活動に関しての広報	6
介護支援ボランティア制度の推進	5
車の運転ができなくなった時の不安	5
アンケートの内容に関する質問	5
アンケートのより良い活用・反映	5
個々人に対応した的確なサービスの提供	4
災害時の高齢者の安全確保	4
経済的な支援・低所得者対策の充実	4
身近な助け合いの仕組みづくり	4
仕組みの明確化	3
サービスの質の向上・低下防止	3
介護職の人材確保	3
身近な集いの場・おしゃべりの場の整備	3
高齢者の孤立の対策	3
高齢者のための総合的なまちづくり	3
市民の自立支援	3
高所得者の保険料増額	2

意見要旨	件数
民生委員の活動の充実	2
介護職の待遇改善	1
ボランティアに頼り過ぎない仕組みづくり	1
若年層に対する福祉の教育の実施	1
情報を得るためのスマートフォン講習会の実施	1
買い物支援の充実	1
高齢者が活躍できる環境づくり	1
市役所の対応に関する不満	1
自治会間の活動場所としての利用の拡大	1
生活保護受給者と非受給者の公平性	1
在宅医療・訪問診療の充実	1
毎日の対応が可能な診療所の充実	1
その他（身の上話、漠然とした不安など）	71
合計	371

※複数の要旨が読み取れる意見があったので、件数の合計と合計値は一致しない

複合リスクの判定

本調査において把握されたリスクに関して、各リスク同士の関連をクロス集計した結果（複合リスク）では、すべてのリスクにおいて「認知機能の低下に該当」が上位3つに入っています。

【各リスク別 複合リスク上位3つ】

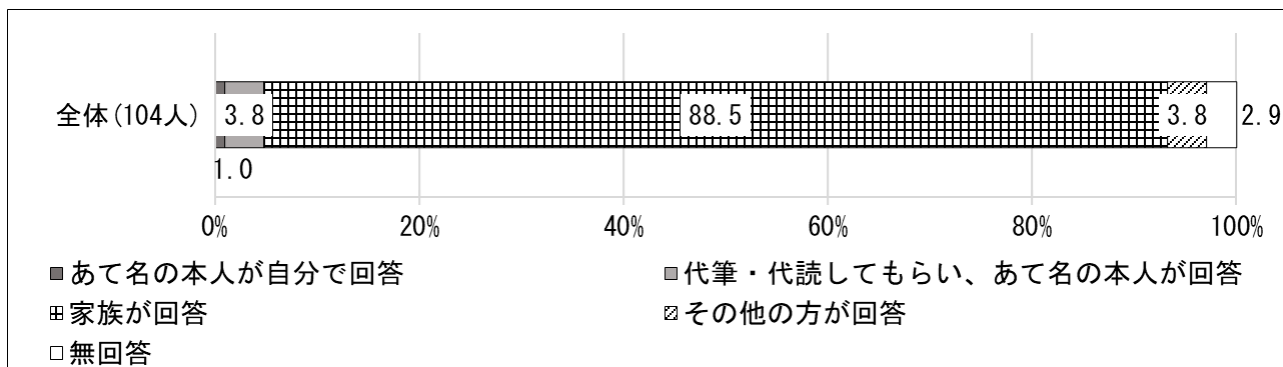
各リスクあり	複合リスク		
	第1位	第2位	第3位
運動機能の低下あり (320人)	転倒リスクあり(73.8%)	認知機能の低下に該当 (65.9%)	咀嚼機能の低下の疑いあり(56.3%)
転倒リスクあり (762人)	認知機能の低下に該当 (62.9%)	うつ傾向(50.8%)	咀嚼機能の低下の疑いあり(43.8%)
閉じこもり傾向あり (544人)	認知機能の低下に該当 (60.3%)	転倒リスクあり(46.0%)	うつ傾向(45.8%)
低栄養の疑いあり (135人)	認知機能の低下に該当 (51.9%)	うつ傾向(40.0%)	転倒リスクあり(34.8%)
低栄養状態 (18人)	咀嚼機能の低下の疑いあり(61.1%)	うつ傾向(50.0%)	転倒リスクあり、認知機能の低下に該当(44.4%)
咀嚼機能の低下の疑いあり (712人)	認知機能の低下に該当 (65.3%)	口腔機能の低下に該当 (57.6%)	うつ傾向(51.8%)
口腔機能の低下に該当 (516人)	咀嚼機能の低下の疑いあり(79.5%)	認知機能の低下に該当 (71.3%)	うつ傾向(54.7%)
認知機能の低下に該当 (1153人)	うつ傾向(46.7%)	転倒リスクあり(41.5%)	咀嚼機能の低下の疑いあり(40.3%)
IADLやや低い(4点) (201人)	認知機能の低下に該当 (57.7%)	咀嚼機能の低下の疑いあり(40.8%)	転倒リスクあり(37.3%)
IADL低い(0~3点) (124人)	認知機能の低下に該当(66.1%) 咀嚼機能の低下の疑いあり(66.1%)		閉じこもり傾向あり (64.5%)
うつ傾向 (875人)	認知機能の低下に該当 (61.5%)	転倒リスクあり(44.2%)	咀嚼機能の低下の疑いあり(42.2%)
やせ (135人)	認知機能の低下に該当 (51.9%)	うつ傾向(40.0%)	転倒リスクあり(34.8%)
肥満 (521人)	認知機能の低下に該当 (48.8%)	うつ傾向(34.9%)	転倒リスクあり(34.0%)

(3) 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査

問1 この調査の回答者について

問1 この調査に回答される方はどなたですか。(〇はひとつ)

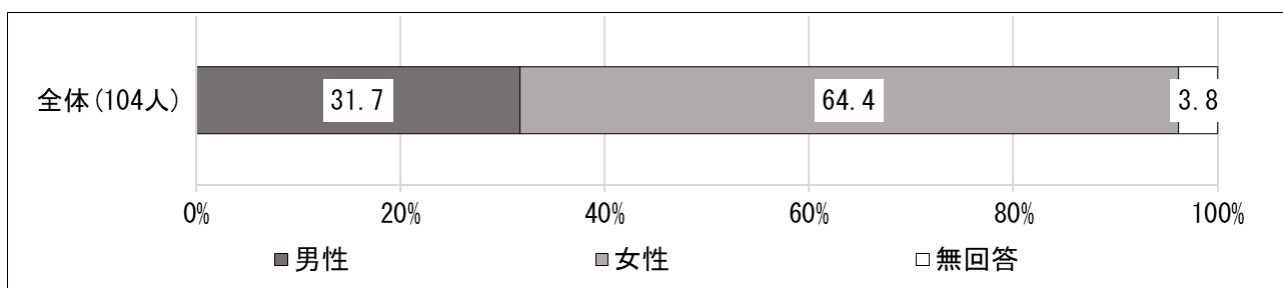
「家族が回答」が88.5%と最も高く、「代筆・代読してもらい、あて名の本人が回答」が3.8%、「あて名の本人が自分で回答」が1.0%と続いています。



問2 あて名のご本人について

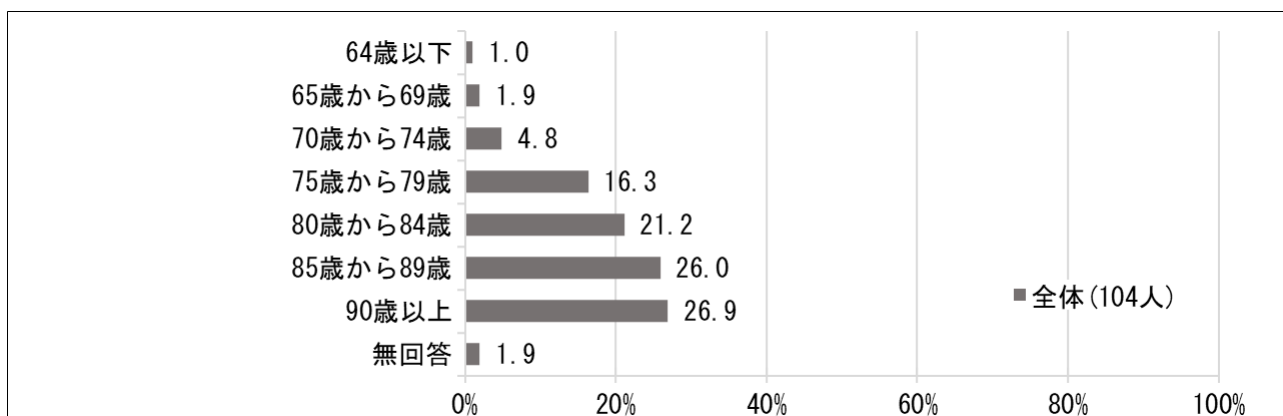
問2-1 ご本人（特別養護老人ホームへの入所を希望されている方）の性別をお答えください。(〇はひとつ)

「男性」が31.7%、「女性」が64.4%と、「女性」の比率が高くなっています。



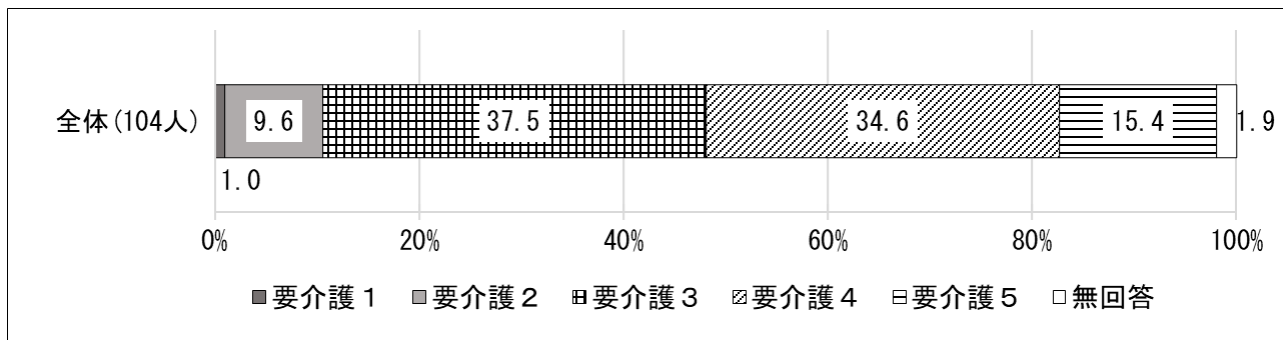
問2-2 ご本人の年齢をお答えください。(〇はひとつ)

「90歳以上」が26.9%と最も高く、「85歳から89歳」が26.0%、「80歳から84歳」が21.2%、「75歳から79歳」が16.3%と続いております。75歳以上の後期高齢者が9割以上を占めています。



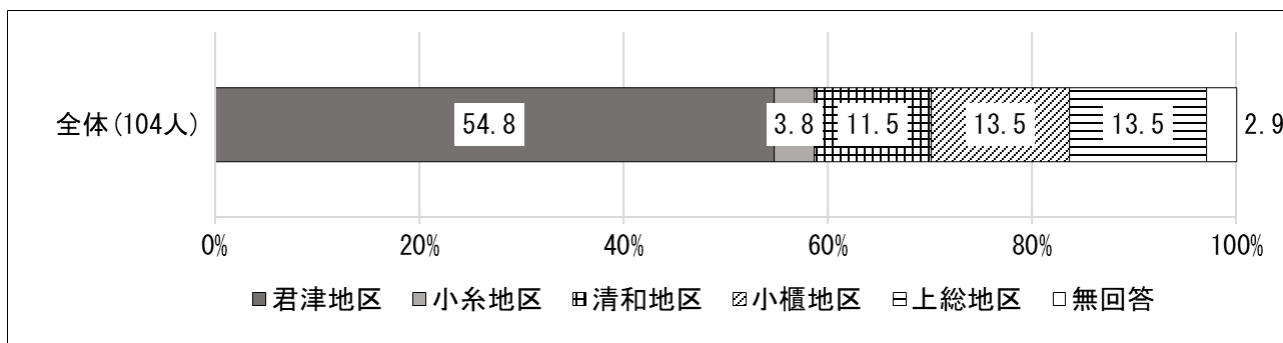
問 2-3 ご本人の要介護度はどれですか。(〇はひとつ)

「要介護 3」が 37.5%と最も高く、「要介護 4」が 34.6%、「要介護 5」が 15.4%、「要介護 2」が 9.6%と続いています。



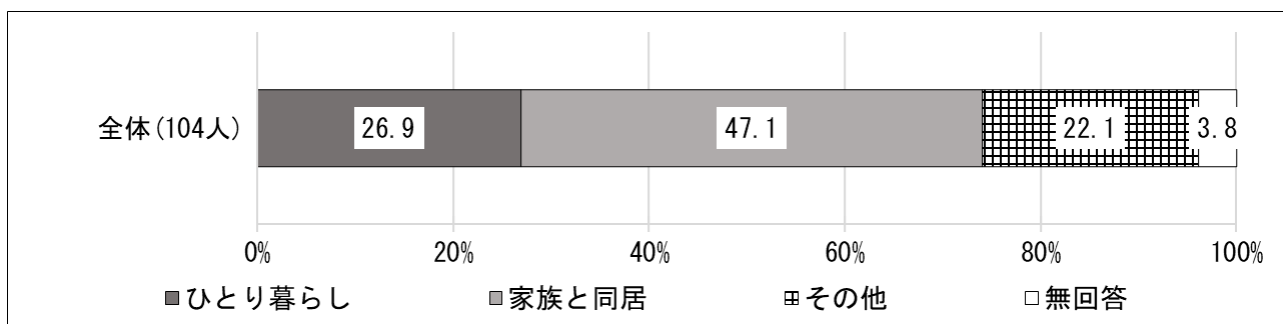
問 2-4 ご本人のお住まいの地区について、お答えください。(〇はひとつ)

「君津地区」が 54.8%と最も高く、「小櫃地区」と「上総地区」がそれぞれ 13.5%、「清和地区」が 11.5%と続いています。



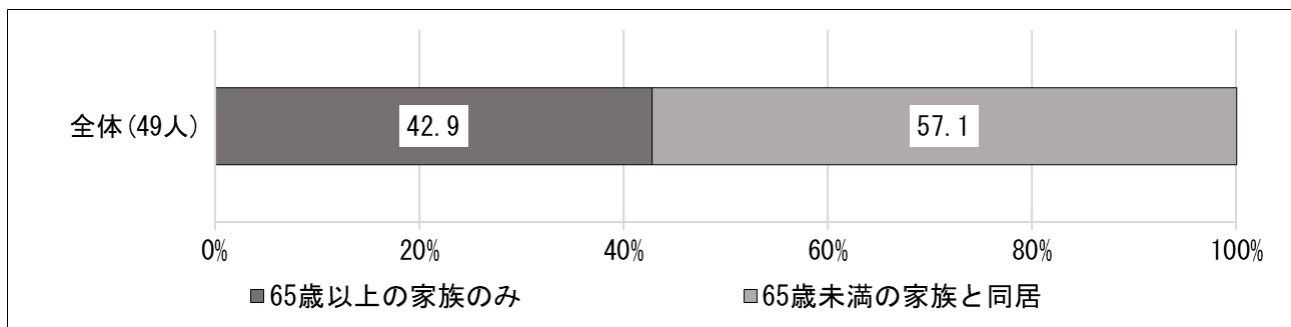
問 2-5 ご本人の現在の世帯構成はどれですか。(〇はひとつ)

「家族と同居」が 47.1%と最も高く、「ひとり暮らし」が 26.9%、「その他」が 22.1%と続いています。



問 2-5-1 同居されているご家族について、お答えください。(〇はひとつ)

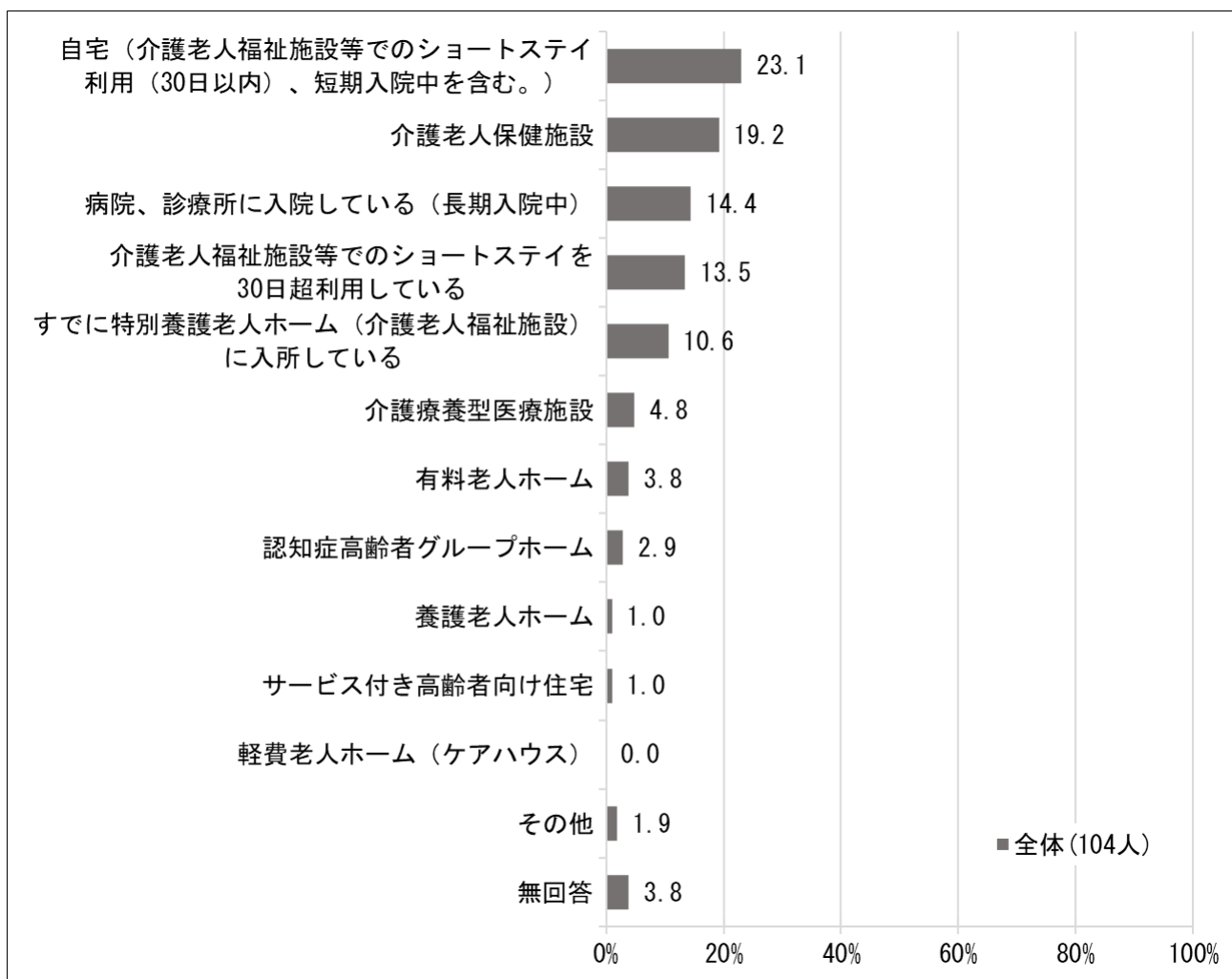
「65歳以上の家族のみ」が42.9%、「65歳未満の家族と同居」が57.1%となっています。



※問 2-5 で「家族と同居」と回答した方が対象

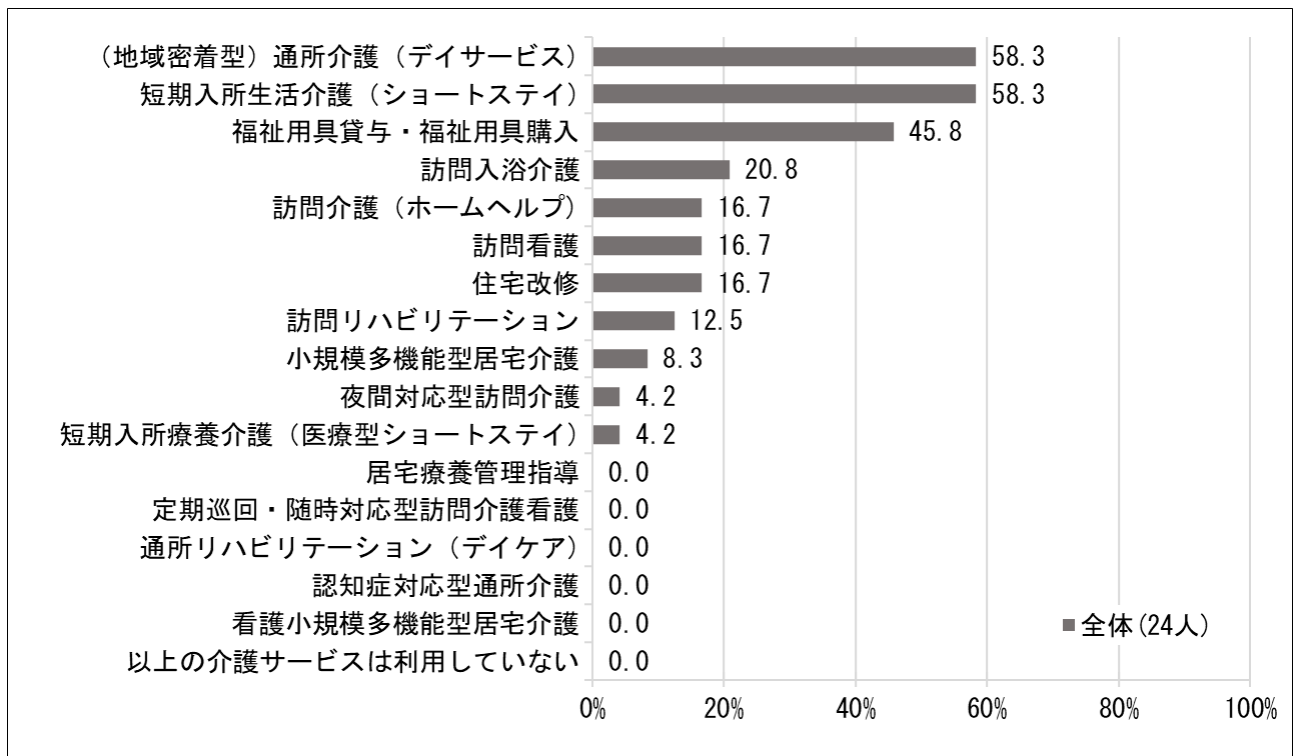
問 2-6 ご本人の現在のお住まいについて、お答えください。(〇はひとつ)

「自宅（介護老人福祉施設等でのショートステイ利用（30日以内）、短期入院中を含む。）」が23.1%と最も高く、「介護老人保健施設」が19.2%、「病院、診療所に入院している（長期入院中）」が14.4%、「介護老人福祉施設等でのショートステイを30日超利用している」が13.5%と続いています。



問 2-6-1 自宅では、どのような介護サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

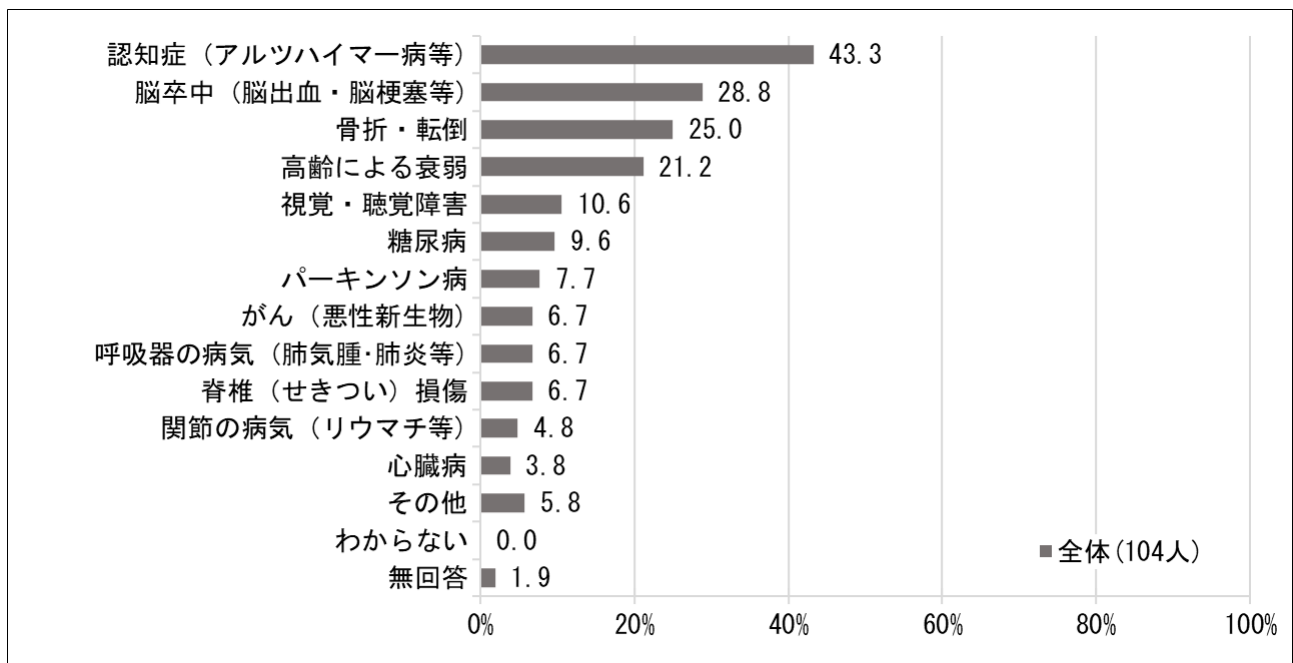
「(地域密着型)通所介護(デイサービス)」と「短期入所生活介護(ショートステイ)」がそれぞれ58.3%と最も高く、「福祉用具貸与・福祉用具購入」が45.8%、「訪問入浴介護」が20.8%と続いています。



※問2-6で「自宅」と回答した方が対象

問 2-7 ご本人が介護・介助が必要になった主な原因について、お答えください。(〇はいくつでも)

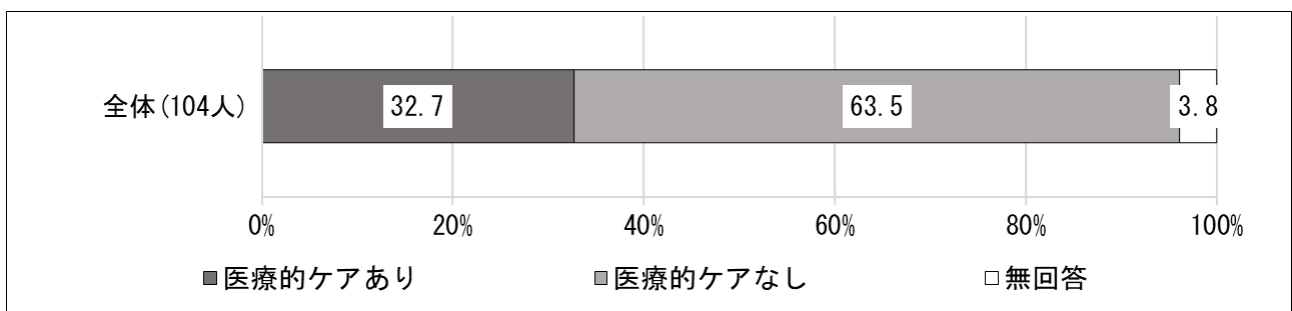
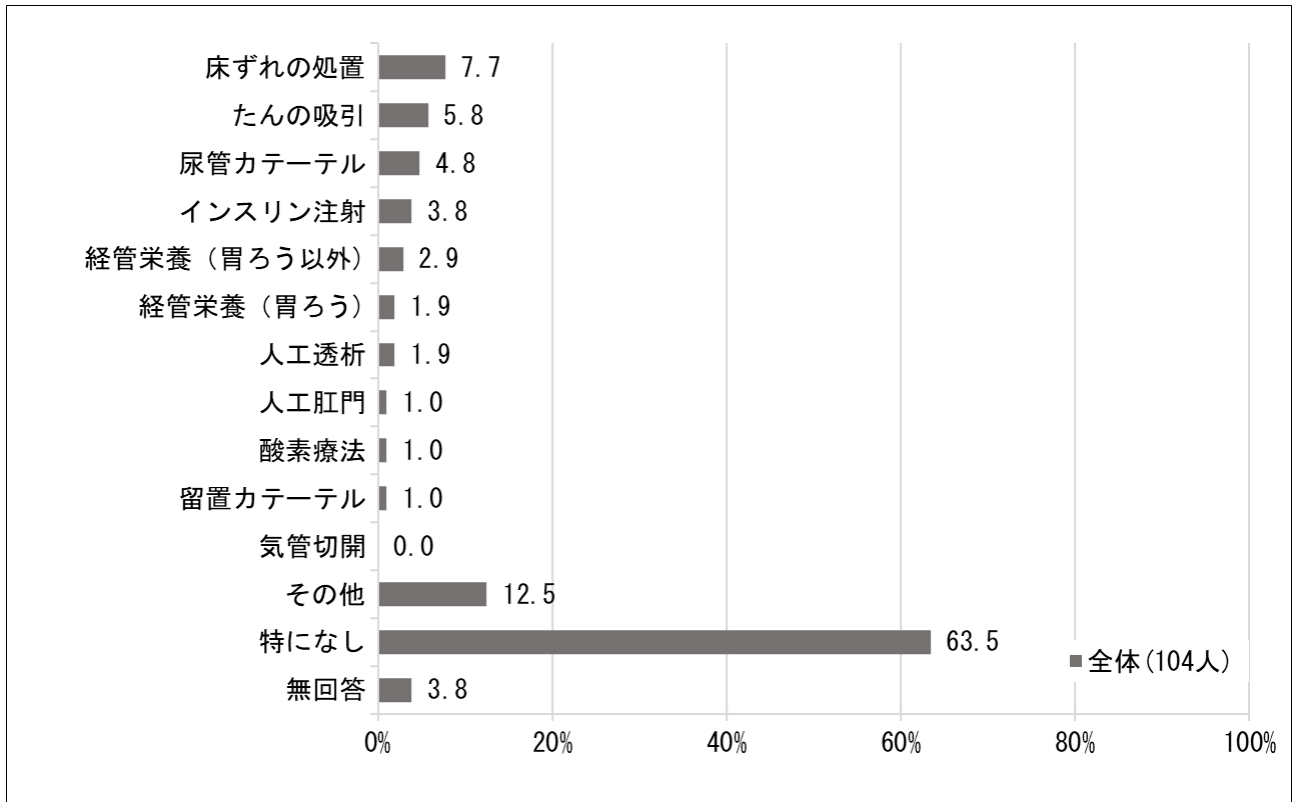
「認知症(アルツハイマー病等)」が43.3%と最も高く、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が28.8%、「骨折・転倒」が25.0%、「高齢による衰弱」が21.2%と続いています。



問2-8 ご本人は、次のいずれかの医療や処置を日常的に受けていますか。(〇はいくつでも)

医療ケアの有無(下図)で見ると、「医療ケアあり」が32.7%、「医療ケアなし」が63.5%となっています。

具体的な医療ケア(上図)のなかでは、「床ずれの処置」が最も高く7.7%、「たんの吸引」が5.8%、「尿管カテーテル」が4.8%と続いています。



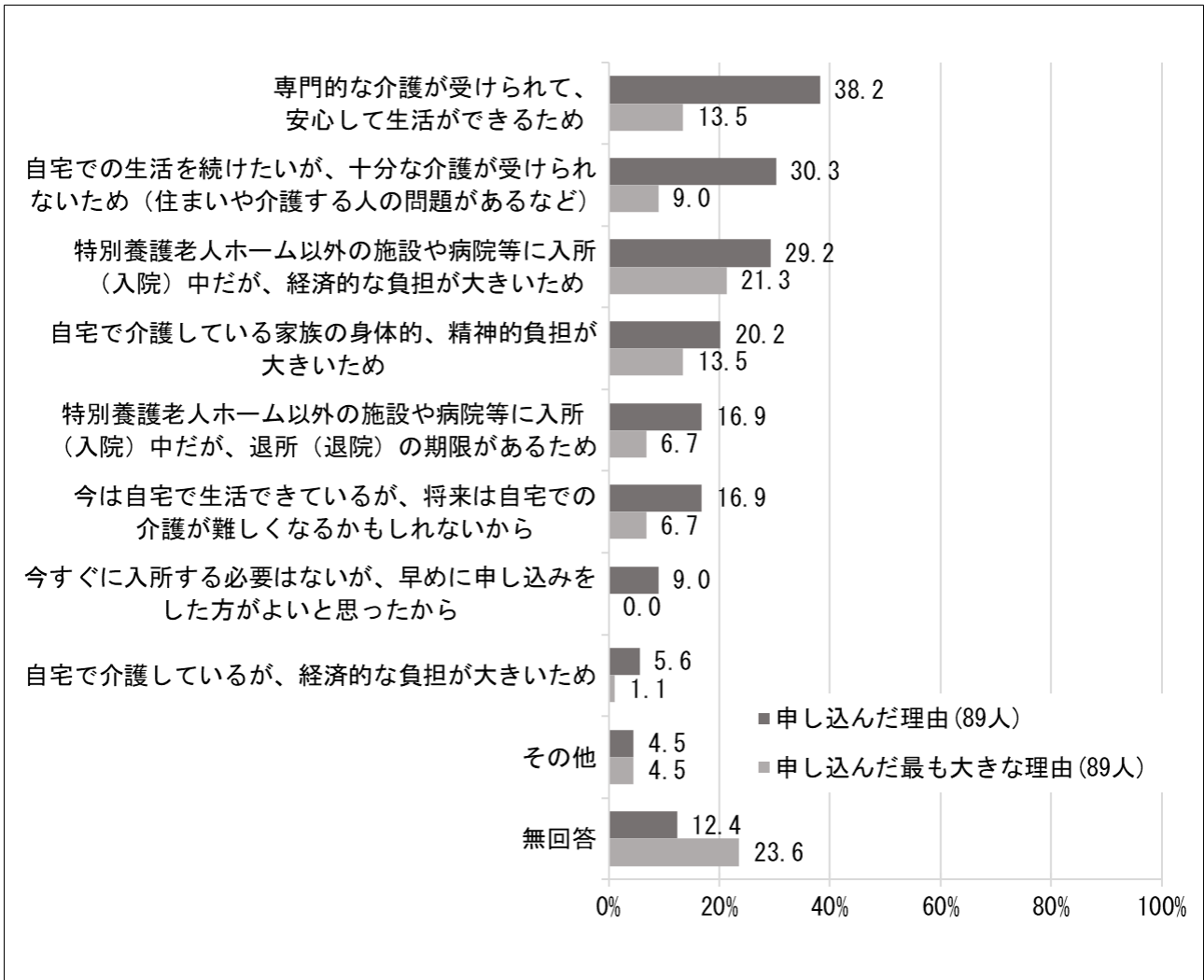
問3

特別養護老人ホームへの入所希望について（現在、特別養護老人ホームへ入所していない方への設問）

問3-1 ご本人が特別養護老人ホームへ入所を申し込んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○をして、最も大きな理由1つに◎）

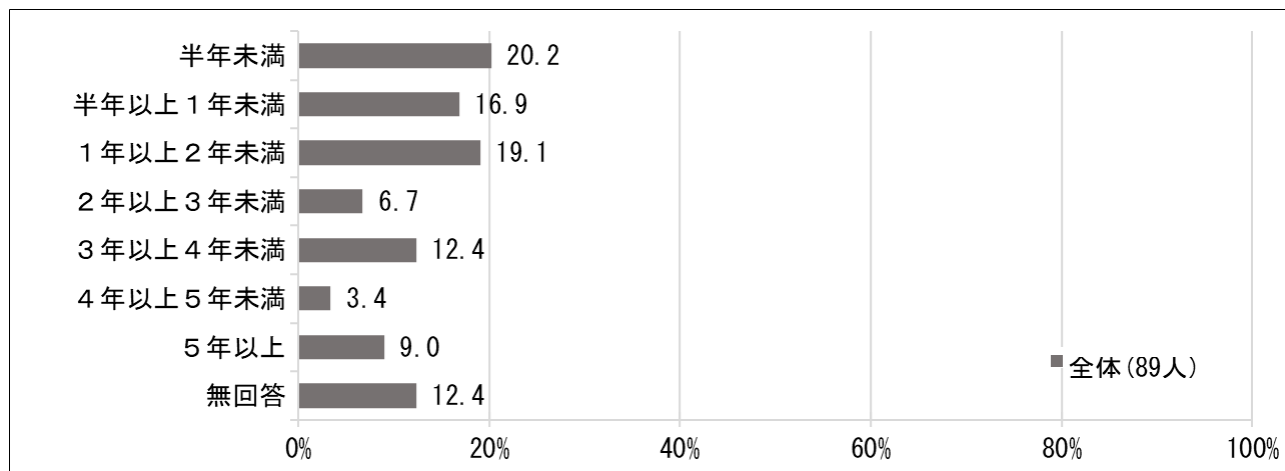
申し込んだ理由は、「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」が38.2%と最も高く、「自宅での生活を続けたいが、十分な介護が受けられないため（住まいや介護する人の問題があるなど）」が30.3%、「特別養護老人ホーム以外の施設や病院等に入所（入院）中だが、経済的な負担が大きいため」が29.2%、「自宅で介護している家族の身体的、精神的負担が大きいため」が20.2%と続いています。

申し込んだ最も大きな理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設や病院等に入所（入院）中だが、経済的な負担が大きいため」が21.3%と最も高く、「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」と「自宅で介護している家族の身体的、精神的負担が大きいため」がそれぞれ13.5%、「自宅での生活を続けたいが、十分な介護が受けられないため（住まいや介護する人の問題があるなど）」が9.0%と続いています。



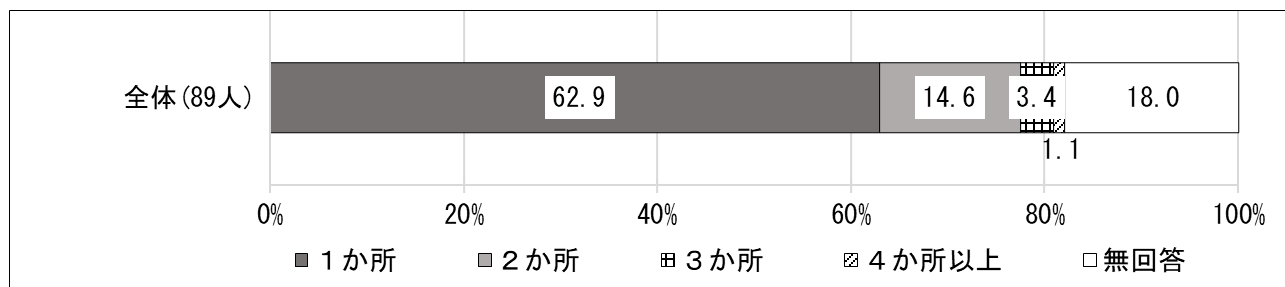
問3-2 特別養護老人ホームに最初に入所の申し込みをしたのはいつですか。(〇はひとつ)

「半年未満」が20.2%と最も高く、「1年以上2年未満」が19.1%、「半年以上1年未満」が16.9%、「3年以上4年未満」が12.4%と続いています。



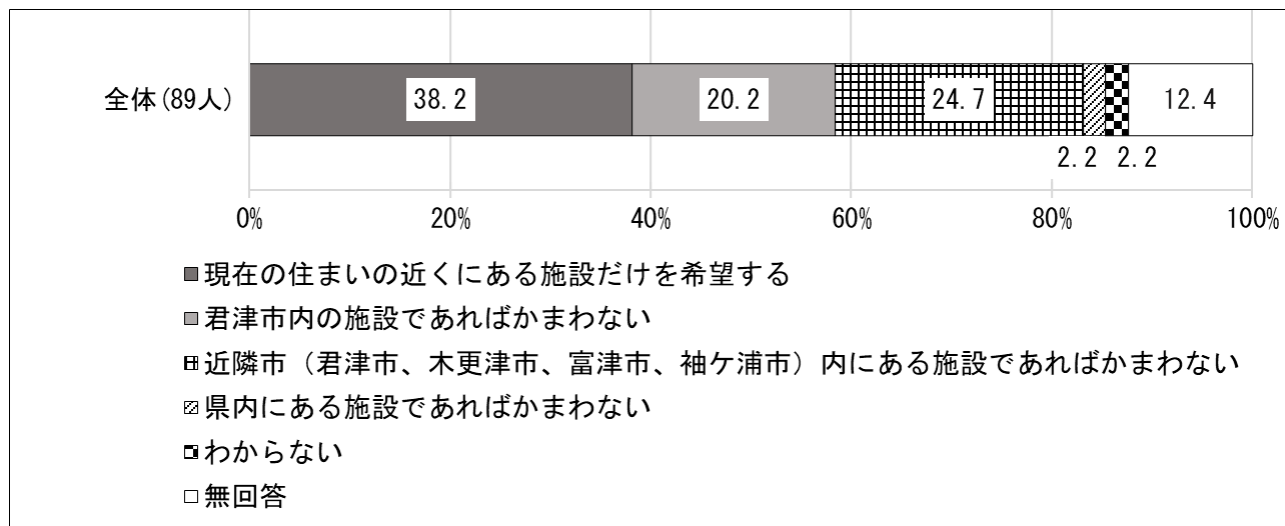
問3-3 入所の申し込みをしている特別養護老人ホームは何か所ありますか。(〇はひとつ)

「1か所」が62.9%と最も高く、「2か所」が14.6%、「3か所」が3.4%、「4か所以上」が1.1%と続いています。



問3-4 どちらの地区の特別養護老人ホームへの入所を希望していますか。(〇はひとつ)

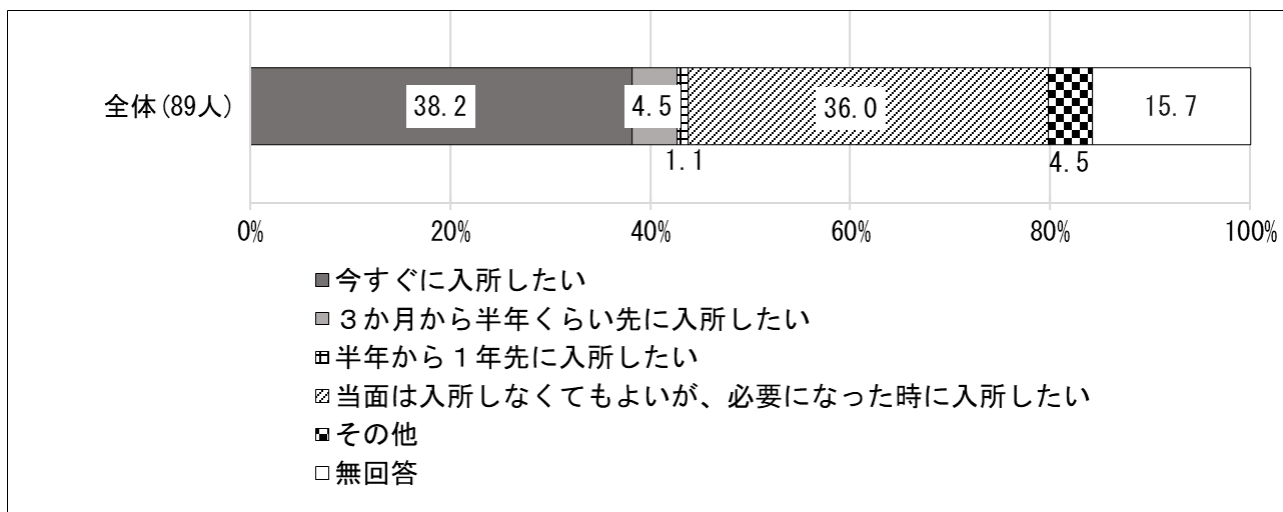
「現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が38.2%と最も高く、「近隣市(君津市、木更津市、富津市、袖ヶ浦市)内にある施設であればかまわない」が24.7%、「君津市内の施設であればかまわない」が20.2%と続いています。



※「県外にある施設でもかまわない」との回答はみられない

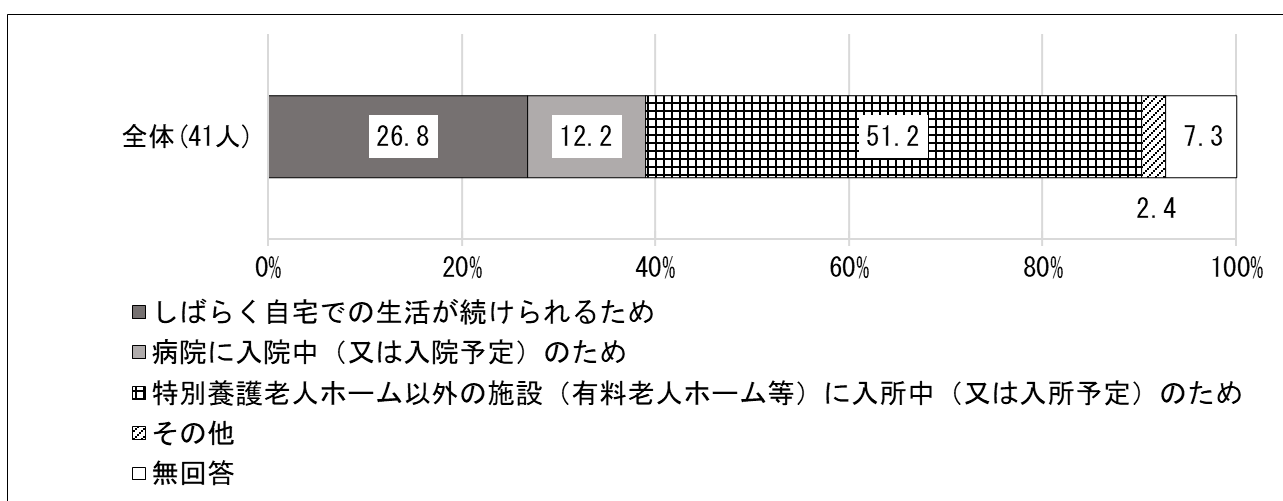
問3-5 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(〇はひとつ)

「今すぐに入所したい」が38.2%と最も高く、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が36.0%、「3か月から半年くらい先に入所したい」が4.5%と続いています。



問3-5-1 入所したい時期の回答理由(〇はひとつ)

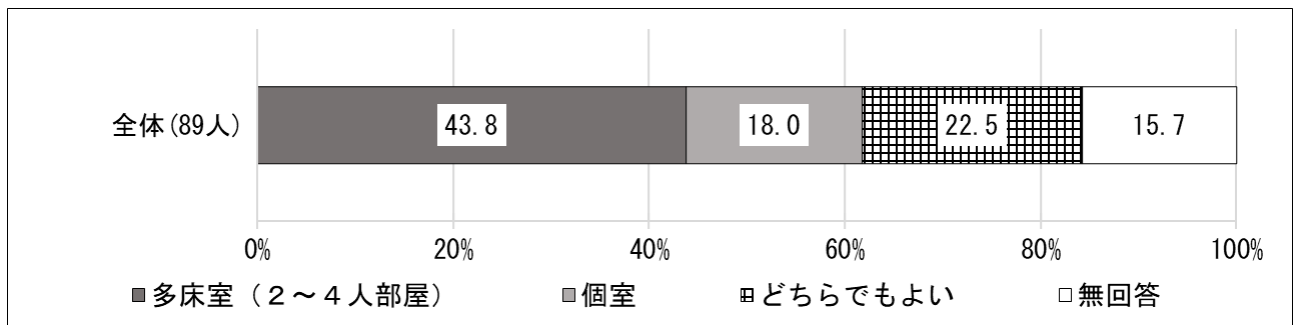
「特別養護老人ホーム以外の施設(有料老人ホーム等)に入居中(又は入所予定)のため」が51.2%と最も高く、「しばらく自宅での生活が続けられるため」が26.8%、「病院に入院中(又は入院予定)のため」が12.2%と続いています。



※問3-5で「今すぐに入所したい」以外の選択肢を回答した方が対象

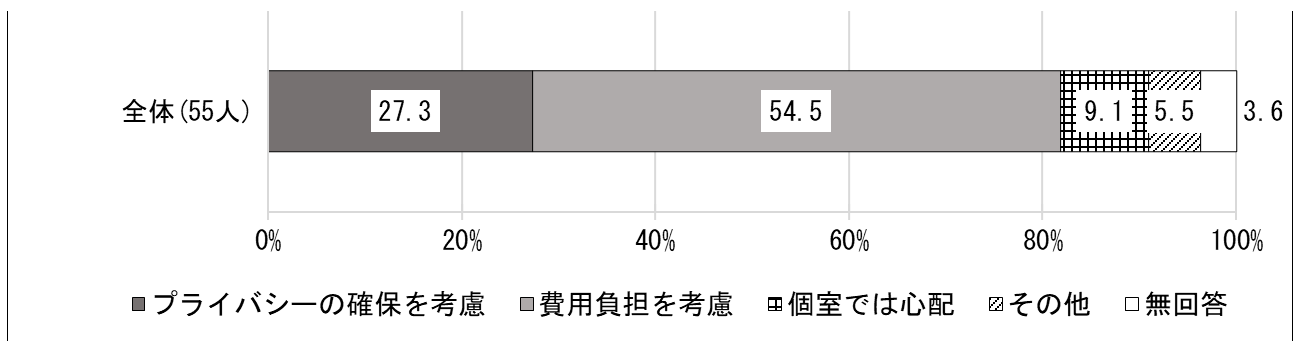
問3-6 入所を希望する居室のタイプは、次のうちどれですか。(〇はひとつ)

「多床室(2~4人部屋)」が43.8%と最も高く、「どちらでもよい」が22.5%、「個室」が18.0%と続いています。



問3-6-1 入所を希望する居室のタイプの回答の理由(〇はひとつ)

「費用負担を考慮」が54.5%と最も高く、「プライバシーの確保を考慮」が27.3%、「個室では心配」が9.1%と続いています。

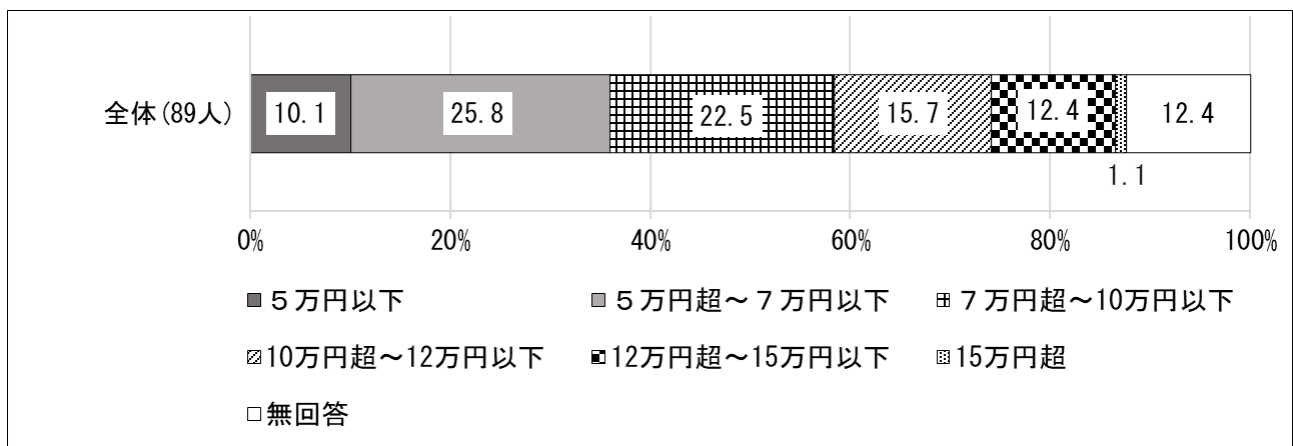


※「入所希望施設がそのタイプ」との回答はみられない

※問3-6で「多床室(2~4人部屋)」「個室」と回答した方が対象

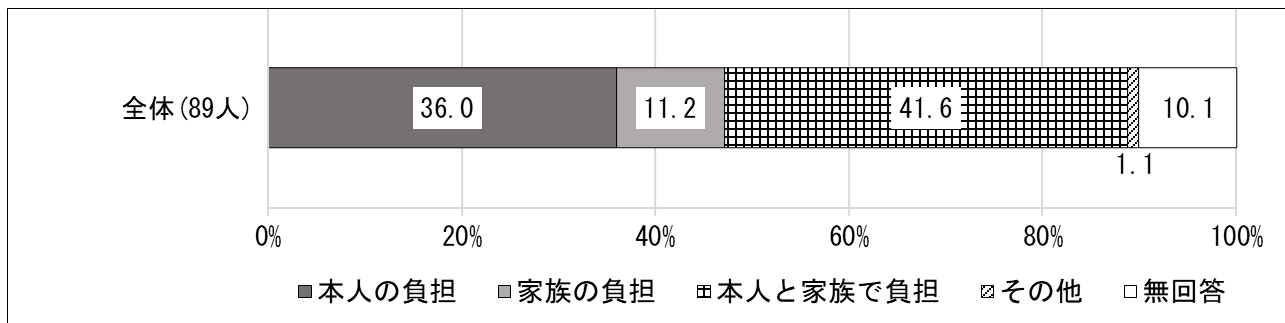
問3-7 入所する場合、1ヶ月あたりの費用として負担が可能な額はどのくらいですか。(〇はひとつ)

「5万円超~7万円以下」が25.8%と最も高く、「7万円超~10万円以下」が22.5%、「10万円超~12万円以下」が15.7%、「12万円超~15万円以下」が12.4%と続いています。



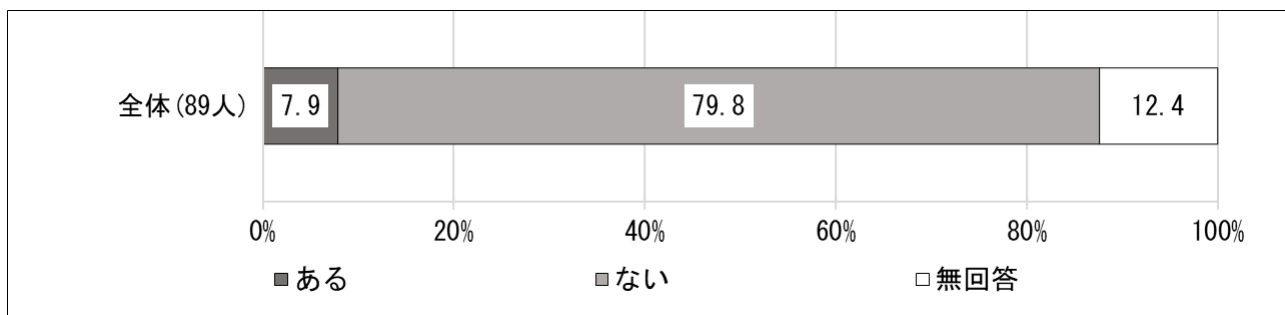
問3-8 入所する場合、費用を負担する方はどなたですか。(〇はひとつ)

「本人と家族で負担」が41.6%と最も高く、「本人の負担」が36.0%、「家族の負担」が11.2%と続いています。



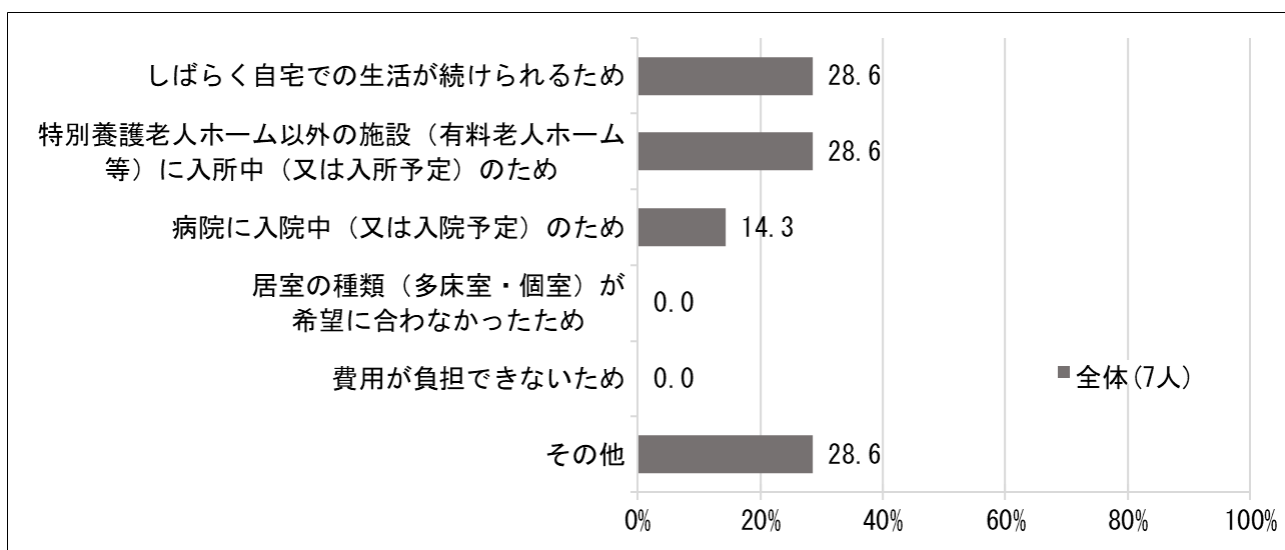
問3-9 過去に、入所を申し込んだ特別養護老人ホームから入所可能な連絡を受け、辞退したことはありますか。(〇はひとつ)

「ある」が7.9%、「ない」が79.8%となっています。



問3-9-1 辞退した理由として最もあてはまるものは、次のうちどれですか。(〇はひとつ)

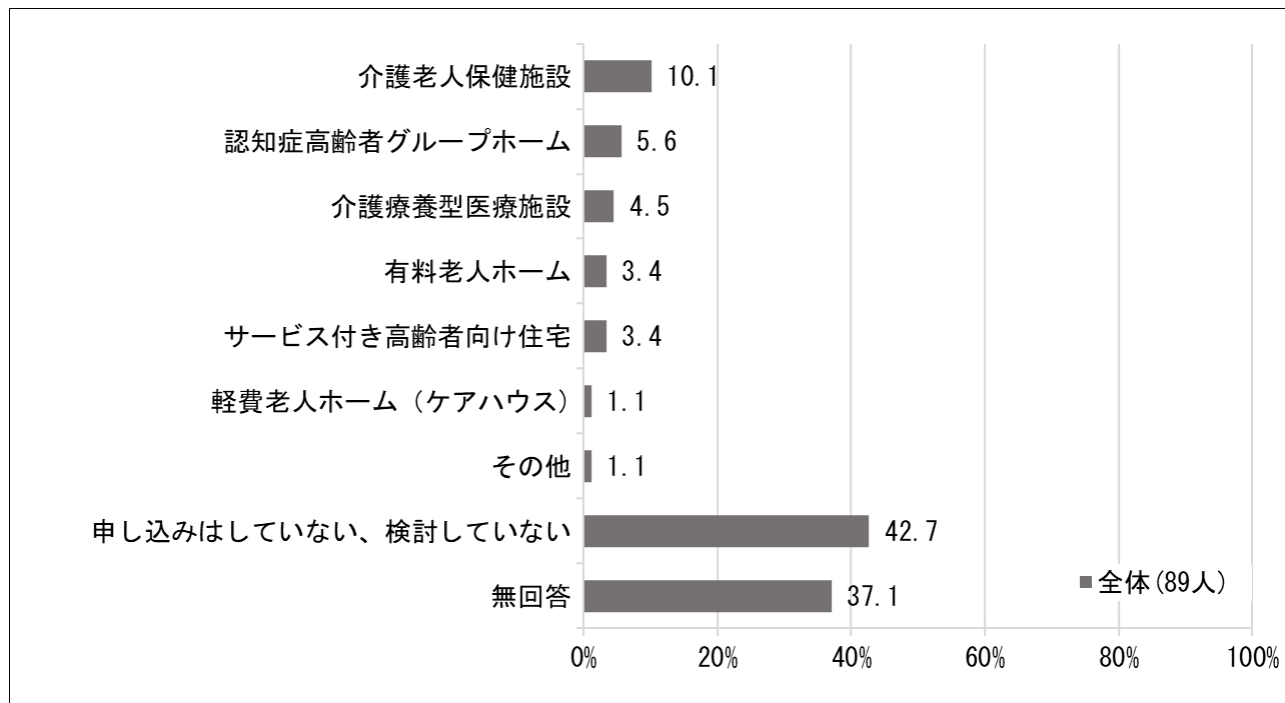
「しばらく自宅での生活が続けられるため」と「特別養護老人ホーム以外の施設(有料老人ホーム等)に入所中(又は入所予定)のため」がそれぞれ28.6%と最も高く、「病院に入院中(又は入院予定)のため」が14.3%と続いています。



※問3-9で「ある」と回答した方が対象

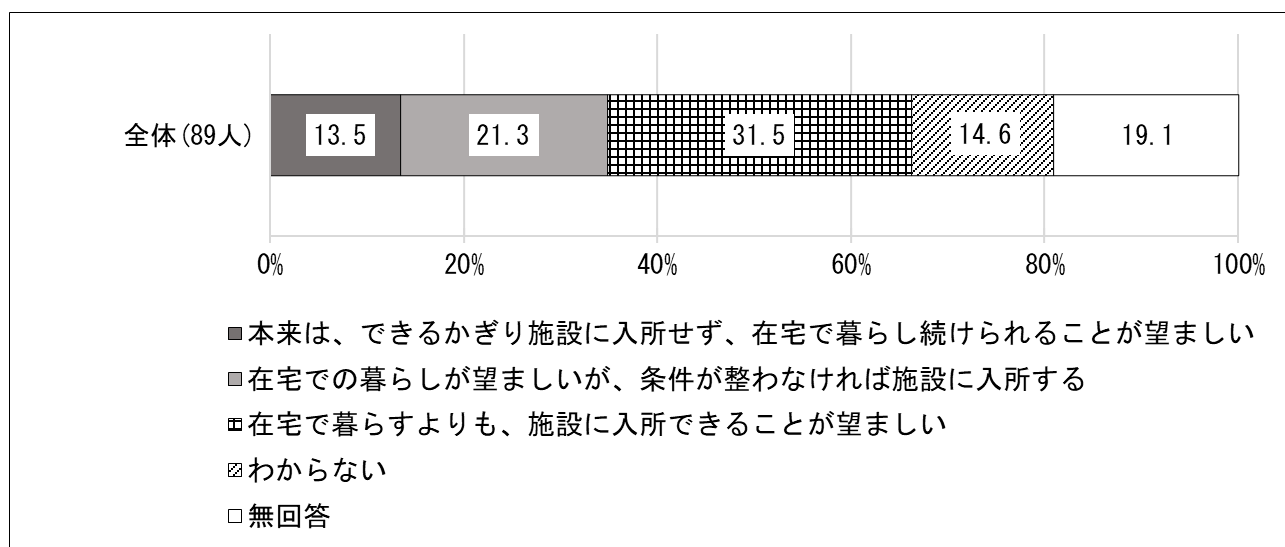
問3-10 特別養護老人ホーム以外で入所申し込みをしている、または入所を検討している施設をお答えください。(〇はいくつでも)

「申し込みはしていない、検討していない」が42.7%となっています。申し込みもしくは検討している施設の中では「介護老人保健施設」が10.1%と最も高く、「認知症高齢者グループホーム」が5.6%、「介護療養型医療施設」が4.5%と続いています。



問3-11 ご本人の施設入所に対する考えは、次のうちどれにもっとも近いですか。(〇はひとつ)

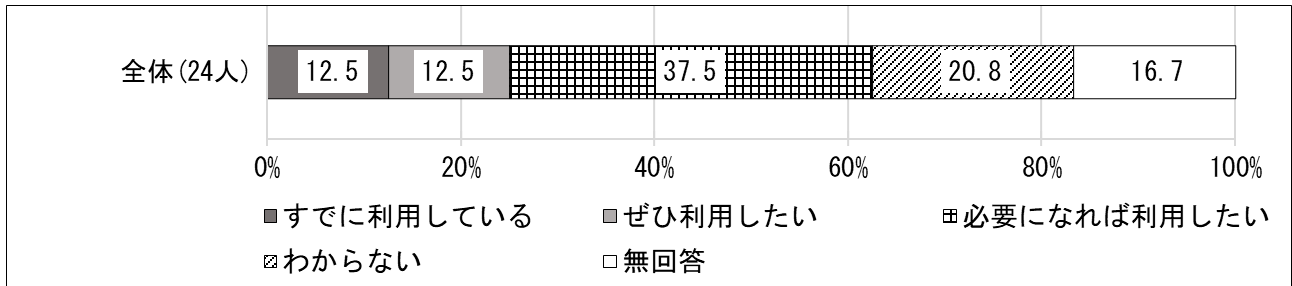
「在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい」が31.5%と最も高く、「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所する」が21.3%、「本来は、できるかぎり施設に入所せず、在宅で暮らし続けられることが望ましい」が13.5%と続いています。また「わからない」との回答が14.6%となっています。



問4 自宅での暮らしについて（現在のお住まいが自宅の方への設問）

問4-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護という在宅サービスがありますが、このサービスの利用についてお答えください。（○はひとつ）

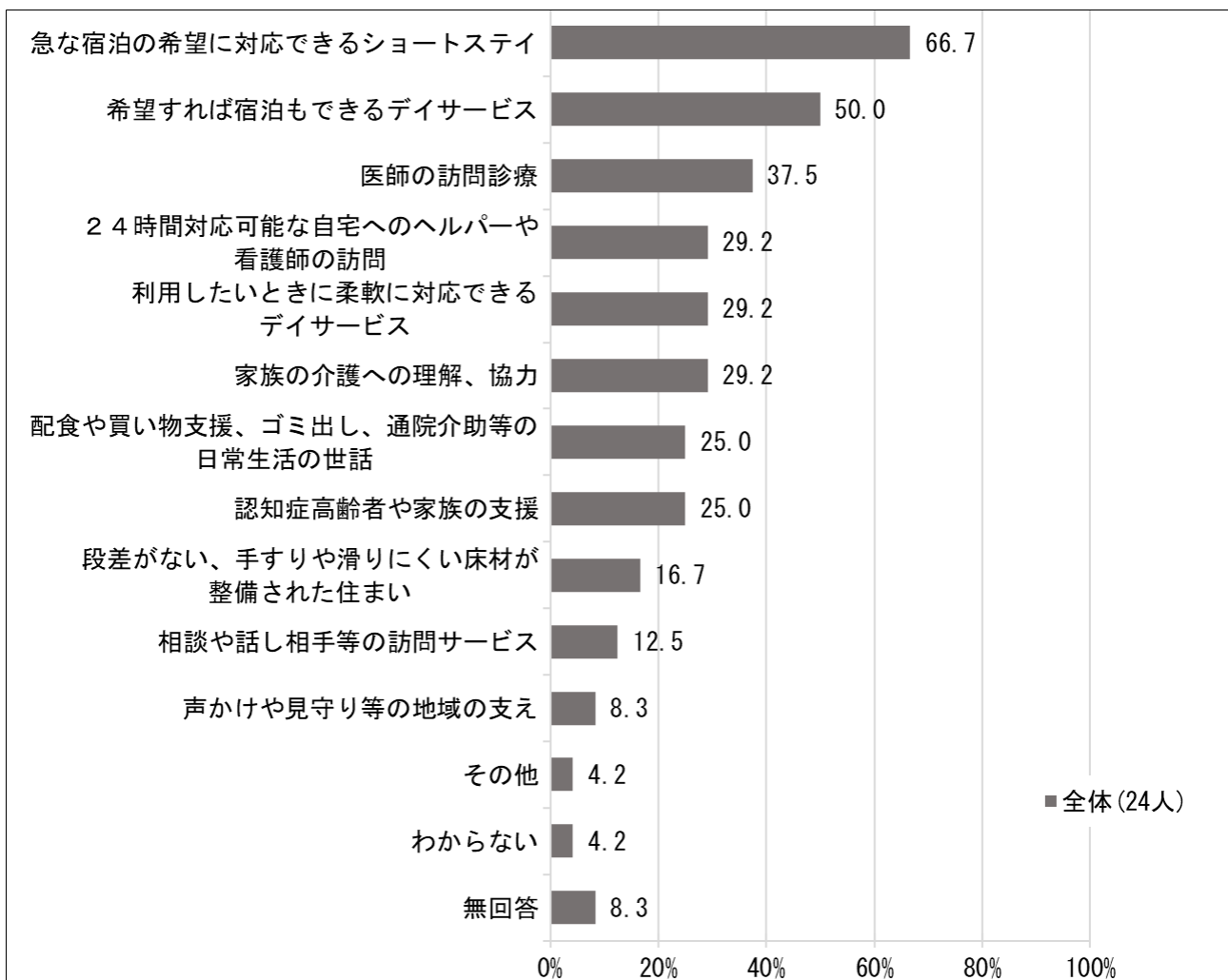
「必要になれば利用したい」が37.5%と最も高く、「ぜひ利用したい」の12.5%を合わせると半数（50.0%）の人が利用したいと回答としています。



※「利用したいと思わない」との回答はみられない

問4-2 どのようなサービス等があれば、自宅で安心して暮らすことができると思いますか。（○はいくつでも）

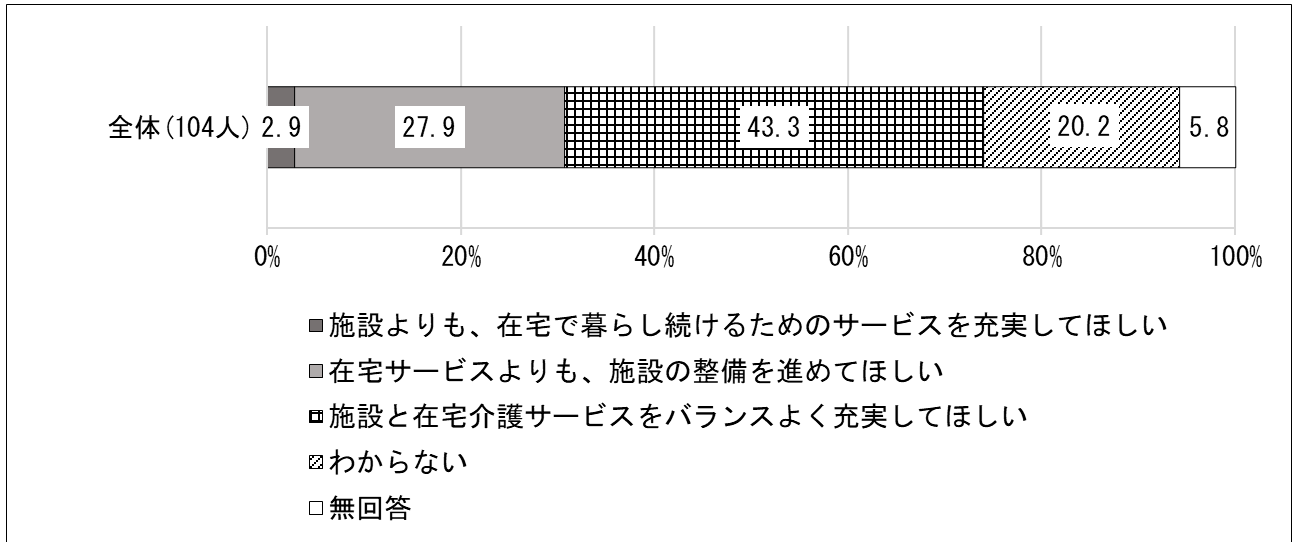
「急な宿泊の希望に対応できるショートステイ」が66.7%と最も高く、「希望すれば宿泊もできるデイサービス」が50.0%、「医師の訪問診療」が37.5%と続いています。



問5 今後の介護サービスの充実について

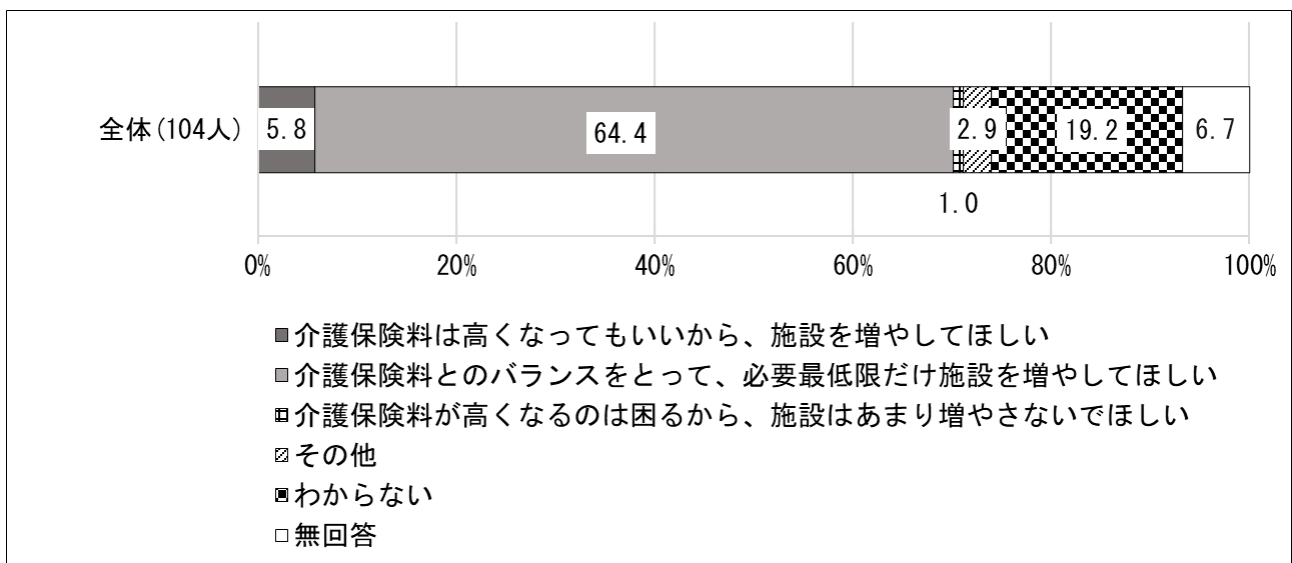
問5-1 君津市の介護サービスの整備について、どのように思いますか。(〇はひとつ)

「施設と在宅介護サービスをバランスよく充実してほしい」が43.3%と最も高く、「在宅サービスよりも、施設の整備を進めてほしい」が27.9%、「施設よりも、在宅で暮らし続けるためのサービスを充実してほしい」が20.2%と続いています。また「わからない」との回答が20.2%となっています。



問5-2 介護保険料と特別養護老人ホームの整備に関する考え方は、次のどれにもっとも近いですか。(〇はひとつ)

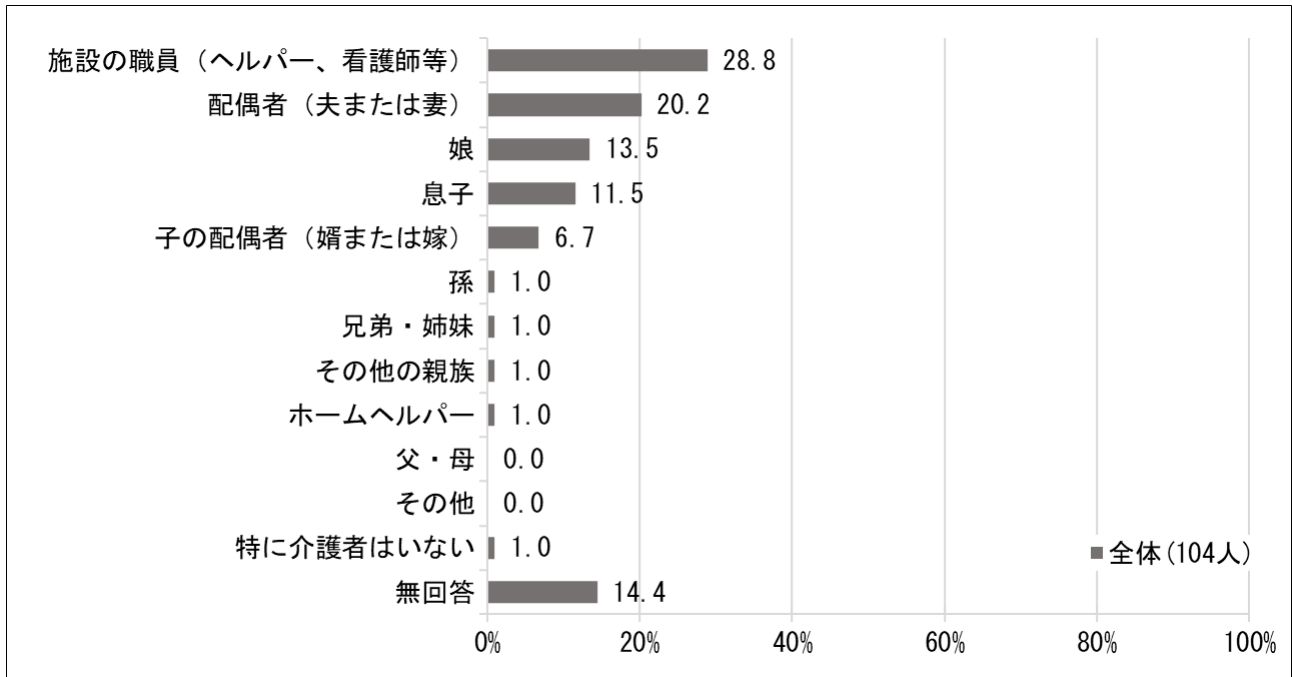
「介護保険料とのバランスをとって、必要最低限だけ施設を増やしてほしい」が64.4%と最も高く、「わからない」が19.2%、「介護保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」が5.8%と続いています。



問6 介護をしている方（介護者）について

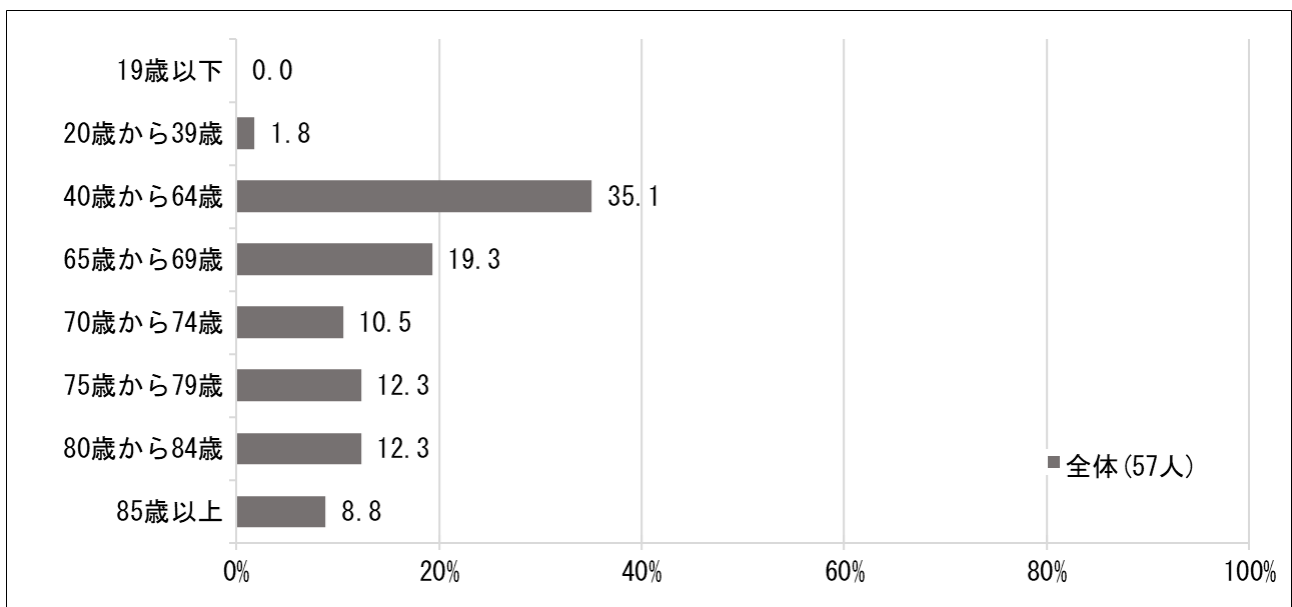
問6-1 ご本人の介護を主に（一番長い時間）行っている方は、ご本人から見てどのような関係にある方ですか。（〇はひとつ）

「施設の職員（ヘルパー、看護師等）」が28.8%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が20.2%、「娘」が13.5%、「息子」が11.5%と続いています。



問6-2 主に介護している方の年齢はいくつですか。（〇はひとつ）

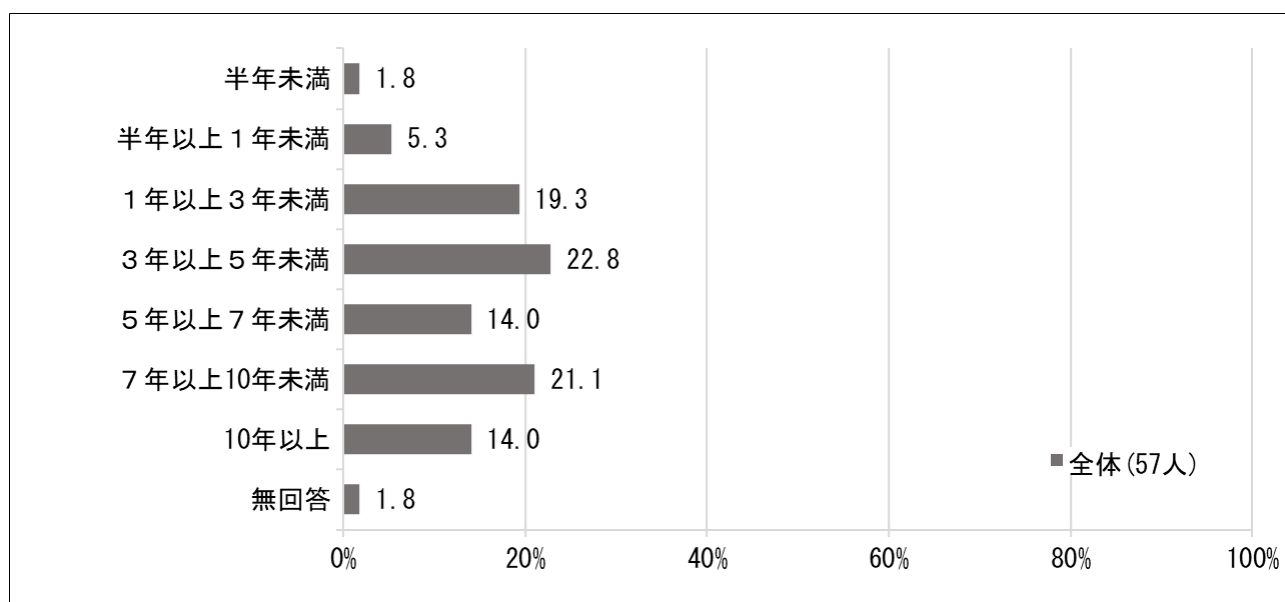
主に介護している方（※）の年齢は、「40歳から64歳」が35.1%と最も高く、「65歳から69歳」が19.3%、「75歳から79歳」と「80歳から84歳」がそれぞれ12.3%と続いています。



※以降、問6-2から問6-8は、問6-1で「ホームヘルパー」「施設の職員（ヘルパー、看護師等）」「その他」「特に介護者はいない」以外の選択肢を回答した方が対象

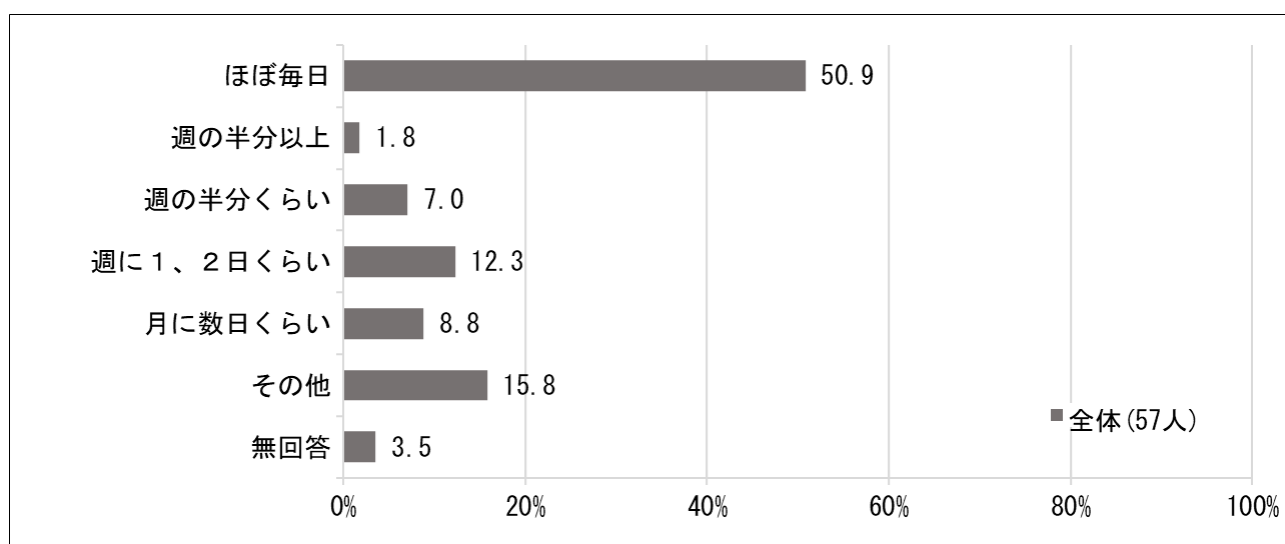
問6-3 主に介護をしている方が、ご本人を介護してから現在までの期間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

「3年以上5年未満」が22.8%と最も高く、「7年以上10年未満」が21.1%、「1年以上3年未満」が19.3%、「5年以上7年未満」と「10年以上」がそれぞれ14.0%と続いています。



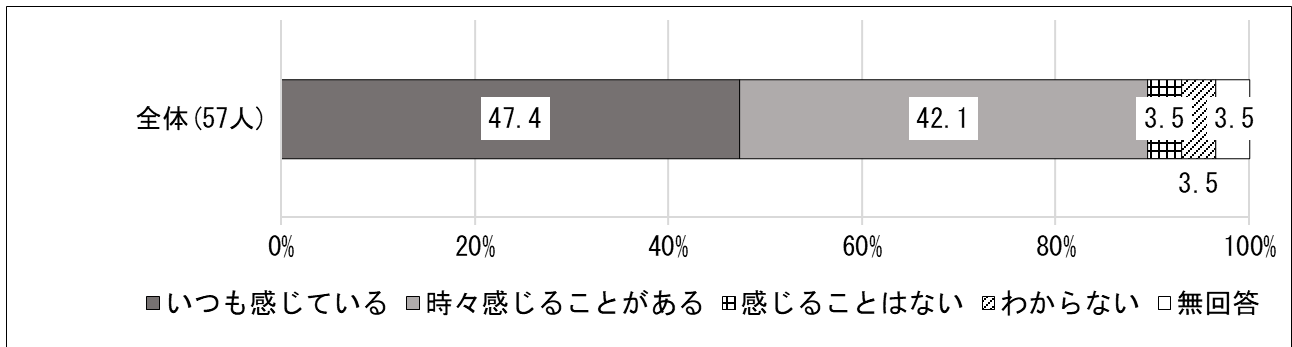
問6-4 どのくらいの頻度で介護をしていますか。(〇はひとつ)

「ほぼ毎日」が50.9%と最も高く、「週に1、2日くらい」が12.3%、「月に数日くらい」が8.8%と続いています。



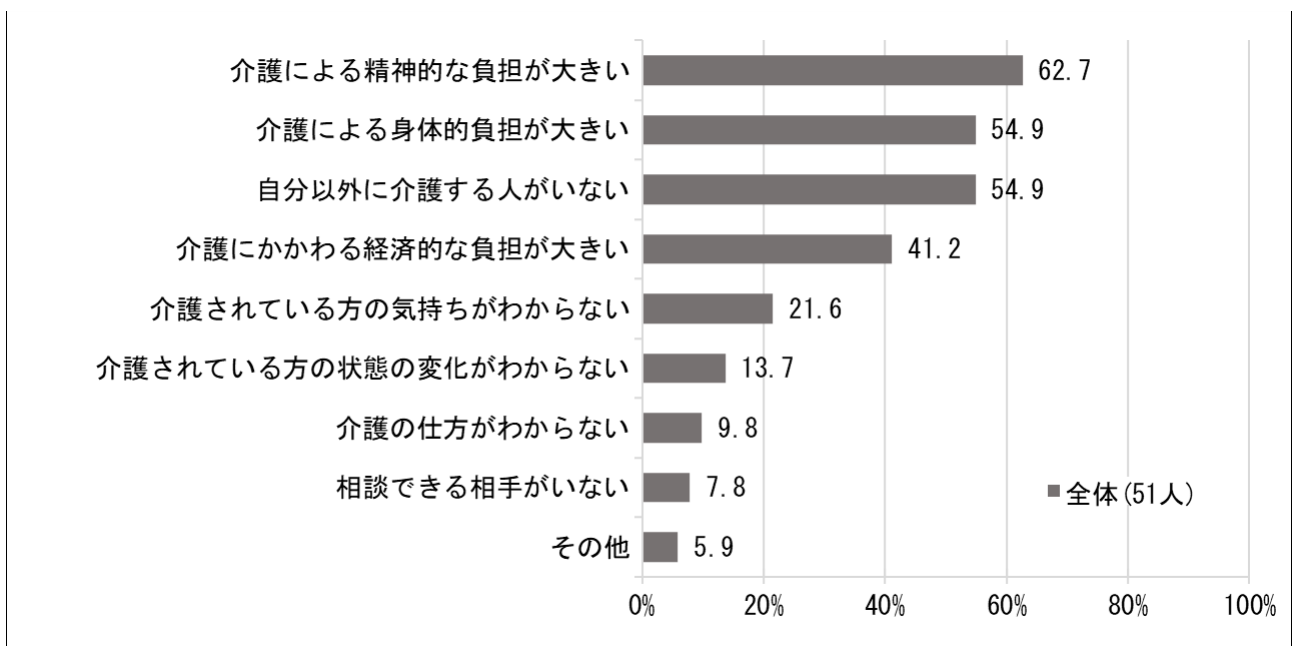
問6-5 介護に負担や悩みを感じることはありますか。(〇はひとつ)

「いつも感じている」が47.4%と最も高く、「時々感じることもある」が42.1%、「感じることはない」と「わからない」がそれぞれ3.5%と続いています。



問6-5-1 どのようなことで、負担や悩みを感じるがありますか。(〇はいくつでも)

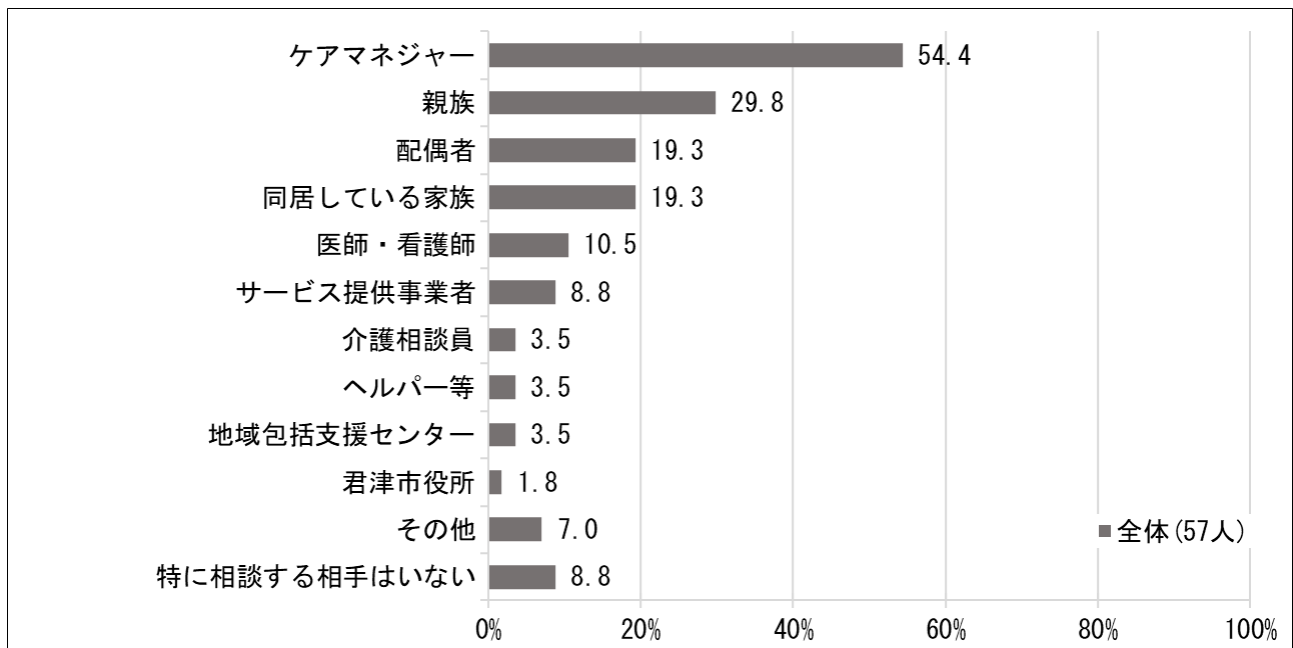
「介護による精神的な負担が大きい」が62.7%と最も高く、「介護による身体的負担が大きい」と「自分以外に介護する人がいない」がそれぞれ54.9%、「介護にかかわる経済的な負担が大きい」が41.2%と続いています。



※問6-5で「いつも感じている」「時々感じることもある」と回答した方が対象

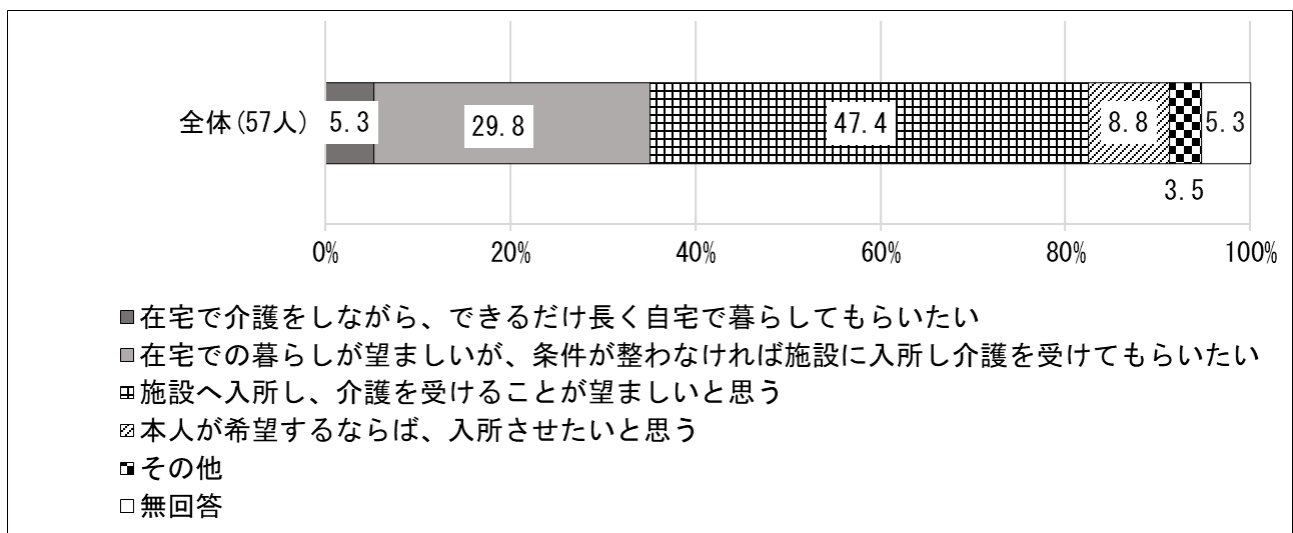
問6-6 ご本人の介護にあたり、介護の悩みをどなた（どちら）に相談しますか。（〇はいくつでも）

「ケアマネジャー」が54.4%と最も高く、「親族」が29.8%、「配偶者」と「同居している家族」がそれぞれ19.3%と続いています。



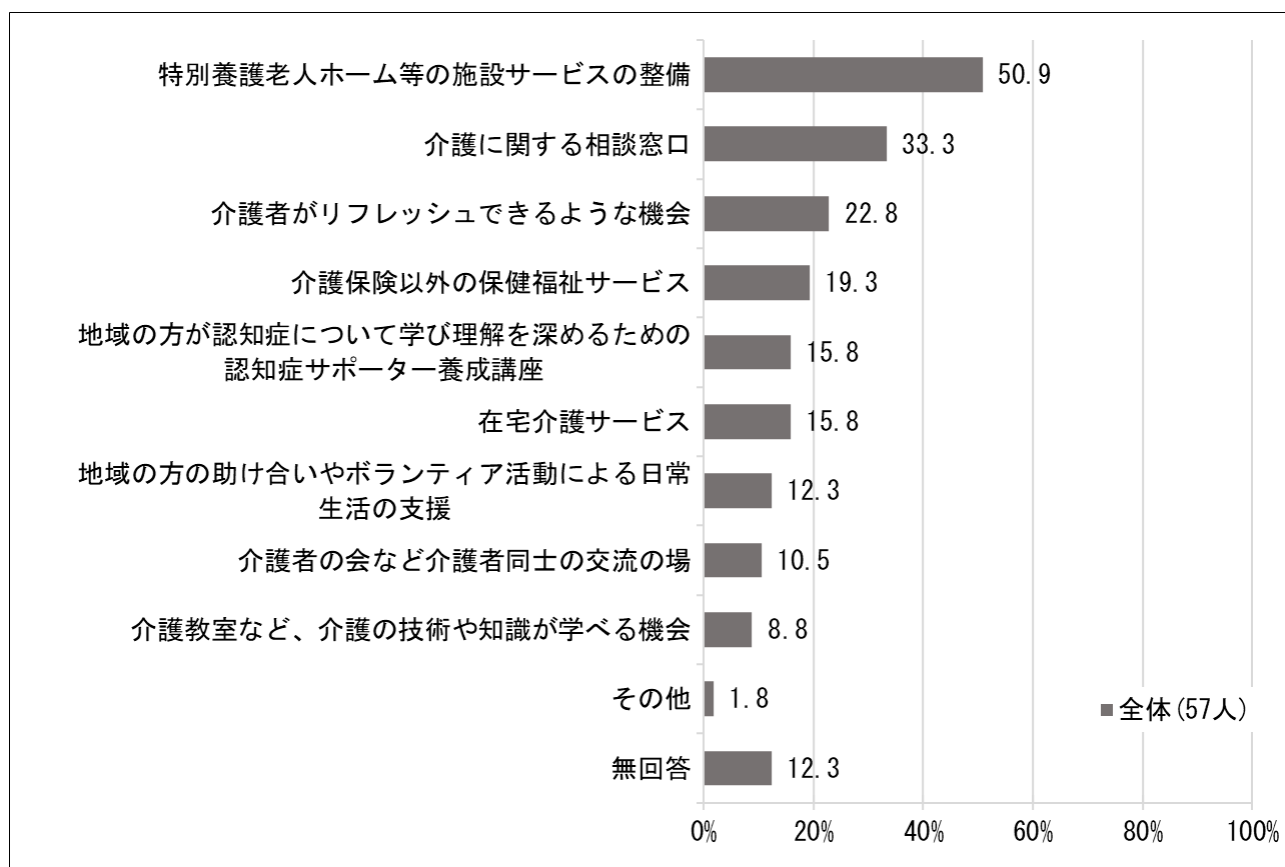
問6-7 特別養護老人ホームへの入所についてどのように考えていますか。（〇はひとつ）

「施設へ入所し、介護を受けることが望ましいと思う」が47.4%と最も高く、「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所し介護を受けてもらいたい」が29.8%、「本人が希望するならば、入所させたいと思う」が8.8%、「在宅で介護をしながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい」が5.3%と続いています。



問6-8 介護をするなかで、充実を望むことは何ですか。(主なもの3つまで)

「特別養護老人ホーム等の施設サービスの整備」が50.9%と最も高く、「介護に関する相談窓口」が33.3%、「介護者がリフレッシュできるような機会」が22.8%、「介護保険以外の保健福祉サービス」が19.3%と続いています。

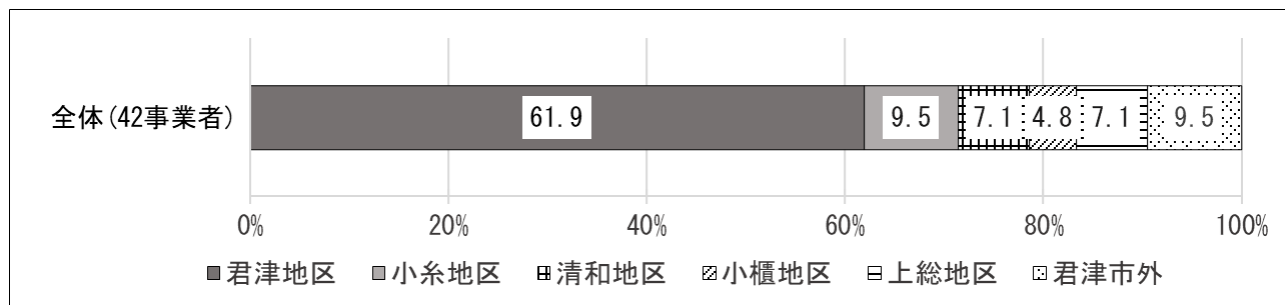


(4) 介護サービス事業者実態調査

問1 基礎情報について

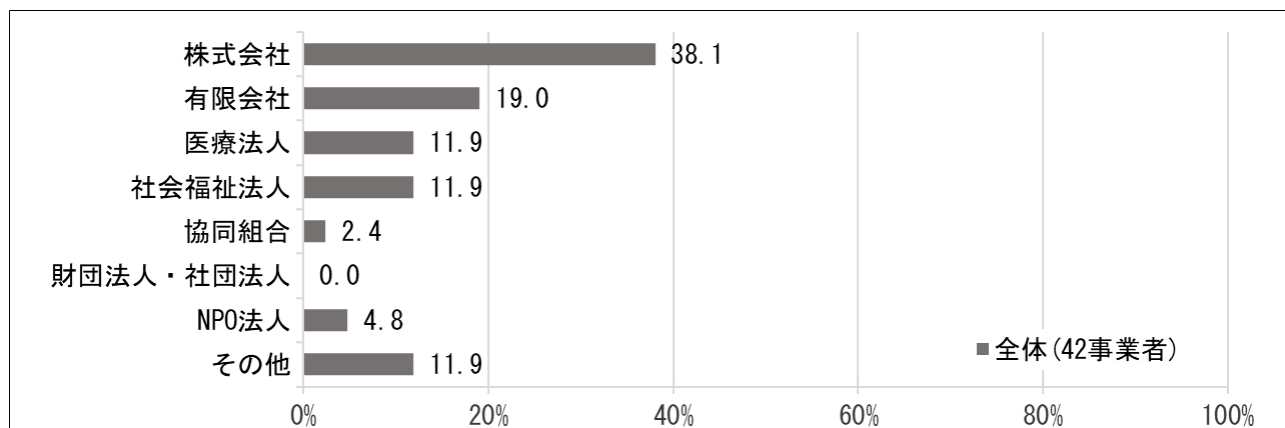
問1-1 貴事業者（法人等）の所在地をお聞きします。（○はひとつ）

「君津地区」が61.9%、「小糸地区」が9.5%、「清和地区」と「上総地区」がそれぞれ7.1%、「小櫃地区」が4.8%となっています。また、「君津市外」も9.5%みられます。



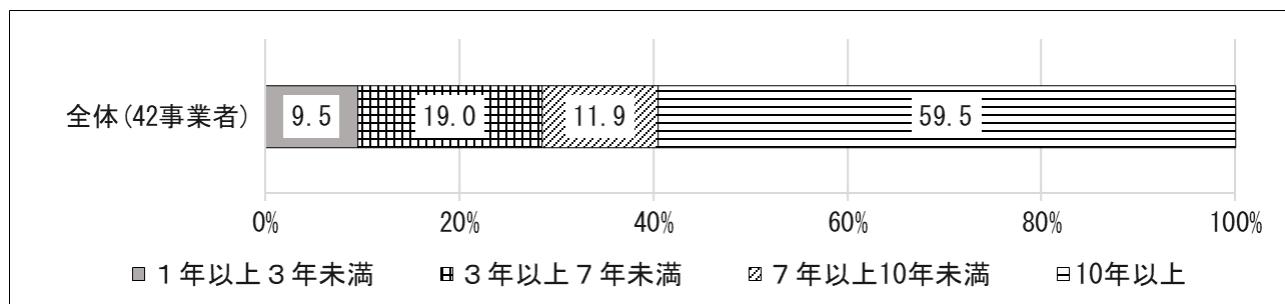
問1-2 貴事業者の運営主体をお聞きします。（○はひとつ）

「株式会社」が38.1%と最も高く、「有限会社」が19.0%、「医療法人」と「社会福祉法人」がそれぞれ11.9%と続いています。



問1-3 介護サービスの運営年数はどれくらいですか。（○はひとつ）

「10年以上」が59.5%と最も高く、「3年以上7年未満」が19.0%、「7年以上10年未満」が11.9%、「1年以上3年未満」が9.5%と続いています。

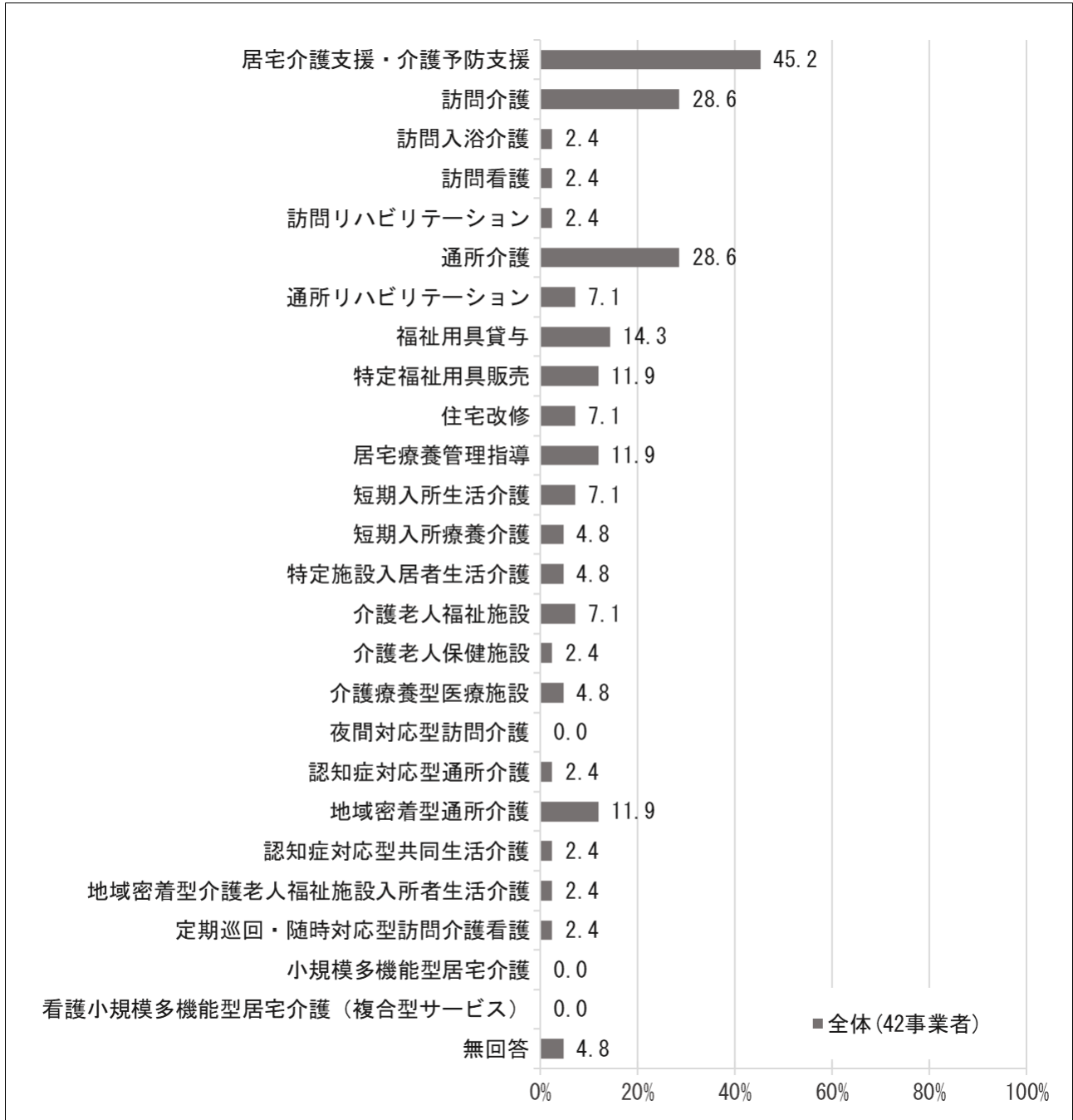


※「1年未満」との回答はみられない

問2 介護サービス提供の現状と今後の意向について

問2-1 (1) 本市内で提供中の介護サービス

「居宅介護支援・介護予防支援」が45.2%と最も高く、「訪問介護」と「通所介護」がそれぞれ28.6%、「福祉用具貸与」が14.3%、「特定福祉用具販売」、「居宅療養管理指導」、「地域密着型通所介護」がそれぞれ11.9%と続いています。



問 2-1 (2) 介護サービスを提供している地区

居宅介護支援・介護予防支援の「君津地区」が 17 と最も多く、訪問介護の「君津地区」が 11、居宅介護支援・介護予防支援の「小糸地区」と通所介護の「君津地区」が各 10 と続いています。

サービス種別	事業者数	提供地区				
		君津地区	小糸地区	清和地区	小櫃地区	上総地区
居宅介護支援・介護予防支援	19	17	10	9	9	8
訪問介護	12	11	7	5	4	4
訪問入浴介護	1	1	1	1	1	1
訪問看護	1	1	1	1	1	1
訪問リハビリテーション	1	1	1	1	1	1
通所介護	12	10	5	2	2	3
通所リハビリテーション	3	2	2	1	2	2
福祉用具貸与	6	6	3	2	2	2
特定福祉用具販売	5	5	3	2	2	2
住宅改修	3	3	2	1	1	1
居宅療養管理指導	5	4	1	1	1	1
短期入所生活介護	3	3	2	1	1	1
短期入所療養介護	2	1	1	1	1	1
特定施設入居者生活介護	2	1	1	2	1	1
介護老人福祉施設	3	3	2	1	1	1
介護老人保健施設	1	1	1	1	1	1
介護療養型医療施設	2	1	0	1	0	0
夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0
認知症対応型通所介護	1	1	1	0	0	0
地域密着型通所介護	5	5	2	1	2	0
認知症対応型共同生活介護	1	1	1	1	1	1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1	1	1	1	1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	1	1	1	1
小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	0	0	0	0	0

単位：事業者

問 2-1 (3) 今後（令和5年度まで）の意向

「新設したい」は、居宅介護支援・介護予防支援、訪問介護、訪問リハビリテーション、短期入所生活介護、介護医療院、定期巡回・随時対応型訪問介護看護で各1サービスとなっています。

「拡充したい」は、居宅介護支援・介護予防支援で8サービス、福祉用具貸与と特定福祉用具販売で各4サービス、訪問介護と居宅療養管理指導で各3サービスなど、合計で34サービスとなっています。

「縮小したい」は、訪問介護で1サービス。「廃止したい」は、居宅介護支援・介護予防支援で1サービスとなっています。

サービス種別	今後（～令和5年度まで）の意向					合計
	新設したい	拡充したい	現状維持	縮小したい	廃止したい	
居宅介護支援・介護予防支援	1	8	9	0	1	19
訪問介護	1	3	4	1	0	9
訪問入浴介護	0	1	0	0	0	1
訪問看護	0	1	2	0	0	3
訪問リハビリテーション	1	2	0	0	0	3
通所介護	0	0	9	0	0	9
通所リハビリテーション	0	1	3	0	0	4
福祉用具貸与	0	4	2	0	0	6
特定福祉用具販売	0	4	1	0	0	5
住宅改修	0	2	2	0	0	4
居宅療養管理指導	0	3	3	0	0	6
短期入所生活介護	1	0	3	0	0	4
短期入所療養介護	0	1	1	0	0	2
特定施設入居者生活介護	0	0	1	0	0	1
介護老人福祉施設	0	0	3	0	0	3
介護老人保健施設	0	1	1	0	0	2
介護医療院	1	0	0	0	0	1
夜間対応型訪問介護	0	1	0	0	0	1
認知症対応型通所介護	0	1	0	0	0	1
地域密着型通所介護	0	1	5	0	0	6
認知症対応型共同生活介護	0	0	1	0	0	1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	1	0	0	1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	0	0	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0					0
療養通所介護	0					0
合計	6	34	51	1	1	93

単位：サービス

問 2 - 1 (4) 今後の意向の理由

【新設したい理由】

新設したい理由は、「需要が見込める」が最も多く、「採算が取れる見込みがある」、「現在の施設で対応が可能」が続いています。

サービス種別	事業者数	新設したい理由					無回答
		需要が見込める	採算が取れる見込みがある	現在の人材で対応が可能	現在の施設で対応が可能	現在の敷地で対応が可能	
居宅介護支援・介護予防支援	1	1	1	—	1	—	—
訪問介護	1	1	1	1	1	—	—
訪問リハビリテーション	1	1	—	—	—	—	—
短期入所生活介護	1	—	—	—	—	—	1
介護医療院	1	1	—	—	—	—	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	1	—	—	—	—
合計	6	5	3	1	2	—	1

単位：事業者

【拡充したい理由】

拡充したい理由は、「需要が見込める」が最も多く、「採算が取れる見込みがある」、「現在の人材で対応が可能」、「現在の施設で対応が可能」が続いています。

サービス種別	事業者数	拡充したい理由					無回答
		需要が見込める	採算が取れる見込みがある	現在の人材で対応が可能	現在の施設で対応が可能	現在の敷地で対応が可能	
居宅介護支援・介護予防支援	8	6	1	1	—	—	2
訪問介護	3	—	1	—	—	—	2
訪問入浴介護	1	—	—	—	—	—	1
訪問看護	1	1	—	—	—	—	—
訪問リハビリテーション	2	1	—	1	—	—	—
通所リハビリテーション	1	—	—	—	—	—	—
福祉用具貸与	4	3	1	1	—	—	1
特定福祉用具販売	4	3	1	1	—	—	1
住宅改修	2	2	1	1	—	—	—
居宅療養管理指導	3	1	1	1	—	—	1
短期入所療養介護	1	—	—	—	1	—	—
介護老人保健施設	1	—	—	—	1	—	—
夜間対応型訪問介護	1	—	1	—	—	—	—
認知症対応型通所介護	1	—	1	—	—	—	—
地域密着型通所介護	1	—	—	—	—	—	1
合計	34	17	8	6	2	—	9

単位：事業者

【縮小したい理由】

縮小したい理由では、訪問介護において「採算がとれる見込みはない」や「人材の確保が難しい」があがっています。

サービス種別	事業所数	縮小したい理由						無回答
		需要は見込めない	採算が取れる見込みはない	人材の確保が難しい	施設の拡充が難しい	用地の確保が難しい	地域住民への説明が難しい	
訪問介護	1	—	1	1	—	—	—	—
合計	1	—	1	1	—	—	—	—

単位：事業者

【廃止したい理由】

廃止したい理由では、居宅介護支援・介護予防支援において「需要は見込めない」や「採算が取れる見込みはない」があがっています。

サービス種別	事業所数	廃止したい理由						無回答
		需要は見込めない	採算が取れる見込みはない	人材の確保が難しい	施設の拡充が難しい	用地の確保が難しい	地域住民への説明が難しい	
居宅介護支援・介護予防支援	1	1	1	—	—	—	—	—
合計	1	1	1	—	—	—	—	—

単位：事業者

問 2-2 (1) 新設や拡充の予定年度

令和2年度に14サービス、令和3年度に3サービス、令和4年度に2サービスの新設や拡充の予定があります。

サービス種別	新設や拡充の年度			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援・介護予防支援	3	—	1	—
訪問介護	2	—	—	—
訪問看護	—	1	—	—
訪問リハビリテーション	2	—	—	—
通所介護	1	1	—	—
通所リハビリテーション	—	1	—	—
福祉用具貸与	1	—	—	—
特定福祉用具販売	1	—	—	—
住宅改修	1	—	—	—
居宅療養管理指導	2	—	—	—
短期入所療養介護	1	—	—	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	—	1	—
合計	14	3	2	0

単位：サービス

問 2-2 (2) 新設や拡充の規模

新設や拡充の規模（月当たりの延利用者数や定員の概算）は、令和2年度に合計315人、令和3年度に370人、令和4年度に65人となっています。

サービス種別	新設や拡充の規模			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援・介護予防支援	60	—	35	—
訪問介護	8	—	—	—
訪問看護	—	300	—	—
訪問リハビリテーション	15	—	—	—
通所介護	4	10	—	—
通所リハビリテーション	—	60	—	—
福祉用具貸与	200	—	—	—
特定福祉用具販売	10	—	—	—
住宅改修	5	—	—	—
居宅療養管理指導	8	—	—	—
短期入所療養介護	5	—	—	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	—	30	—
合計	315	370	65	0

単位：人（月当たりの延利用者数や定員の概算）

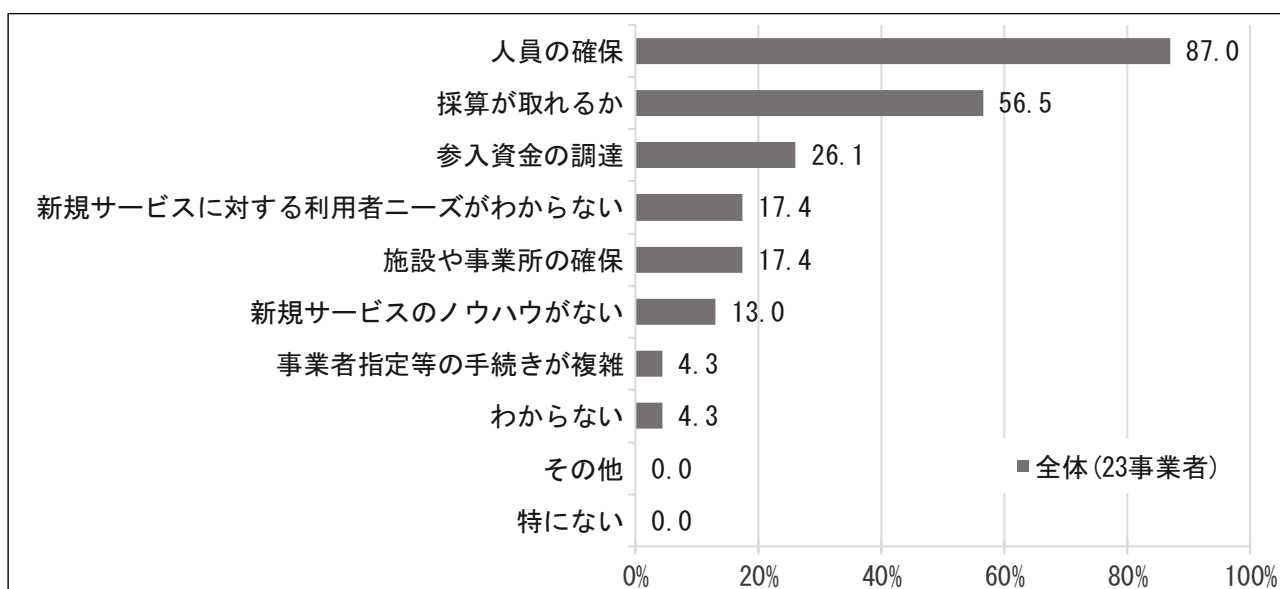
問 2 - 2 (3) 新設や拡充の予定地区

君津地区に 18 サービス、小糸地区に 13 サービス、清和地区、小櫃地区、上総地区にそれぞれ 11 サービスの新設や拡充計画があります。

サービス種別	新設や拡充の予定地区				
	君津地区	小糸地区	清和地区	小櫃地区	上総地区
居宅介護支援・介護予防支援	4	2	2	2	2
訪問介護	2	1	1	1	1
訪問看護	1	1	1	1	1
訪問リハビリテーション	2	2	2	2	2
通所介護	2	—	—	—	—
通所リハビリテーション	1	1	1	1	1
福祉用具貸与	1	1	1	1	1
特定福祉用具販売	1	1	1	1	1
住宅改修	1	1	1	1	1
居宅療養管理指導	2	1	—	—	—
短期入所療養介護	1	1	1	1	1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1	—	—	—
合計	18	13	11	11	11

問 2 - 3 新規事業に参入する際に課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

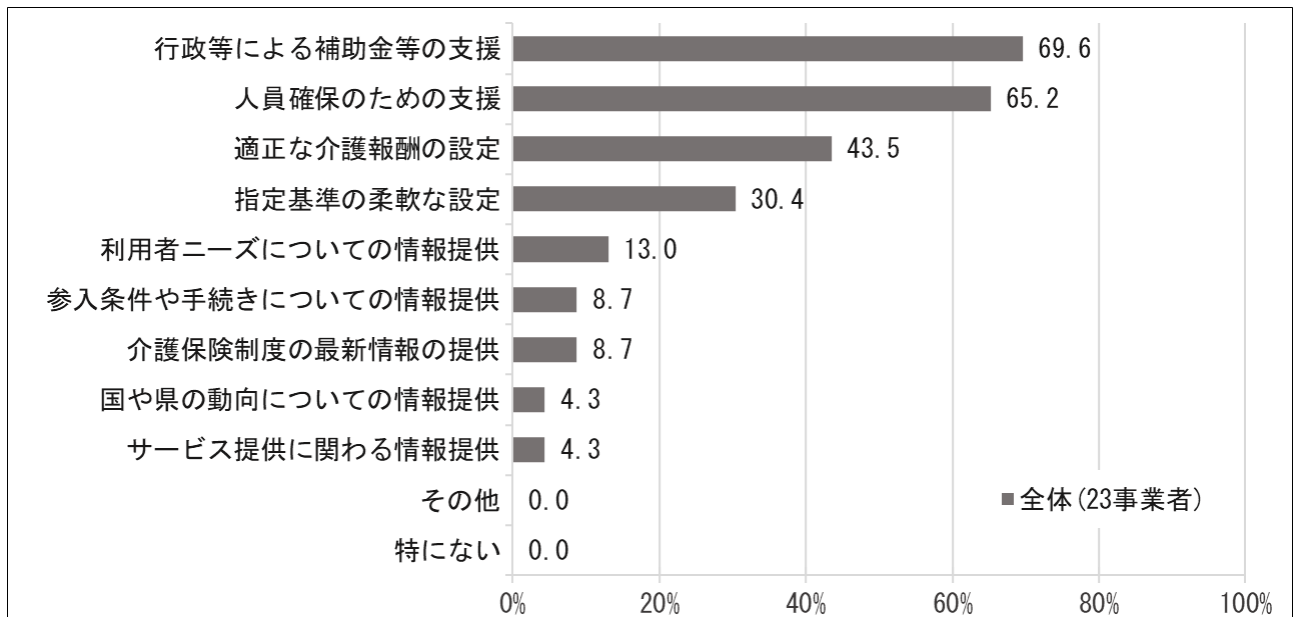
「人員の確保」が 87.0%と最も高く、「採算が取れるか」が 56.5%、「参入資金の調達」が 26.1%、「新規サービスに対する利用者ニーズがわからない」と「施設や事業所の確保」がそれぞれ 17.4%と続いています。



※「無回答」を除いて集計している

問2-4 新たに介護サービスの新設をすることを考えた場合、どのような支援があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

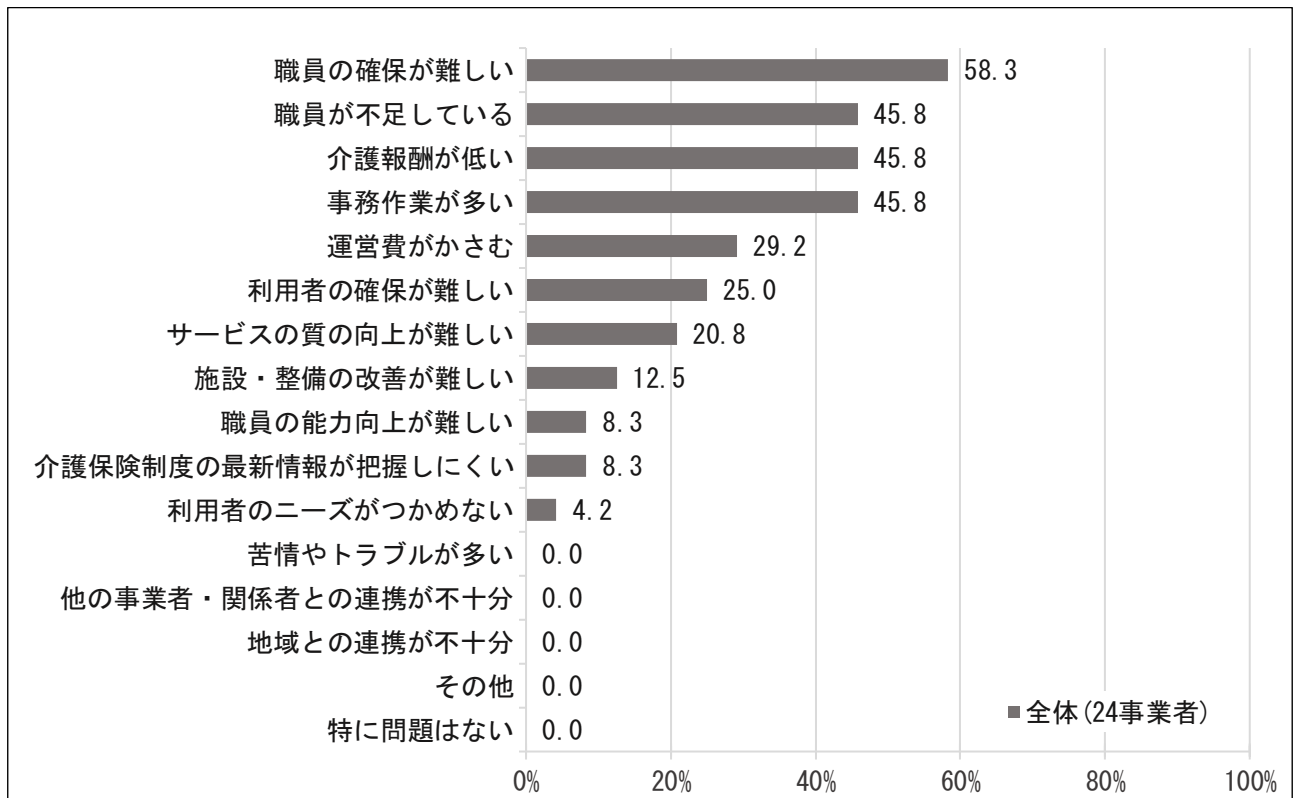
「行政等による補助金等の支援」が69.6%と最も高く、「人員確保のための支援」が65.2%、「適正な介護報酬の設定」が43.5%、「指定基準の柔軟な設定」が30.4%と続いています。



※「無回答」を除いて集計している

問2-5 事業を運営するうえで問題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「職員の確保が難しい」が58.3%と最も高く、「職員が不足している」、「介護報酬が低い」、「事務作業が多い」がそれぞれ45.8%と続いています。

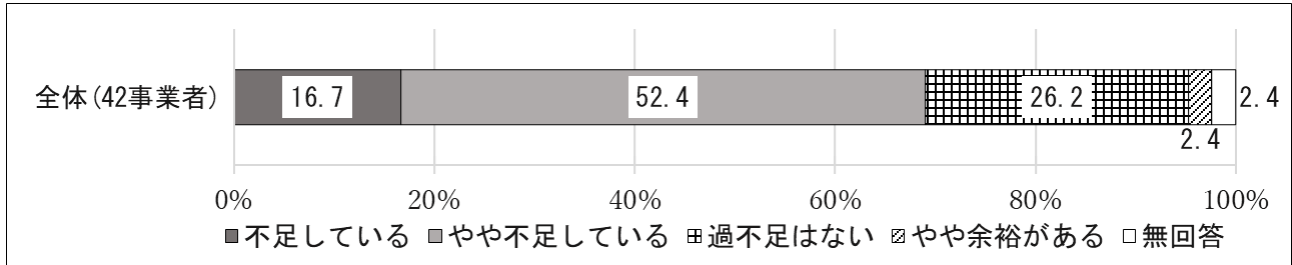


※「無回答」を除いて集計している

問3 職員について

問3-1 職員数の過不足を感じていますか。(〇はひとつ)

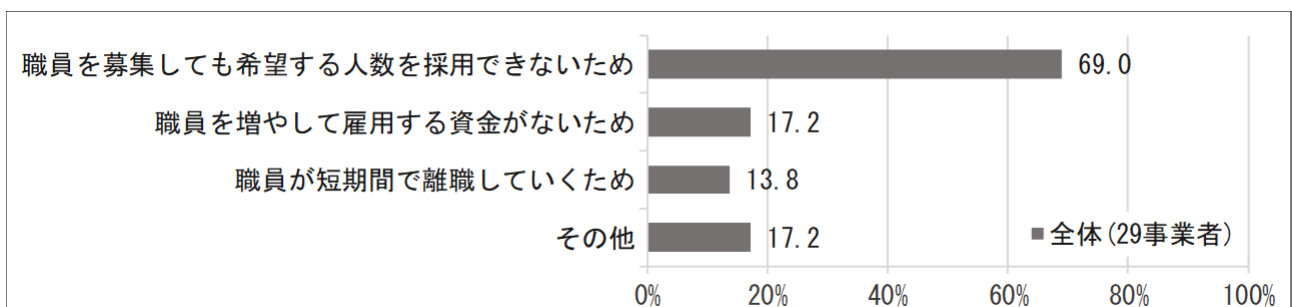
「やや不足している」が52.4%と最も高く、「不足している」の16.7%を合わせると約7割(69.1%)となっています。また、「過不足はない」が26.2%、「やや余裕がある」が2.4%となっています。



※「余裕がある」との回答はみられない

問3-2 職員数が不足している主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

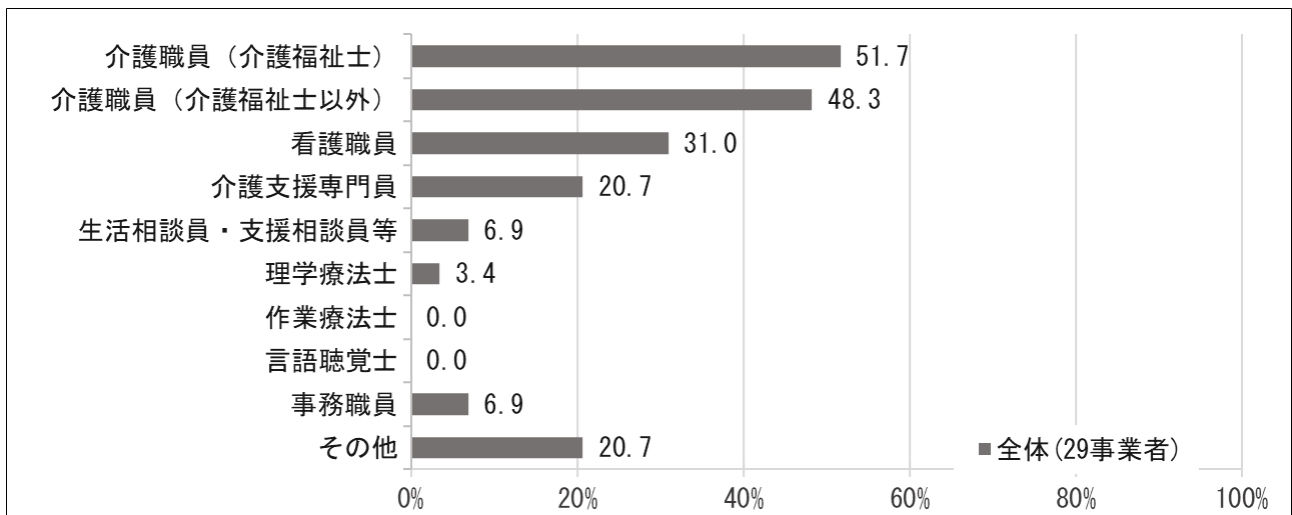
「職員を募集しても希望する人数を採用できないため」が69.0%と最も高く、「職員を増やして雇用する資金がないため」が17.2%と続いています。



※問3-1で「(職員数が)不足している」「やや不足している」と回答した事業者が対象

問3-3 不足している職種は何ですか。(〇はいくつでも)

「介護職員(介護福祉士)」が51.7%と最も高く、「介護職員(介護福祉士以外)」が48.3%、「看護職員」が31.0%、「介護支援専門員」が20.7%と続いています。

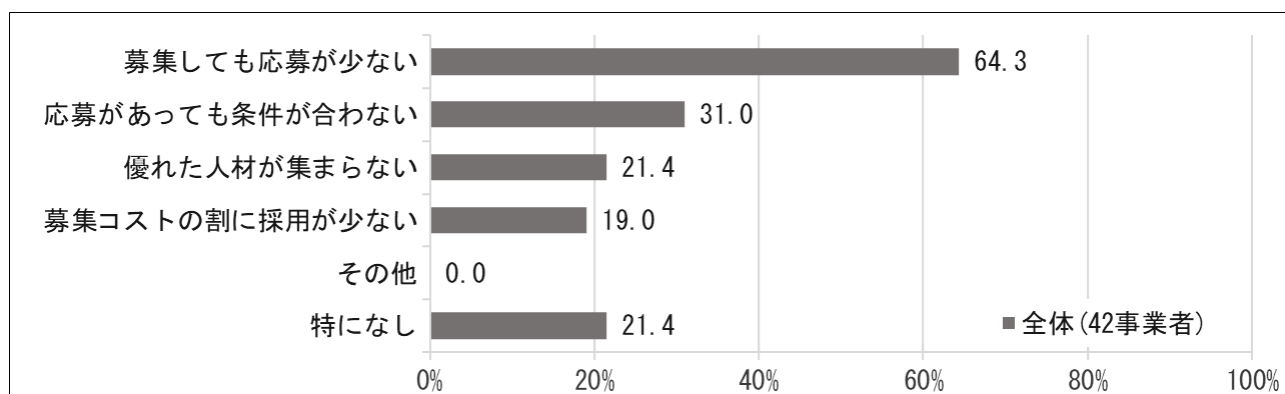


※問3-1で「(職員数が)不足している」「やや不足している」と回答した事業者が対象

問3-4 職員を新たに確保する際の課題は何ですか。(〇はいくつでも)

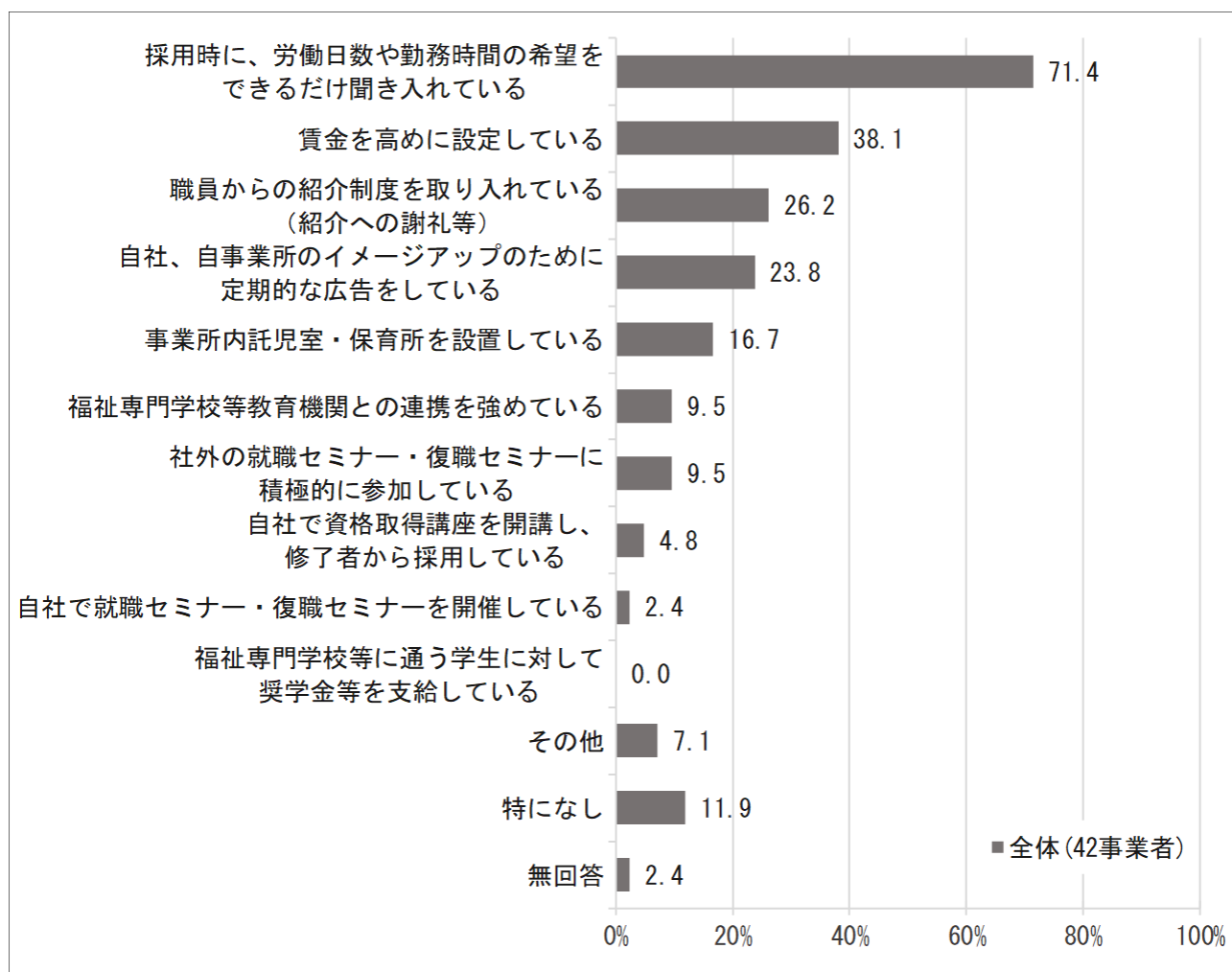
「募集しても応募が少ない」が64.3%と最も高く、「応募があっても条件が合わない」が31.0%、「優れた人材が集まらない」21.4%、「募集コストの割に採用が少ない」が19.0%と続いています。

また、「特になし」も21.4%みられます。



問3-5 人材確保に向けた取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)

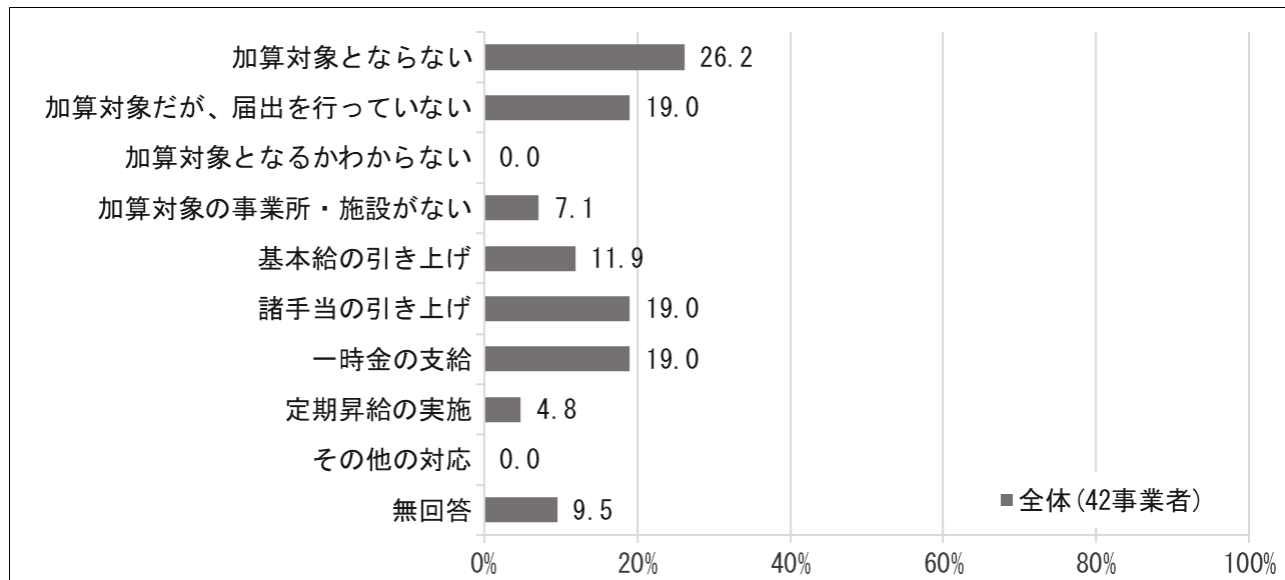
「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」が71.4%と最も高く、「賃金を高めに設定している」が38.1%、「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」が26.2%、「自社、自事業所のイメージアップのために定期的な広告をしている」が23.8%と続いています。



問3-6 「特定処遇改善加算」に対しどのような対応を行いましたか。(〇はいくつでも)

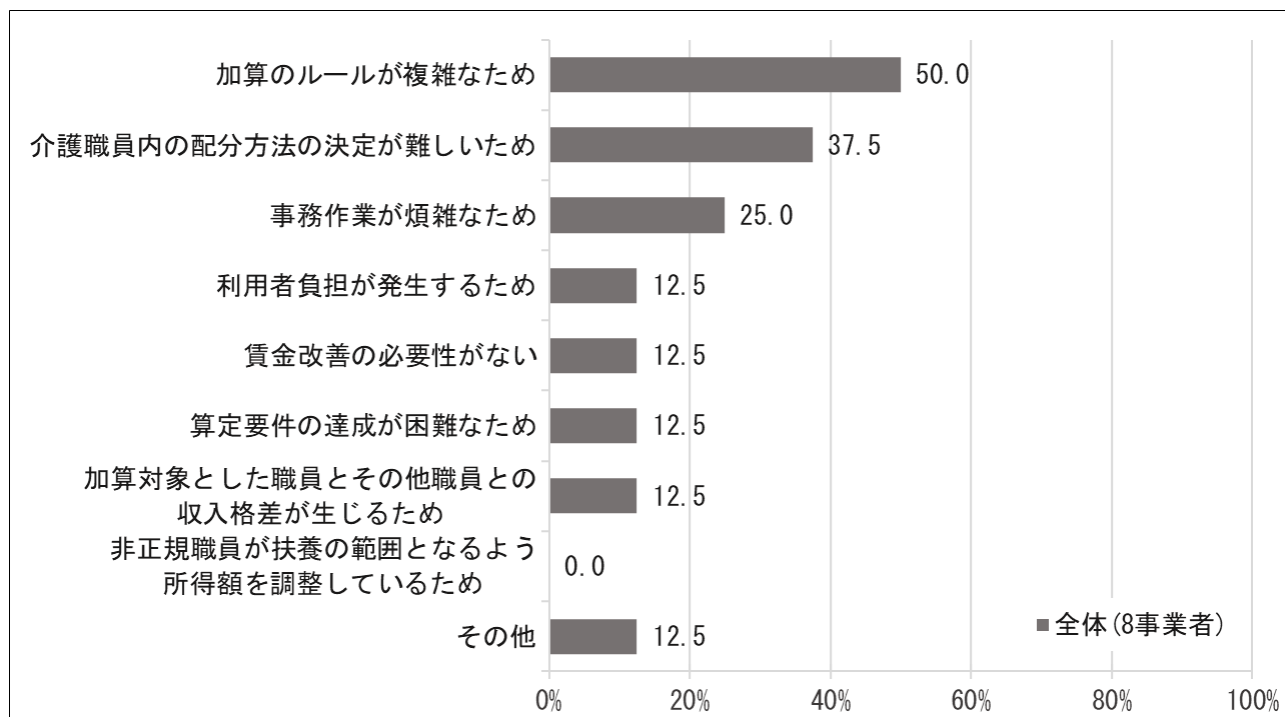
具体的な対応では、「諸手当の引き上げ」と「一時金の支給」がそれぞれ19.0%と最も高く、「基本給の引き上げ」が11.9%、「定期昇給の実施」が4.8%と続いています。

また、「加算対象とならない」が26.2%、「加算対象だが、届出を行っていない」が19.0%、「加算対象の事業所・施設がない」が7.1%となっています。



問3-7 加算の届け出をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

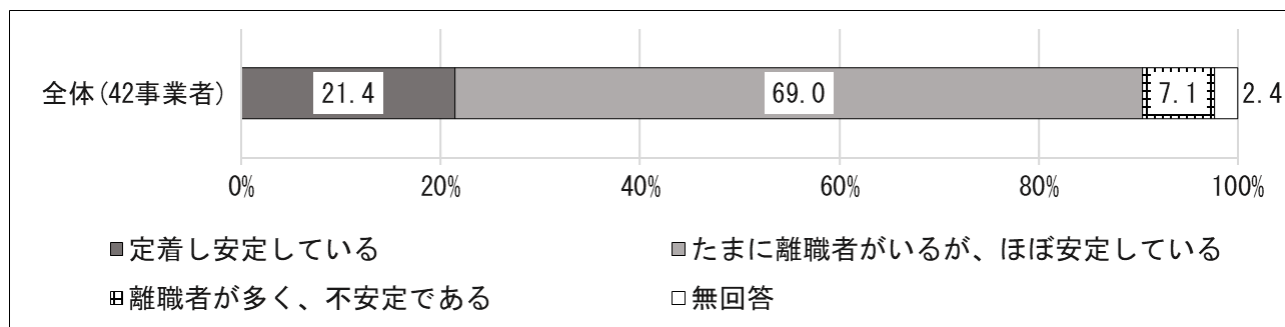
「加算のルールが複雑なため」が50.0%と最も高く、「介護職員内の配分方法の決定が難しいため」が37.5%、「事務作業が煩雑なため」が25.0%と続いています。



※問3-6で「(特定処遇改善加算の) 加算対象だが、届出を行っていない」「加算対象となるかわからない」と回答した事業者が対象

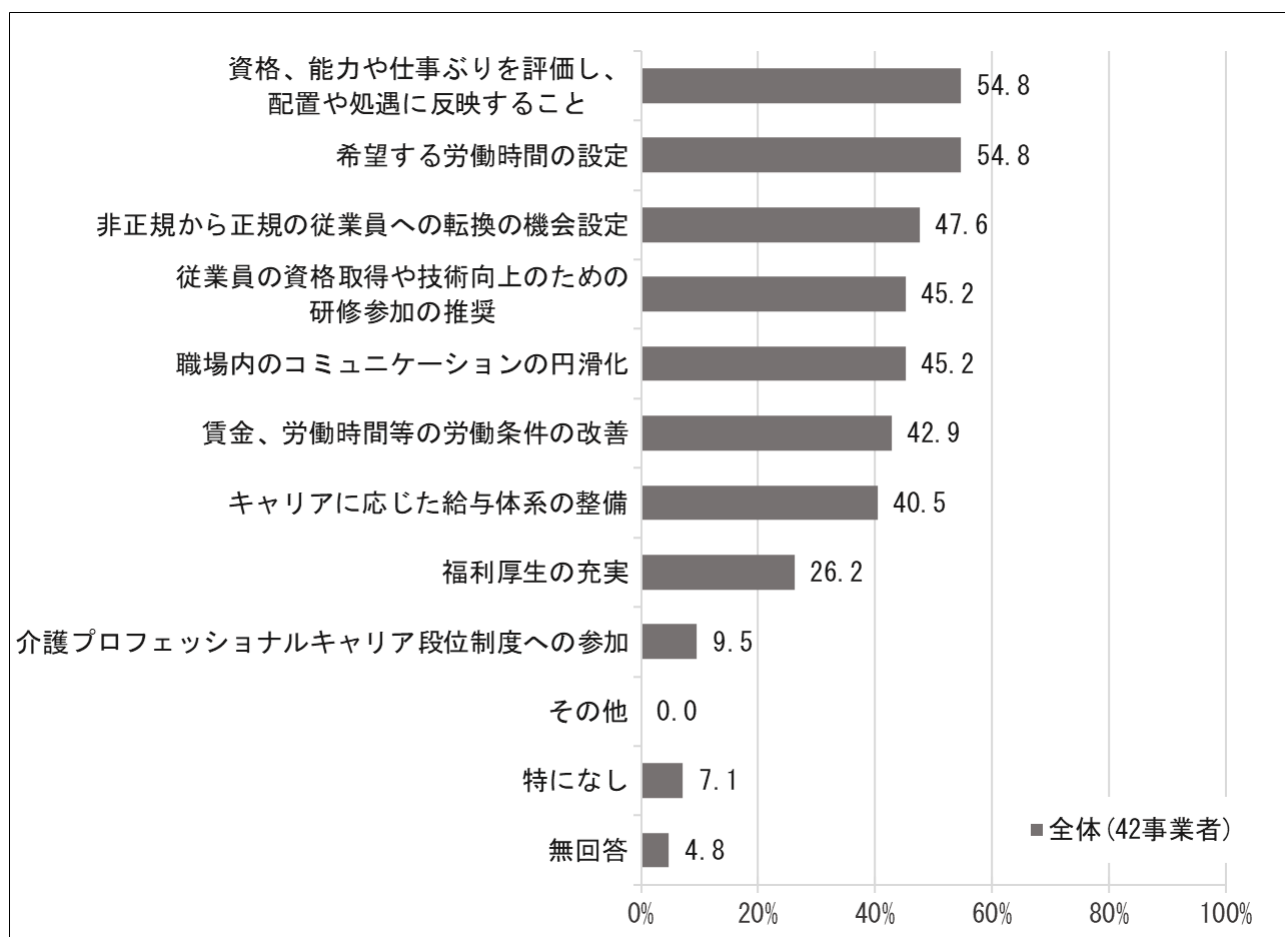
問3-8 職員の定着についてどのような状況ですか。(〇はひとつ)

「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が69.0%と最も高く、「定着し安定している」が21.4%、「離職者が多く、不安定である」が7.1%と続いています。



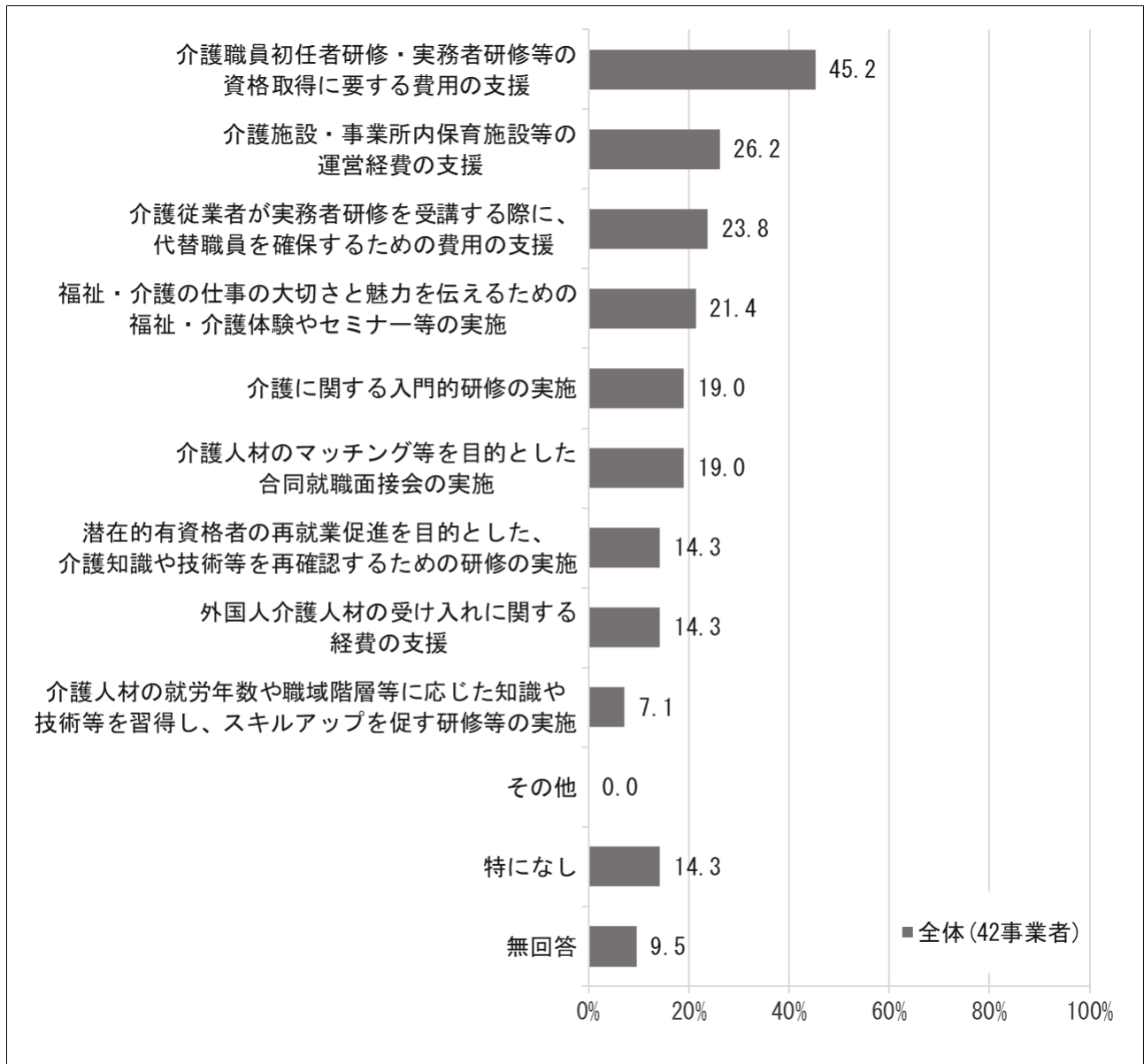
問3-9 職員を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

「資格、能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映すること」と「希望する労働時間の設定」がそれぞれ54.8%と最も高く、「非正規から正規の従業員への転換の機会設定」が47.6%、「従業員の資格取得や技術向上のための研修参加の推奨」と「職場内のコミュニケーションの円滑化」がそれぞれ45.2%と続いています。



問3-10 介護人材の確保や定着などに向けて、行政からどのような支援があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

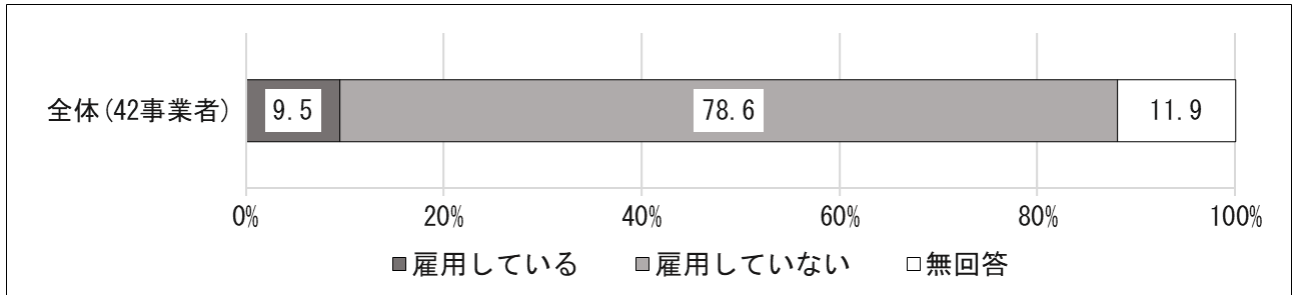
「介護職員初任者研修・実務者研修等の資格取得に要する費用の支援」が45.2%と最も高く、「介護施設・事業所内保育施設等の運営経費の支援」が26.2%、「介護従業者が実務者研修を受講する際に、代替職員を確保するための費用の支援」が23.8%、「福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるための福祉・介護体験やセミナー等の実施」が21.4%と続いています。



問4 外国人介護人材について

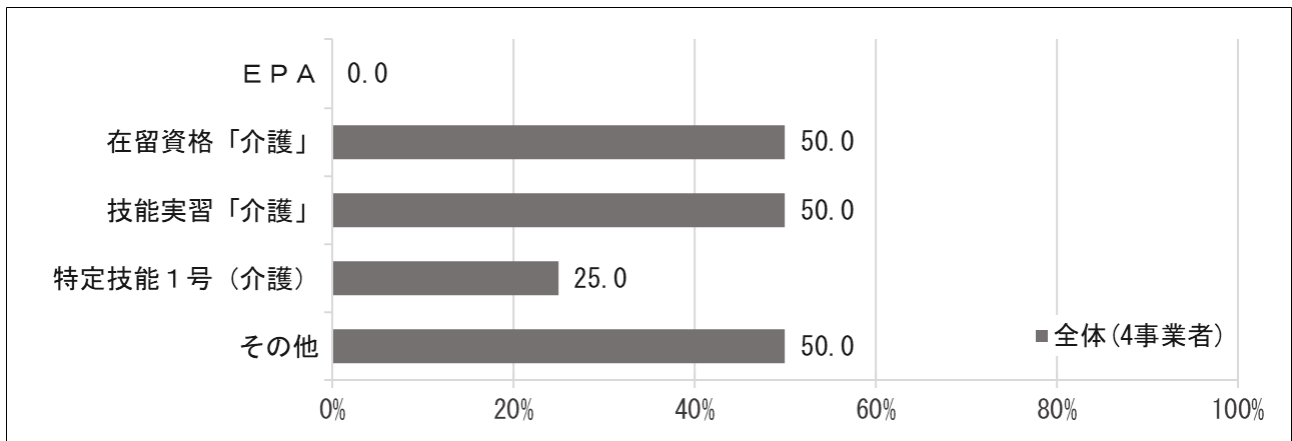
問4-1 外国人介護人材を雇用していますか。(〇はひとつ)

「雇用している」が9.5%、「雇用していない」が78.6%となっています。



問4-2 在留資格の内訳は何ですか。(〇はいくつでも)

『在留資格「介護」』『技能実習「介護」』が50.0%と最も高く、「特定技能1号（介護）」が25.0%と続いています。

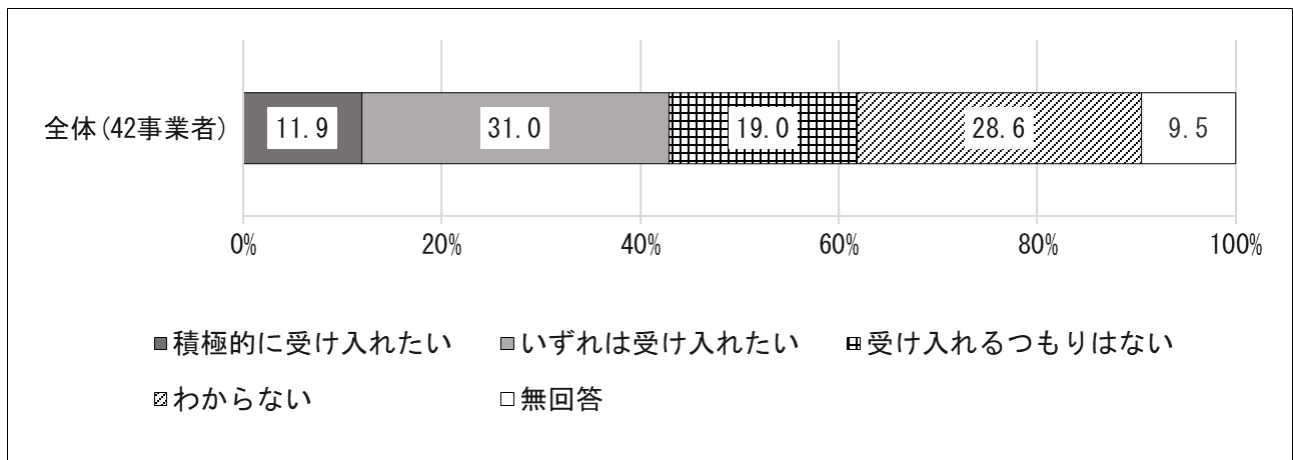


※問4-1で「(「外国人介護人材を)雇用している」と回答した事業者が対象

- ※EPA : 二国間の経済連携協定 (EPA) に基づく介護福祉士候補者の雇用
- 在留資格「介護」 : 日本の介護福祉士養成校を卒業した在留資格「介護」を持つ方の雇用
- 技能実習「介護」 : 技能実習制度を活用した雇用
- 特定技能1号 (介護) : 在留資格「特定技能1号」を持つ方の雇用

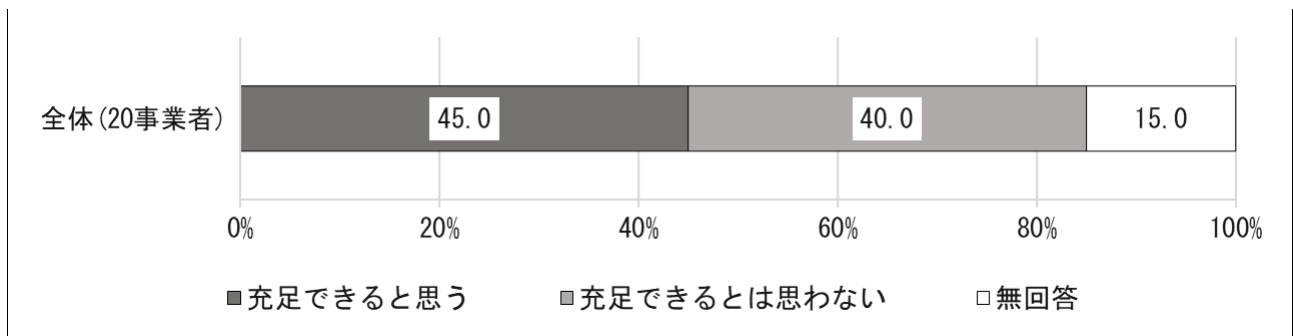
問 4-3 外国人介護人材を今後受け入れていきたいと思いませんか。(〇はひとつ)

「いずれは受け入れたい」が31.0%と最も高く、「積極的に受け入れたい」の11.9%を合わせると約4割(42.9%)となっています。また、「受け入れるつもりはない」が19.0%、「わからない」が28.6%となっています。



問 4-4 外国人介護人材を受け入れなくても人材を充足できると思いませんか (〇はひとつ)

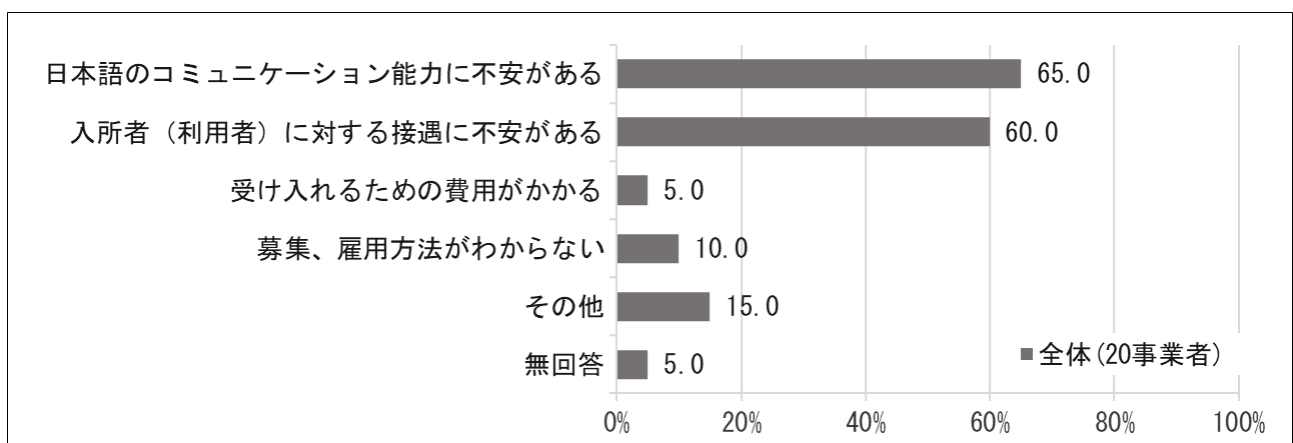
「充足できると思う」が45.0%、「充足できるとは思わない」が40.0%となっています。



※問4-3で「(外国人介護人材を) 受け入れるつもりはない」「わからない」と回答した事業者が対象

問 4-5 外国人介護人材の受け入れに消極的な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「日本語のコミュニケーション能力に不安がある」が65.0%と最も高く、「入所者(利用者)に対する接遇に不安がある」が60.0%と続いています。



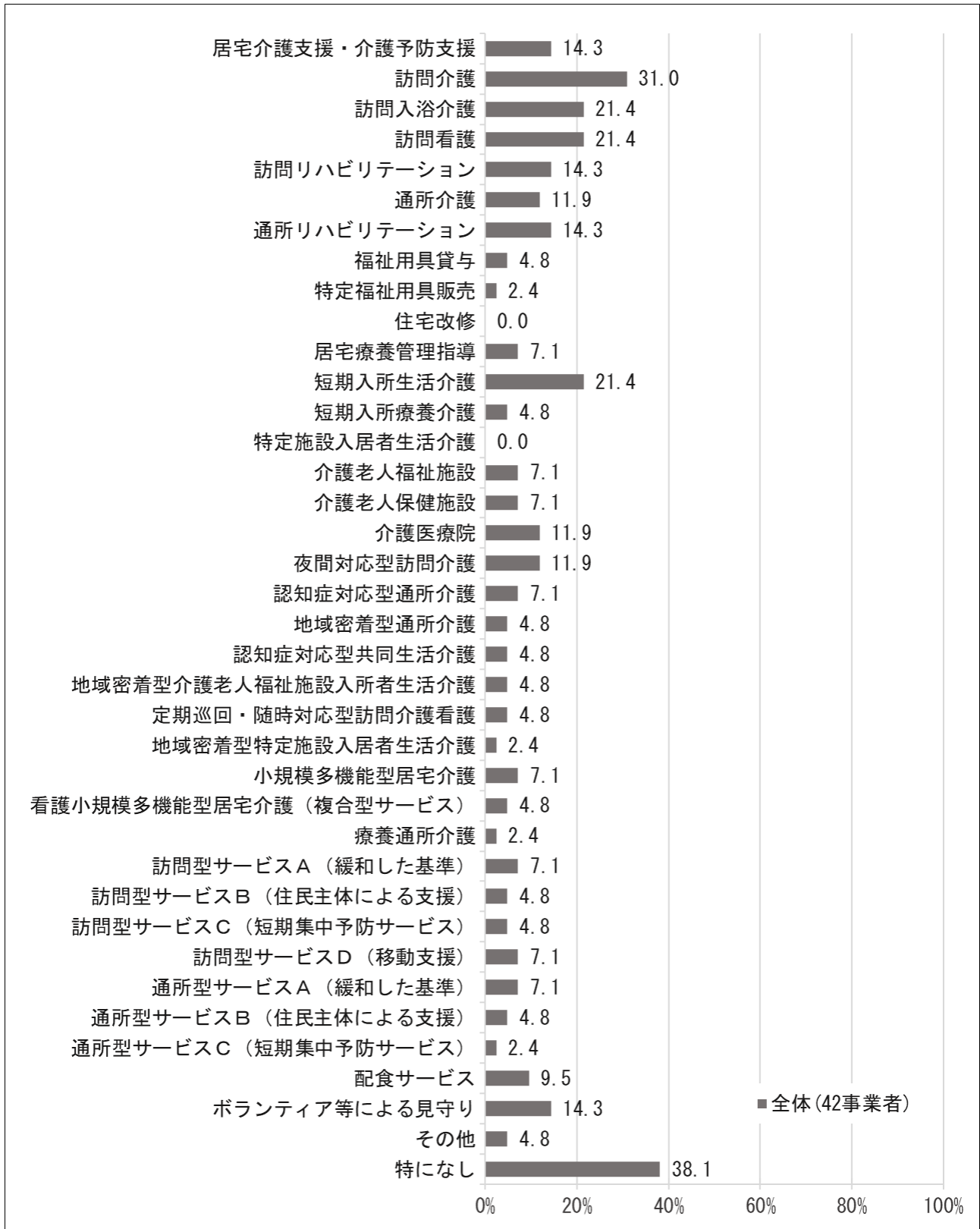
※問4-3で「(外国人介護人材を) 受け入れるつもりはない」「わからない」と回答した事業者が対象

問5 君津市の介護サービス・高齢者向け福祉施策について

問5-1 (1) 不足しているまたは今後不足すると感じている介護サービス

「訪問介護」が31.0%と最も高く、次いで「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「短期入所生活介護」がそれぞれ19.0%と続いています。

施設サービスや地域密着型サービスと比べて、居宅サービスの不足感が強いことが読み取れます。



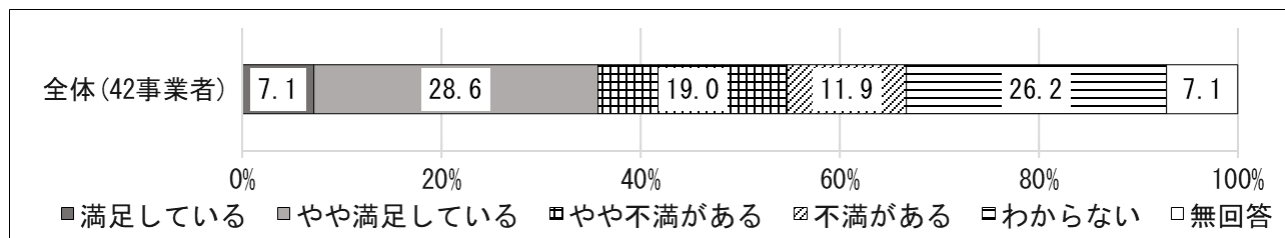
問5-1(2) 不足しているまたは今後不足と感じている地区

前ページの「不足しているまたは今後不足と感じている介護サービス」で回答が多かった、居宅サービスをみると、清和地区、小櫃地区、上総地区で、不足しているまたは今後不足するとの回答が多くなっています。

サービス種別	地区				
	君津地区	小糸地区	清和地区	小櫃地区	上総地区
居宅介護支援・介護予防支援	2	1	3	5	5
訪問介護	3	4	10	11	11
訪問入浴介護	2	3	8	8	7
訪問看護	3	3	9	9	9
訪問リハビリテーション	1	1	6	6	5
通所介護	1	2	3	3	4
通所リハビリテーション	1	2	6	4	4
福祉用具貸与	1	1	2	2	2
特定福祉用具販売	—	—	1	1	1
住宅改修	—	—	—	—	—
居宅療養管理指導	2	1	1	2	1
短期入所生活介護	3	2	5	5	5
短期入所療養介護	—	—	1	1	1
特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—
介護老人福祉施設	1	2	1	1	1
介護老人保健施設	2	1	1	1	1
介護医療院	4	4	4	5	4
夜間対応型訪問介護	2	2	5	4	4
認知症対応型通所介護	1	1	2	3	2
地域密着型通所介護	1	1	1	2	2
認知症対応型共同生活介護	1	1	2	1	1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	—	—	1	2	1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2	2	2	2
地域密着型特定施設入居者生活介護	—	—	1	1	—
小規模多機能型居宅介護	1	1	1	2	2
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	1	1	2	1	1
療養通所介護	—	—	—	1	—
訪問型サービスA（緩和した基準）	2	3	3	3	3
訪問型サービスB（住民主体による支援）	1	2	2	2	2
訪問型サービスC（短期集中予防サービス）	1	2	2	2	2
訪問型サービスD（移動支援）	—	1	3	3	3
通所型サービスA（緩和した基準）	2	3	3	3	3
通所型サービスB（住民主体による支援）	1	2	2	2	2
通所型サービスC（短期集中予防サービス）	—	1	1	1	1
配食サービス	—	—	2	3	3
ボランティア等による見守り	2	4	6	6	6
その他	1	1	1	1	1

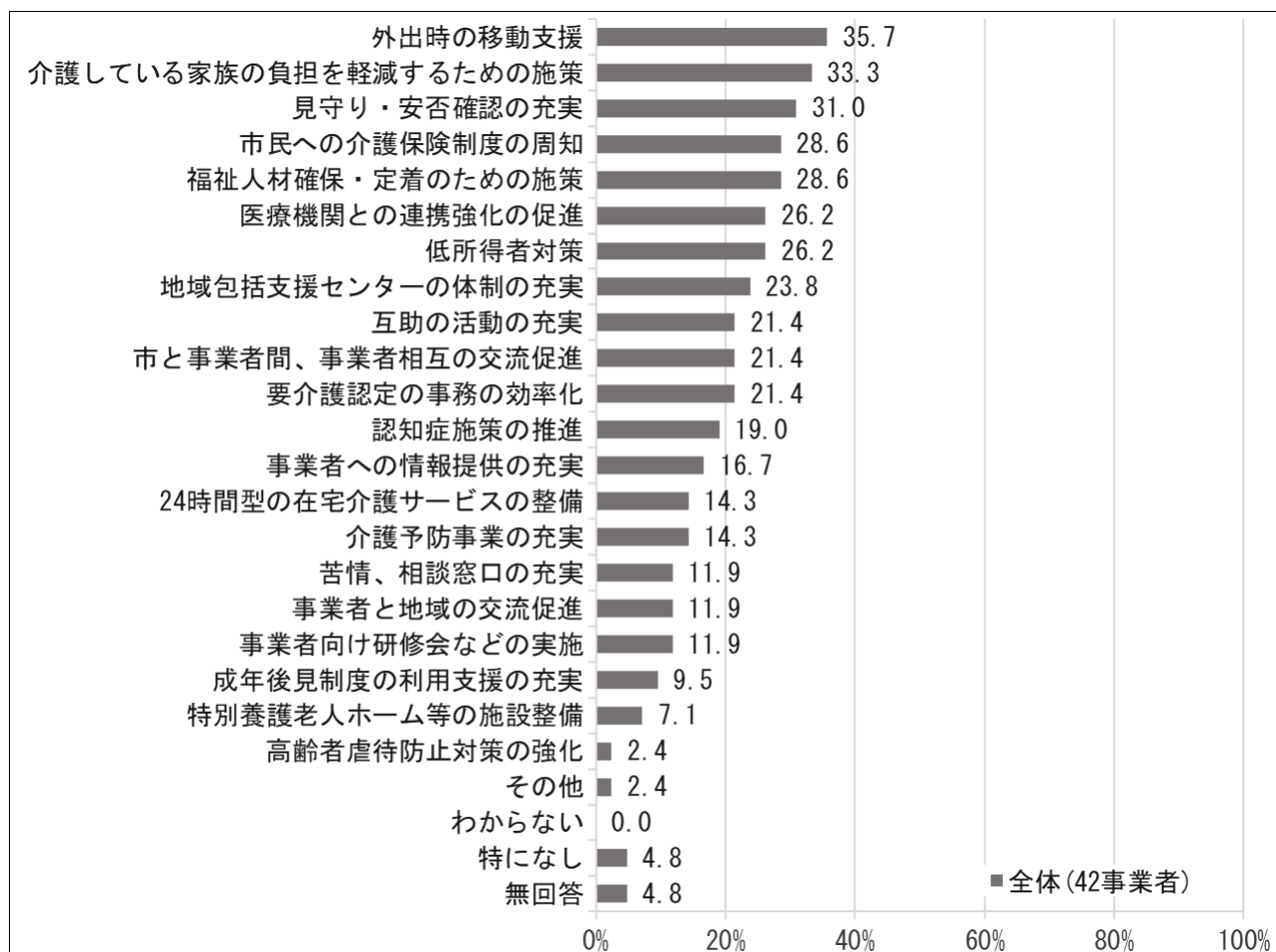
問5-2 君津市の高齢者向け福祉施策をどのように評価していますか。(〇はひとつ)

「やや満足している」が28.6%と最も高く、「満足している」の7.1%を合わせると満足率は35.7%となっています。この割合は、「不満がある」と「やや不満がある」の合計割合を上回っています。



問5-3 今後の君津市の高齢者向け福祉施策に必要なことはどのようなことだと考えていますか。(特に必要と思われること5つまでに〇)

「外出時の移動支援」が35.7%と最も高く、「介護している家族の負担を軽減するための施策」が33.3%、「ひとり暮らし高齢者等に対する見守り・安否確認の充実」が31.0%、「市民への介護保険制度の周知」と「福祉人材確保・定着のための施策」がそれぞれ28.6%と続いています。



※「見守り・安否確認の充実」は「ひとり暮らし高齢者等に対する見守り・安否確認の充実」、「医療機関との連携強化の促進」は「医療機関との連携強化の促進（在宅医療・介護連携等）」、「互助の活動の充実」は「地域住民等を中心とした互助の活動（生活支援・サロンの開設等）の充実」、「事業者への情報提供の充実」は「事業者への介護保険制度等に関する情報提供の充実」、「24時間型の在宅介護サービスの整備」は「介護・看護が連携した24時間型の在宅介護サービスの整備」、「介護予防事業の充実」は「要介護状態にならないための介護予防事業の充実」の略

問6 地域包括ケアシステムの構築に向けた課題について

問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ①医療・介護の連携強化（自由記述）

- 利用者様の医療情報不足。Dr と連絡を取ればよいか
- 病院内では介護保険が使えないにもかかわらず、透析室では介保ヘルパーに様々なことを指示する。本来はHPの仕事である
- 在宅医が少ないため往診されても夜間帯になることがある（老夫婦では対応に困る）
- 共働き・核家族化の進む現在、最後まで在宅ケアすることは不可能だと思います
- 医師、歯科医師、薬剤、看護、PT、OT、ST、ヘルパー、CM、地域ケア会議の推進。認知症初期集中支援チーム機能も強化
- 情報の優先順位を統一。その他本人の生活環境で整理、内容を簡潔化が必要（情報を多く渡しても見てもらわなければ意味がなくなるので）
- 往診、訪問診療を行う病院、医師が少ない。訪問診療を行っている診療所と連携がとりにくい。医師がアルバイトなので、責任を持ってない、などの発言もあり、不安
- 地域（日常生活圏域）に病院、診療所がない。移動手段もない
- 在宅医療に関して、住民に周知されていないので利用の仕方もわからない人が多い
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- ICT等を盛り込んだ体制の構築

問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ②介護サービスの充実強化（自由記述）

- ニーズはあるが人材が足りなすぎる。本来は建物に金を使うのではなく、人材に金を使うべきだ
- 厳しいからと在宅にシフトすることは労働人口の減少している日本において家庭における負担が増えるだけで間違いだと思います
- 定期巡回随時対応型訪問介護の活用が困難。足りていない
- 山間部等、なかなかサービスが入りにくいところには行政からの横出しで報酬上乘せでなければ、行く事業者が少なくなり、選択できる状況にはならなくなる
- 介護職員の質の向上が必要
- 市街地の介護サービス・事業者も多いが、山間部には事業者も人材も手薄で必要なサービスが確保できない。特に移動支援
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）

問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ③介護予防の推進（自由記述）

- 事業所の空き時間の活用。活用していることをいかに地域の皆様に理解いただくか
- 体操教室等の充実
- 市民の意識が低いと成果は出ない
- 袖ヶ浦等をモデルに毎月要支援者プランを地域ケア会議にて検討するといひ
- 社会参加型、高齢者の社会貢献型支援施設
- 身体を動かすには、目的が必要になると思うので、「やりがい」を提供。今後は生活が苦しくなる人が多くなるので、少しでも年金の足しになるようなものがあれば、「やりがい＝生きがい」になるのではないか。地域の特産品など。
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- 在宅での生活を本人が望んでも、周囲の思惑が優先されるのか、支援を試みることもなしに施設入所ありきではなく取り組みをお願いしたい

問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ④多様な担い手による生活支援サービスの提供（自由記述）

- 近所の方の協力体制
- 多様な担い手は守秘義務を守れないので活用できない。多くの人が関わることで無責任体制ができつつある
- 外出のための送迎。後見人制度。病院の受診付き添い
- 特に高齢者の一人暮らしも増加している時代なので、きちんと効率よくケアするためにはサ高住などに集まっていただいたほうが良いと思います
- 育成には市の補助金が必要。予算を捻出してほしい
- 施設サービスに於けるサービス提供の充実
- 生活支援サービスをNPO、ボランティアで考えるのは、現状厳しい。参加する人も生活が有り、今後の見えない不安から、少しでも資金を効率的に稼ぐ人が多い。それなりの報酬が今後求められてくると思われる
- 地域住民への地域包括ケアシステムの必要性の周知が必要
- 人口密集で可能でも山間地域は高齢者ばかりである。一人の人が何役も担わなければならない
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）

問6-1 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題 ⑤高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者の住まいの整備（自由記述）

- サ高住は足りている。サ高住で重症化した人の行き先が今後心配になる
- サ高住は質の良し悪しあり。金銭的に余裕がないと入居もできない
- 自宅のバリアフリー化、健康監視システムによる独居高齢者の生活安全の確保
- 空き家の問題で壊すのも家族には、お金がない人が多いと思われ、以下に使える空き家を利用し、再利用が求められていると思う。サ高住のような施設的環境ではなく、もっとプライベート重視のものがあっても良いと思う（戸建の借家のような感じなど）
- 経済的に余裕がなく、利用できない人が多い
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- 君津市独自のバリアフリー化に対する助成金の設置

問7 君津市の介護保険・福祉行政へのご意見

問7 その他君津市の介護保険・福祉行政に関して、ご意見などありましたら、自由にお書きください

- 要介護状態にならない取り組みにさらに力を入れていただきたい。当事業所はその事業にできる限り協力させていただきたいと思っている
- 今の課長になってかなり良くなった。今後は四市横並びなどと考えずに君津市に必要なことを君津市の判断で実施できるよう独自性を持ってほしい。市長もやる気になっている今なら、君津の介護を改善していけると思う
- 総合事業（A,B,C型）チェックリストのみで通所、訪問をできる基盤は整っているのか。公民館やサロンへの移動手段の確保。都心部でのデマンドタクシー再開は可能か検討いただきたい
- ケアマネのレベルの差が大きい。もっといろいろな視点で考え利用者本位に考えられる人材が増えてほしい
- 行政というか、そういう不満があります
- 昨今、厳しい財政の中、色々ご苦勞が多いかと思えます。君津市は、大きいので、それを同じようにするのは、大変だと思えます。市街地、中間部、山間部を大きく3つによく分けられるので、その3つの良いところとか強みなどで若い人たちが来てもらえ、高齢者も自然と、その環に入り、楽しく仕事したり、生活できることが理想だと思えます。若い人たちに遠慮しながらの生活が多く見られるので、なんとか気を遣わなくても良い生活ができる方法があれば良いと思えます
- 山間部ほど介護難民、独居老人、が増えていく傾向があるのではと懸念される。施設や交通手段が失われ、若い人が定住せず、ますます限界集落化していく中で、私どものような小さな事務所で果たしてどこまでできるか不安な毎日。閉じられた学校などを利活用して、地域包括ケアシステムを素晴らしいものにしてくださることを懇願します。具体的には、自治体レベルの取組と、市から発進、サポートしてくださることが必須だと思う。小さな願いをひとつひとつ集め、丁寧にすくい上げてくださいますよう、心からお願いしたいです。具体的に取組に繋がるよう祈ります
- ケアマネジャーによって対応が違ったり、利用者主体の対応をされていないケアマネジャーがいらっしやったりと事業所として困惑することがあります。介護職の不足により訪問介護が思うように支援ができていない。特に生活支援（買い物）が、支援することが足りていない。また、低収入の認知症高齢者は在宅にいるしかないのか。
- お隣さん、ご近所さんと各々が安否確認、情報収集し問題が発したら、すぐ関係部署に繋げる、その手段、方法を各自治会単位で行政の側から道しるべを構築してほしい。
- 介護保険運営協議会の委員のうち、福祉及び介護施設から選出される委員は地域での福祉活動に積極的にあるべき。

君津市高齢者保健福祉計画
・第8期介護保険事業計画
実態調査（アンケート）に係る
分析結果報告書
令和2年3月

発行	君津市
企画・編集	保健福祉部高齢者支援課
住所	〒299-1192 千葉県君津市久保2丁目13番1号
電話	(0439)56-1610
FAX	(0439)56-1220
E-MAIL	kourei@city.kimitsu.lg.jp